

大事典

magazine for animec life
Animec 別冊
定価 ¥500

■特別付録

**ガンダム
アドレスカード**

1話〜43話設定ストーリー

6〜10号ガンダム特集ダイジェスト

■特別記事

**決定版ガンダム大事典
スペシャル・マンガ**
●蜂須賀留麻

16号

機動戦士ガンダム大事典
magazine for animec life アニメック
VOL. 16

機動戦士ガンダム大事典

目次

6号ガンダム特集
スペシャルピンナップ……… 3
オープニング……… 6
第1話カラーストーリー……… 9
初期設定資料……… 17
ガンダムストーリー2話～6話… 27
富野喜幸インタビュー Ⅰ……… 32
7号ガンダム特集
ガンダムの世界……… 37
設定ストーリー7話～18話……… 40
富野喜幸インタビュー Ⅱ……… 46
8号ガンダム特集
「ランバ・ラル特攻」ストーリー……… 54
設定ストーリー20話～26話……… 56
富野喜幸インタビュー Ⅲ……… 64
9号ガンダム特集
設定ストーリー27話～33話……… 69
10号ガンダム特集
富野喜幸インタビュー Ⅳ……… 76
設定ストーリー34話～43話……… 89
カラースペシャルコレクション……… 81
機動戦士ガンダム大事典……… 99
用語編……… 100
人名編……… 132
スペシャルマンガ……… 153
特別付録★**ガンダムアドレスカード**… 171

アニメック6号解説

これは昭和54年 7月1日に発行された当時のまま再録してみました。この号は初めて全国の書店で販売された記念すべき号です。(これ以前は主に通信販売でした)

レイアウトなどは、同人誌と何ら変わらない稚拙なもので、あまり再録したくはなかったのですが……。

ダイジェスト・ストーリーも後の特集と少々異なっていますが、この時点では基本設定書以外、入手できていなかったのです。カラーページの少ない本誌は、白黒ページの内容の濃さで補おうと、設定書のあつかいを他誌よりも丁寧にして記事を組みました。それが、読者の御支援により、本誌がこれまでに発展できた原動力になったのです。

まえがき

お待たせしました。ガンダムの記事では定評のあるアニメックの、放映当時の特集記事を一冊にまとめた別冊版をお届けします。6号から10号までの主なガンダム記事はほとんど集録されています。特に、発行部数の少なかった6号についてはカラーページを含むすべての記事を再録して読者の皆様からの御要望にお応えしたつもりです。

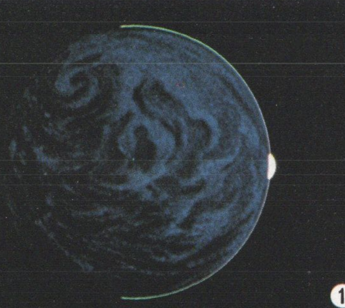
大事典は、今まで3回に分けて発表した事典に、大幅に加筆、修正したもので、ガンダムファンに満足していただけるものと自負しています。これからガンダムファンになろうとしている皆さんには良い手引き書になることでしょう。公式に発表されていない事項については、アニメック独自の見解が含まれていますので、疑問のあるものや、あきらかに誤まっていると思われるものについては、編集部まで御一報ください。近い将来作成する、『完全版ガンダム事典』の参考にしたいと思います。

「機動戦士ガンダム大事典」はアニメックの別冊として発行されましたが、通刊ナンバーは16となります。本来アニメック16号として発行される予定であった本誌は17号として3月1日に発行します。



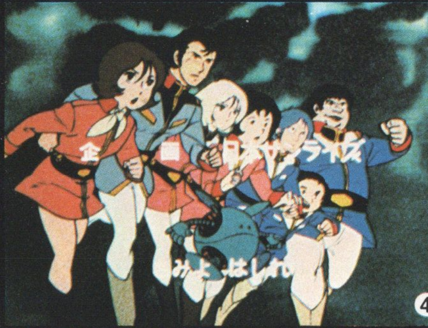
機動戦士
ガンダム
GUNDAM

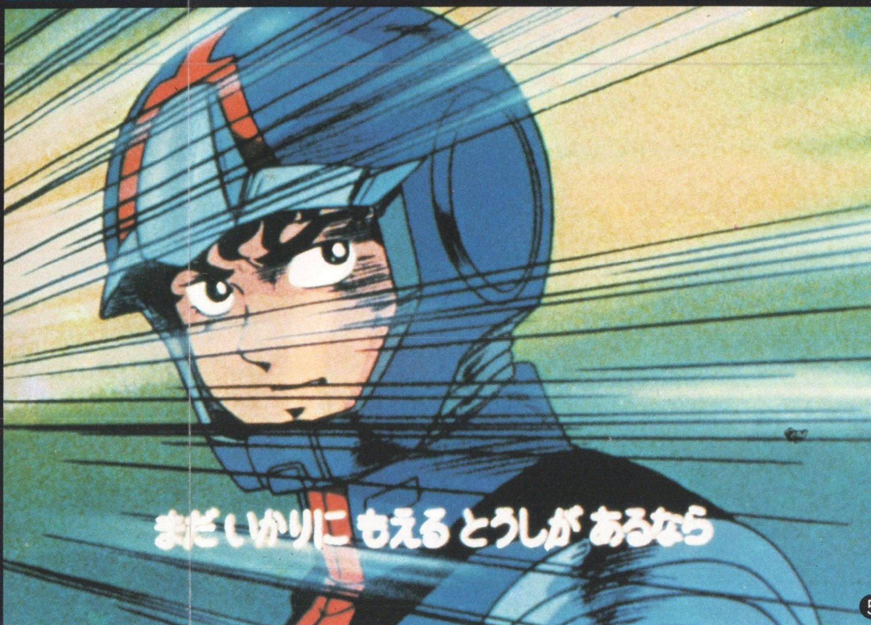
COLLECTION PIN-UP

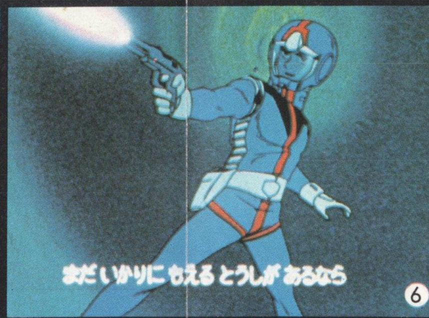


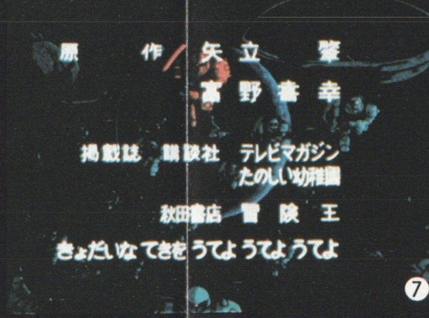
機動戦士
ガンダム
GUNDAM
もえあがれ もえあがれ ガンダム
2

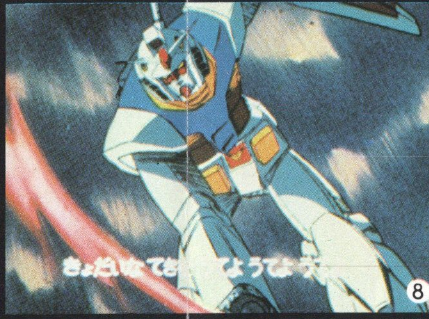


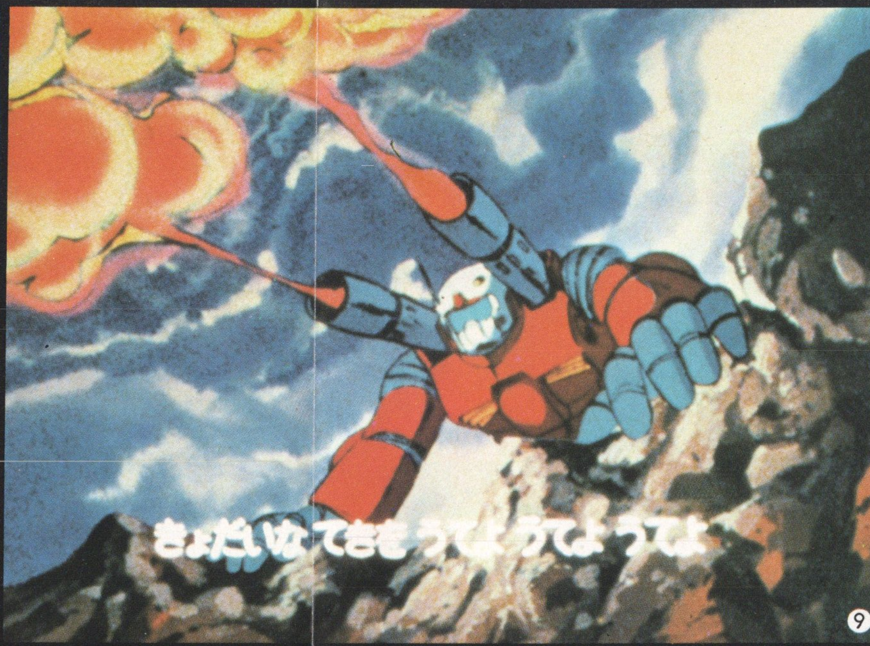




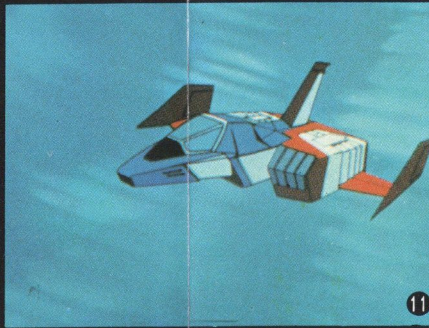
















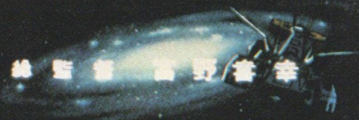


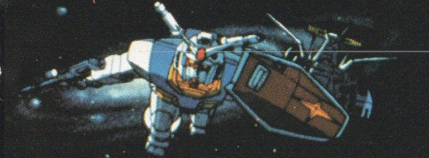


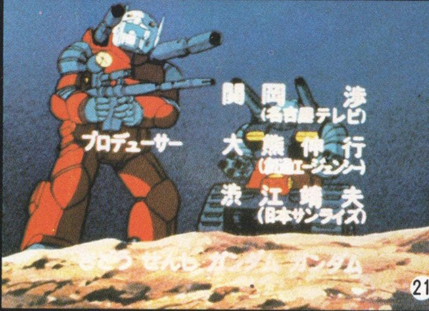


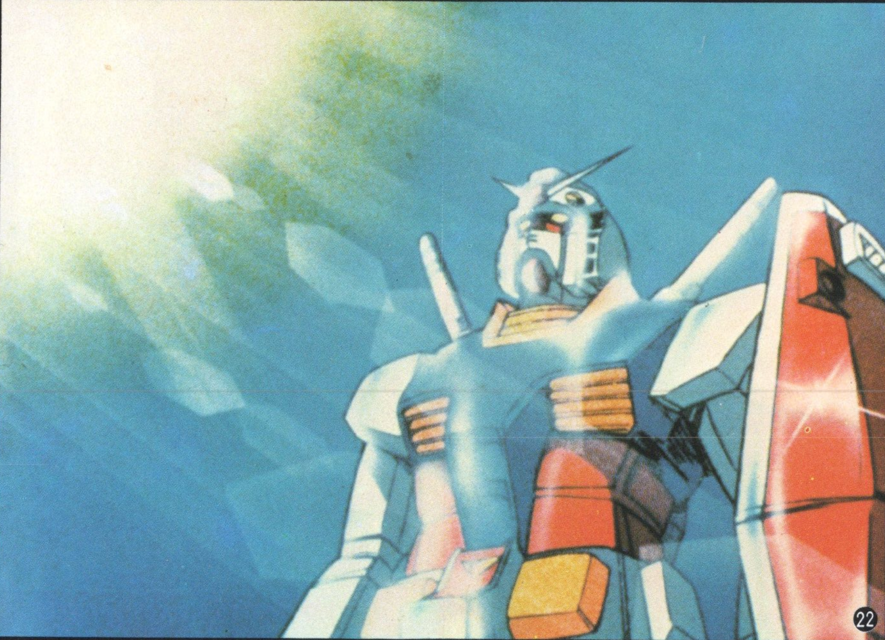


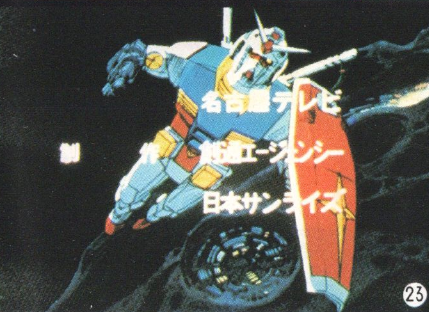


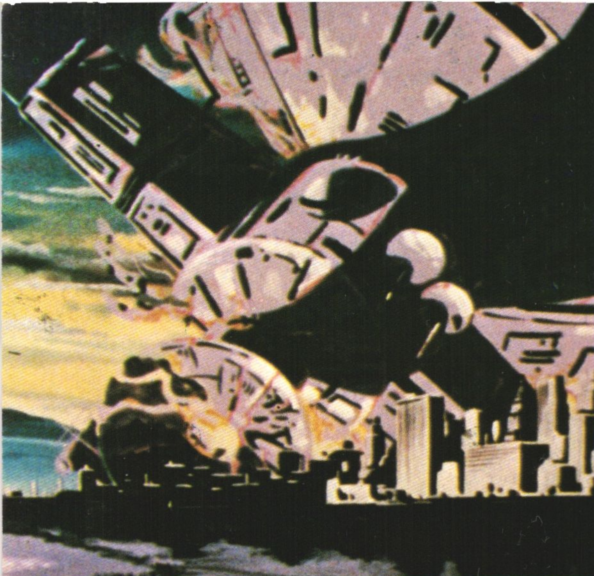


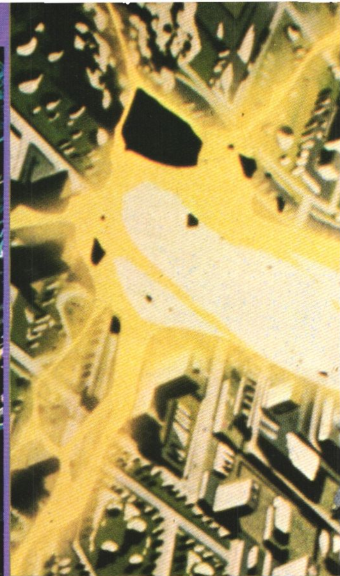












機動戦士ガンダム

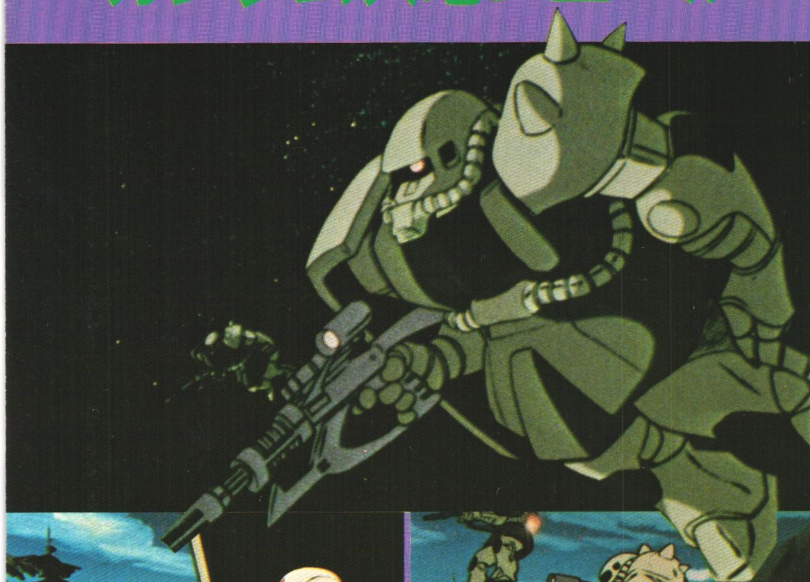
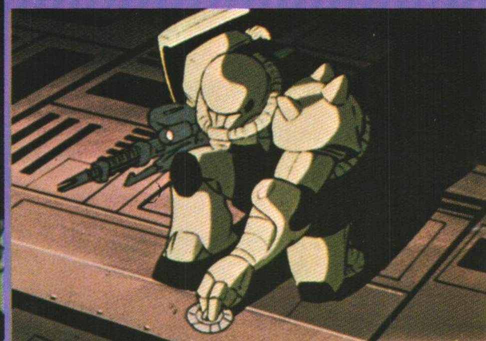
第一話カラーストーリー

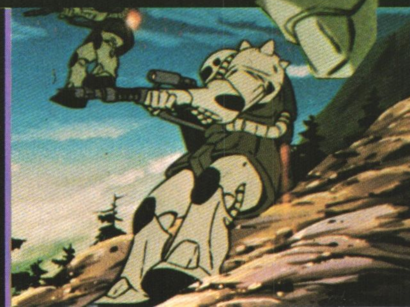
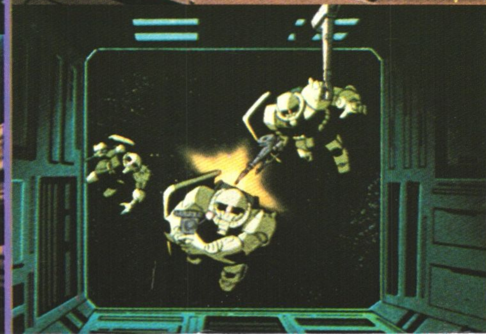
ガンダム大地に立つ!!

人類が増え過ぎた人口を宇宙に移民させるようになって、すでに半世紀が過ぎていた。地球のまわりの巨大な人工都市は、人類の第二の故郷となり、人々は、そこで子を生み、育て、そして死んでいった。

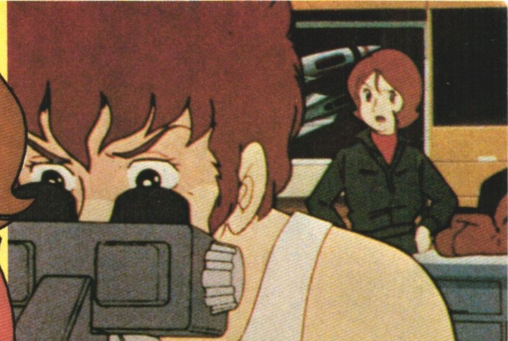
宇宙世紀ダブルオー79年。地球に最も遠い宇宙植民地、サイドスリーは、ジオン公国を名乗り、地球連邦政府に独立戦争を挑んできた。この一か月余りの闘いで、ジオン公国と連邦軍は、総人口の半分を死に至らしめた。人々は、自らの行為に恐怖した。…戦争は膠着状態に入り八か月余りが過ぎた。

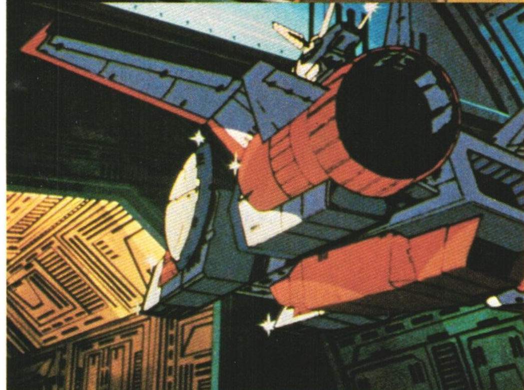
ここ宇宙植民地サイド7に、二機のザク（ジオン軍のモビルスーツ）が、内部偵察のため、侵入しようとしていた。モビルスーツとは、一種の強化服であり、内部の人間の能力を、何十倍にも増加することができるのである。

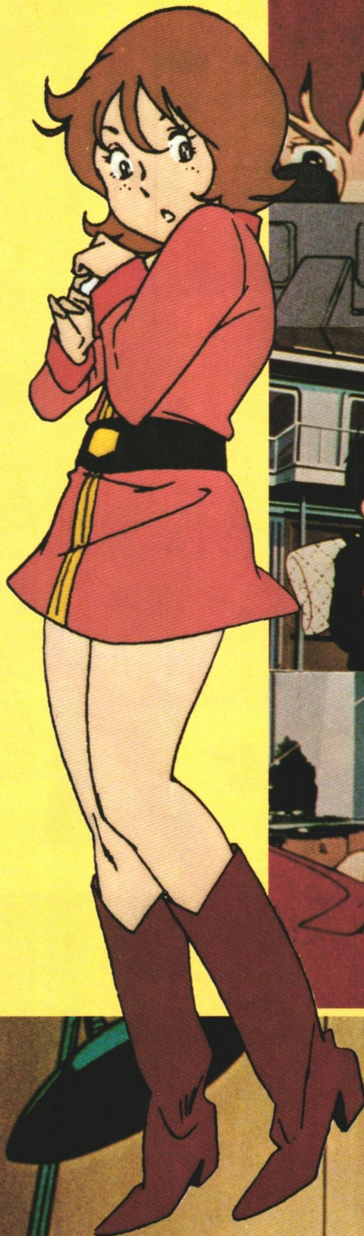



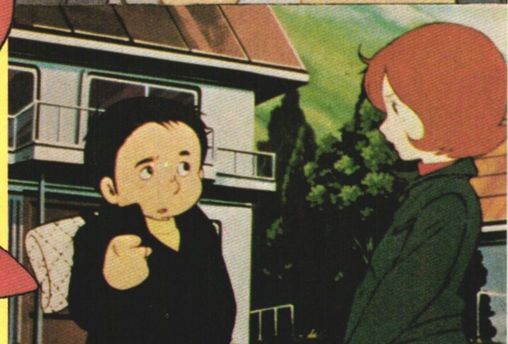







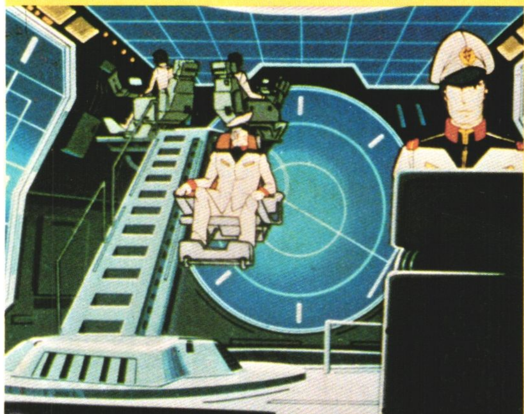






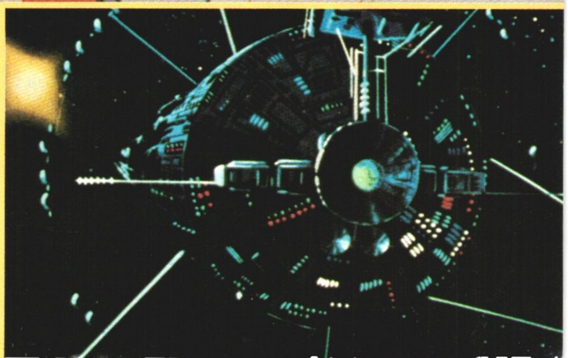


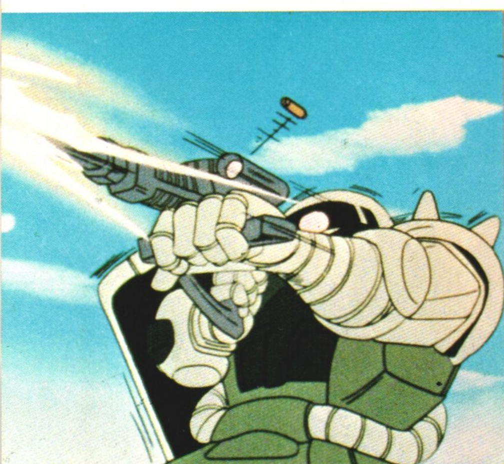
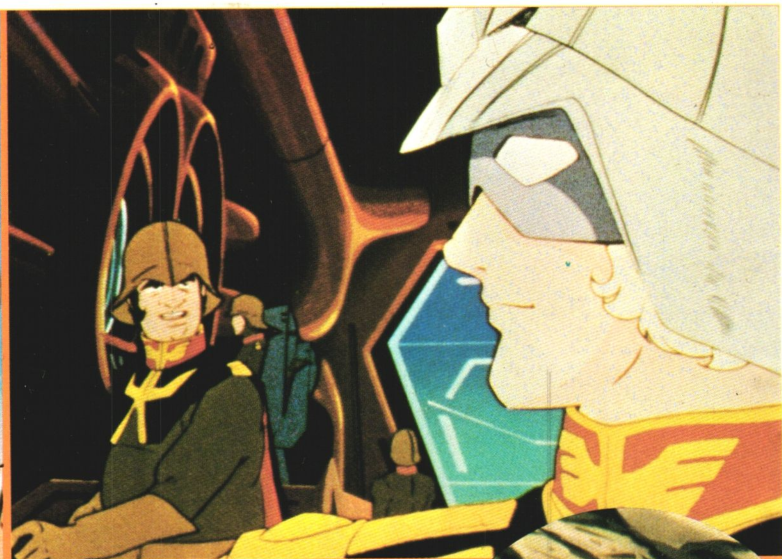
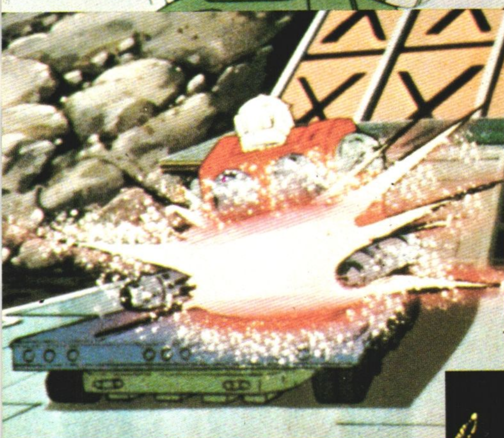
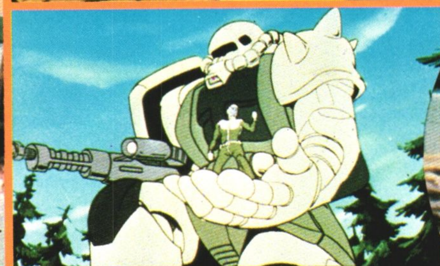
サイド7脱出軍艦入港のため避難命令の出ていた居住区に、一人の少年の姿があった。彼、アムロ・レイは、サイド7に一人で住んでいる。そこへ、彼の隣りに住む少女、フラウ・ボウが声をかけ、避難命令が出ていることを知らないアムロを促して待避カプセルに急いだ。ガンダムの積み込みのために、連邦軍のホワイトベースは、サイド7に入港した。そこには、アムロの父テム・レイや士官候補生ブライト・ノアが乗っていた。



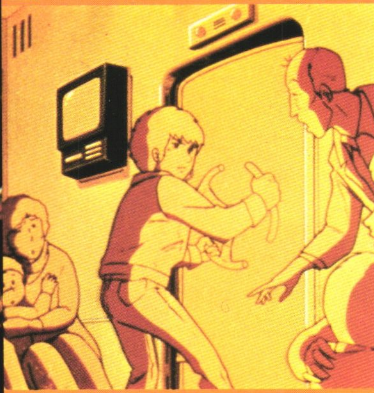
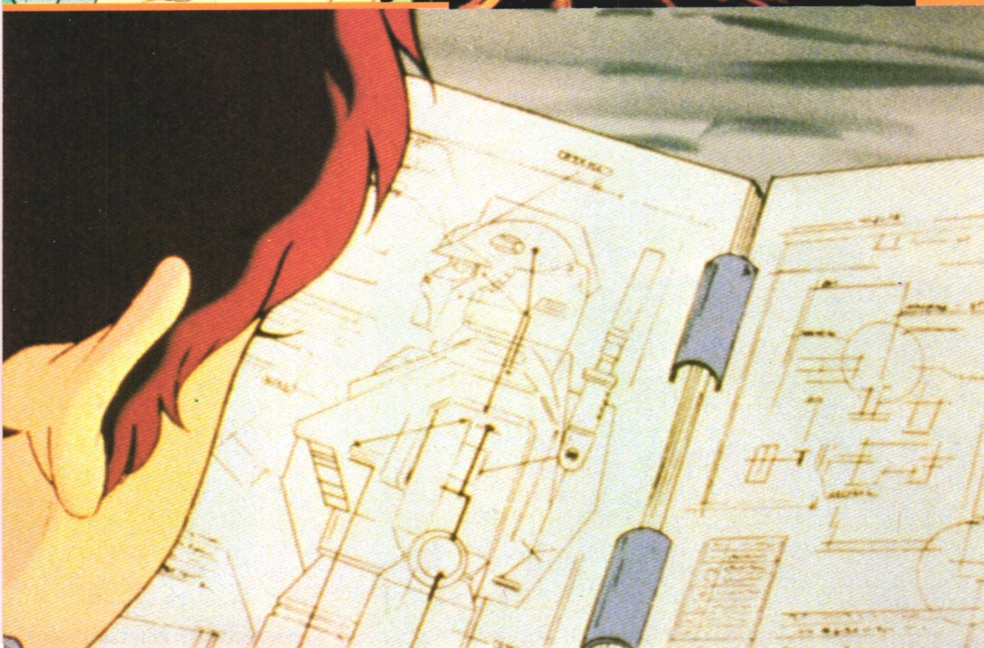






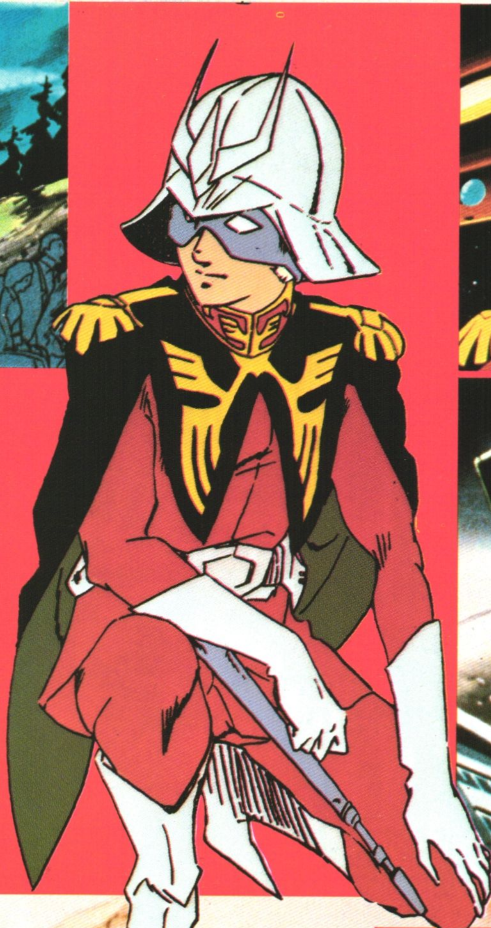







その頃、侵入したザクは、ジオンのムサイ艦のシャア少佐に連邦軍のモビルスーツのことを報告しそのままモビルスーツを偵察していた。その時、一機のザクが、ガンダムのパーツを破壊したため、アムロ達の乗っていたカプセルは大きく揺らいだ。父にホワイトベースの収容を頼もうと考えたアムロは、外に飛び出し、敵ミサイルの爆風に飛ばされた。そこで、アムロはモビルスーツの資料をはさんだファイルを拾い、むさぼり読んだ……。

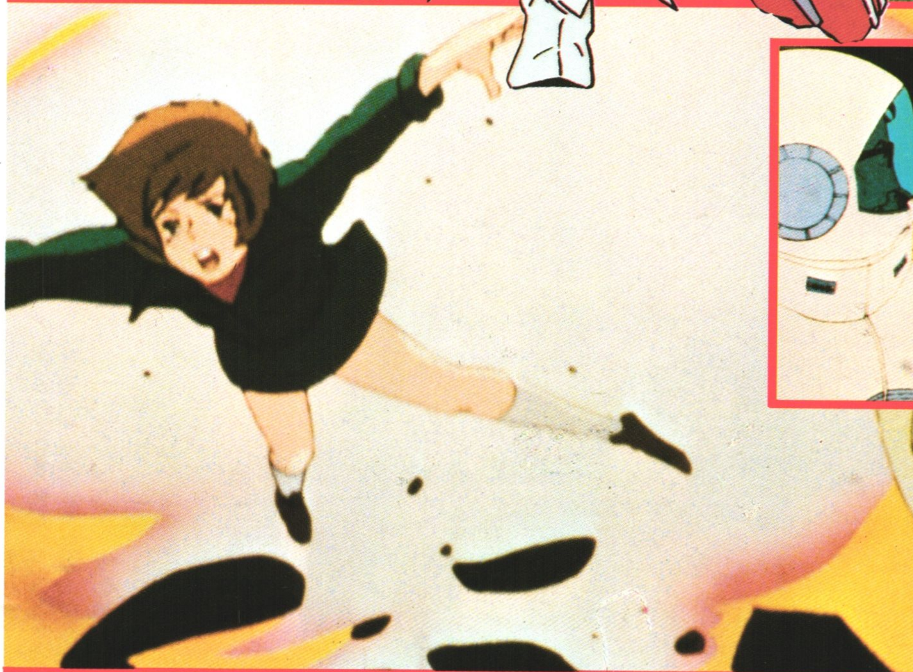


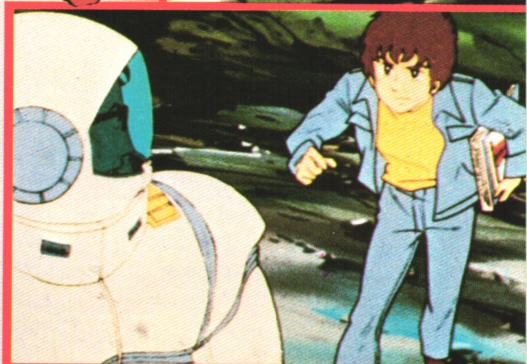








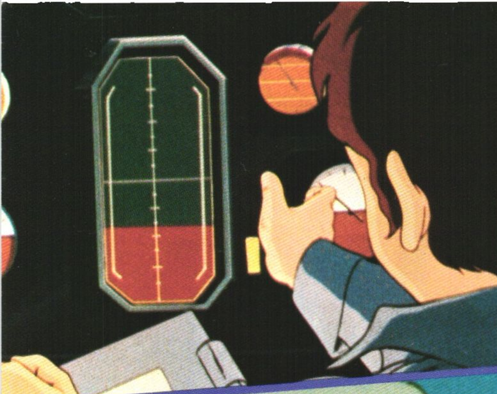




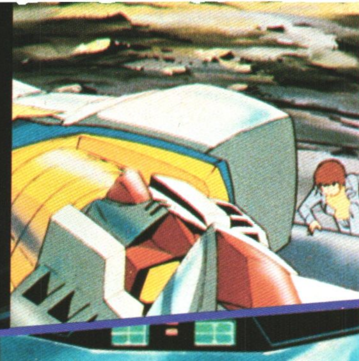
人々は、サイド7から出ようと先を争って港へ急いだ。そのざわめきの中でアムロは避難民よりガンダムの収容のことを気にかける父の声を聞いた。アムロは大きく反発したが、父はそんなアムロの言葉を気にとめようともしなかった。そんな時、フラウ・ボウがアムロを呼びに来た。突然、彼らの後方で爆発が起こった。振り向く二人の目の前で爆発の被害をこうむったフラウ・ボウの家族が死んでいた。彼は泣きじゃくるフラウ・ボウの頬をひっぱたくことによって宥め、港まで走るように言った。

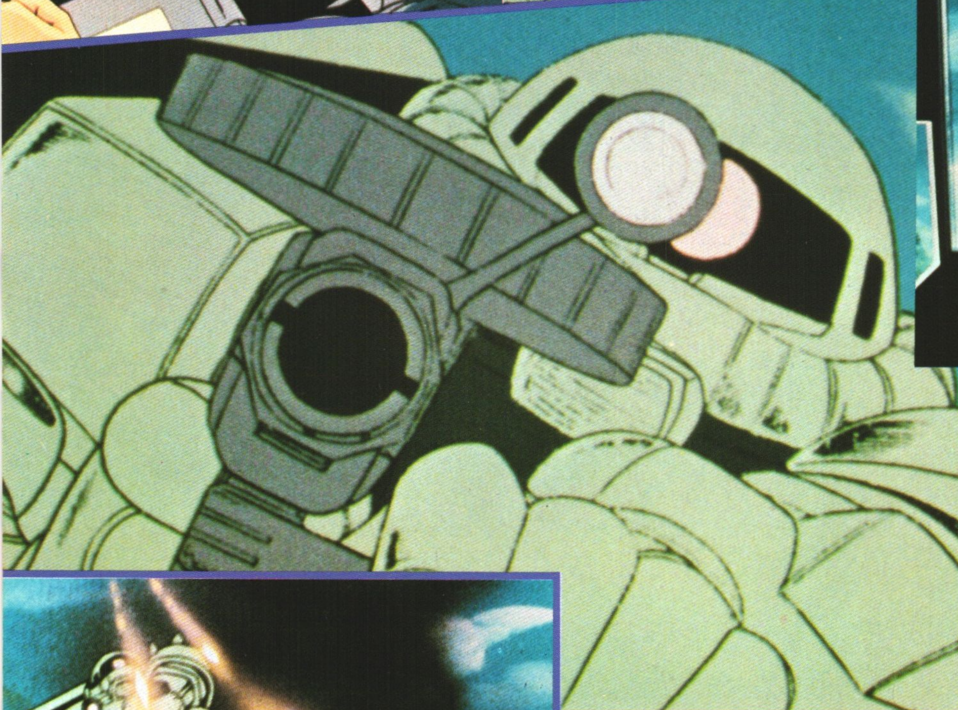










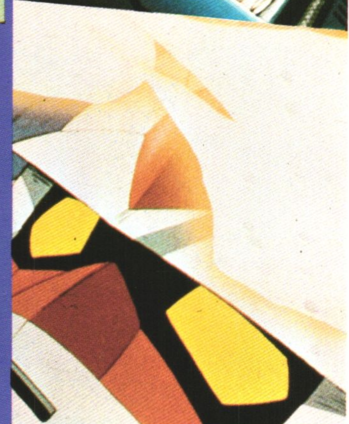


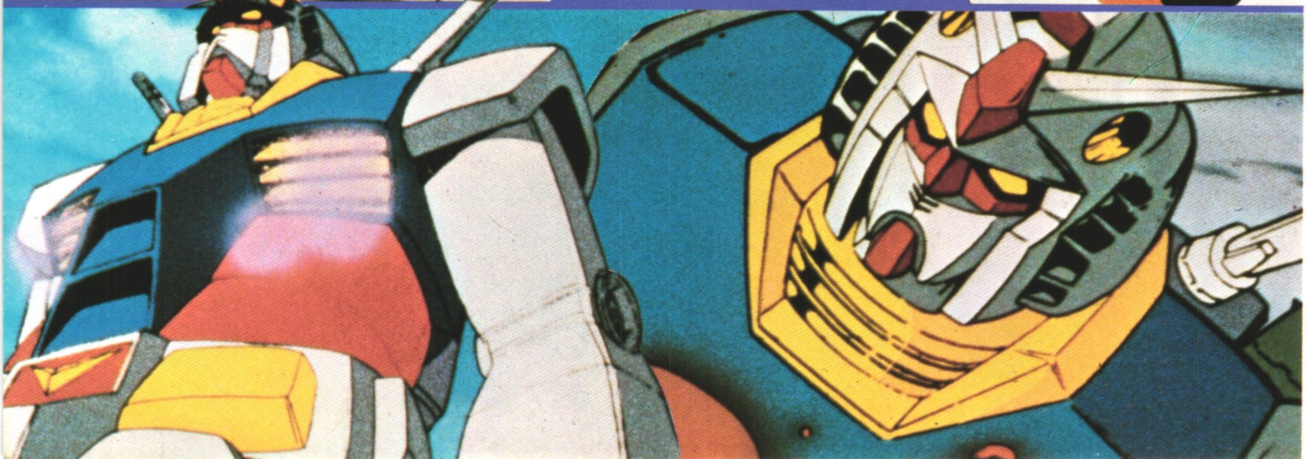






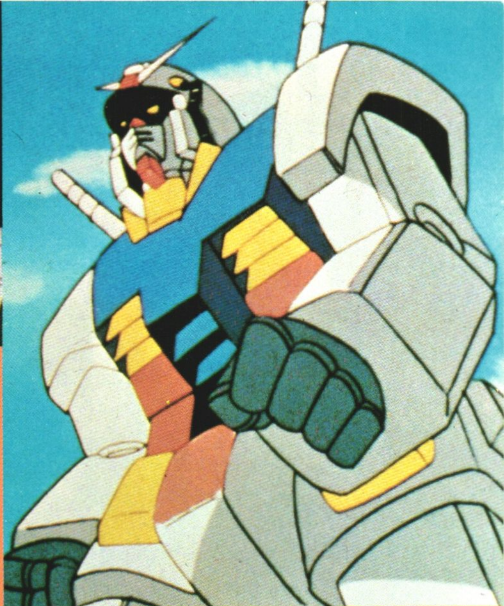
彼は、ガンダムに向かって走り、コクピットに身を沈め、ファイルを睨みながらガンダムを始動させた。ザクがガンダムの正面で銃を構えた。あせったアムロが、偶然握ったレバーは、ガンダムの額の銃を作動させた。ガンダムの動きに気づいたザクは、ガンダムに向けて撃って来た。これまでか、とアムロは思ったが、ガンダムはびくともしない。彼はガンダムを立ち上がらせた。

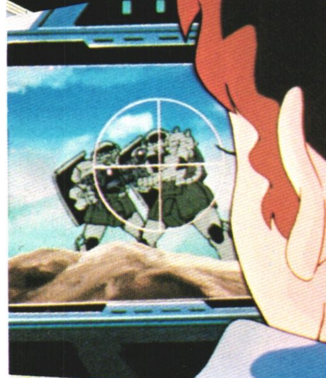












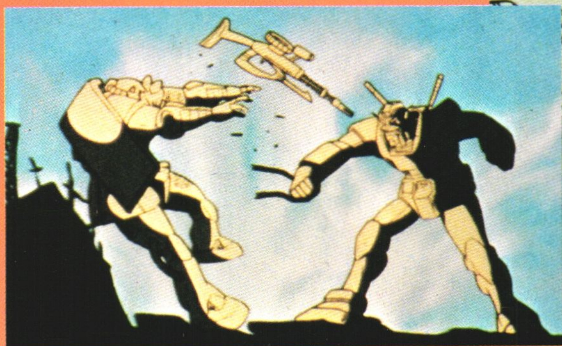
動きのぎこちなげなガンダムに一機のザクが飛びかかってきた。夢中でアムロは、ザクのあごをつかんで突き飛ばし、ひきちぎろうとした。

ガンダムの性能に驚きつつも、必死で逃げようとするザク――。ふんばり続けるアムロ――。と、アムロの目に入ったのは、レーザー剣の表示だった。

「これが武器だな！」

ガンダムは走りながらレーザー剣を抜き、ザクを斬り裂いた。





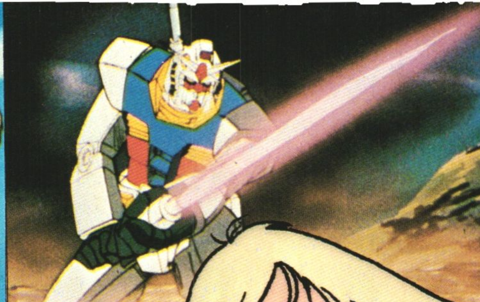


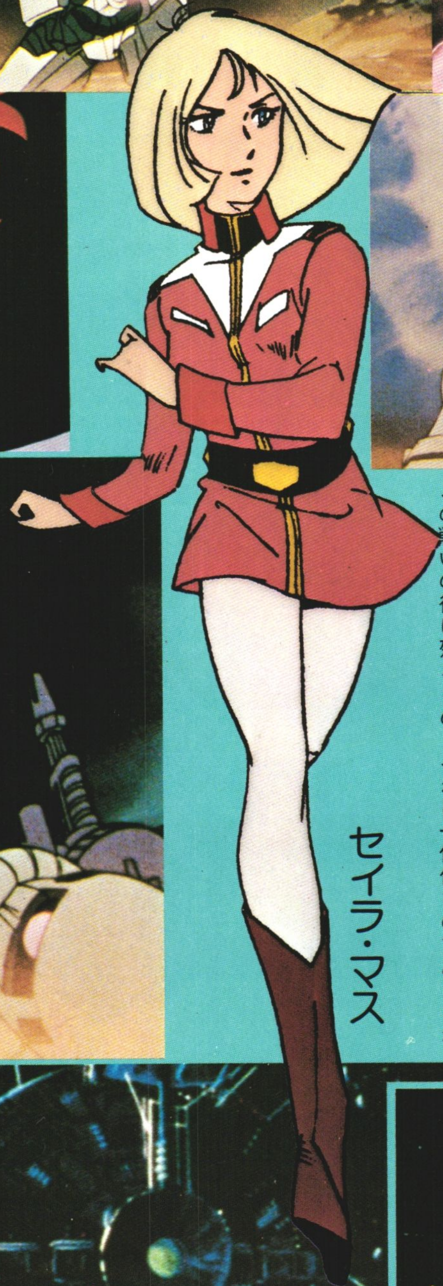


ブライト・ノア



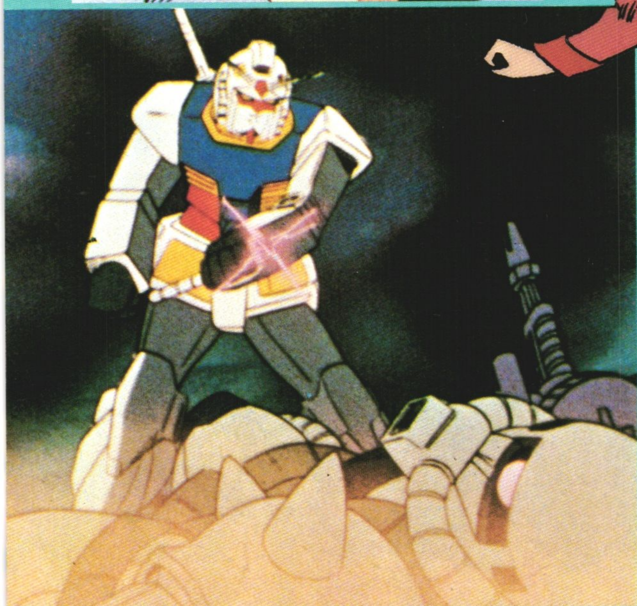
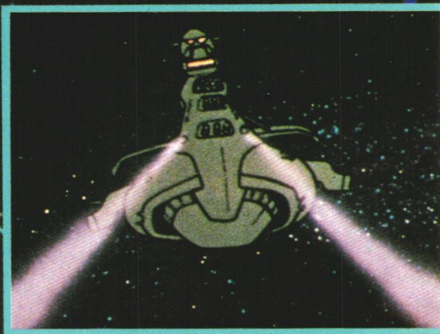


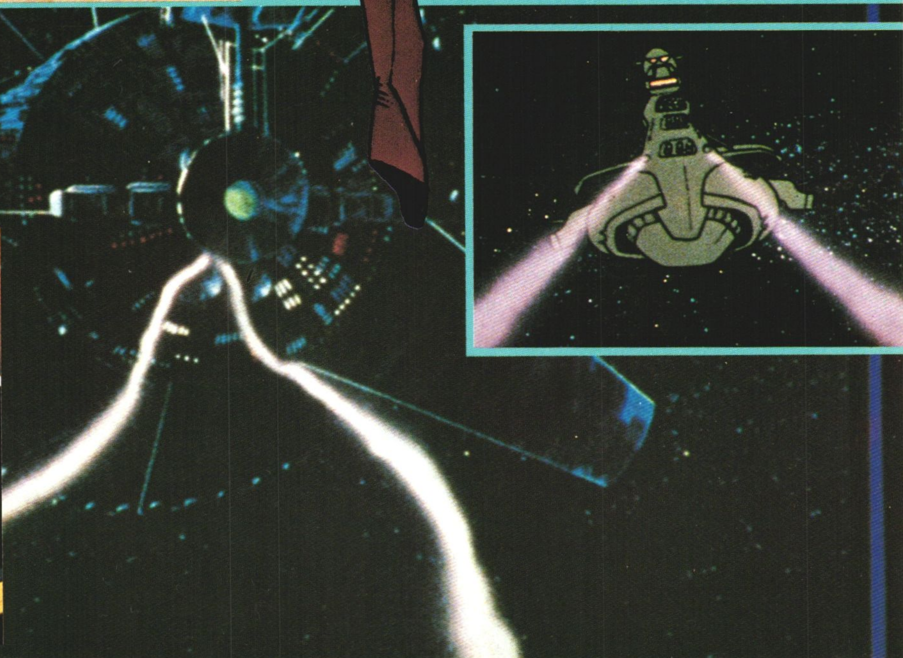




ザクは、爆発し、サイド7の外板がはじけ飛んだ。その時、今度はもう一機のザクが突然襲いかかって来た。
「今度ザクを爆発させたら、サイド7の空気がなくなってしまう」
アムロの頭に一瞬ひらめくものがあった。
「そうだ!!」
アムロは、ザクのコクピットに剣を突き刺した!!
「…やった!!」
戦いが終わりサイド7の中でガンダムは、一人立ちつくす。しかし、ジオン公国との戦いはまだ終わらない。この戦いの後に残るもの、それは一体何なのであろうか。

セイラ・マス



作画監督 安彦良和
作　画 スタジオ・Z
長崎重信
鍋島 修
平山 一
おぼえて いるかい 少年の日の ことを

艦　長 政宗一成
フラウ・ボゥの母 鈴木れい子
ナレーター 永井一郎
アムロ おまえの うまれた ふるさとだ

声の出演
アムロ 古谷 徹
ブライト
フラウ・ボゥ
ハヤト

背　景 アート・テイク・ワン
東條俊寿
那須野幸子
動画チェック 浜津 守
あたたかい ぬくもりの中で めさめた あさを

脚　本 星山博之
絵コンテ 斧谷 稔
演　出 貞光紳也
アムロ おまえの うまれた ふるさとだ

シャア 池田
デ 緒方
ジ 行
アムロ ふりむかないで

ティム・レイ 清川元夢
中　佐 田 勝
スレンダー 鈴木誠一
ちゅうの かなたに かがやく ほしは

仕　上 シャフト
森山政子
満橋曜子
特殊効果 土井通明
アムロ ふりむくな アムロ

撮　影 プロダクション
藤秋男
編　集 渕友彰
小谷地文男
現　像 東京現像所
おとこは なみだを みせぬもの みせぬもの

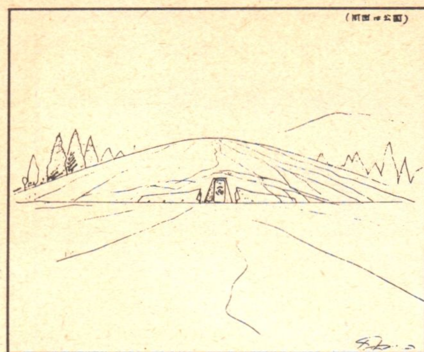
第一話
脚本／星山博之／絵コンテ／斧谷稔／演出／貞光紳也／作画監督／安彦良和／作画／スタジオZ・長崎重信・鍋島修・平山一／背景／アートテイクワン・東条俊寿・那須野幸子／動画チェック／浜津守／仕上げ／シャフト・森山政子・満橋曜子／特殊効果／土井通明／撮影／旭プロダクション・斉藤秋男／編集／鶴渕友彰・小谷地文男／現像／東京現像／制作／日本サンライズ・名古屋テレビ
土曜17・30〜18・00放映

音響監督 松浦典良
効　果 松田昭彦
整　音 日向国雄
音 整音スタジオ

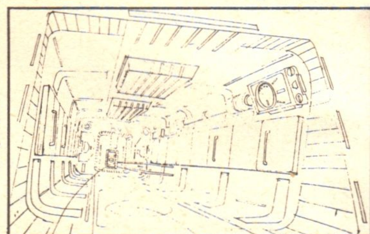
名古屋テレビ
制　作 創通エージェンシー
日本サンライズ

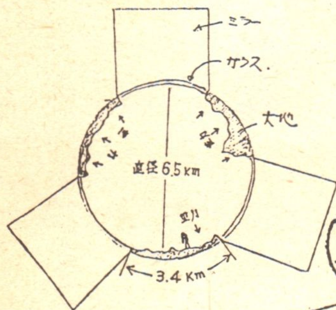
制作進行 豊住政弘
設定制作 円井
アシスタントプロデューサー 神田

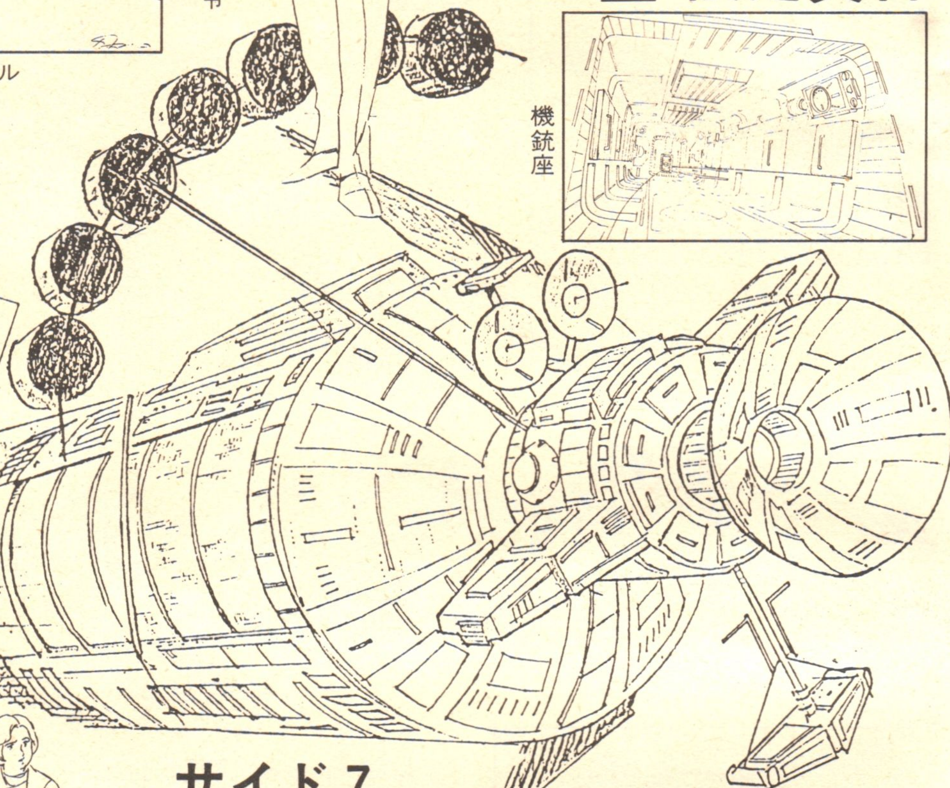
機動戦士ガンダム GUNDAM 設定資料


待避カプセル


サイド7 司令


機銃座



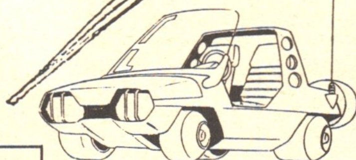
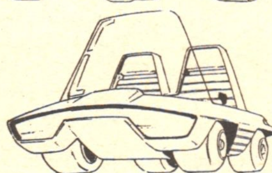
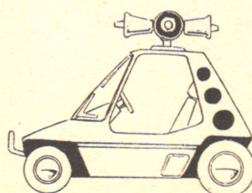


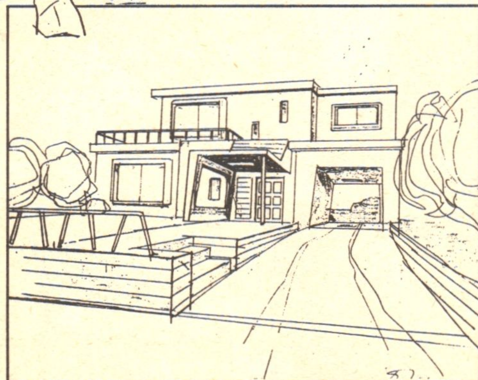
サイド7

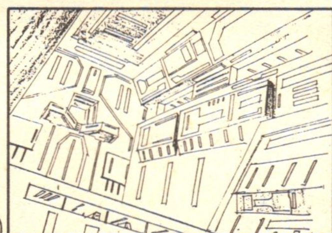
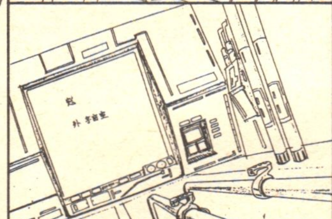
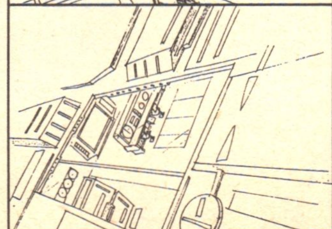
直径 6.5km
毎分0.5回転

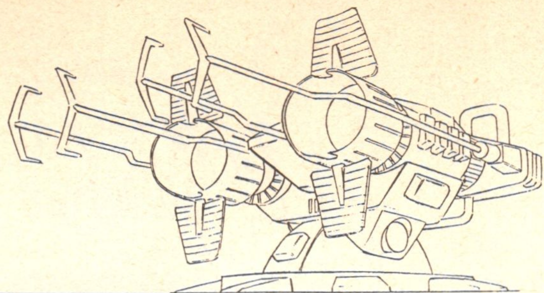

アムロの父 テム・レイ


フラウの祖父と母

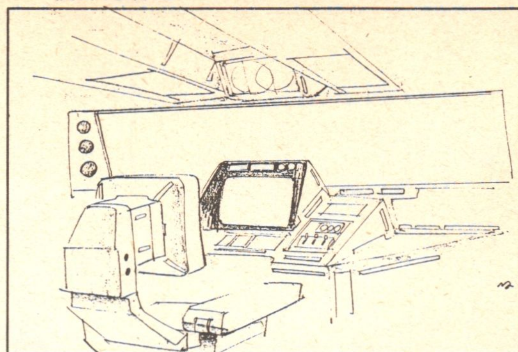



エレカー


住宅・スタンダードタイプ

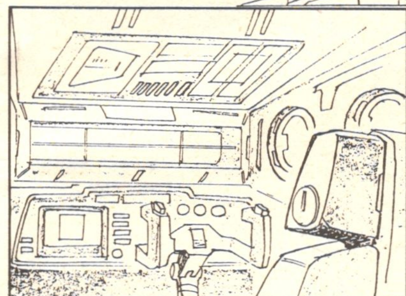



ドッキング・ベイ各部



ビーム砲



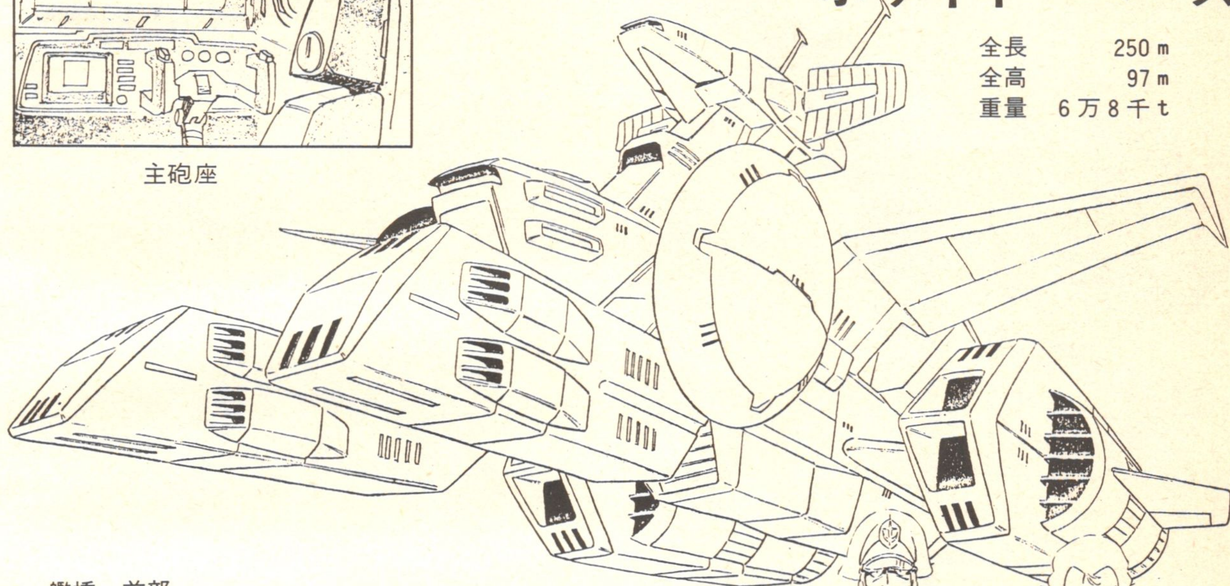
後部発着艦　コントロール・ブロック

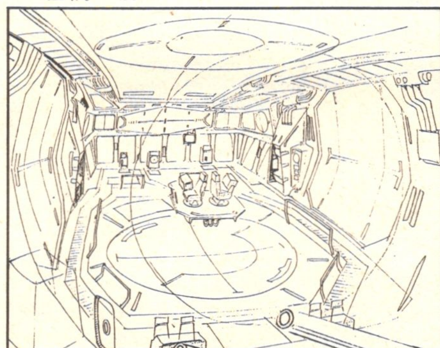


主砲座

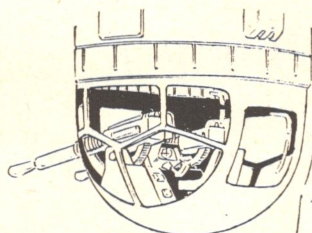
ホワイト・ベース

全長	250ｍ
全高	97ｍ
重量	6万8千t

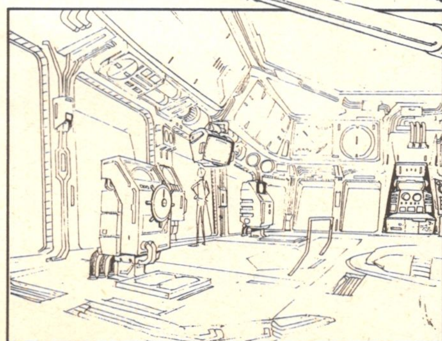




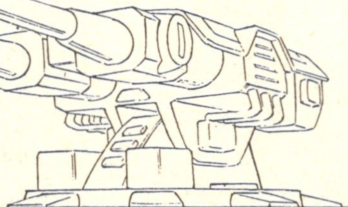
艦橋・前部



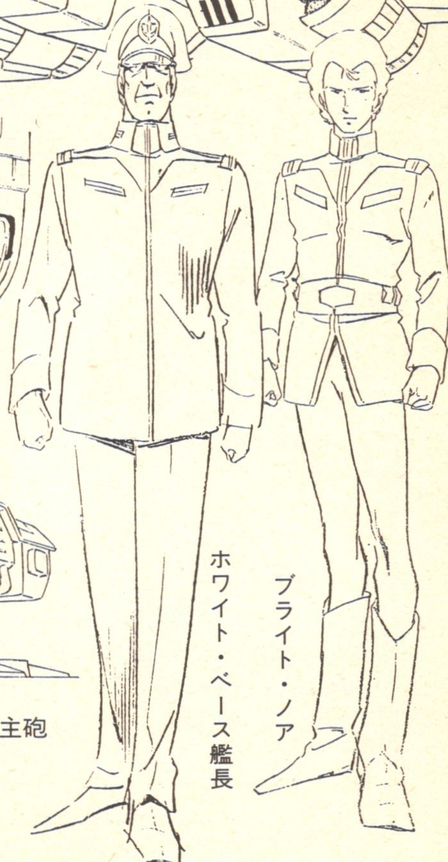
下面砲



艦橋・前・右側



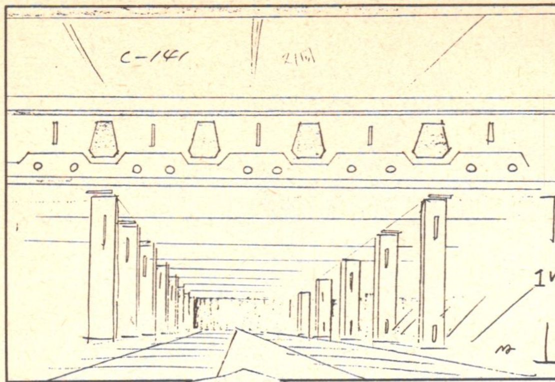
ホワイト・ベース主砲

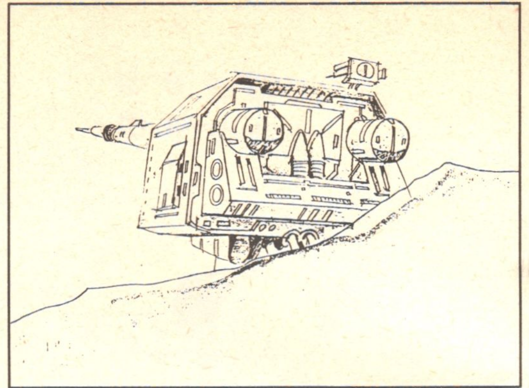


ホワイト・ベース艦長

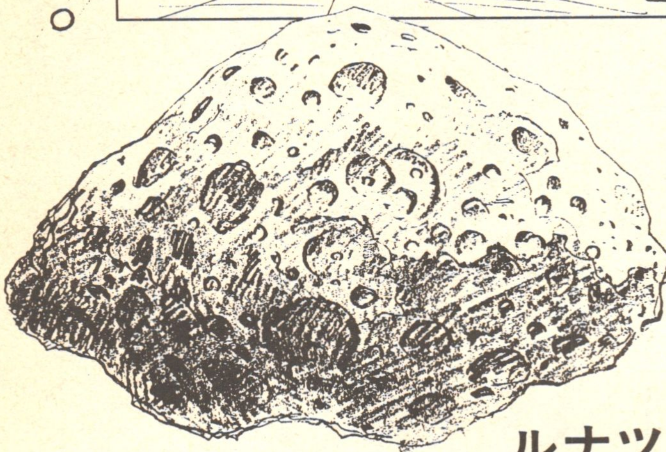
ブライト・ノア

港の甲板下部



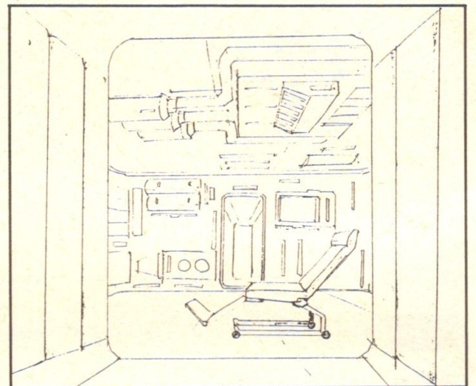


機銃

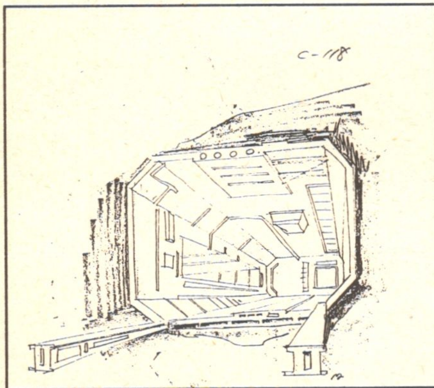


ルナツー

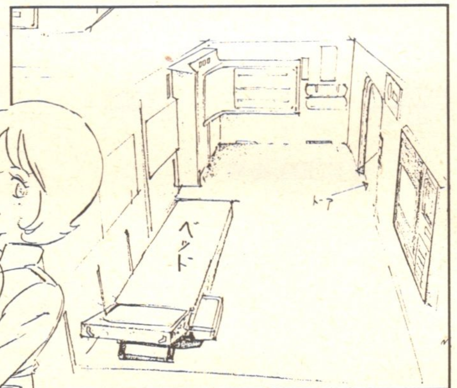
長径　180km



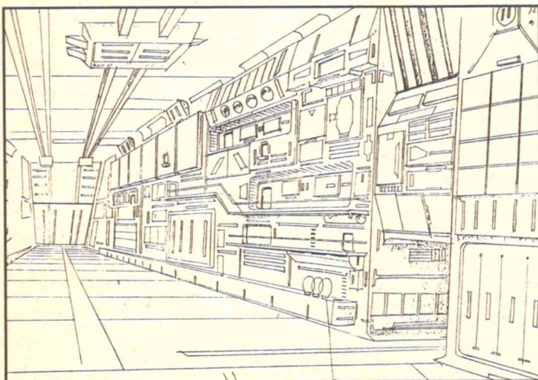
第2ブリッジ付近の一室



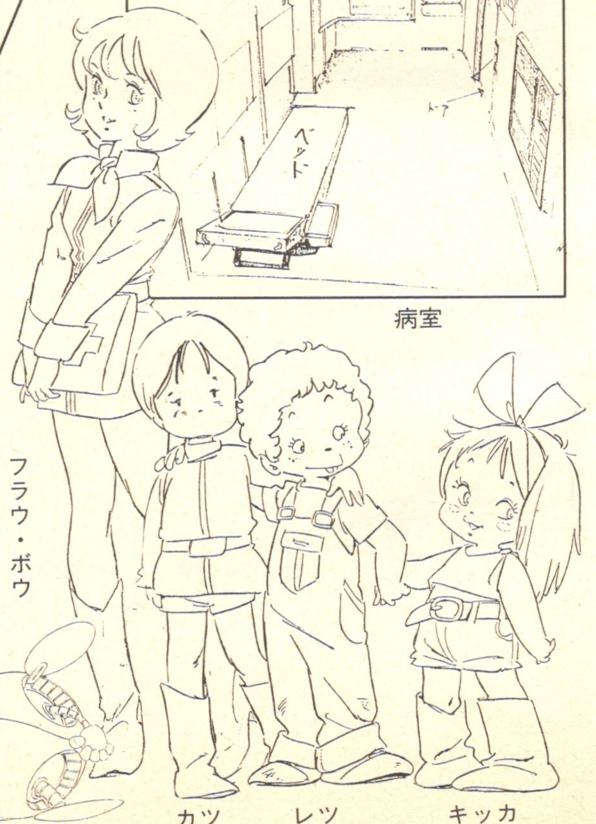
戦斗機発進口



病室



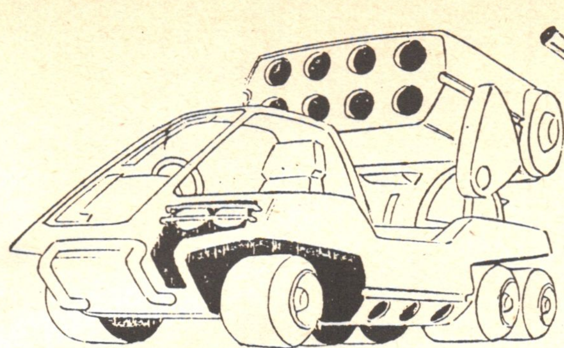
ガンダムのドック



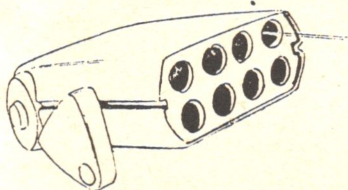
フラウ・ボウ

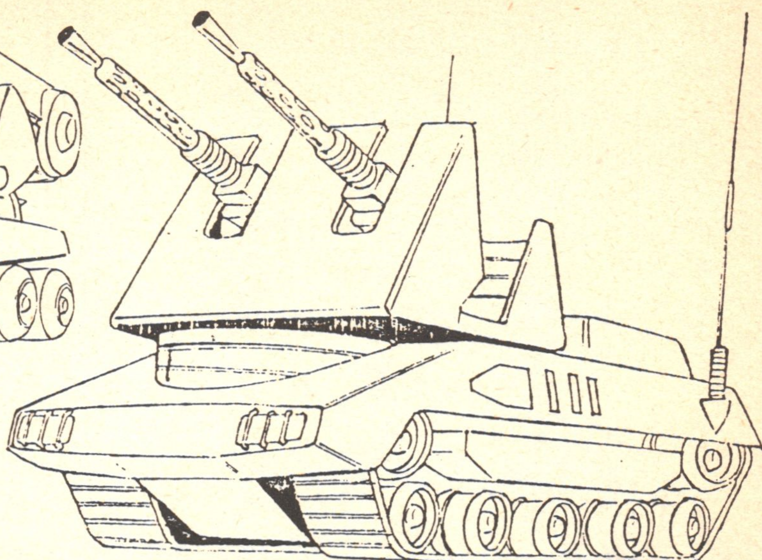
ハロ
フラウ・ボウの
ペット

カツ　レツ　キッカ



有線ミサイル・カー





対ザク用タンク型自走砲

—連邦軍階級章—


階級以前—(見習)—アムロ・ハヤト・カイ・フラウ

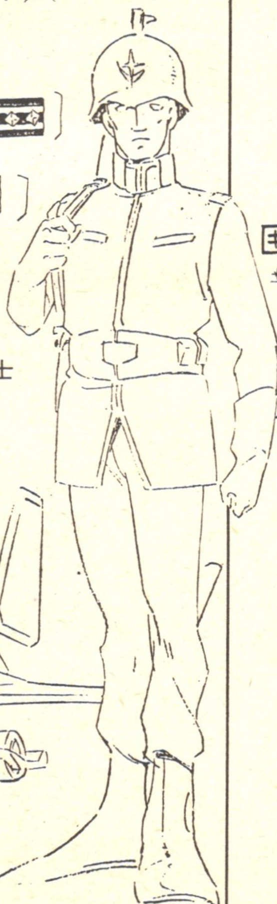

下士官—リュウ・ミライ・セイラ（一般的な兵士章）


尉官—ブライト

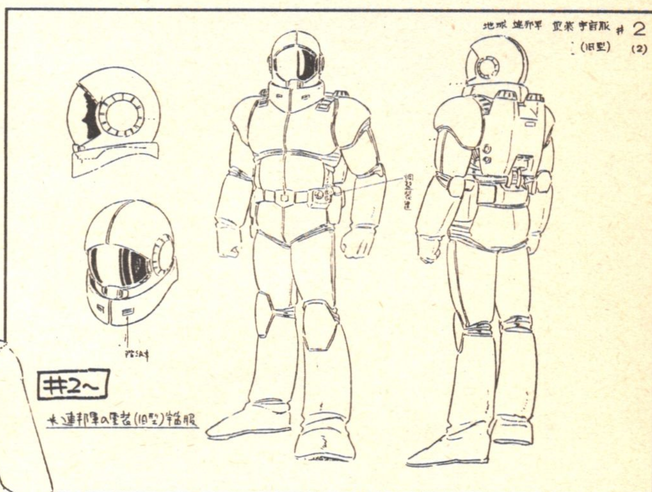

佐官〔艦長(大佐)〕


将官〔大将〕

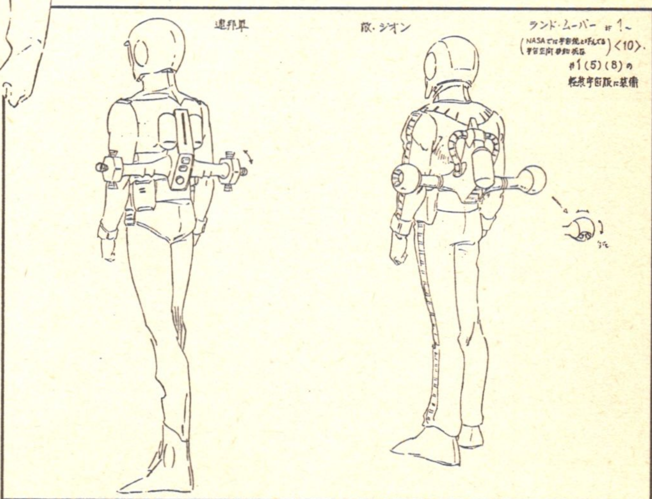
連邦軍階級章



一般兵士



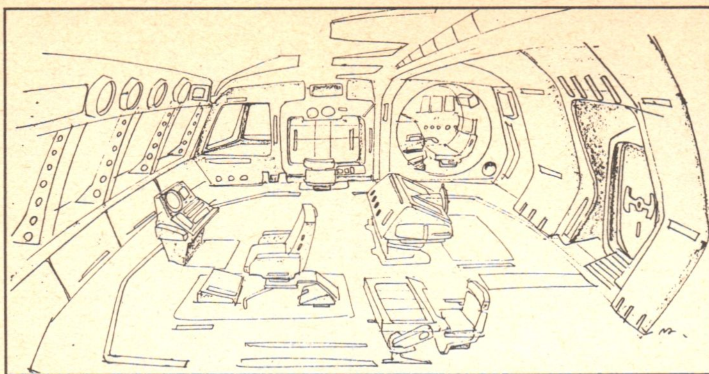
重装宇宙服



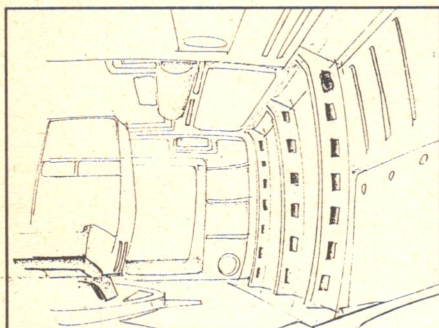
軽装宇宙服(右・ジオン軍)

小型戦斗機
トリアーエズＦＦ—4

地球連邦軍



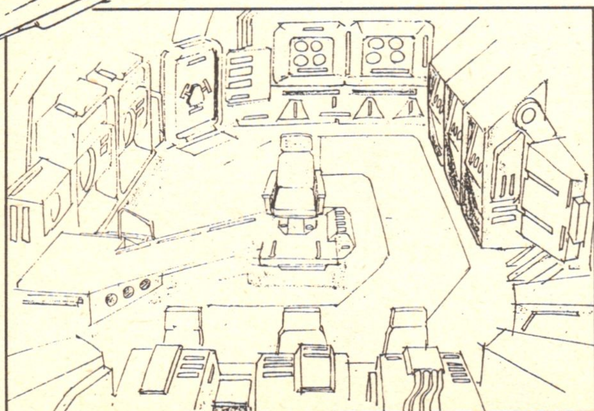
サラミス・ブリッジ



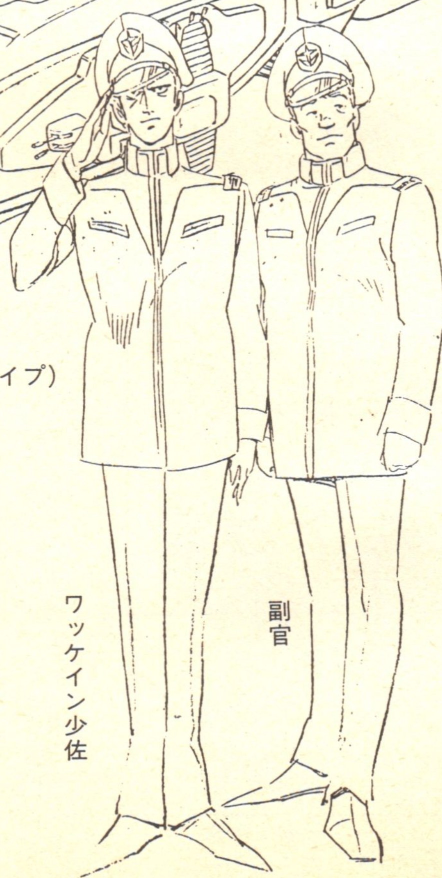
脱出カプセル
(内部)

巡洋艦(サラミス・タイプ)

戦艦(マゼラン・タイプ)

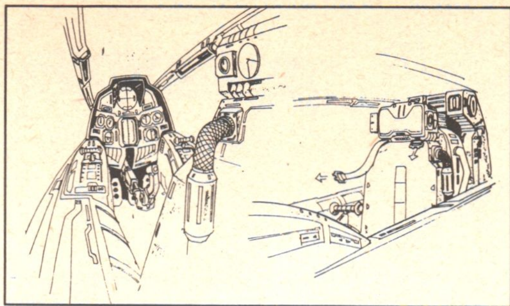


マゼラン・ブリッジ

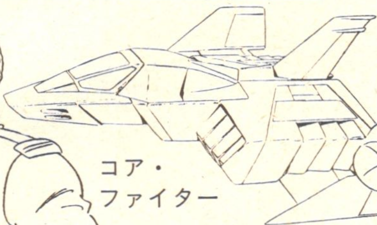


ワッケイン少佐

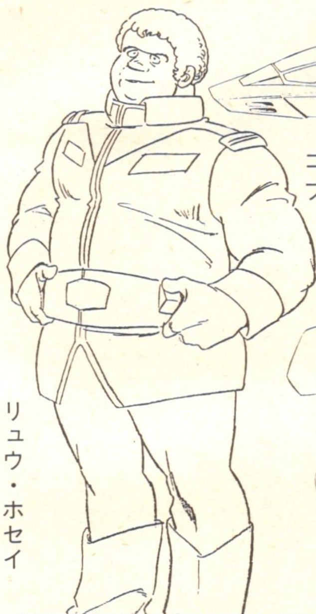
副官



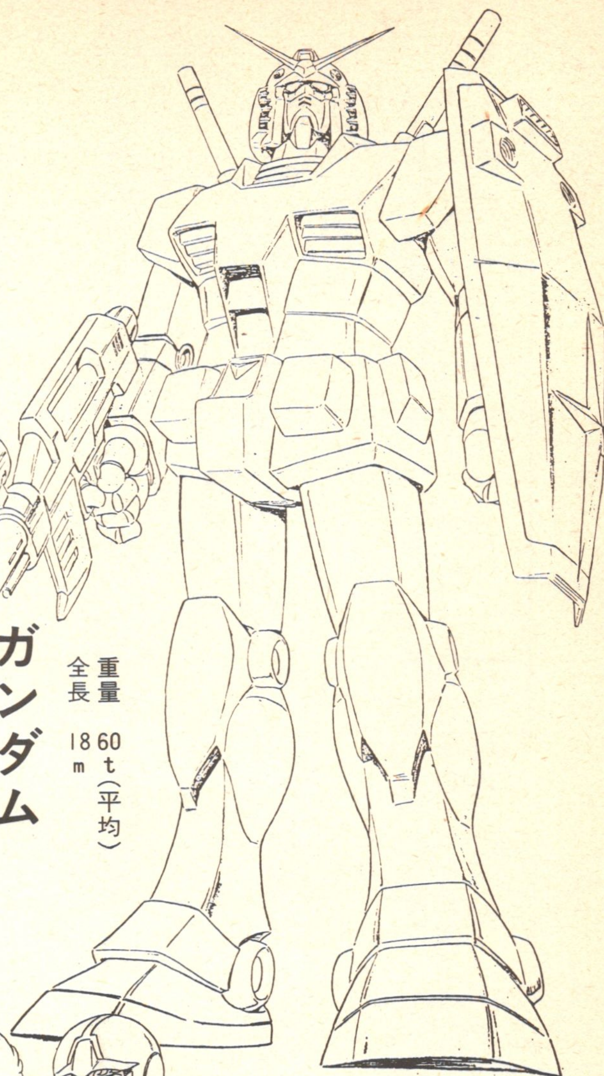
コクピット（コア・ファイター）



コア・ファイター



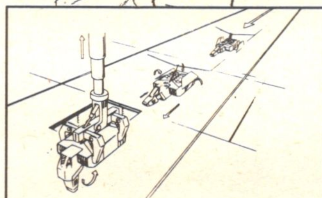
リュウ・ホセイ

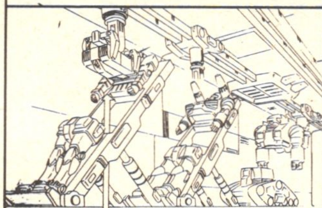


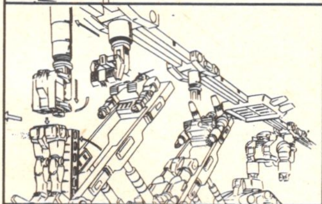
ガンダム

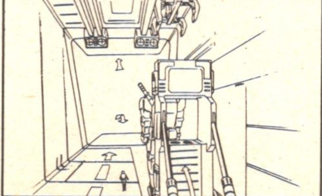
重量 60t（平均）
全長 18m

ガンダム対熱フィルム

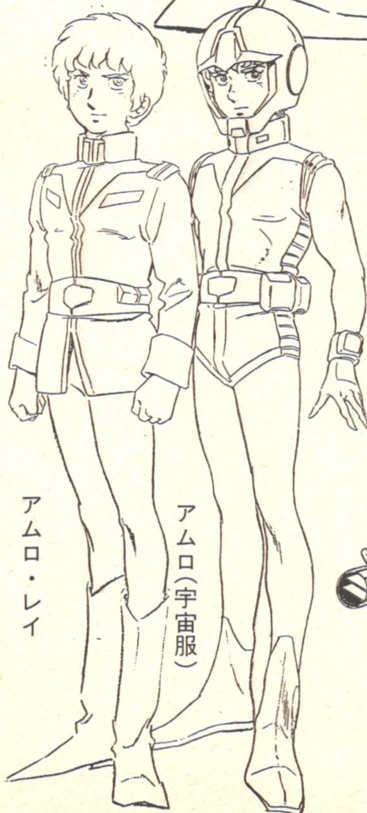








合体・出撃・着艦
システム・パターン

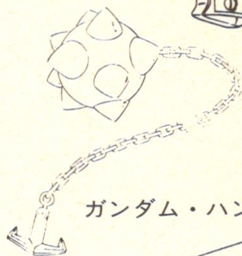


アムロ・レイ

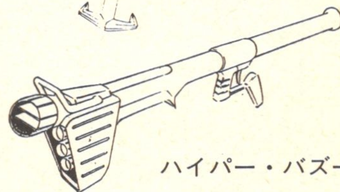
アムロ（宇宙服）



連邦軍
制式拳銃



ガンダム・ハンマー



ハイパー・バズーカ



ガン・タンク
全長 15m
重量 80t(平均)

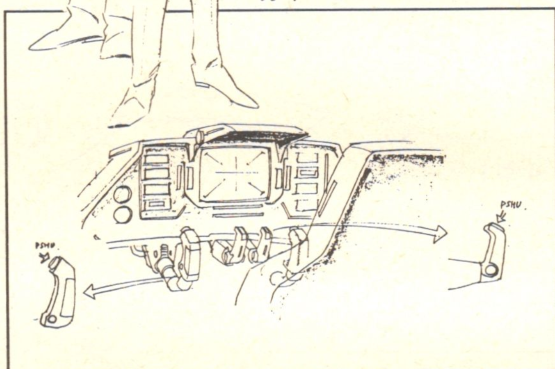
ガン・キャノン
全長 17・5m
重量 70t

カイ・シデン

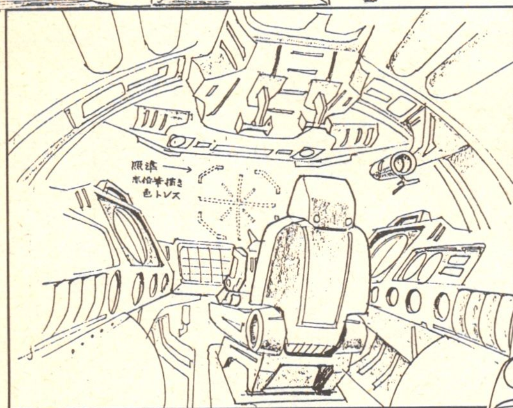
ハヤト コバヤシ

ミライ・エイランド

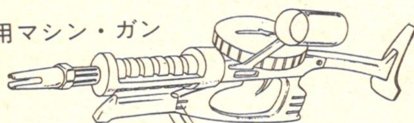
セイラ・マス



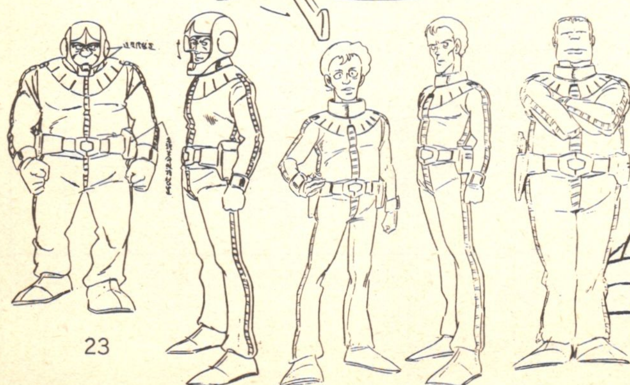
ガン・タンク砲座



ザク・コクピット

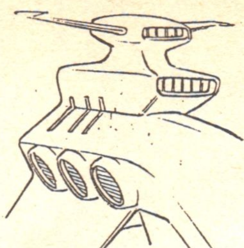


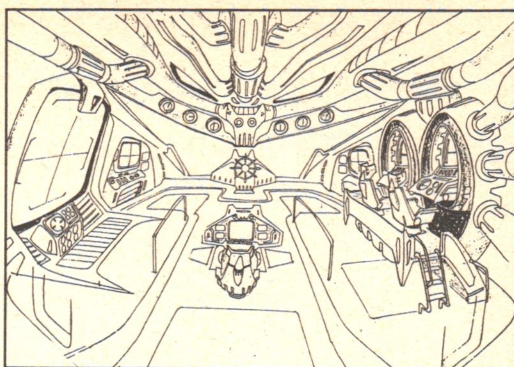
ザク用マシン・ガン



ザク(旧タイプ)

ザク

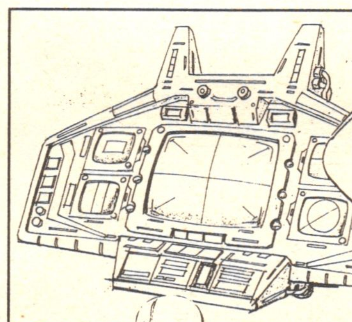

ムサイ・ブリッジ
（ノーマルタイプ）


ムサイ・ブリッジ

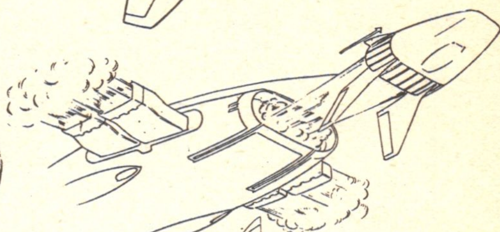
巡洋艦ムサイ（シャア専用）


小型ミサイル

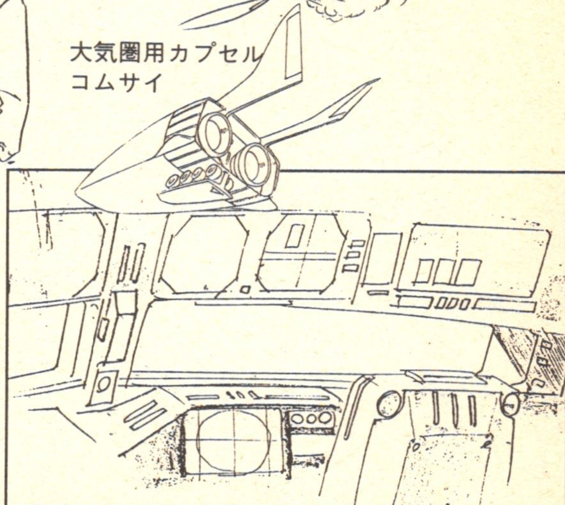

ムサイ・主ミサイル


コントロール
パネル

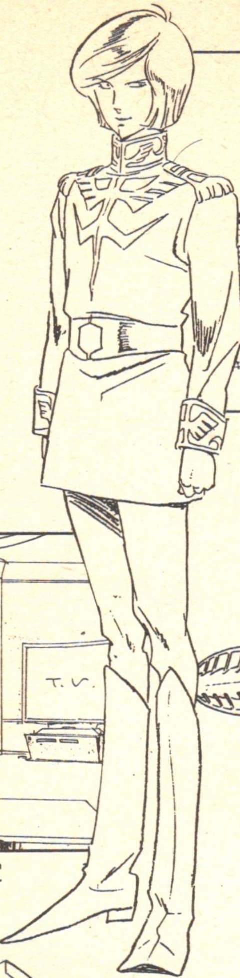
シャア少佐

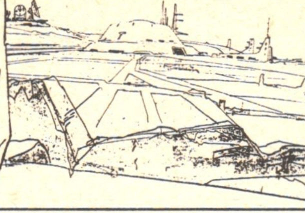

大気圏用カプセル
コムサイ


副官ドレン中尉

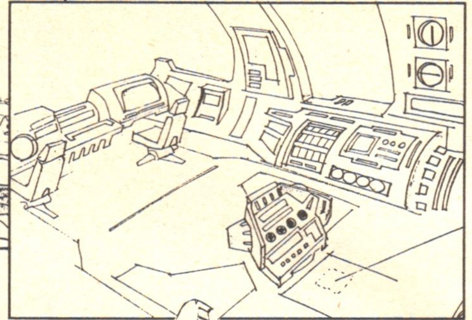

コムサイ・コクピット

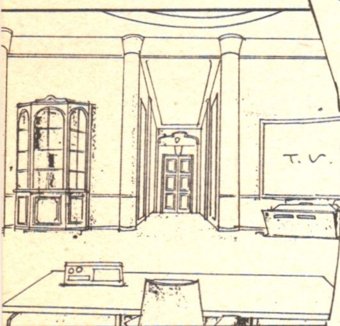
ジオン公国軍

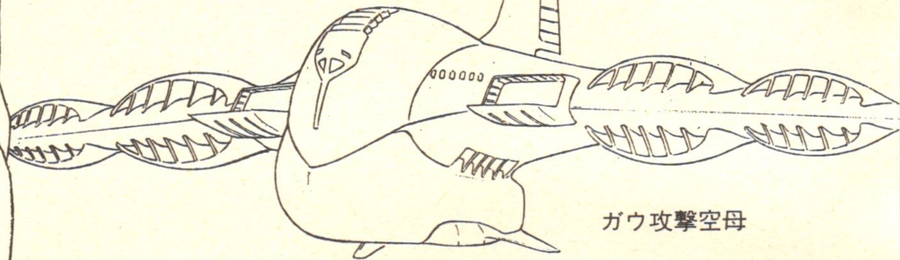

ガルマ・ザビ中佐

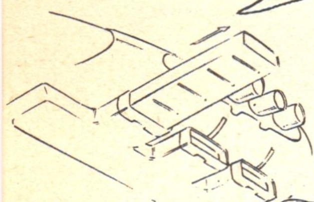


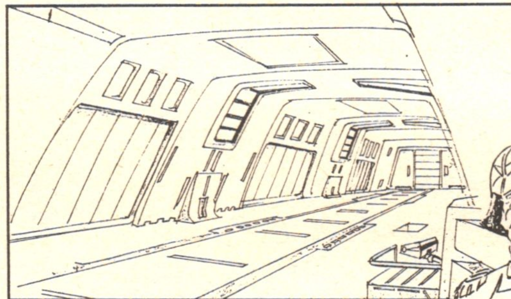
ガウ・ブリッジ

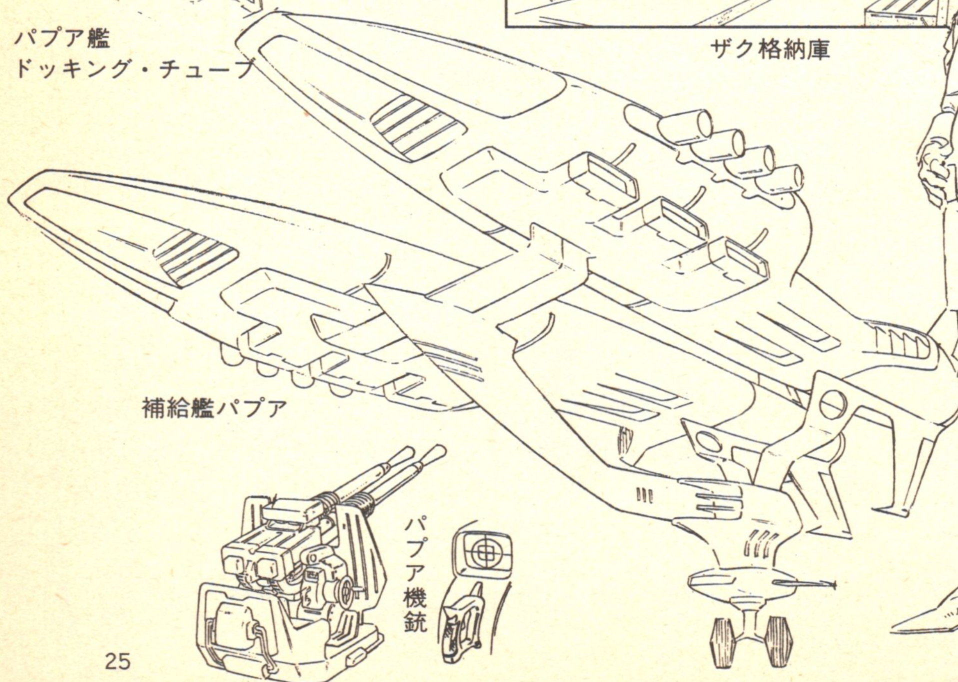


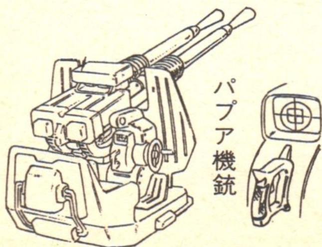

ガルマの私室


ガウ攻撃空母

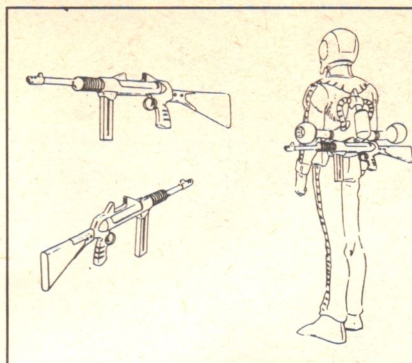

パプア艦
ドッキング・チューブ


ザク格納庫

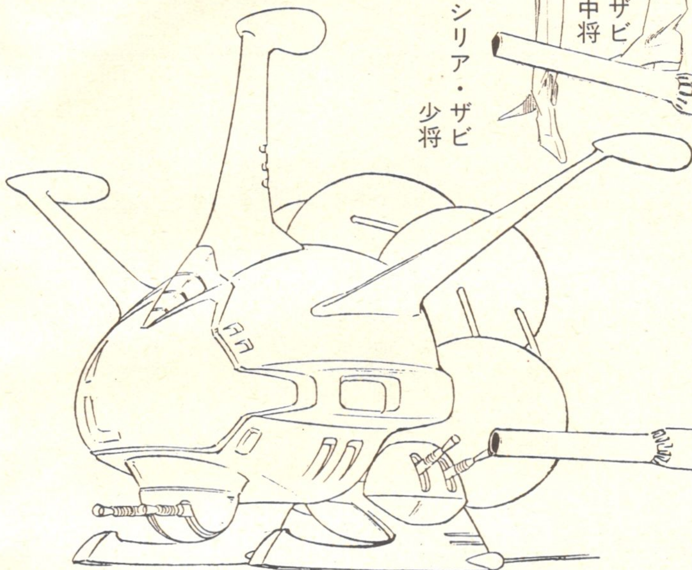

補給艦パプア

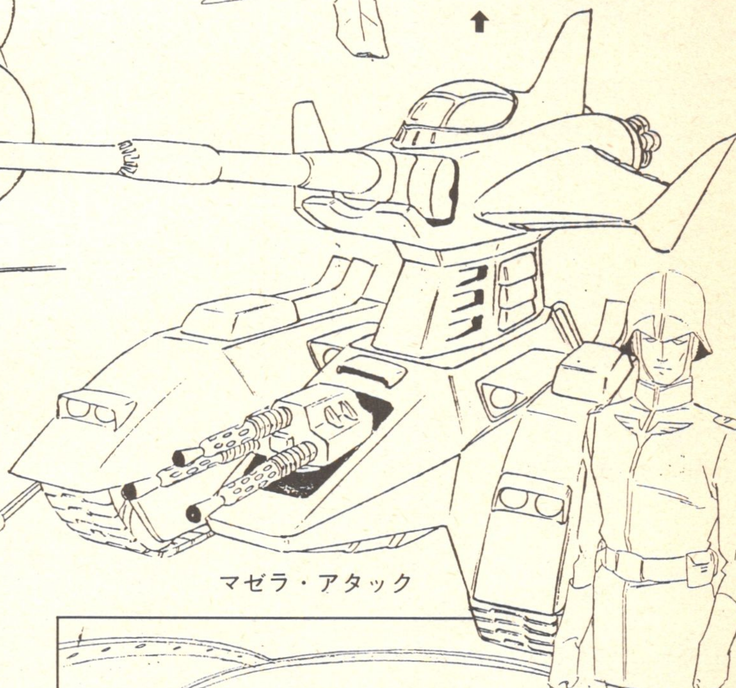

パプア機銃


パプア艦長ガデム

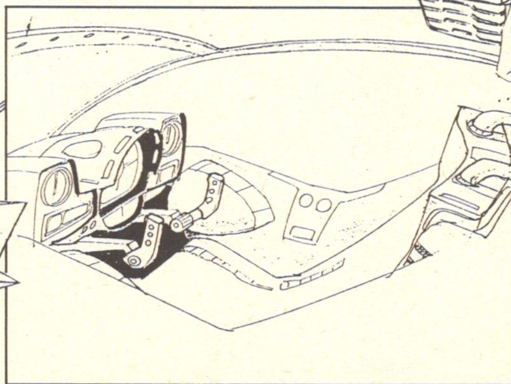

制式無反動ライフル

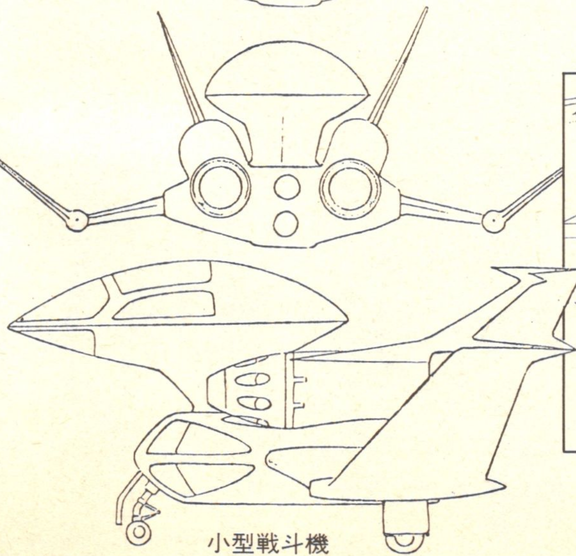



ソドン巡航船

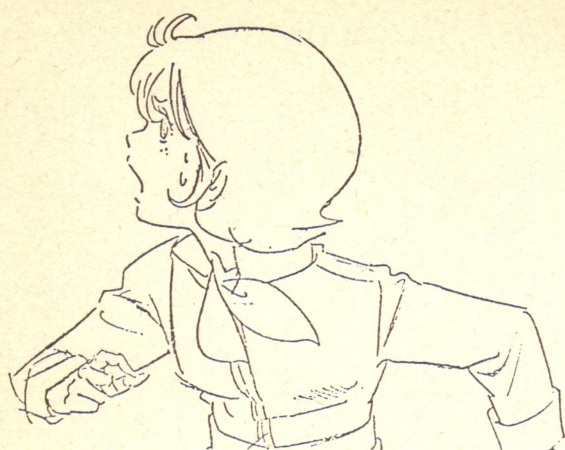

マゼラ・アタック

一般兵士


ドップ・コクピット


小型戦斗機

ガンダムストーリー・2話～6話



フラウ・ボウ

第二章・ガンダム破壊命令

ザクの攻撃をうけ多くの兵士を失なったサイド7は、今も絶え間なく、ムサイ艦からのミサイルをあびせられていた。機銃砲座射撃をしていた艦長はジオンの爆撃で、重傷を負った。

その頃、ムサイ艦には一機のザクが収艦されていた。シャアは、前戦闘で逃げかえった乗員のいう連邦軍のモビルスーツの性能を疑っていた。

ホワイトベースの中は避難民でいっぱいだった。フラウとセイラ・マスはけが人の看護にあたっていた。戦える者が数えるほどしかいないサイド7の唯一の救いは、パーツを運ぶガンダムの操縦者がいたことだった。

「ガンダムのパーツ積み込み終了後、ホワイトベースをサイド7から発進させろ」

「はっ！　しかしホワイトベースのパイロットが……」

「あの……クルザー級のスペースグライダーのライセンスが役に立つとは思いませんが、私でよければ……？」

困っていた艦長、ブライトの前に名のりでたのは、ミライ・八州であった。

一方、シャアはサイド3のドズル中将と連絡をとっていた。シャアは、弾薬と失ったザクの補給を要請、ドズルは、そのかわりとしてV作戦のデーターを手に入れるよう命令した。しかし、シャアは補給艦を待つまでもなく突撃隊員を召集し、自らサイド7に乗りこもうとしていた。

ホワイトベースのブリッジでは、ミライが、ベットに横たわる艦長にはげまされながら、操作を始めていた。そのかたわらでブライトは、ガンダムのパイロット、アムロと連絡をとっていた。アムロの名前しか知らなかったブライトは、パネルを見て驚天した。

「ど、どういうわけだ!?　こ、子供がガ、ガンダムを操るとは……」

その頃、セイラとフラウは、逃げおくれた民間人の捜索に出ようとしていた。そこへ、口ばかり達者な少年、カイ・シデンが、居住区から逃げてきた。

ムサイ艦は、サイド7に数発のビームで攻撃をしかけてきた。シャアたちをサイド7に乗りこませるために……。敵の再攻撃を予知したホワイトベース側は、機密がもれぬようビームライフルでパーツを爆破することをガンダムにのるアムロに命じた。

フラウが居住区を捜索している頃、セイラは軍需施設のあとをまわっていた。そこで彼女は探索している敵兵を発見した。彼こそシャアであった。

危ういところでパーツをすべて処分し、一息ついたアムロの目に、収艦用シャッターのすき間から侵入するシャアの姿が写った。連絡をうけて、銃を手にした子供、老人、兵士たちは、シャアを狙い撃ったが、シャアは軽く身をかわしてしまった。しかし、内部の様子を写した彼のカメラは、ブライトの撃った弾によって破壊された。

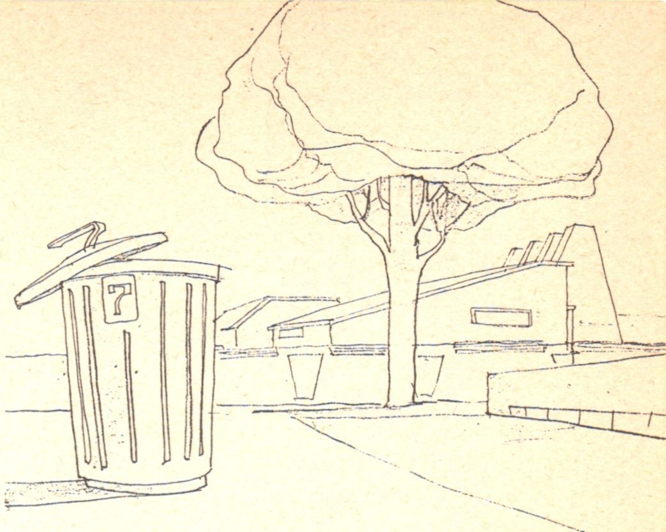
ガンダムは、サイド7を脱出したシャアを追って、ライフルを撃ったが、目標が小さすぎて当たらない。シャアは、ムサイにザクを送るよう命じた。

ホワイトベースは発進し、ミライは少々緊張気味である。他の機械操作も、負傷兵の指示を受けながら子供たちがやっている。ガンダムは、ホワイトベースの援護を命ぜられた。パイロット候補生リュウも、コア・ファイターに乗って待機していた。

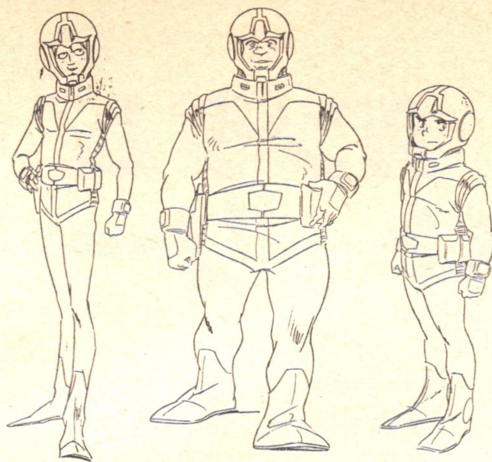
ホワイトベースがドッキング・ベイを出港したとき、ムサイ艦からミサイルが発射された。ミライはよけきれず、ガンダム、コア・ファイターが出撃しミサイルを迎撃した。艦内の緊張がゆるんだのもつかの間、オペレーターが悲鳴をあげた。

「シ、シャアだ。……あ、あ、赤い彗星だ！」

アムロは退避の命令を無視し、勇敢にも立ち向っていった。スコープをの



サイド7内　一般住宅街



戦闘服のカイ・リュウ・ハヤト

ぞくアムロの視界から赤い慧星の姿が消え、次の瞬間、強い衝撃がアムロを襲った。

「やったか……」

ほくそえむシャア。だがすぐにその表情はかわった。

「ば、馬鹿な！　直撃のはずだ！」

アムロはビームを撃ちまくり、シャアを攻撃した。コア・ファイターもそれを援護した。その時、アムロの前方をザクがふさいだ。アムロは照準を合わせ、ビームを撃った。死の恐怖におびえるアムロの目に写ったのは、ザクの姿ではなく、宇宙空間に浮ぶ破片だけだった。

「い、一撃で、一撃で、げ、撃破か!?　な、なんということだ！　あ、あのモビルスーツは、戦艦なみのビーム砲を持っているのか!?」

怒ったシャアが襲ってくる。アムロは照準をセットしたが、すでにビーム砲のエネルギーはつきようとしていた。シャアもまた、連邦軍のモビルスーツの性能に恐怖を感じ、ムサイへ向かって後退した。

ホワイトベースに帰艦したアムロを待っていたのは、ブライトのきついことばだった。

「ガンダムの性能をあてにしすぎる。戦いは、もっと有効に行なうべきだ」

「……!?　な、なに？……」

「甘ったれるな！　ガンダムを任されたからには、貴様はパイロットなのだ。この船を守る義務がある！」

「い、いったな！」

アムロは心底、ブライトを憎んだ。

「こう、言わざるを得ないのが、現在の我々の状態なのだ。やれなければ、今からでもサイド7に帰るんだな！」

「やれるとはいえない。け、けど……やるしかないんだ！　僕には、あなたが……」

「憎んでくれていいよ。……ガンダムの整備をしておけ。人を使ってもいい、君が中心になってな！」

ホワイトベースは一路、進路をルナツーに向けて宇宙空間を漂っていった。

第三章・敵の補給艦を叩け！

ルナツー……宇宙植民地建設の鉱物資源を得るために、月軌道上に運ばれてきた小惑星である。現在、ここには、連邦軍の最前線基地がある。そのルナツーに着艦を希望するホワイトベースの中、乗員、民間人はどこか不安気だった。さらに気味の悪いことに、ムサイ艦はただあとをつけてくるだけで何の攻撃もしかけてこないのである。

一方、シャア少佐のもとには、ドズル中将から連絡がはいった。彼は、物資の補給を老朽化した補給艦で行ない、さらに三機要求したザクを二機に減らすというのだ。シャアは憤慨した。

ガンダムのコクピットにいりびたっているアムロをフラウが訪ねてきた。彼の体を気づかうフラウにアムロは言うのだった。

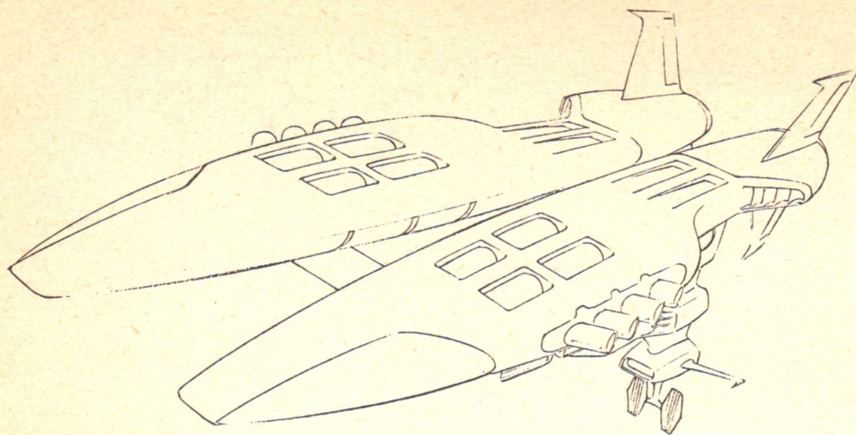
「死にたくないからやってるだけさ」

ブリッジでは、ブライトとミライがシャアの行動について推測をたてていた。そんな時、シャアのムサイに接近する船があると連絡がはいった。敵の援軍か、補給艦か？　もし補給艦であれば、そのすきにムサイ艦をたたけるかもしれない。ブライトは賭に出た。戦闘可能な乗員をブリッジに集合させ、出撃を決めた。そしてアムロはガンダム、リュウはコア・ファイターで発進していった。ホワイトベースも、ビーム砲、主砲で攻撃準備を完了した。

ムサイに補給艦がついた。敵を目の前にして、シャアは作業を急がせた。コンベア・パイプの接続が終了した時、アムロたちはムサイ艦を発見した。

アムロはハイパーバズーカを発射した。ミサイルはパイプに命中した。そして第二撃が……。

「ガデム、聞こえるか！　なんとしても運んできたザクを放出しろ!!　拾い上げる」



敵ジオン　補給艦　パプア

第二撃が当たり、パイプはふっとんだ。ガデムはあせった。シャアは、兵士にモビルスーツに乗り込むよう命令し、自らもモビルスーツで出撃、ムサイ艦はあるだけのミサイルで応戦した。シャアのザクは太陽に向かって進んだ。

「フフ……モビルスーツの性能の違いが戦力の決定的差ではないということを教えてやる」

シャアのザクが、ガンダムめがけて突っ込んできた。

「シャアめ‼」

アムロは、バズーカを撃つが、動きのすばやい赤い慧星にはかすりもしない。アムロが気をゆるしたすきに赤い慧星はガンダムの後にまわり、一気に反撃に出る。こんなシャアの行動にアムロは呆然とした。

「よし！ いける」

シャアがとどめをさそうとしたとき、ムサイから連絡がはいった。

「シ、シャア少佐！ て、敵の新型戦艦の木馬が、攻撃をかけてきます！」

ムサイに戻ろうとする赤い慧星をガンダムは必死に阻止しようとした。

「ブ、ブライトと約束したんだ。僕はシャアをひきつけておくってな！」

ホワイトベースのビーム砲は、コア・ファイターが動きまわって思うように攻撃ができず、敵の艦をやっつけることは不可能になってきた。

いまわしいガンダムを破壊するため、赤い慧星は、猛烈に攻撃をかけた。ふたたびムサイから、連絡がはいった。苦戦して手も足も出ないと……。

「ザクだけでも手に入れねばならん！ 何としてでも保たせろ」

むやみにビーム砲が撃てないホワイトベースでは、ガンタンクを発進させ、敵に近づけて攻撃させた。

物質の手渡しをようやくおえた補給艦は、そのままルナツーに激突した。補給艦の艦長のザクは、艦をやられた怒りをぶつけ、ガンダムに突進していった。場数を踏んでいる艦長のザクは、ガンダムを苦戦させたが、ガンダムの性能の前には、あえなく破壊された。武器の手持ちがなくなったガンダムは、やむなくホワイトベースに帰還した。

第四章・ルナツー脱出計画

シャアの攻撃をかわしながら、やっとの思いでルナツーに到着したホワイトベースをむかえたのは、民間人およびホワイトベースの収容拒否のことばだった。加えて、機密であるホワイトベース、ガンダムをみだりに使用したということで、ブライト以下、ミライ、リュウ、セイラ、カイ、ハヤト、そしてアムロは隔離、ガンダムは封印となった。ブライトは、必死で抗議したが、ワッケインは、軍規という言葉をたてに、相手にしなかった。

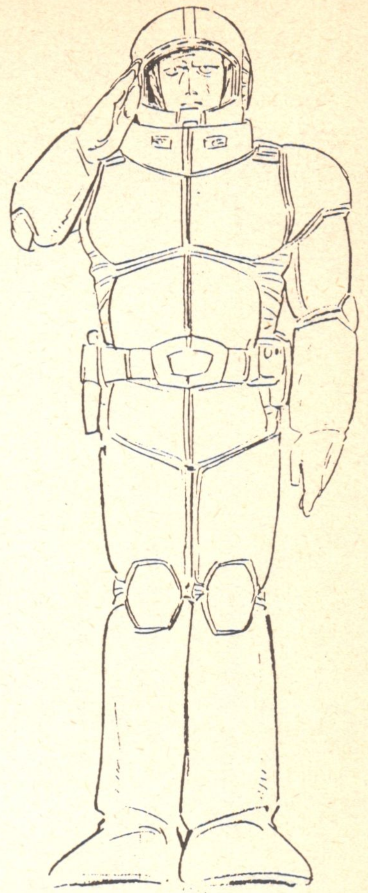
一方、シャアは、敵の意表をついて、ムサイ一隻でルナツーを攻撃をかけることにした。

「ノーマルスーツで敵のふところに潜入する。第一目的は、連邦軍のモビルスーツを奪うこと。第二に、敵の新造戦艦をも奪うことだ。手に入らずんば撃破するのみ」

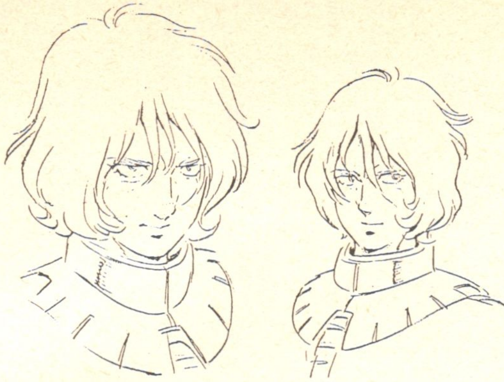
首尾よくルナツー港までやってきたシャアたちは機雷をしかけ船を動けなくさせようとした。機雷は、ルナツーのあちこちで爆発し、大きな打撃を与えた。そのショックで電源は切れ、牢の電子ロックはきかなくなった。ブライトたちは牢から脱出し、仲間を集めてホワイトベースを港から出し、ガンダムの封印を解くことにした。

ムサイを倒さんとする、ルナツーからマゼラン艦が出航しようとしたときである。マゼランは、シャアのしかけた機雷にひっかかり爆発！通路をふさぐ形で止まってしまった。

ホワイトベースは、エンジンを始動させ、避難民は、そこに移動していった。ホワイトベースが動き出したのに気ずいたワッケインは、抗議にやってきた。だが、ブライトたちの意見に耳も



宇宙服のワッケイン少佐



シャア少佐

かさないワッケインも、パオロ艦長の強い説得により、ホワイトベースの発進を許可、ムサイに応戦するために、さっそくガンダムとコア・ファイターを出撃させた。

「マゼランが出口を塞いでいる限り、ルナツーの艦隊は出てくる心配はない。港に潜入、一気に木馬とモビルスーツを叩く！」

赤い彗星ほか二機のザクは、ルナツーに向かって突進した。

ガンダム、コア・ファイターの苦戦を見て、ブライトは、ワッケインにマゼランの排除を要求した。考えたすえにワッケインは、主砲でマゼランを爆破させた。爆風は、ザクをまきこみ爆発させ、ムサイのバランスをくずさせた。戦況の変化に、赤い彗星はムサイに逃げこんだ。

「ルナツーを出ました！艦長！」

ブライトが振り向いたとき、艦長はすでに息絶えていた。

「艦長、あなたのホワイトベースは私達の命にかえてもお届けいたします」

ホワイトベースは地球をめざして進んでいった。

第五章・大気圏突入

ルナツーを飛び立ってから7日が過ぎていた。民間人の間には、まもなく到着する地球の話でもちきりだった。

しかしホワイトベースの艦橋では、大気圏突入を目前にして重苦しい空気が流れていた。リード中尉がサラミスの大気圏突入カプセルで指揮をとるという段どりを終えた時、ムサイに接近する船が確認された。

「ここで補給を受けるということは、俺達の追跡をあきらめたのかな……」

時を同じくして、ムサイでは新たな計画を練ったシャアが三人の突撃兵の前で訓令していた。

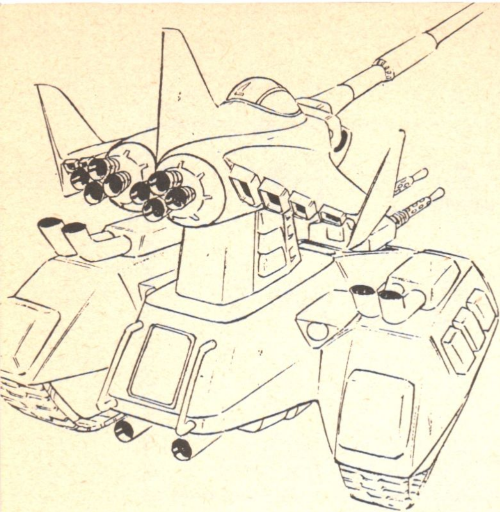
「新たに三機のザクが、間に合ったことは幸いである。20分後には、大気圏に突入する。このタイミングで戦闘をしかけたという事実は、古今例がない。地球の引力にひかれ、大気圏に突入すれば、ザクとて一瞬のうちに燃えつきてしまうからだ。大気圏突入のため、全神経を集中している今こそ、ザクで攻撃するチャンスが生まれる。第一目標、木馬の船。第二目標、敵のモビルスーツ。戦闘時間は2分とないはずだが、諸君らであればこの作戦を成しとげられるだろう。期待する」

一計を案じたホワイトベース側はミサイルと機関砲の援護と同時に、ガンダムを射出し、援護につけた。ガンダムの射出を確認したムサイは、ザク四機を射出、攻撃に移った。ムサイのミサイルがホワイトベースを襲う。激しい衝撃と共に艦内は大きくゆらいだ。シャアの計画は見事図にあたった。ザクのしつような攻撃により、ガンダムもじりじりと追いつめられ、いまやバズーカのスペア弾も底をついた。アムロは、ガンダムハンマーとバルカン砲で必死に応戦した。ザクの撃った一発のバズーカ弾は、サラミスのカプセルに命中、やむなくホワイトベースに収容された。

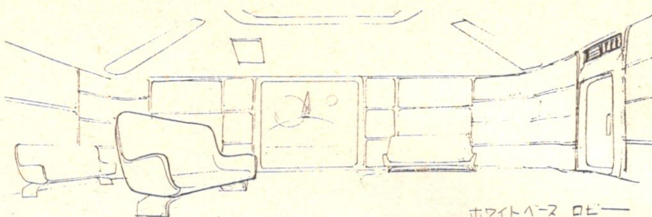
シャアの巧みな攻撃は、ホワイトベース側を苦戦させた。大気圏を目前にシャアはムサイのカプセルに戻ったが、ガンダムは一機のザクにひきつけられ、ホワイトベースに着艦しそびれた。ホワイトベース、ガンダムは大気圏に突入した。もはや、マサツ熱でガンダムは燃えてしまうのか……アムロはマニュアルをめくった。

「あった！　大気圏突入方法が！」

ガンダムは、ハッチから耐熱フィル



ホワイトベース・ロビー
マゼラ・アタック



ムを引き出し、間一発のところで大気圏に突入、ホワイトベースも無事地球の上空に出た。見えてくる地球の様子に、民間人は歓声をあげた。しかしここはジオンの勢力圏であり、ホワイトベースは地球の大地を目の前に、着陸することもできなかった。

第六章・ガルマ出撃す

ジオン地球基地にムサイのカプセルが収容された。そこでシャアを迎えたのは、地球方面指令官ガルマ＝ザビであった。

一方、ホワイトベースのブリッジでは、リードとブライトが今後の方針について討議していた。リードは思惑通りことが運ばれないため、あたりちらかす。そこへ敵小型戦闘機ドップに奇襲される。ハヤトは、ガンタンクで敵の隊列を乱せ、と提案。アムロはこれに反対したが、結局二人でドップを破壊した。だが、今度は地上部隊が砲撃を続けながら進んでくる。ブライトはリードの後退命令を無視、ホワイトベースを前進、応戦する。リードはこれに妥協したが、ホワイトベースは苦戦。その上、ドップが再び現れ、戦況はますます悪化した。

アムロは、突進してホワイトベースの脱出路を作ろうと考える。そのとき、ブライトから、ガンダムで地上部隊を破壊してくれ、との連絡が入る。ハヤトも賛成する。ホワイトベースに引き上げられるガンタンクとアムロ——。

ガルマはホワイトベースから発進された戦車がモビルスーツであることを知り、ザクを出撃するよう命令する。

ホワイトベースではガンダムにアムロが、コア・ファイターにリュウが乗り込んだ。

信頼の目差しで戦場へ向かうザクを見つめるシャアとドレン。

発進命令が来ず、アムロは半ばイラついていた。そこへセイラからの通信が入り、ガンダムは発進した。苦戦するガンタンクを下げ、ガンダムは地上部隊、ドップの攻撃にかかる。ホワイトベースも反撃に出た。

ジオン軍は作戦を変え、ガンダムを集中攻撃する。ガンタンクは援護したが、ガンダムは依然苦戦。ビームがガンダムの手前で爆発、アムロはシートにたたきつけられた。歯を食いしばるアムロの脳裏にハヤトの声が——。

〝敵の目標を分散させる……〟

「よし、やってやる」

ガンダムはゆっくりと立ち上がった。たじろぐザク、陸上部隊に、ガンダムは盾と銃を捨て、一機のザクに飛びかかり、顎を引きちぎり、陸上部隊にたたきつけた。さらに、ビーム剣を抜いたガンダムは、大反撃に出た。ガンタンク、ホワイトベースも次々と敵を倒し、この戦闘はホワイトベースが勝利をおさめた。

「私はあれを無傷で手に入れたい。あれは今度の大戦の戦略を大きく塗りかえる戦力だ。が……奴らを大陸から一歩も出すな……私の監視下に泳がせておけ！私は……必ずしとめる」

ガウ司令室から戦闘を見ていたガルマは、燃えていた。

勝ったとはいえ、今のホワイトベースには、山沿いの大陸に入るしかなかった。ジオンの占領下で、抵抗を続ける、味方の姿を求めて……。

アムロは心身共に疲れきっていた。フラウや仲間の声も今は耳にはいらない。チビたちが何か騒いでいる……。しかし、今、彼に必要なのは深い眠りであった。アムロはベッドに倒れこんだ。

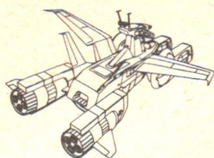
蝶を追って草原をかける幼い頃の自分の姿が浮かんでは消えていく。

やがてアムロは深い眠りに落ちていった……。

THE END



「機動戦士　ガンダム」は



これからどうなるか？

——総監督・富野喜幸氏の語る、ガンダムの世界——

——本誌のガンダム特集では、1話から6話までを紹介して、ガンダムを今まで観ていなかった人にもわかりやすく解説してみました。しかし、これではまだ説明不足というもの。編集部では、総監督の富野氏に、ガンダムのすべてを伺うことにしました。

編集　一応ですね、1話から6話までを解説したのですが、説明不足の点をお話ししていただけますか。

富野　1話〜6話で、とにもかくにも地球まで来ましたので、解説しやすいんじゃないかしら。この後ですね、12話までで「ガンダムの世界」が見えてきます。一部隊、それこそ特殊な一隊から話が始まっていって、やっと戦争をすべき相手が見えて来るという構成をとっています。12話以降は、シリーズものとしての変化をもったストーリーにしています。

12話まで、ものはずみでホワイトベースやガンダムを使用していたアムロたちがなんとか正規軍の末端のところに軍籍を置かせてもらって戦線の一部をまかされるようになるまでを描いてみます。ただ、そうならざるをえなかったということもありますが……。

編集　正規軍でもないのに戦わされていたホワイトベースは地球に来ても、連邦軍とは弧立しているわけですよね。これがまともに軍隊に組み込まれるわけではないですから、一種の遊撃隊みたいな形になるんでしょうか。

富野　9話で補給船が出て来て、やがて地球の上部組織にホワイトベースの影の擁護者が現れます。その人がいたおかげで、その後のホワイトベースの連邦軍での役割が決まってしまうわけで、やっぱり遊撃隊ですね。

ただ、2クール終わる頃にはこの人が左遷させられてしまいます。ただしその頃にはホワイトベースがジオンとの戦斗で実績をつくってしまっているので、なんていうか独立部隊としての編成を認められます。

まともな斗いの中でホワイトベースのような船が存在するわけはないのですが、ホワイトベースが具体的に一つの部隊になる、なんとなく連邦軍側の船として認められていったという内外の気分というか、物語に出て来る人たちの考え方を出そうとしています。

シャアはどうなる？

編集　この本が出る頃にシャアがいなくなるそうですが……。

富野　今一番話題になるのがそれでしょうね。サビ家の一番末っ子のガルマが死んだ時にシャアが居合わせたんです。……が守りきれなかった。そういう理由で本来なら具体的な懲罰を受けるんでしょうけど、今までの軍功があったために軍籍剝奪というかたちにされます。別にサビ家がそうしたのではないです。直属の上司のドズルが単細胞な男で、シャアを死刑にしようとするのを逆にサビ家が、シャアは有能な人間だから、とりあえず生かしておこうとまあキシリアが申し出てそういうことになってしまうんです。

編集　では、シャアは再び画面に登場する可能性が残っていますね。

富野　2クールの最後の方でキシリアがシャアを使い始めます。そこでもう一つシャアが将来的にこのシリーズ全体を引き継いでいける登場人物を連れてくるストーリー構想になっています。

編集　ガンダムの背景について説明していただきたいのですが……。

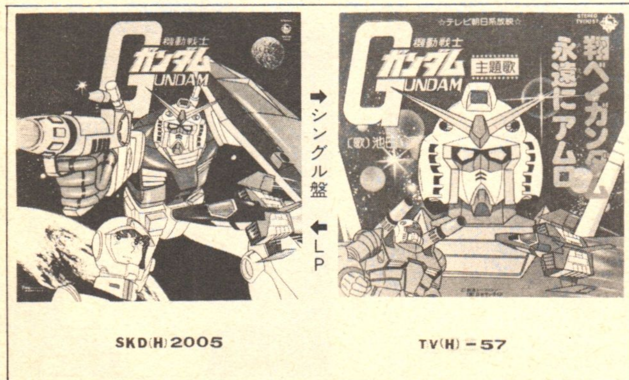
富野　あくまでもストーリー・テラーの立場に立っていえることは、宇宙移民が行なわれたという時代背景と、いろんな所での利害関係から起きた戦争というものが人間にとって何であったのか……そういうことが多少抽象的になるかもしれないのですが、それを絵



空事にならないようにこちらの主張をつらぬいていきたいと思います。
物語の中心になるホワイトベースとその乗組員の描き方なんですが、現段階では正規軍に組み入れられた話をやっても、面白くもなんともないんです。ホワイトベースはテレビをご覧の方にはわかると思いますが、新兵器を与えられた軍隊というより連邦軍のお荷物みたいな扱いを受けている損な役まわりですよね。ですから主力部隊の旗艦として出撃することはまずありえない。ただジオン側が木馬はすごいと思い込んでいますから、連邦軍としてはそれを利用して、これからはおとり部隊として使っていくんです。一番安全な旗艦にいる人は、主力部隊のしんがりにいて、ホワイトベースは最前線で陽動作戦をやるという、まあ結局損な役ばかりやらされていきます。
なにしろ最新の兵器とモビルスーツ、ガンダムを持っているホワイトベースはジオンから戦艦というイメージで注目されていますから、「おとり役」としてはかなり有効なんですね。
編集 キングレコードからガンダムのLPが出ていますね。かなり良いBGMが入っているにもかかわらず、番組中ではあまり使用されていないと思うのですが、どうしてでしょうか。
富野 それはガンダムの情報量の多さに関係しています。物語の状況説明が多いんですね。それで感情を表わすBGMというものがなかなか入りにくいんです。1クール終わる頃から「ガンダムの世界」としてのフィーリングがわかってきつつあるため、ドラマが主体になってキャラクターたちが動き始めてきます。そうなるとキャラクター別の音楽を付けていけると思います。だからこれからのガンダムにはBGMが少しずつ増えていきますよ。

ガンダム、パワーアップ!?

編集 ファンの間ではガンダムがパワーアップするという話が流れているのですが本当ですか?
富野 ガンダムそのもののパワーアップではありません。ただアムロがガンダムの性能をフルに引き出せるようになることとガンダム本体にいろんなパーツを取りつけていく部分的なものですね。ガンダムがあの形である限り基本的なパワーは変化しません。
編集 パーツの補給というのは、たとえていえば陸上部隊に新しい新型兵器が補給されて戦力が増強されたみたいなパワーアップなんですか?
富野 まったくその通りです。ガンダムの動力系統に問題さえ起こさなければかなりいろんな武器を使用できます。
編集 話は変りますが、コアファイターを中心に、ガンダム、ガンキャノン、ガンタンクは換装できるわけなのですが、オープニングでやっているような空中合体は戦斗中にできますか?
富野 空中合体は可能っていうことにしてますが、実際の今の戦闘局面でいきますとそう特殊な状況に徹しきれなかったために使っていません。例えばですね、ある戦闘が始まっちゃってからガンダムからガンタンクへ換装している状況っていうのを例えばその、まあ結局これも空中ドッキングをさせるみたいな話までできて、やらざるを得なくて、やってもみたんですよね。やっぱりあの瞬間ほど防備が無防備になることはないんですね。とてもじゃないけど、そういうことをやれないっていうのが現状ですね。
編集 ダイターンの場合、単体だからまだいいですね。他のロボットの場合も、サンライズ系の場合、みんな電磁バリヤーをはっていたのですが、ガンダムの場合、コアファイターが極度に弱いということで、合体までは、普通の戦闘機並だしいろいろと問題が……。



←シングル盤　←LP

富野さんとSFの話をしているとインタビューがあっという間に終ります。

本誌が出る前に、ガルマ様が死んでしもうたのにはマイッタナ！　編集部

富野　そうですね。だから完全に安全なエリアをつくって換装するということは、ガンダムの世界の場合、バリヤーまで使っている設定はされてないだろうという考え方があるんです。あの絵をつくっていくと、もろ無防備っていう感じがしてとてもじゃないけどできない。ですから、ホワイトベースの中で換装させるっていうことは一度させてはみたんですが、今度はあの手続きの方が大変時間がかかりまして、ミッドウェイでの雷装か爆装かみたいな話になってきちゃって、かなりその、ヒヤヒヤ、ヒヤヒヤしちゃうんでね。

編集　これでコアファイターがもう三機くらい余分にあればそれも可能なのでは？

富野　できます。その部分は考えないんじゃなくて考えてもいますけれども何しろかにしろ9話までの段階で一度も補給を受けたことのないところなんで、やはりうそつけません。で、やってないんです。

編集　第2話でパーツをみんなもやしてますからね。

富野　そして今、そういう意味で補給部品が手に入ったっていうことがやっぱり一番のパワーアップだと思っています。今回のガンダムの場合、それで成立するんじゃないかと思います。ようするにコアファイターがやられちゃったために、乗員の交換ができなくなっているということが、せめてもう一機か二機、コアファイターがあるという想定で物語をすすめていけばなんとかなると思います。

サイド7の雲の秘密とは……

編集　設定にない部分なんですけれど、ある程度ガンダムっていうのはSFを読んでいる人間、ないしはSF映画を肌で理解している人間でないとわからない部分がでてくると思うので、ある程度、そういう解説をしてみたいと思うんです。例えばサイド7ですが、1話にだけ、ちらっと出てますけど、サイド7に雲があるっていうのは、わざとに雲をつくって自分の頭上の土地が見えないようにするためのものだと思うんです。そういうところとか、ホワイトベースには特殊なバリヤーがなくても、ある程度のレーザー防止用のバリヤーがあるとか……。

富野　ビームに関しての防御っていうのは、地球上ではひんぱんにありうるだろうと思う……。これは、ぬえの松崎君から、一応そういう想定があるっていうふうに進めてくれ、といわれてます。それでね、サイド7に関してあの雲がどうしてあるかっていうと、これは僕が高所恐怖症であって、大変その神経の細い人間なんでして、頭の上に土地が見えるっていうのはとてもじゃないけどあそこで住めといわれたら住みたくないので、あれはとにかく一生懸命主張しました。それからサイド7そのものについても確かに知らない人にとっては理解しにくいのではと思います。とくにガンダムのイントロを僕はあれだけ流せば、少しは想像してくれるかな、と思って本当はもう1話か2話までやりたくなかったんですが少し強引に入れたんです。ところがあれを入れても実は、全然わかってくれていない人が多いんで、正直かなりショックなんでね。それでサイド7そのものの構造の説明もしたいんですよね。

編集　あの時代ですね。重力偏向装置ないし重力発生装置はできているけどかなり大型のものしかできてないと解釈してよいのですか。

富野　解釈してください。



編集　ホワイトベースにもついてますよね。ただし重力発生装置が完全なものではないと思っているんです。停止した状態で宙空に浮くっていうことはできないけれども、動力を発生させていれば微速前進が効くっていうことはいいわけですよね。

富野　ええ。で、それは地球上であんなにトロトロ走っているかということで松崎君の方からギャンギャン、ギャンギャンいわれまして、いや説得しちゃえばいいんだけども今はエネルギーを一番食うような移動しかしていませんので問題はあります。

編集　あれだけのことができるんだったら大気圏脱出も充分できるはずですし……。

富野　だからこそシャアのムサイあたりとあきらかに識別したということです。今は完全じゃないのでそれができませんけど。そしてホワイトベースは時代に逆行して作られています。あの頃になると製造数が少ないので何にでも使える汎用型なるために個々の性能はたいしたことないんです。火力は戦

艦以下、速度は高速艇以下、物資の運搬は輸送機以下ということですね。ただし何にでも使える船はあまりないんでジオンにしてみれば万能戦艦だと思い込んでいます。

編集　おとりとしては最適なわけですね。サイド7というよりあの時代のスペースコロニーがオニールのスペースコロニーをもとにして作られているということは本誌のスペースでは紹介しきれないんですけど、どうしましょう。

富野　そうやってオニールのスペースコロニーを知っている人はいいんですが、ようするにあのコロニーは将来実現する可能性が高いものなんですと答えておきましょう。

ミノフスキー粒子の正体……

編集　SF考証が良く出来ているガンダムなんですがレーダーの使用がほとんどありません。有視界戦闘が多いと思うのですが……。

富野　これは必ず書いて欲しいことなんですけど、6話ぐらいまで会話の中に一生懸命出しているミノフスキー粒子のこと解説して下さい。

編集　それです。かねがね疑問に思っていたのは。一種の電波妨害素子みたいなのですけど聞いた事がないんで…。

富野　実はこれ、ぬえの松崎君に考えてもらったんです。僕自身がロボットものの演出をする時にいつも気になっていたレーダーの問題を解説するために必要だったのです。絵にする時どうしても敵と味方が同じフレームに入らないと困るんですよね。レーダー万能だと敵味方が同じ画面の中で斗うということはありえないんで、レーダーの使えない学術的な物を考えてもらっていたんですが、電波障害を強力かつ広範囲に起こすという設定でミノフスキー粒子を設定してもらいました。

松崎君の設定書によると、この戦争の以前に核戦争がありましてその時の核兵器の使い過ぎによる放射能と宇宙空間のプラズマが反応してできたんだそうです。まったくの創作で作った物ですからかなり自由に使っています。

電波障害が強力すぎると通信もできないんで、通信ができる地域もあります。

編集　ミノフスキー粒子は光線に対しては無害なんでしょうか。

富野　ええ光線には反応しないので、レーザー通信は使えます。ガンダムの照準をアムロがのぞいていますが、あれは完全に光学的な装置です。見た目の映像に合わせて発射するわけです。

編集　ミサイルの命中率が悪いのはミノフスキー粒子がECMの働きをしているからなんですよね。

富野　そうです。誘導がきかないミサイルではあまり当りませんからね。レーザーやバズーカ砲の方が命中率が良いということになります。とにもかくにもこのミノフスキー粒子のおかげで戦斗のやり方が第二次大戦当時の感覚になったものですから、アニメとしての見せ場はかなりあります。

編集　ではバリヤーが必要になりますね。レーザーは有効なわけですから。

富野　ホワイトベースなんかにはイオン発生式対レーザーバリヤーがあると思ってもらって結構です。ただしミサイルや弾丸は命中しますけど……。

編集　かなりハードなSF考証がしてあるんですね。かなりのSFファンじゃないと受け入れてくれないのではないでしょうか。なにしろ巨大ロボットプロレスアニメでウソの知識を植え込まれた世代が観てるんですから。

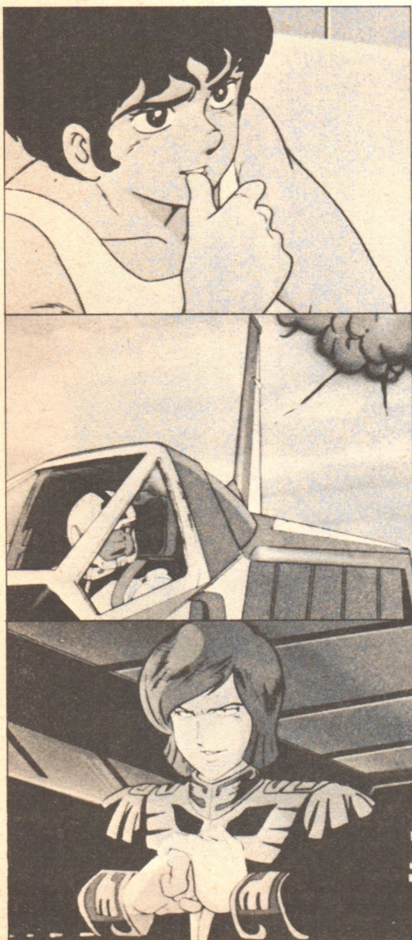
富野　内容的にはそれほど高度じゃないんですけれど……もし理解してもらえないとしたら僕たちの説明不足です。その辺を今回の特集で解説してくださるとありがたいんですが。

編集　ミノフスキー粒子の話一つにしてもこれだけあるんでは……。次回のガンダム第二特集で今回解説しきれなかったことをやります。

富野　そうしてください。

――実は、SF考証だけでも一時間近くお話を伺ったのですが、かなり程度の高い内容でそう簡単に解説できなかったのです。2クール放映が済んだ頃もう一度特集を組みます。その時には必ず図入りで解説しますからお待ち下さい。なお、ガンダムに関する読者の方からの質問も受け付けます。

編集部



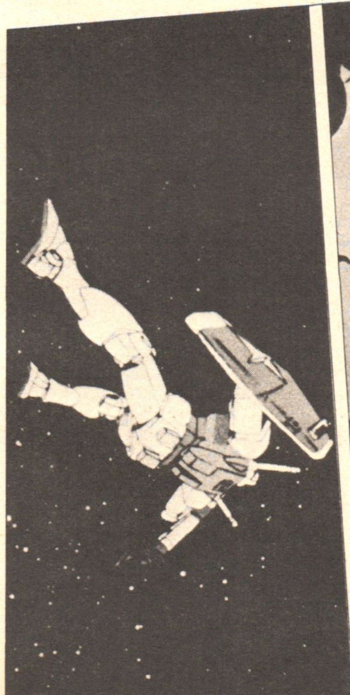


アニメック7号解説

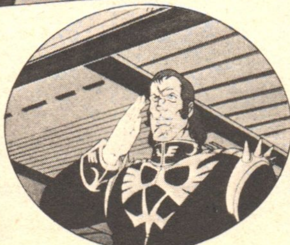
7号も発行部数は少なく、幻の本となっていますので完全に再録してみました。ガンダムはバンクシステムが完全で、この号の発行時（昭和54年9月6日）にはまだセルが外部に出ていませんでしたので、カラー特集はありません。ガンダムの世界を理解できるよう、あらゆる角度から推理してこの記事を書いたのですが、番組中では最後まで説明されていません。（この記事の重要性に気がついた読者は、当時ほとんどいませんでした。）

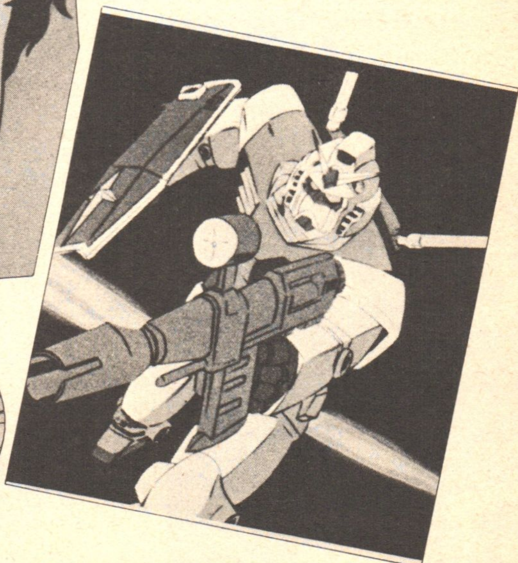
設定ストーリーは、7号からこの型式になりました。設定書の組み合わせはアニメック独特のものでしょう。ガンダムは、その回限りの設定が多く全部紹介しきれないと考えていましたが、後にガンダム研究としてすべて紹介することができました。

設定ストーリーは、必ず放送された作品を観てから作成していますので、当時から2ヵ月遅れて発表されていました。

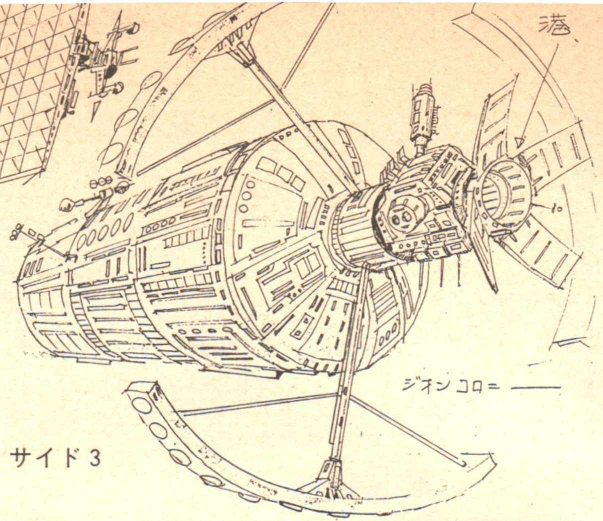




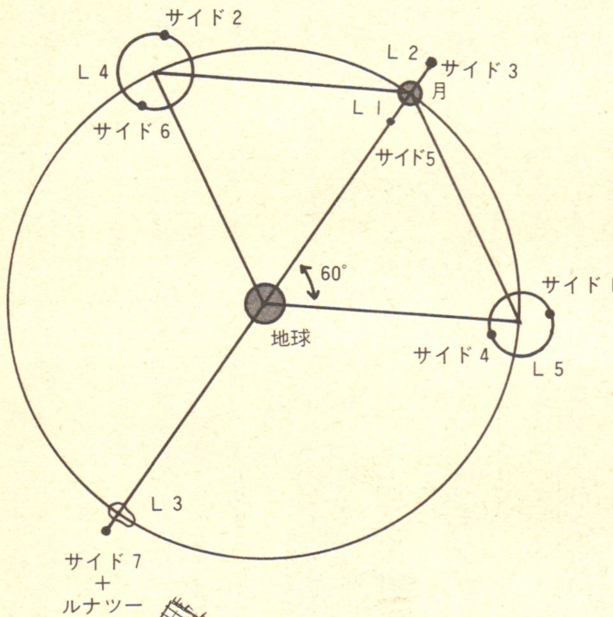




機動戦士 ガンダム GUNDAM 小特集



サイド3



サイド3

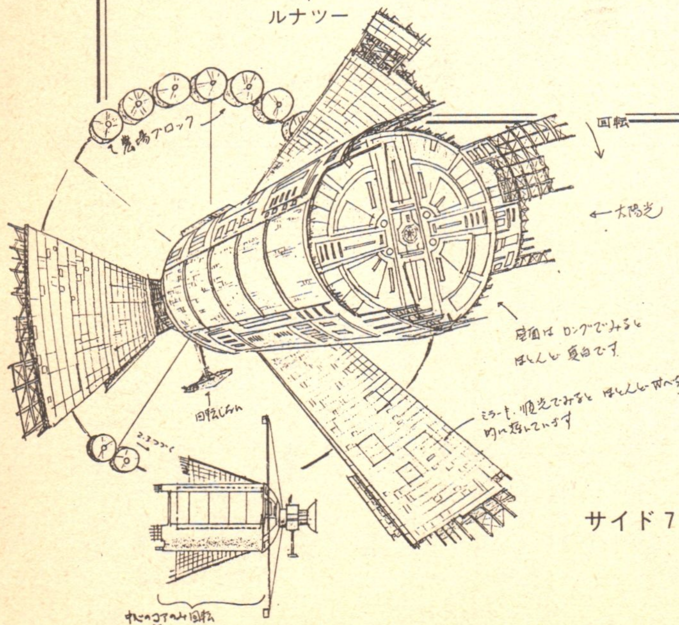
地球から見て、ちょうど月の真裏にあるスペースコロニー。地球連邦への不満が人々の間に強まり、共和制をめざして独立運動を進めていたが、ザビ家が実権を握ってからは、ジオン公国を名のり、0079年地球に対して独立戦争をしかけて来た。初代のリーダーはジオン・ズムで、ジオン公国および、主都ズム・シティーの名は、ここから来ているらしい。彼はまたシャアとセイラ（アルテイシア）の父でもあったが、現公王、デギン・ザビが、何らかの方法でこれを抹殺、二人の子供がサイド3を脱出せざるをえなくなったのは0069年のことであった。

国名にジオンの名を頂いているのは、独立運動に向けて盛り上がった国民の感情を、そのまま全体主義へと導くための方便であろう。

現在、国の実権を握っているのは、長男のギレン・ザビ大将で、デギンは公王の地位に退いている。

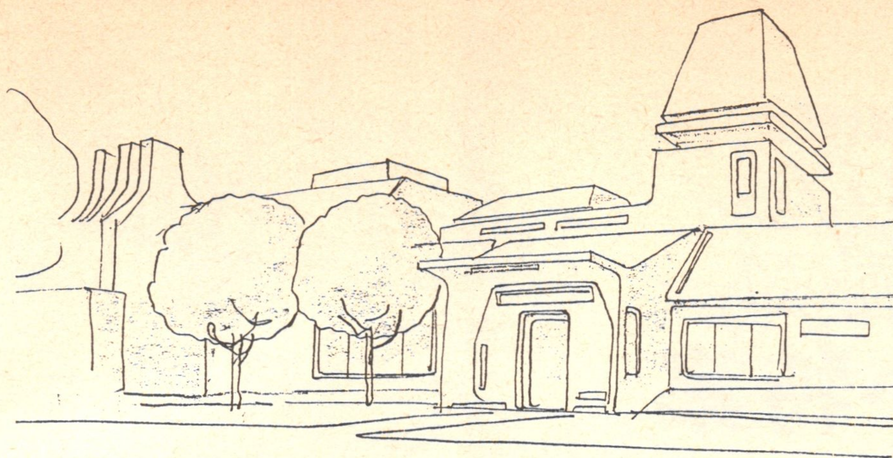
ジオン公国は月を制圧、他のサイドも破壊し、わずかにサイド6のコロニーのいくつかが残っているのみである。すでに地球上の一部もジオンの手に落ちてはいるが、両軍の損失は大きく、戦争は膠着状態に入っている。

他のサイドと同様、サイド3も30～40個の（あるいはそれ以上の）コロニーから成るが、装甲を強化するために、コロニーの外壁には窓が無く、かなり



サイド7

武骨な印象を与える。
結局、地球からもっとも遠く連絡のとりにくい位置（月の裏側ということもあって）ということ、月に近く、資源の得やすかったことなどがジオン独裁の台頭を許すことになったのだろう。



サイド７内一般住宅街

サイド7

地球連邦は、増え過ぎた人口を調節するため、宇宙空間に人工都市（スペース・コロニー）を建設した。建設順に番号をつけたので、サイド7はその七番目のコロニーとなる。位置は、月軌道上の、地球に対してちょうど月の真反対の所にある。（前ページ図参照）

小惑星ルナツーをともなっていて、ジオンの攻撃を受けた時には、まだ建設途上にあった。

機動戦士ガンダムに登場するスペース・コロニーは、アメリカのプリンストン大学教授、G・K・オニールの提唱したものをベースにしており、大きさや型式もほぼ同じものである。（オニールの言う島3号と比較して）内径6.5km、毎分0.5回転でおよそ0.9gの人工重力を発生させている。俗に言う遠心力というもので、昔からおなじみの宇宙ステーションを、円筒型に引き伸ばしたものと思えばわかりやすいかも知れない。長さは30km強だが、サイド7のアムロがいたコロニーは、建造中でもっと短かかった。毎分0.5回転だと、周辺速度は600km/hくらいだから、エレカーが走ったくらいでは、さほどの影響は出ないものと思われる。

円筒の内部には、川や湖もある人工の陸地が造られ、人々はそこで地球上とほぼ同様の生活を営むことができる。コロニーの壁（ある意味では地面でもあるわけだが）には三本のスリットが走っており、その外に大きな翼状の反射鏡がつけられていて、それによって太陽光をコロニー内に導き、またその角度を変えることによって、昼と夜、あるいは季節や気候を作り出すことができる。当然スリットの部分に使用する材料は、光を通すことが必要となるが、それゆえ、ここがコロニーのもっとも弱い部分となる。サイド3にスリットが無いのは、この弱点を無くすためだが、それによるロスは馬鹿にできないだろう。

各コロニーは、それぞれ自活できるように設計されており、工場ブロックや、農場ブロック（コロニーのまわりの、雷のタイコのような部分）もそなえている。

スペース・コロニーの建設及び維持に、資源補給基地として月が大きな役割をはたすが、サイド7は、ちょうど月の真反対になるため、その代用としてルナツーをともなっているものと思われる。

このルナツーには連邦軍の基地があったが、サイド7が攻撃された後、シャアの攻撃にあい、使用不能となっている。

サイド建設の位置は、ラグランジュ・ポイント（最初の提唱者、フランスの数、物理学者ジョセフ・ルイ・ラグランジュの名から由来する）と呼ばれる、地球と月の引力（ラグランジュ・ポイントについては、何も地球と月には限らない）のつりあった場所がいくつかあり、ここに建設することになる。そうすれば、地球や月の引力に引かれサイドの位置が変わってしまう危険性が少なく、したがって位置補正の労力も少なくてすむ。ただし、ポイントといっても、太陽などのほかの天体の影響もあって、かならずしも点として存在するのでは無く、ある範囲を持った空間として存在するらしい。

人口は、一つのコロニーで一千万人強と言われているが、ガンダムの設定ではもっと多い様で、一つのサイドが40個のコロニーからなるとすると、ワンサイドに4億人以上の人間が住む計算となる。

地球連邦の宇宙植民において、しばしばコロニーに移住した者も少なくなかったらしく、地球に住む者に対して、エリートであるという意識が、人々の間に発生している。そういう意味でコロニー一世たちにとって、地球＝連邦政府には腹にすえかねる所があり、二世たちにとっては、別の意味でおもし

ろくない存在となっている。(地球に進駐しているジオンの若い兵士に、こんな虫のいない清潔な故国に帰りたいというセリフがある)サイド3が独立の道を歩み始めたのも、そんな所から来ているのかも知れない。

《サイド7の重力を、より正確に知りたい人は、高校の物理の教科書でも開いてみれば計算のしかたは載っているはずですから、やってみてください。要するに、法線方向の加速度を求め、それを9.8で割れば良いわけです(MKS系の場合ですが)単位には注意して下さい。0.5回転というのは毎分ですから、秒に直すと$\pi/60$ということになります》

ホワイト・ベース

連邦軍の新造戦艦、ガンダム収容のため、サイド7に入港したが、シャアの攻撃により乗員のほとんどが死傷し、士官候補生、ブライト・ノアらの手によって、ガンダムを積み込んだ後、サイド7を脱出する。

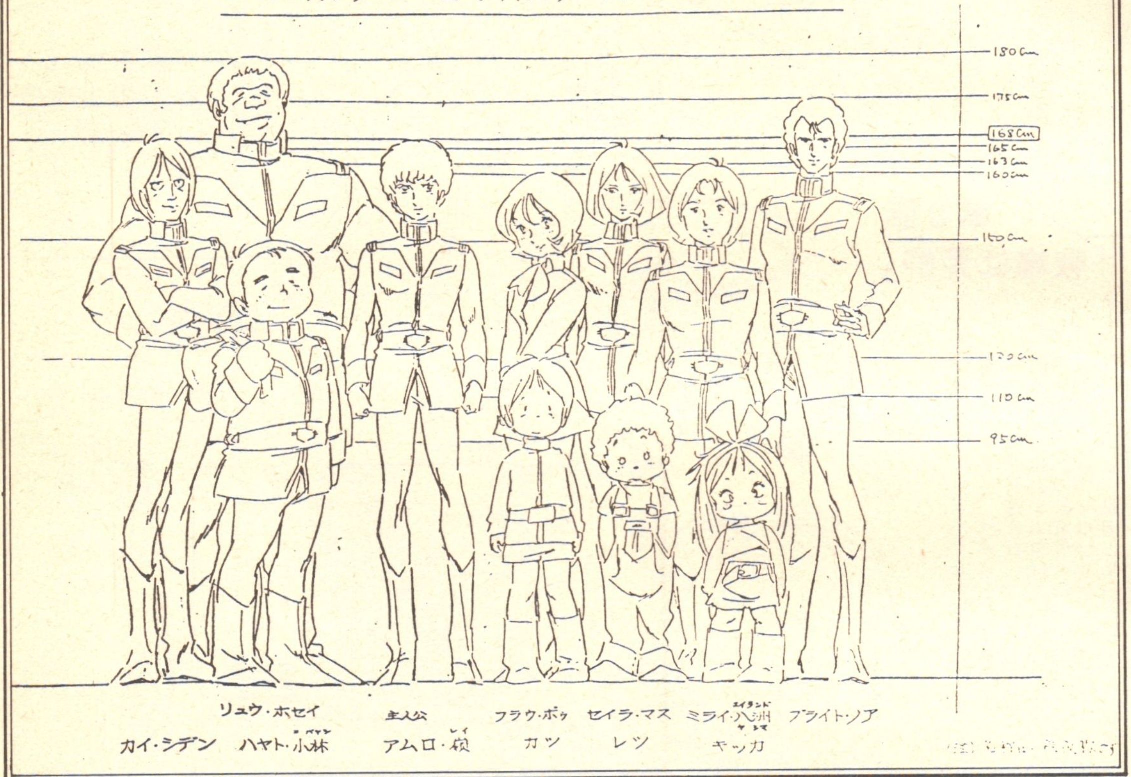
すでに両軍の生産力は底をつきはじめており、それゆえ、新造艦であるホワイト・ベースは装甲がんじょうな、多目的艦的な性格も、持ちあわせている。

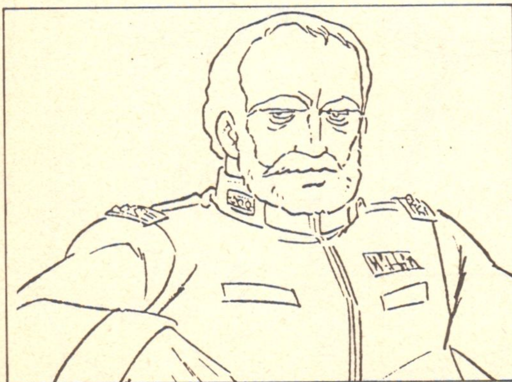
特筆すべき点は、大気圏突入性能を持っていることで、ジオン軍では、後に、ランバ・ラルに与えられた機動巡洋艦ザンジバルにおいて、その性能を持つに至る。

全長 250m
全高 97m
全幅 180m(翼含む)
重量 6万8千t
出力 55万馬力
最高速度 マッハ12
収容能力 500名

重力コントローラーをそなえているらしく、地球上でも、微速前進が可能。

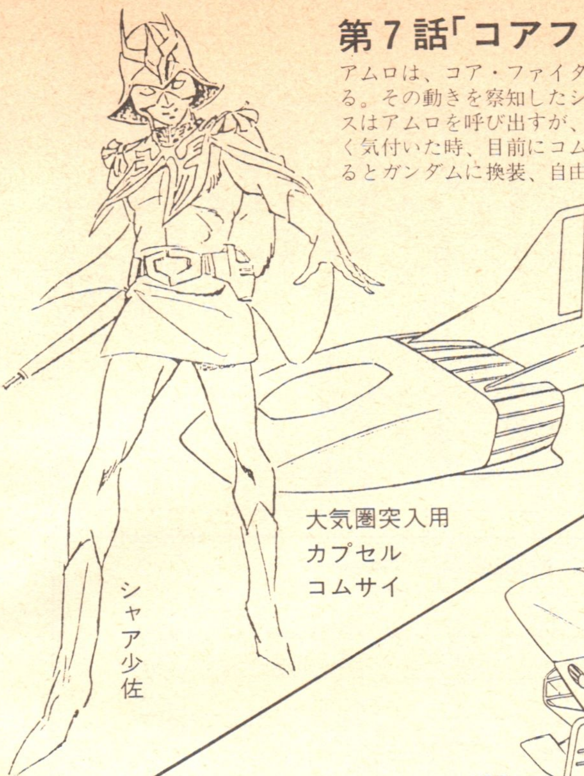
初代艦長は戦死し、レビル将軍の保護の下、ブライト・ノア(後に少尉)が指揮をとっている。




レビル将軍

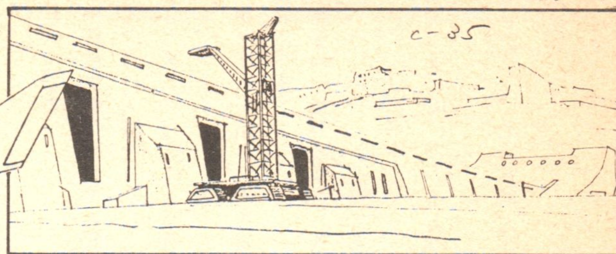
第7話「コアファイター脱出せよ」

アムロは、コア・ファイターを弾道軌道に乗せ、連邦軍本部に連絡をつけることを提案する。その動きを察知したシァアは、コムサイで出撃した。それに気付いたホワイト・ベースはアムロを呼び出すが、射出した時のGによって気絶したアムロは応答しない。ようやく気付いた時、目前にコムサイがいた。追撃をかわしたアムロは、ホワイト・ベースに戻るとガンダムに換装、自由落下状態で敵をたたく。シャアはその性能にせんりつした。



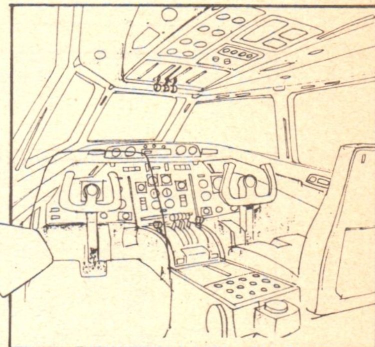
シャア少佐

大気圏突入用
カプセル
コムサイ



コムサイ
カタパルト

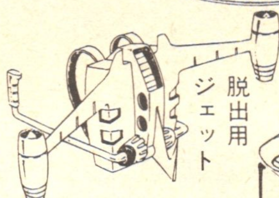
連邦運輸送機
ガンペリー



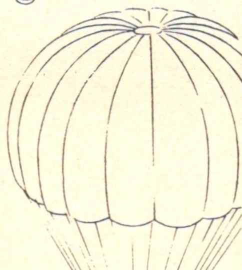
コクピット

第8話「戦場は荒野」

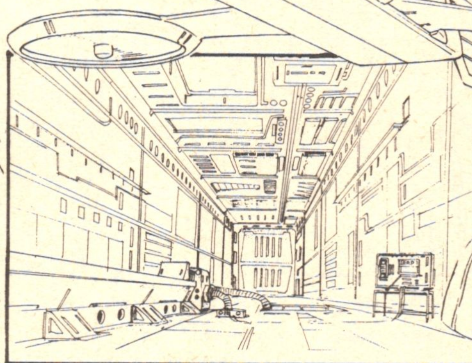
夫の故郷セントアンジュで子供を育てたいというペルシアの希望もあって、ブライトは休戦を申し出、ガンペリーで避難民を運んだ、ガンダムと共に。まんまと敵の背後に出たアムロは、敵パトロールがペルシア親子を追ったのに気付いた。が、敵が親子に落とした物は救命カプセルだった。発見されたアムロはやむなく撃墜し、脱出したパイロットは親子に助けられ、その荒野がセントアンジュだと告げる。



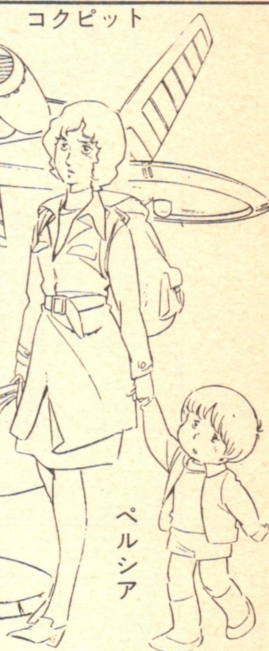
脱出用
ジェット



救命
カプセル



ガンペリー格納庫



ペルシア

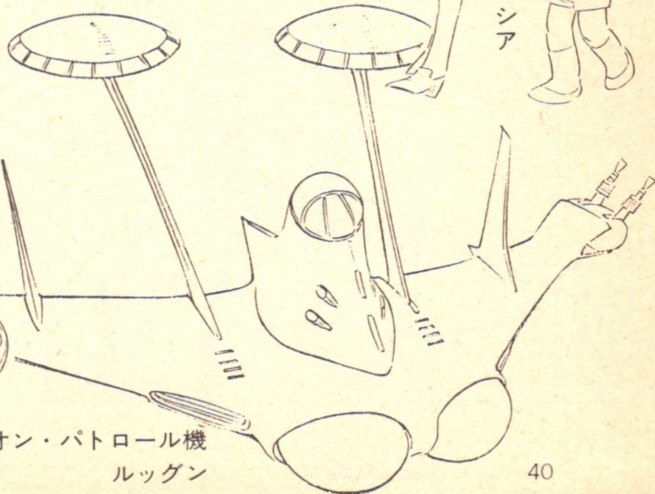
コーリー



バムロ



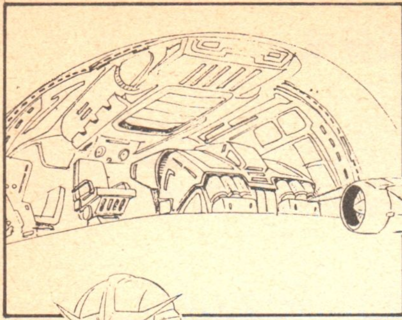
コム



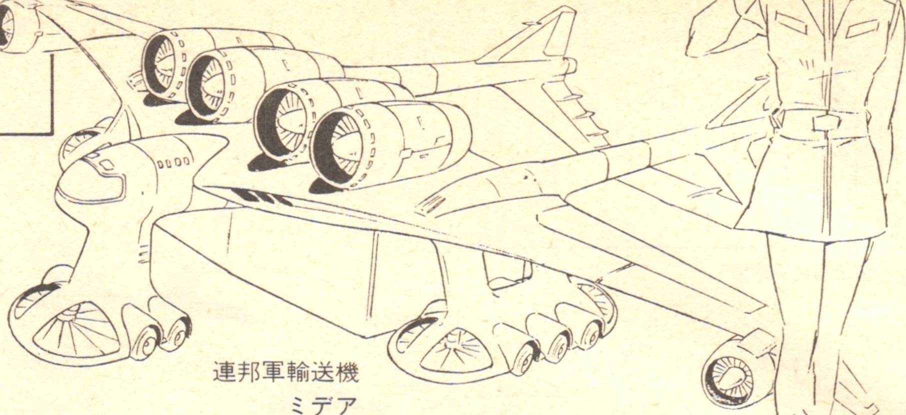
ジオン・パトロール機
ルッグン

第９話「飛べガンダム」

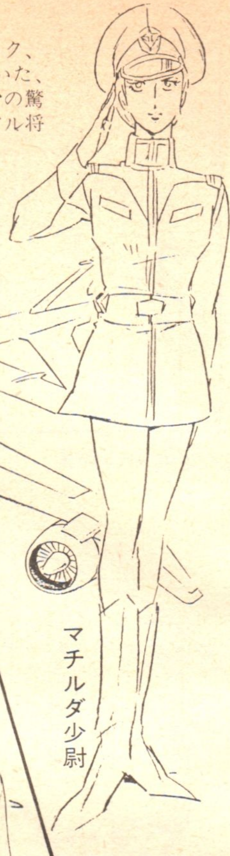
戦いに疲れ、一時は戦闘を拒否したアムロだったが、ガンタンク、ガンキャノンの苦戦に、ガンダムで出撃した。以前から考えていた、ロケットノズルを使用しての空中戦を行うガンダムに、ガルマの驚きは深まる。戦うアムロの前に連邦軍の輸送機が現れた。レビル将軍の命令で補給に来たマチルダに、アムロの心はときめいた。



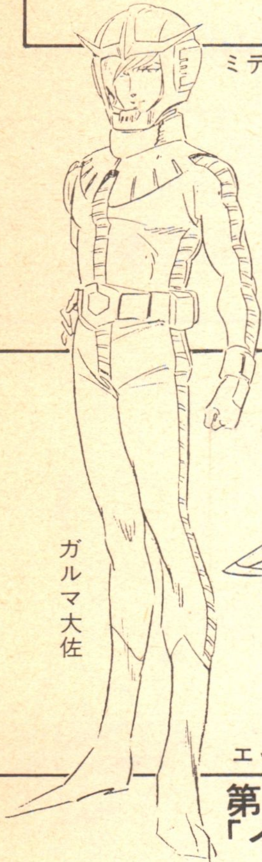
ミデア
ブリッジ



連邦軍輸送機
ミデア

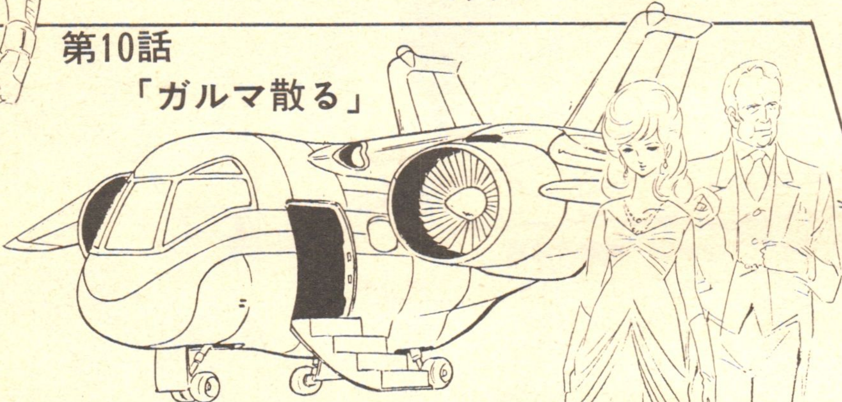


マチルダ少尉



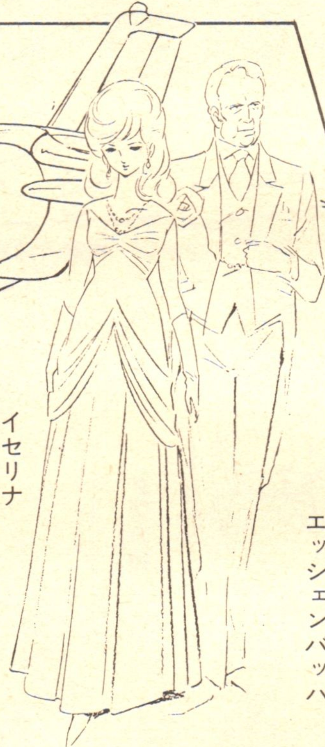
ガルマ大佐

第10話「ガルマ散る」



エッシェンバッハ自家用VTOL

ガルマの本部のある街の市長エッシェンバッハは、ジオンを憎みながらも市民の保護のために街に留まっていた。その娘、イセリナとの愛を成就させるために、ガルマは功をあせっていた。ガウでホワイト・ベースを攻撃するガルマを、シャアは裏切る。弾幕の中、ガルマは散っていった。

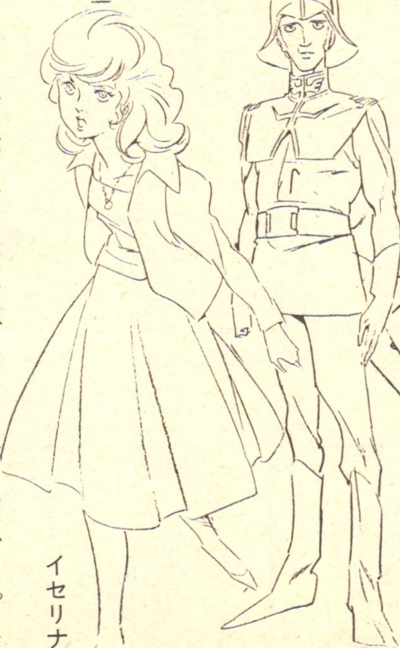


イセリナ

エッシェンバッハ

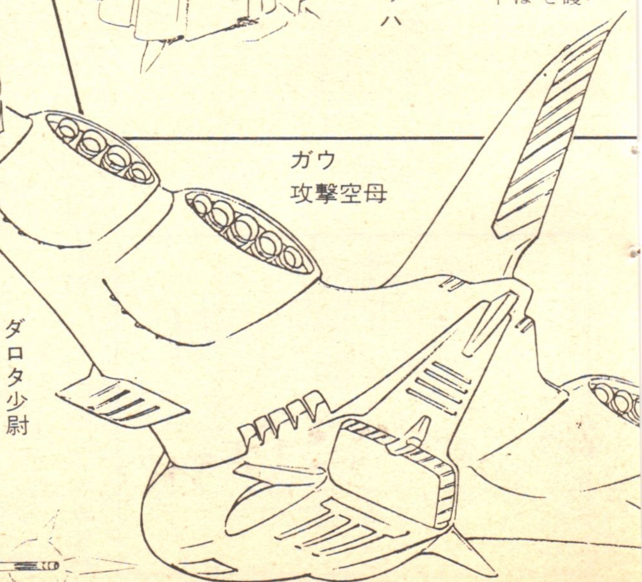
第11話「イセリナ恋のあと」

愛する者を殺されたイセリナは、ホワイト・ベースにふくしゅうを誓い、ガルマの副官だった、ダロタ少尉に、ガウに乗せてくれるようたのむ。一方、レーザー剣がビームジャベリンにもなることを発見したアムロは、攻撃してきたガウにガンダムで飛び乗り、たたきのめす。その時シャアが現われ、イセリナに加勢する。ガンダムの攻撃に傷ついたイセリナのガウは、ガンダムに向かって特攻するが、ガンダムの寸前で着地する。ガウ上でアムロに銃を向け、イセリナは叫ぶ「ガルマ様のかたき！」。銃声が響きイセリナは宙に舞った。



イセリナ

ダロタ少尉

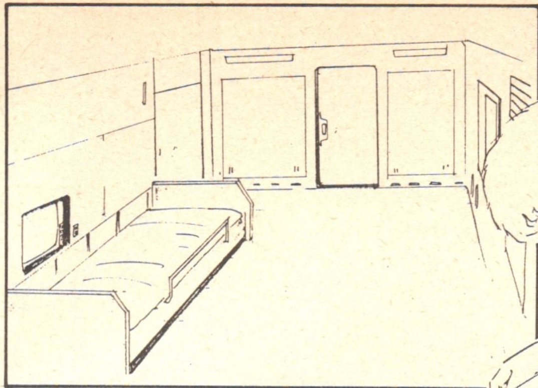


ガウ
攻撃空母

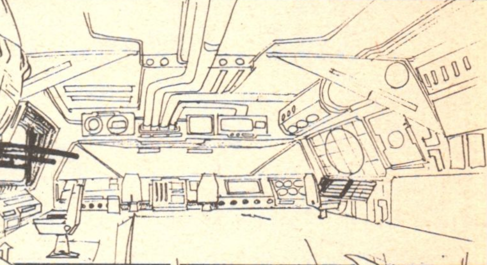
ガンダム・ビームジャベリン

第12話「ジオンの脅威」

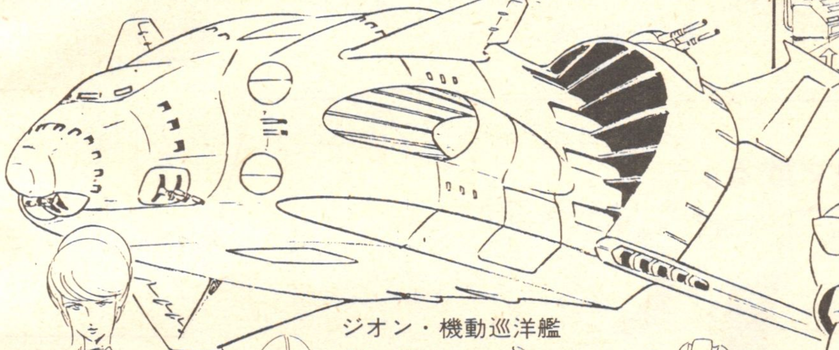
シャアは左遷され、新たな敵が現れた。ドズルの命を受けガルマのかたき討ちのために派遣されたランバ・ラルである。彼は新型モビルスーツ・グフを持って、ホワイト・ベースを襲う。しかしイセリナの言葉にアムロの心は傷ついていた。戦いの中でアムロは目ざめ苦戦ながらも撃退する。一方キシリアはシャアを追う。



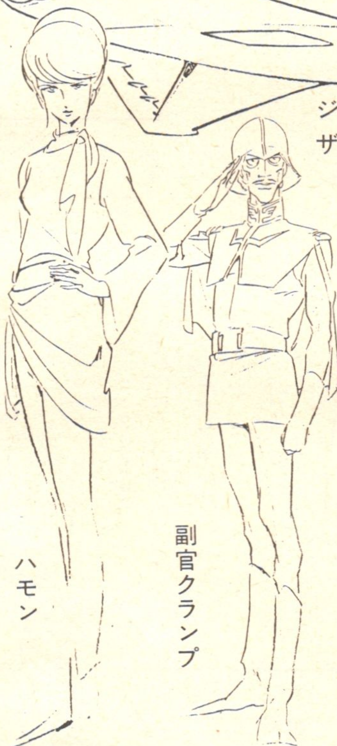
アムロの部屋



ザンジバル・ブリッジ



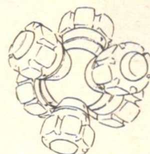
ジオン・機動巡洋艦
ザンジバル



ハモン

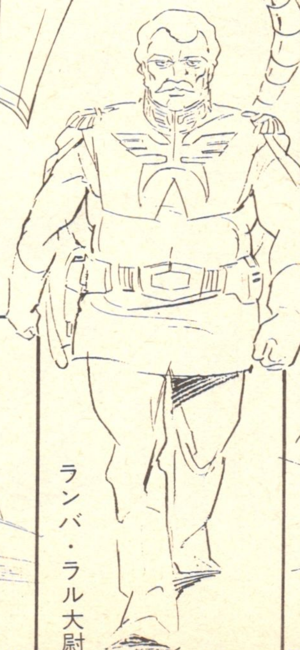


副官クランプ

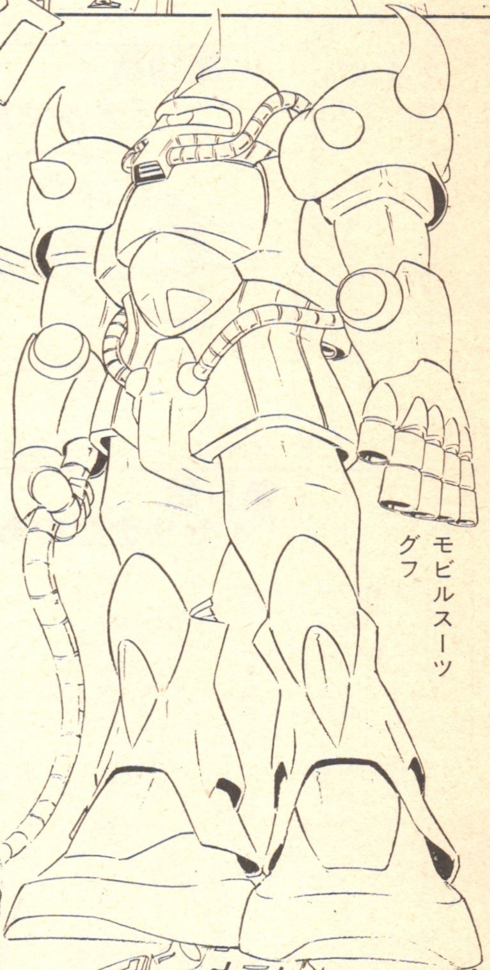


モビルスーツ用
手りゅう弾
クラッカー

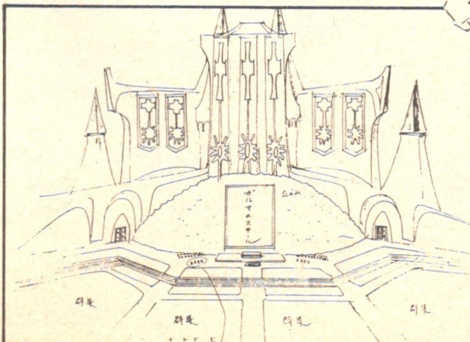
グフの楯



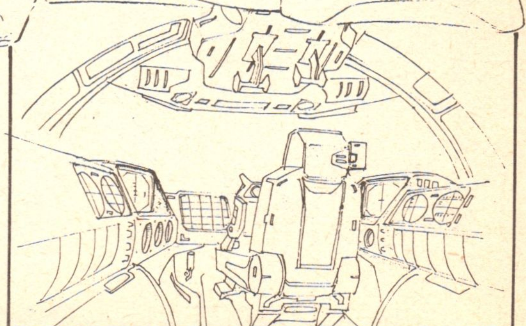
ランバ・ラル大尉



モビルスーツ
グフ



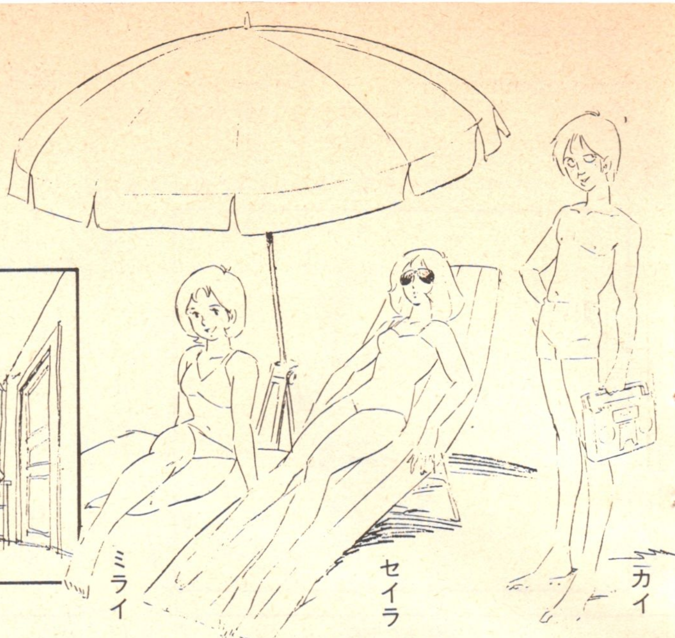
ガルマの葬儀

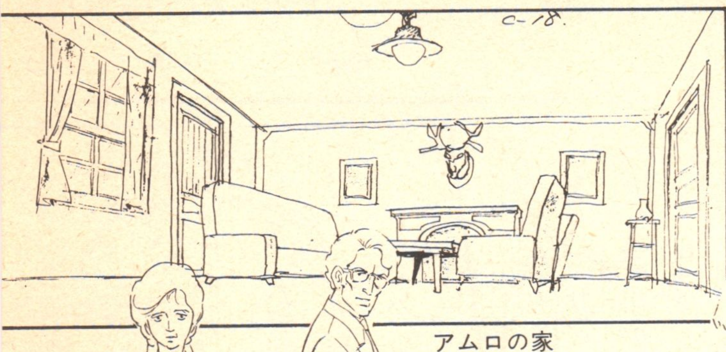


モビルスーツ・コクピット(改良版)

第13話「再会、母よ」

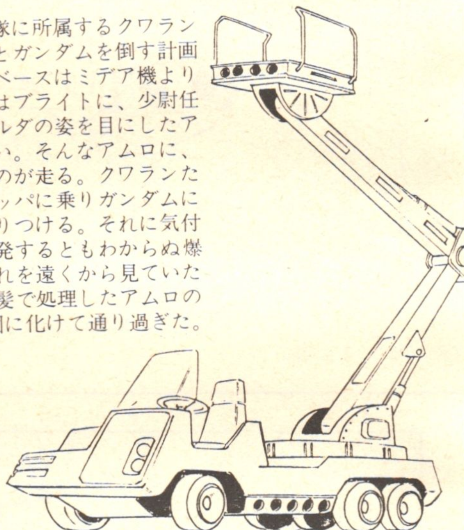
ホワイト・ベースは、アムロの故郷の近くでしばしその翼を休めていた。アムロは、コア・ファイターで故郷に飛ぶ。避難民キャンプで働く母に再会したアムロは、思わず言葉をつまらせる。が、ジオン・パトロールが、キャンプに現れる。母はアムロを隠すが、その時呼び出し信号が鳴る。アムロはジオン兵を撃つが、母はそんなアムロを非難するのだった。

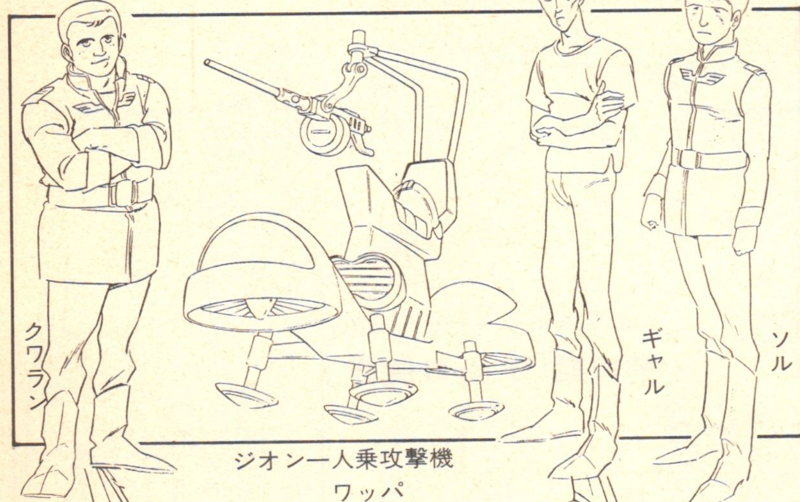


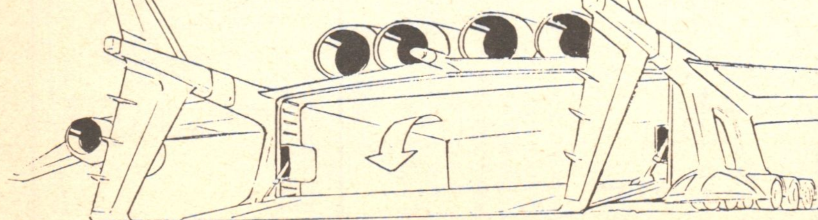


第14話「時間よ止まれ」

パトロールが任務の部隊に所属するクワラン曹長は、若い仲間たちとガンダムを倒す計画を立てる。ホワイト・ベースはミデア機より補給を受け、マチルダはブライトに、少尉任官を告げた。再びマチルダの姿を目にしたアムロの心は落ちつかない。そんなアムロに、フラウの心には苦いものが走る。クワランたちは、一人乗攻撃機ワッパに乗りガンダムに接近し、時限爆弾を取りつける。それに気付いたアムロは、いつ爆発するともわからぬ爆弾をはずし始めた。それを遠くから見ていたクワランたちは、間一髪で処理したアムロの顔を見るために、青年団に化けて通り過ぎた。

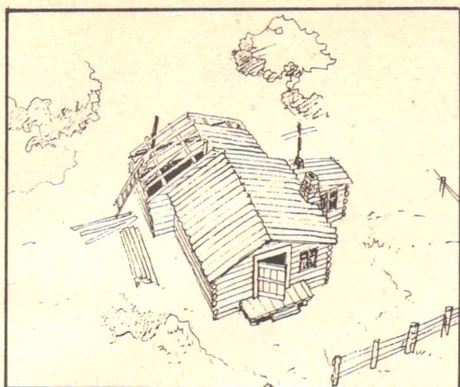






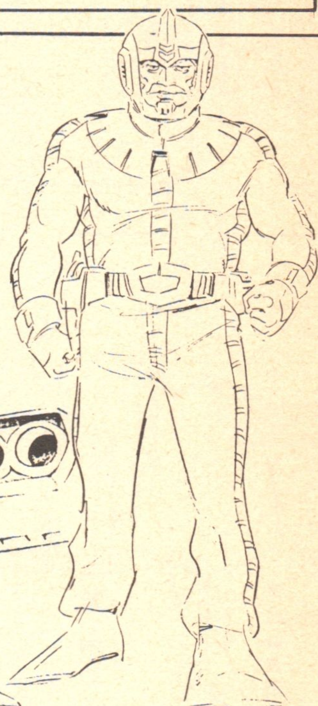
第15話「ククルス・ドアンの島」

空軍のSOSを受信たホワイト・ベースは、アムロを飛ばせた。そこで見たものは、ジオン軍をはなれ、孤児たちと暮らす、ククルス・ドアンの姿だった。自分を追って来たザクを、ドアンは自分のザクで倒すが、アムロはドアンにザクを捨てさせるのだった。


ドアンの小屋

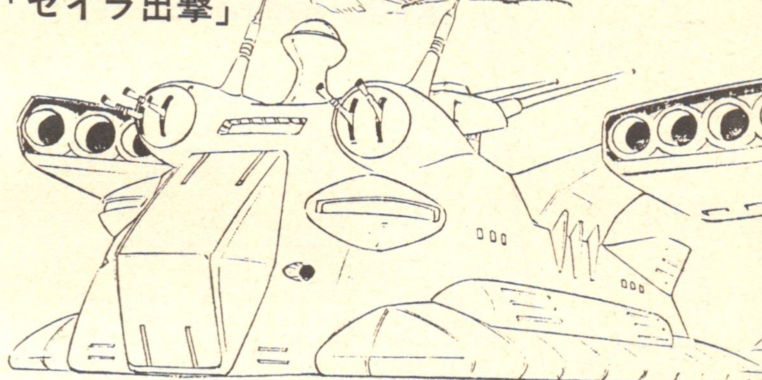

ドアン
ロラン

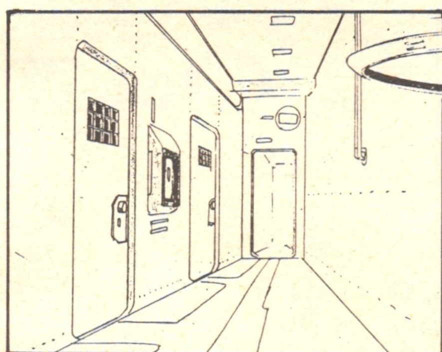
ドアンの島


ランバ・ラル

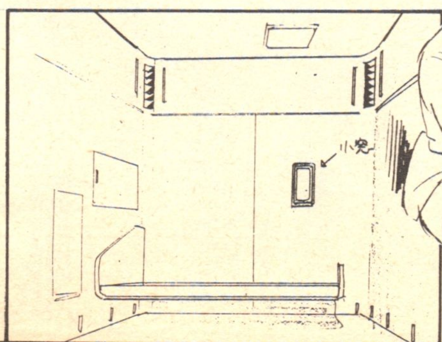
第16話「セイラ出撃」

砂漠地帯に入ったホワイト・ベースを、ランバ・ラルのギャロップが襲う。ブライトはアムロに発進を命じたが、その時、すでにセイラがガンダムに乗っていた。シャアの姿を求め出撃するセイラを、巨大なGが襲う。シュミレーションと実戦との大きな差に、セイラは手も足も出ない。ガンキャノンで出たアムロは、かろうじてセイラを救う。


ギャロップ



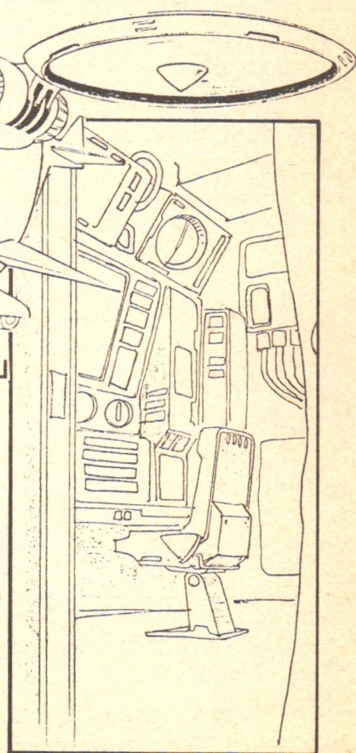
ジオン輸送機ファット・アンクル

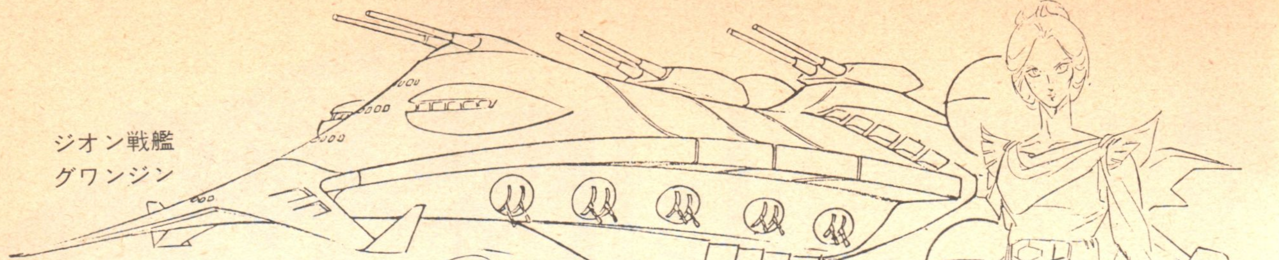


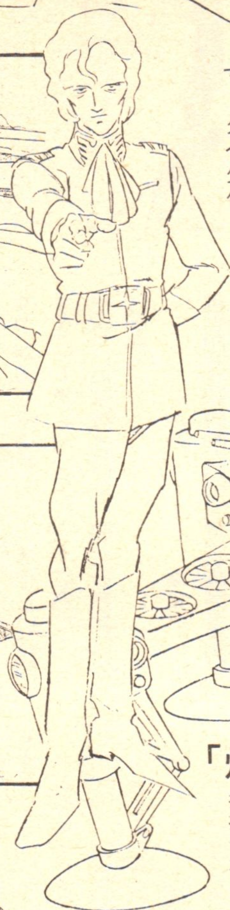
コズン

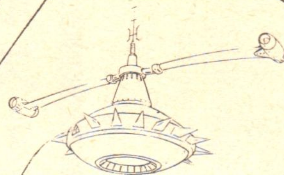
第17話「アムロ脱走」

砂漠の基地をたたくため、ブライトはガンダムを出動させたが、アムロはガンタンクでたたく。しかしギャロップが来た。そのすきに前の戦いで補虜にしたラルの部下コズンが脱走を図る。アムロをガンダムから降ろそうとしたブライトに反発し、アムロは脱走する。

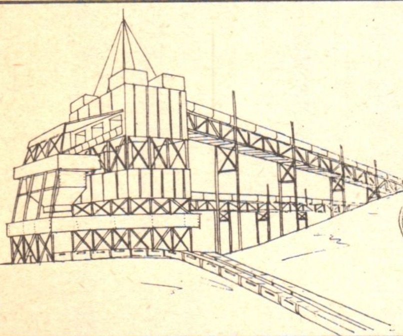

第二通信室

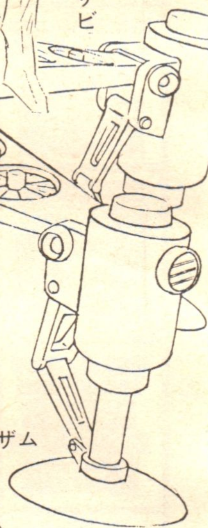






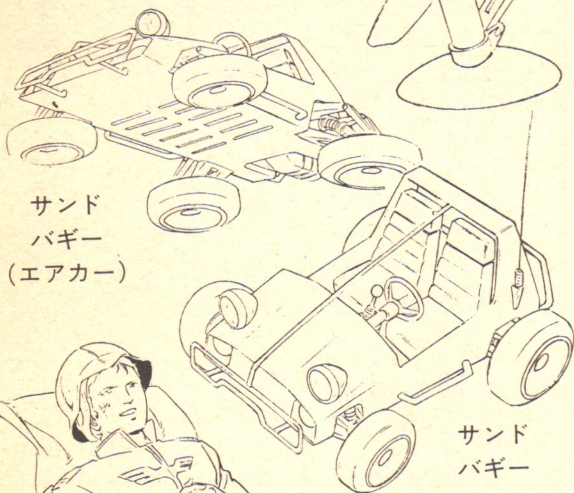


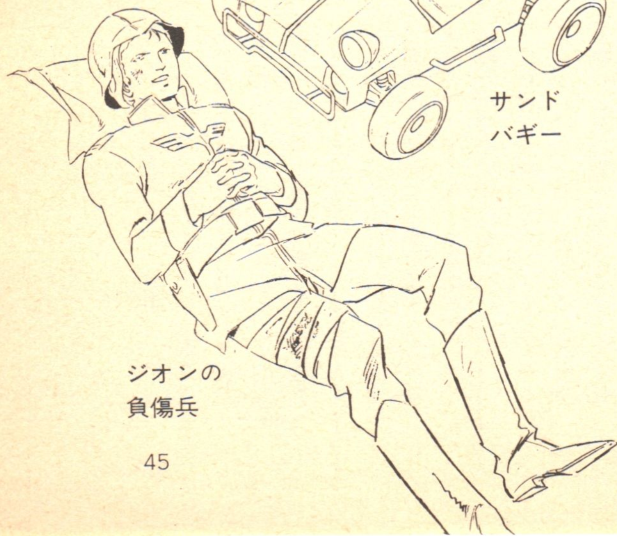


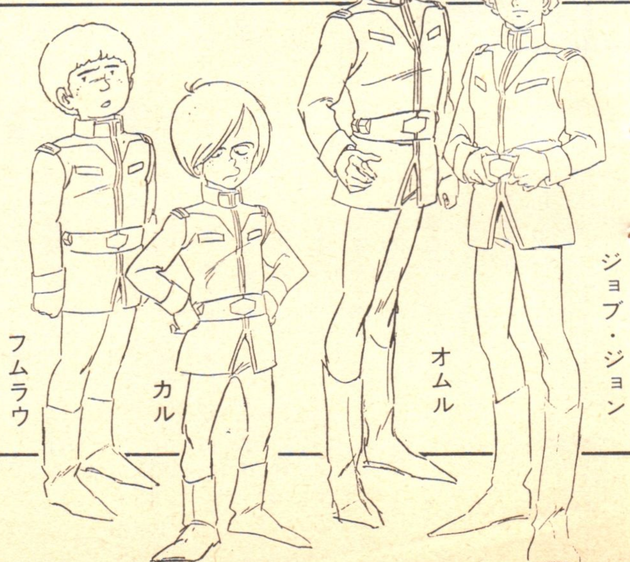


第18話
「灼熱のアッザム・リーダー」

ガンダム共々脱走したアムロを、フラウはバギーで追う。そこで彼等が見つけたものはマ・クベの鉱山だった。アムロは一人で鉱山を攻撃するが、月よりグワンジンで出撃してきていたキシリアは、アッザムを出動させた。電磁波の檻を作ってガンダムを熱するリーダーを発射するが、ガンダムは消耗しない。機密保持のため、キシリアは鉱山を自暴させる。だがそれは第102採掘基地だったのだ。







毎度おなじみ
インタビュー



このインタビューは54年7月当時のものです。

——今回はガンダムの小特集ですが、読者のみなさんのご要望にお応えして、総監督の富野喜幸さんに、今後のガンダムのストーリー展開をお話していただきました。へたな記事にまとめるより富野さんの生の声が聞きたいというファンの方々のために、お忙しい時間をさいて快くインタビューに応じてくださった富野さんに、心から感謝いたします。——

インタビュアー　編集部

モビルスーツ・今後の展開

総監督 富野喜幸

編集　前回の富野さんとのインタビューが非常に好評でしたので、またうかがいました。お忙しいところ申し訳ありませんが、2クール末までの物語構成をお話ししてくださいませんか。

富野　そうですね、31話以後、もう一度宇宙に物語の舞台がもどります。宇宙といっても月軌道内での戦いになってきます。

編集　それでパワーアップパーツのメカが出てくるわけですね。(図後出)

富野　テレビの方ではパワーアップといってますが、それほどのことはありません。装甲は強いですし、ガンダムの足は伸びるという(航続距離が伸びる)という点でのメリットはありますが、要するに補助パーツとして使用するメカと考えてください。

編集　ジオン軍が新型兵器を次次に出撃させてくるという話もありますが?

富野　そうですねェ。新しいメカは次次に出てきます。でもそれは物語の質感とは全然関係ないところのものなんで、物語としてのフィーリングはそこなわれないと思います。ザクなりグフ……そしてそのあと23話あたりで出てくるグフの後期タイプのドムっていうモビルスーツなどはおもしろいと思いますね。

ドムの出てくる時点であきらかにモビルスーツは新しい時代に入ったってわかるような型のもので、やっぱり敵の戦力なり……技術力というものが見えて、やはりジオンは強敵なんだという意識が出てくるんじゃないですか。

やはりガンダムは戦争ものであると同時にアクションものであると思っています。そのアクションものを描いていくっていう気分はやはり大事だと思っています。

編集　数々の兵器が出てきても最終的にはモビルスーツが話の中心になるのでしょうか。

富野　実際に今、30話ぐらいまでのことを考えているんですが、具体的に絵をつくっていく中で、ザクの改良型とかグフの改良型とかグフの新しいタイプ、つまりモビルスーツという観念であるものだけではやはりちょっと不足なんです。そこでモビルスーツよりももう一つ上の一般的な概念として導入するものがあります。これはおそらく絵をつくっていく上ではかなり有効な手段になっていくと思います。これはモビルアーマーという観念の別のタイプのものです。

これは多少マンガチックになるかもしれないけれども、SFっぽい画面の色あいを出していくうえではかなり有効に作用するんじゃないでしょうか。

編集　モビルアーマーの登場によってかなり話の展開が左右されるのではないんですか?

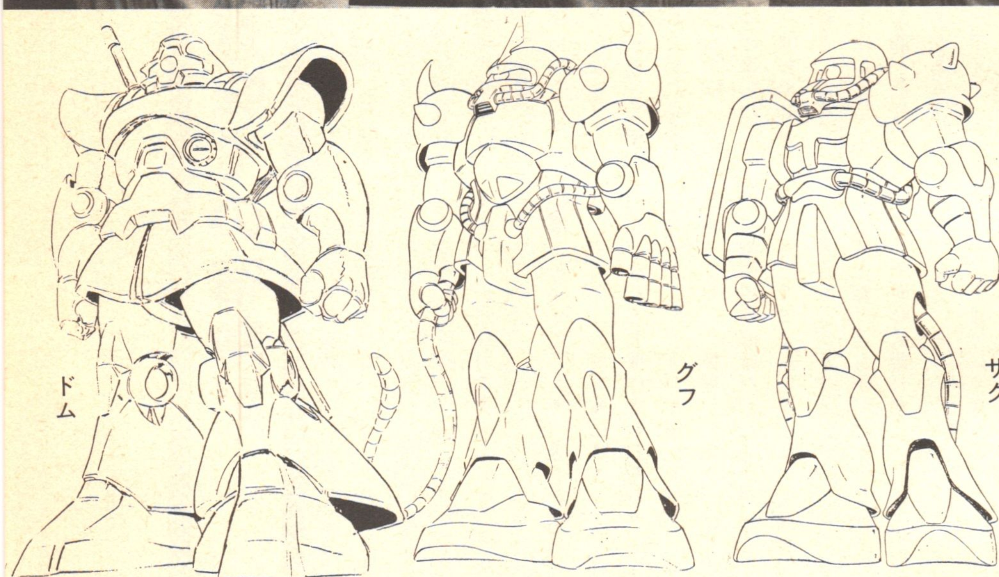
富野　いえ、そういうことではなく、よりジオンの持っている技術力なり科学力なりの広さみたいなものが具体的に出てきて、これは最終回にいたるまでの物語の点描としては、たいへん有効に働いてくるんじゃないかと思います。ただ、今までもモビルアーマーの原型というものは、18話に出ています。キシリアの乗るアッザムです。

これは前々からの課題で、ザクに匹敵するメカができないかということでモビルスーツの改良型っていうもののラフを15体ぐらいつくってもらったん



です。そういったものを全部具体化していった時に、モビルアーマーという新しい観念にまで発展していったということですね。
モビルスーツとは別の形で絵を楽しく

この話は戦争論ではないんです



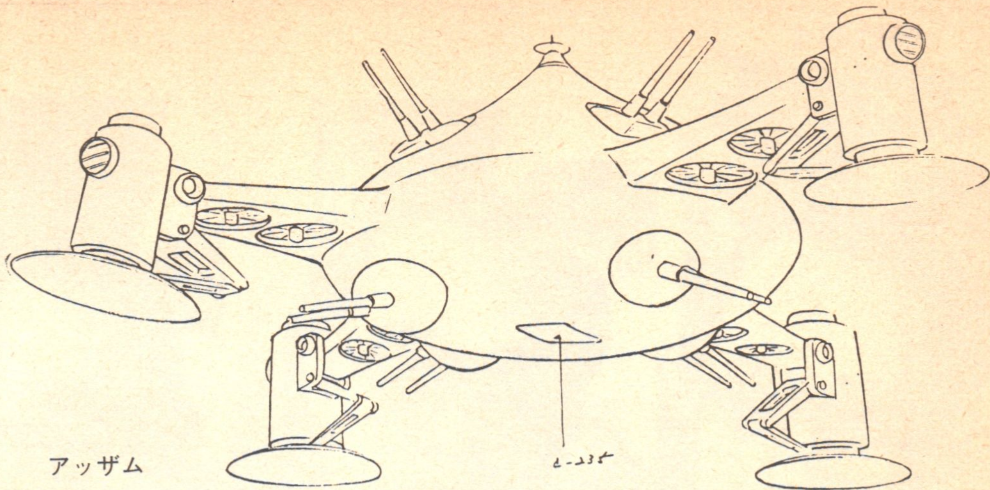
するうえで、また変化をつける上でも有効な手段だと思います。

そして、ザクやドムという前期モビルスーツはまるっきり消えちゃうかというと、生産中止になっても使える限り使うという気持は、ジオンにも連邦にもあると思うんで、まるっきり出てこなくなるということはありません。

編集　ホワイトベースが30話以後で宇宙へ出発するまでは、ヨーロッパで戦い続けるんでしょうか？

富野　大きな戦斗、特に今回の「オデッサ作戦」があります。つまり、ヨーロッパの北東部でおこなわれた戦争の時には、戦争の俯瞰図を観せてもちっともおもしろくもおかしくもないんで、ホワイトベースやガンダムを中心とした戦争を描いています。次の本格的な戦争は、ドズルの前進基地――ソロモン攻略戦があるんですが、その時にはかなり具体的に、ガンダムの量産パーツとか、ジオン軍のドム、あるいはもうひとつ後期のタイプのものなどの戦斗が出てくると思います。

オデッサ作戦のあと、26話でホワイトベースが北アイルランドへ行って、それから南米へ飛ぶわけですけれど、南米に連邦軍の基地、というか工廠というか要するに中心部があるんですけれど、そこに寄った上でホワイトベー



アッザム

スは宇宙に出ていくわけです。その北アイルランドのホワイトベースを大西洋上で追いかけるのが、シャアの「マッドアングラー」という潜水艦部隊なんです。この段階でシャアが持ち込んで来るメカのなかに、モビルアーマーの具体的なひとつの形態が示されているというのが大筋の流れです。

本当の意味での宿敵が…

編集 連邦軍の基地が出てくるというのはガンダムファンにとって楽しみなことでしょうねェ。

富野 そう思って下さるといいのですが……。あ、それから連邦軍の基地というか本部には固有名詞がついていなかったんです。名前をつけ忘れていたんですよね。どうもセリフがまわりくどくなるんで、なぜだろうと思っていたら名前をつけるのを忘れていたために、いちいちその説明してたわけ。それでまあ三日前に名前をつけました。ジャブローっていいます。はじめはシャングリラにしたんだけれど、ある人に怒られましてジャブローにしました。

連邦軍の要するに参謀本部、それから一番中枢になる工廠などがあるジャブローで最終整備をしたホワイトベースが宇宙に出撃するというわけです。ジャブローでもいろいろなエピソードがあります。

カイと北アイルランドに住んでいた民間人の女の子とのラブストーリー……。そのあとでのマチルダの許婚者の話、チビちゃんたちのエピソードなどです。

物語の大筋でいえば、シャアがキシリア配下の戦闘隊として、大西洋上に展開を始めていて、ジャブローを発進していくホワイトベースを追いかけていっていそれ以後が宇宙での話になります。これが10月の末ぐらいまでのあらすじです。

編集 ちょうどアニメックの発売期間にあった話なので非常にありがたい話です。それと失敗作といわれるグフなのですが、ザクとの相違点は何でしょうか？こちらで推理した限りではザクが対戦艦用の武器だったのに対してグフはガンダムに近いタイプの白兵戦用兵器のような気がするんです。そうすると地上戦はともかく、宇宙空間での闘いは不便な武器じゃないかと……。

富野 ええ、そういう意味で失敗です。つまり、あまりにも極地戦用に考えすぎたんですね。そしてその後に出てくるドムが地上用に作った型なんです。ところが、これは結局、今までザクとグフをいじってきたこちらの経験もありまして、具体的な機動力という部分での強化をしてみたんです。そうしたところ、これがたいへん使い良いわけで……要するに宇宙——つまり無重力帯でも使える白兵用の機動力っていうものを持っているんで、その感じがドムには非常に良く描けるわけです。

ただ問題なのは、逆にこの機動力っていうものにやや重点を置きすぎたために、グフと同じような欠点が出ます。つまりグフとドムの中間点をとったもうひとつ違うタイプのものが発生せざるをえないでしょう。さらに時々の戦訓を活かした改良型のモビルスーツなり、モビルアーマーは出てきます。こういうことで敵・ジオンが非常に強いというイメージを形づくっていこうと思っています。

ガンダムの物語の中で、モビルアーマーという発想をなんとしてでも使わざるをえなかったという点がうれしいのですが、逆にこれをやることで、ガンダムの絵が、より以上に変化してきたという面で、アクションものとして考えてきた時に非常にいいと思っています。

今、こちらの課題になっているのは宇宙戦になってきた時のモビルアーマーは一体どういう形態でありうるべきなのかという映像ですね。モビルスーツの改良と同時に新らしく考えていかなくちゃならないのでつらいんですが、それなりの楽しみがあります。

編集 シャアの復帰とモビルアーマー

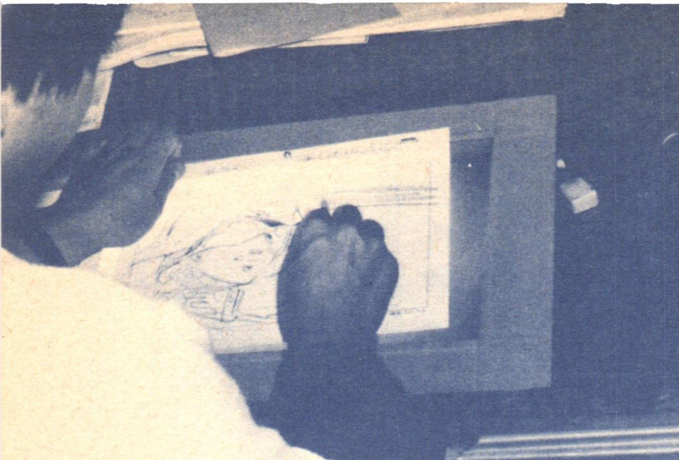
の登場、そして前回お話しいただいたこのシリーズの重要人物の出現は、ほぼ同じ時期になるのでしょうか？

富野　そうです。一番ガンダムのストーリーにかかってくる面の問題なのですが、シャアの再登場時点あたりからモビルアーマーがちょいちょい出てきます。それと、アムロの一番の敵になる。そして一番の友人になる人物が出現します。その人の使うものが、モビルスーツと、モビルアーマーを一緒にしたようなものであると物語の当初から想定していたんです。

全部が最初から想定していたものではありませんが、その兵器が出てくるというのは、モビルアーマーの観念が具体的に規定されはじめた時に、かなり明瞭になって出ている、ということで、非常にありがたいんです。物語の中でもかなりうまく導入できると考えて喜んでいます……。それと、この兵器の名前だけは決まっているんです。エルメスとビットっていうんですけどね、これはモビルアーマーとモビルスーツを有機的に使っているという戦闘メカなんです。これはちょっとおもしろくなると思うんですが、それをあやつる敵っていうのが、本当の意味の仇敵というか……宿敵ですね。それと同時に、本当の意味の友人になってくるという物語構造を持って、ガンダムの話は進めていきます。それじゃあ、シャアはどうなるのかというと、シャアやなんかはいっさい関係ありません。そして、この本が出る頃には、リュウ・ホセイはもう死んでいます。これについてはいろいろ各方面から、質問がどっさりあって、皆さん期待しているようなんですけれど、それ以後のレギュラーはおそらく、全部死なないでしょう。一人も……。というのは、ガンダムの物語が戦争論じゃないってことなんです。つまり、戦争論でこうやってフィルムをとっていくと、陰惨で残酷で話がおわるだけなんです。ガンダムの物語は、それをターゲットにしているわけじゃないんで、最終回でどうなるかまでを描いていくために30話ぐらいまでは現状認識を厳然とやらなければならないと思っています。ややリアルな話の展開をして、その上でいかに主人公が翔んでいくのか？という気分で演出しているのです。

編集　ファンの方としては、ザンボット3の意識が若干のこってますんで、主なキャラが20数人もいれば、殺しがいがあるなあ、などと思って……。

富野　しょせん、それはファンの一面的な物の見方でして、それに対してはこちらからも抗議をしたいくらいで、



シャアの原画をクリンナップする安彦さん、第26話カット64、という字が読める…かな？

駆け足インタビュー

機動戦士ガンダム・キャラクター設定の安彦良和さんに訊く

編集　飯塚さん、安彦さんに少しお話を伺いたいのですけど……

飯塚　ガンダムのスケジュールいっぱいだからねえ……。まあ5行分ぐらいなら時間とってもいいよ。

編集　せめて10行分……

◇　◇　◇　◇　◇　◇

編集　お忙しいところおじゃまします。キャラクターを設定なさる時、一番注意なさるのはどんなことでしょうか？

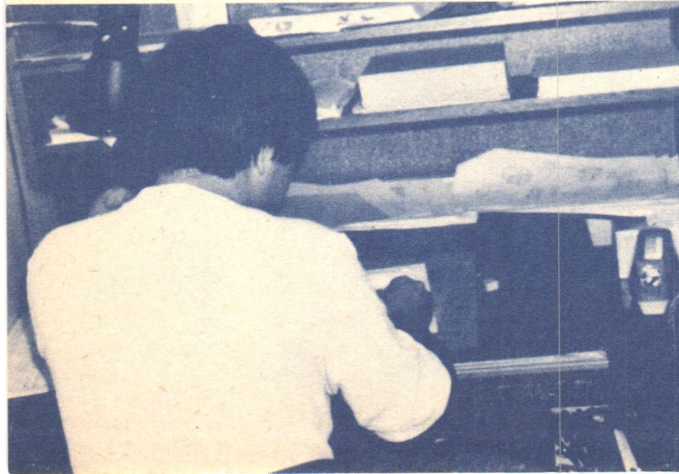
安彦　主人公のアムロなんかはとくに年齢に注意してますね。それから演出コンテの方の注文に心理的な芝居が多いのです。そういった心理表現には結構気をつかっているつもりです。

編集　サブキャラやゲストキャラもコンテにしたがって描かれる場合が多いわけですね。

安彦　そうですね、イメージは良くわかっています。とくに富野さんの絵コンテは、はっきり出ているんです。イメージがしっかりしていると、絵を描いても生きてきますね。

編集　お仕事中　おじゃましました。

仕事をする男の厳しさがにじみでる安彦さんの後ろ姿。（すいません、正面の写真失敗しました。）



物語っていうのは、そうワンパターンでつくってたまるかっていうことです。
　これは「もう死なないよ！」っていうのをはじめっから公表しておいてもおそらく期待を裏切らない終り方をできるというふうに自負しています。



シャアとセイラの関係は

編集　先程のシャアの話なのですが、セイラがもう、シャアは自分の兄だということに気がついてますが、あの二人の関係、結局シャアがもともとのジオン公国の支配者の子どもだったという設定がおぼろげながら出てきていると思うのですが、そういった話はどうなるのでしょうか？

富野　メインの話とはいっさい関係ない話なんですよ。シャアとセイラの話は。じゃあなぜ、この二人を設定したかというと、戦争という時代を描いていく時、いろんな階層の人々がいるだろうと思うんです。その時のトップの階層の代表選手として出したのがひとつで、それとパターンにはまった敵味方論にしたくなかったので、要するにジオンと連邦をつなぐ要として、シャアとセイラを置いているんです。だから、あくまでもアムロにとっては、しょせん一人の仲間であり、一人の敵であったということでしかありません。この二人については秘密でもなくて、語るひまがなかったから描かなかっただけで、とにかく一度パッと見たくらいでセイラが「あれは兄さんだ」とわかるくらいの時に別れているんです。
　ジオン公国以前のジオン共和国っていうものを設立し、要するに独立運動の長が、シャアとセイラのお父さんで、ザビが台頭してきた時に、おそらくあの二人、シャアとセイラっていうのは追放されるか逃げるかして、地球に来たという過去があるというそういう話ですね。
　その二人が生きている時間の中で、ひとつの典型的な人生っていうものを描いていく上で必要だったんです。37話ぐらいで、シャアとセイラは会って具体的な話をしますが、その時でも結局、過去の話はおそらくしないでしょう。セイラがシャアのような生き方をする兄を認めるのか、それからもう戦争と関係ないところで暮らしていると思った妹が戦争に巻きこまれているのを知ったシャアがどんな思いをするのか、という部分を描いていくだけで終るのです。いろいろな人から、シャアを残酷に殺せ殺せ！という要求がありますけれど、シャアは死ぬにはまちがいないんですが、ほとんど最終回近くまで生き残っているんじゃないでしょうか。というのは、シャアはやはり、そういう運命をもっていて、なかなか死なないと思えるんです。
　ただの親の仇打ちだけをもくろむような男が、本当に人間としていい人間かと考えれば、やっぱりたいへん俗物だと思います。物語の展開からすると、やっぱりシャアは死んでいかざるをえない人間だろうけど、最後には可哀そうな妹だったセイラにかなりやさしい気持ちを通じさせて死んでいく、というかたちをとると思います。

ガンダム新パーツの性能

編集　どうもありがとうございました。最後にガンダムの時代背景の科学技術について、いくつか質問させてください。まず、パワーアップパーツなのですが、宇宙空間も飛べるし、輸送機兼戦闘支援メカの働きをするのでしょうか？

富野　飛べますし、ホワイトベースまで帰ってこれることを考えて放出する、というパターンはとるでしょう。それからパワーアップパーツと呼ばれるものに関しては、スペアはそれなりにあります。装甲強化したとはいえ、何度もやられるだろうという可能性が、かなりあって、一機だけを後生大事に最終回まで使わなくちゃいけないというふうにはしたくはないんです。それは精神的に無理がないようにしていきたいと思っています。ただ、運用のしかたとしては、たえずガンダムをおくりこんだ上で、もどってくるというような機能は持っていなければならないでしょう。そういう意味では、できることならば一つのものを、なるべく長く使わなければまずかろう、というふうには考えてます。

編集　戦闘局面に入れば、ガンダムは左手でしか楯を使う必要がないから、

つねに片っぽの楯は捨てなきゃいけませんね。

富野　捨てなきゃいけないために楯を二枚持たせるというのは感心しませんので、その解決ははかりました。それと同時に、補助パーツの部分でも、ガンダムは大事に使っていくだろうとは考えます。ただ、絵の表現の上では、楯がこわれるなんてことはしょっちゅうやっていることですので、スペアの楯は10枚といわず、ホワイトベースにあるでしょうね。

編集　V作戦でつくられたガンダムの設計図は連邦軍に届いてないはずなんですけれども、ガンダム自体はつくれなくてもパーツはあるみたいですね。

富野　そりゃそうです。これはみなさんが一般のロボットアニメというか、テレビアニメーションのレベルでものを考えていらっしゃるとそうなると思うんですけれども、これはもう絶対にうそで、サイド7にあったガンダムなりガンダンクやガンキャノンは最終実用テスト段階であって、製造工場っていうものは、サイド7にあったわけじゃないのです。つまり、製造工場っていうのはルナツーにあるかもしれませんし、ジャブローには当然あるでしょう。あくまでも、実用テストをサイド7っていう一番の辺境地でやっていて、そしてもう実用テストとしてのOKサインが出たからこそ、ホワイトベースが、ガンダム一式を受領して、今までプロトタイプとして使用していたものを、実戦にそのまま投入していくのが、連邦側の目算であったところを、シャアに邪魔されたおかげでああいうふうになっただけの話です。むしろ、そのテスト結果をもとにして、ジャブローでは生産が始まっているはずです。その生産が始まっているという部分は、ジャブローにいってからでないと描けないんですけれど……。生産工場っていうのは、むしろ一ヵ所になくて、分散しておいてあると思うんです。ただ、ガンダムはいろんな意味で汎用化しすぎたために、量産タイプっていうのはかなり変わったものになって出てくるとは想定しています。そういう意味では、ガンダムの絵そのものが、20体30体とならぶようなことはないと思います。

編集　プロトタイプだからこそ、あれだけ派手な色を使っているんじゃないかと……。

富野　それもそうだし、ガンダムが欠損された、つまり破壊された部分を次次につくっていくこともそれなりに可能だとは思っています。それをやっぱり量産タイプの中でこなしていくということは無理じゃないと思います。メインエンジンの部分に関しての腰まわり、それから肩まわり、つまりボディに関しては、おそらく利用すると考えられると思いますけれど、手足の部分、それから頭の部分、それから、場合によってはガンキャノンっていうのは、あまりにも運用上の問題が多すぎたかも知れないので、ガンダムというボディを使って、手足とか肩の部分に、ガンキャノンのものがくるみたいなことはありうるでしょう。ただし、ガンタンクっていうのは、あれはガンダム、ガンキャノンの前期のタイプで、量産しないでしょう。

編集　じゃあ、科学力っていうのは連邦軍の方が上で、工業力はジオンの方がきくみたいな気がするのですが……。

富野　いやー、どうですかね。科学技術の開発に関してはむしろジオンの方が上じゃないかっていう気がしています。結局ガンダムが完成したかたちになった、一番の原因っていうのは、ザクの方が早くできたために結局、ザクを一つの範例として、その上に改良を加えたために、ガンダムがつくれたんじゃないか、というふうに解釈しています。バックに持っている工業力は、やっぱり連邦軍が絶対的に強いと思うからこそできたと思いますが…。問題なのは生産ラインを組みこんでいくための官民組織のぜい弱さっていうものは、絶対民主主義であるおかげで、連邦の方がやや遅れたと、解釈しております。ジオンの方は、独裁政権であるために、それらのものを集中的に運用していくことができたと思います。ですから、モビルアーマーまでのものを早くつくっていけたと考えています。ただ一つ、問題があるのは、ジオンのような独裁政権であれば、その時の主導者層っていうのが錯乱してくると、第二次大戦中の日本やドイツのように、一つの兵器を開発している最中に、上層部から、ああせい、こうせい、と注文が入って、やたらいろんなタイプを作っていくことになり、結局中途半端なものばかりできてしまうことがあります。もっとも中には快作もできあがるのですが……。まあそんなわけで、30話以後は、ジオン側の新兵器が次々に登場するということになりますが、これが果して強さだけにつながるかどうか？ということは、今回の話で判ると思います。どの道、戦いの方向はみえてくるのです。が、ガンダムの話は、先にもいったように、戦争論ではない、ということです。

編集　お忙しいところお邪魔しました。どうもありがとうございました。



アニメック8号解説

飛躍的に発行部数の伸びた号で、全国の書店でも、「アニメック？　そんな本はありませんよ!!」と言われる人は少なくなったのです。

第19話「ランバ・ラル特攻！」は関西の一部地域で、高校野球のため放送延期になったのですが、この回を観ないと後のストーリーが理解できなくなるため、名古屋TV・日本サンライズの御厚意によりAR台本を掲載しました。（今ではサンライズ発行の『機動戦士ガンダム台本全記録』という便利な本がありますので割愛しました。）

設定ストーリーの設定書モンタージュもかなり高度になり、59ページのド・ダイに乗ったグフなど2枚の設定書を重ねたものなのですが、そのような設定書があると信じているスタッフも多かったようです。

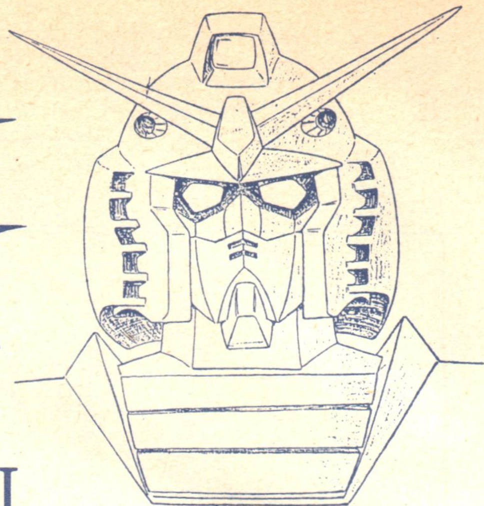
また、富野インタビューの中で（P67）ニュータイプという言葉が出てきますが、この時点ではフィルムにそんな言葉は出ていません。マチルダの言葉から、アムロは常人ではないのでは？と編集部で推理したのです。（アニメックのガンダム特集が受けた秘密は、事前にAR台本を入手したりせずに、TV放映だけでストーリーの先読みをしたことにあるのかもしれません。読者と同じ条件での推理ゲームというのは疲れましたが……）

そういえば、この頃は編集部にビデオがなく毎週必死でガンダムを観ていました。大日本印刷でアニメックの校正をしながら30話を観た記憶がありますから……。





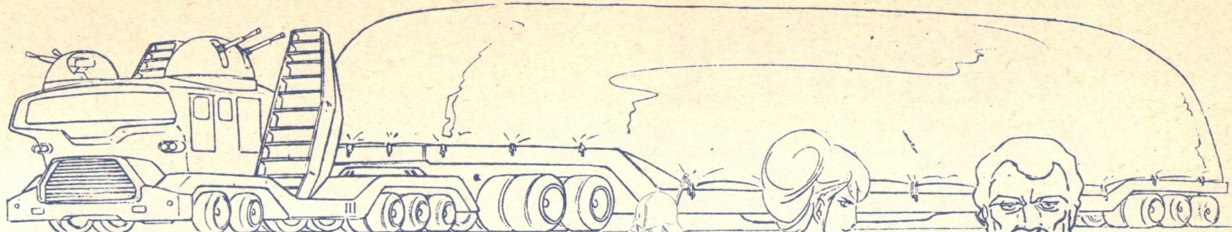
機動戦士 ガンダム 大特集 パートII

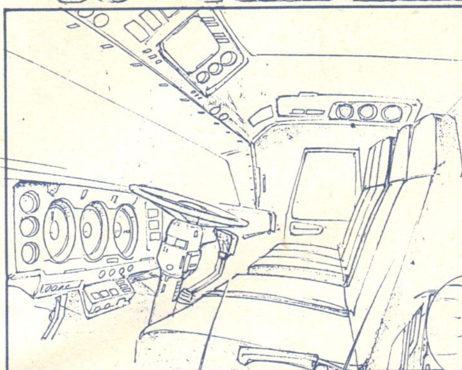


『ランバ・ラル特攻』ストーリー

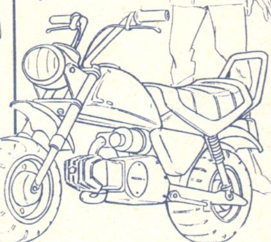
設定・ストーリー

富野喜幸・インタビュー

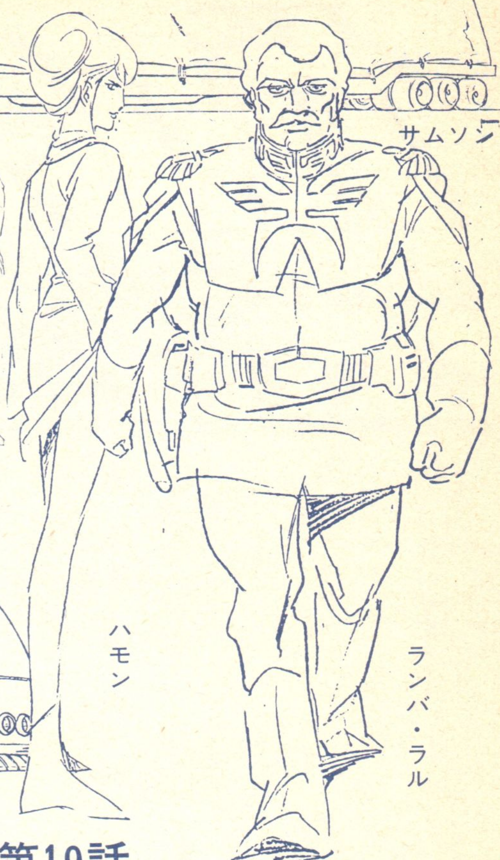




サムソン
コクピット



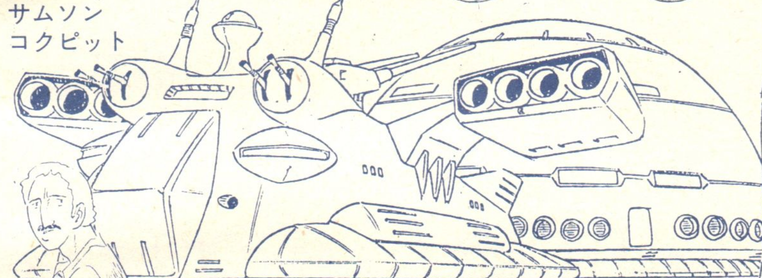
ゼイガン
偵察用
オートバイ



サムソン

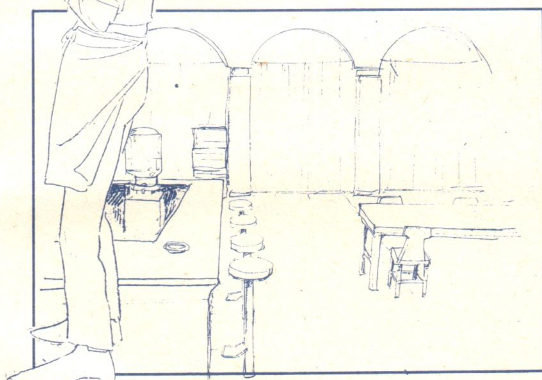
ハモン

ランバ・ラル



ギャロップ＋カーゴ

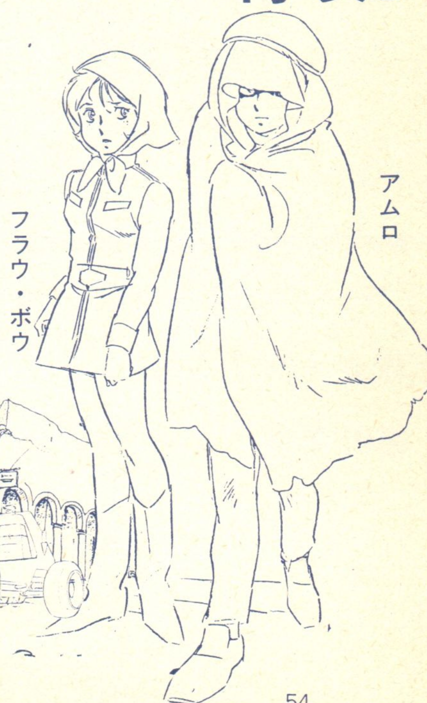
第19話
「ランバ・ラル特攻」



レストランのおやじ



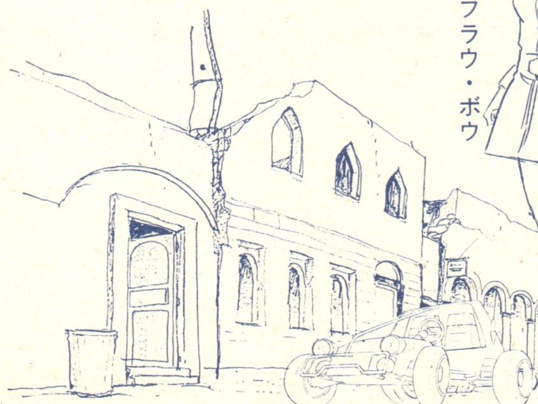
天幕の老人



フラウ・ボウ

アムロ

《編集部から》
関西の一部地域で、高校野球のため第19話が放送中止となり、その後放送されたものの、時間帯が異っていたために、見ることができなかった人が多かったようです。
そこで、当編集部では、名古屋TV、日本サンライズのご好意により、第19話のAR台本（声を録音する時に使用する台本）を掲載しました。アムロが生身の敵と会った最初の話であるこのAR台本は好評でした。ここでは台本全記録との重複をさけ、割愛します。



ソドンの町

ＡＲ台本の一部

27 アムロ、モグモグやっている

28 クランプと兵二人ぐらい入ってくる、ジオンの兵だ！

29 アムロ、カウンターに向く
コップをとりあげるが、目は入口を見る
うっ?!となる

30 ハモンが頭のスカーフを外した処、正面を見て笑いが消える

31 アムロ

32 アムロ

33 と、疑問に思いつつ、ニコッとしてゆく
ハモン

34 アムロ追う

35 クランプ椅子をひいて待っている、座る
ハモン

36 アムロ入口を見る

37 ラル、外に向かって

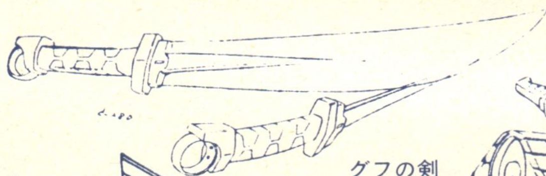
アムロ「！」
クランプ「おやじ！ 休ませて貰うぞ！ 十二人だ！」
おやじ（off）「へいへい！ い、いらっしゃいませ！」
兵隊たち（off）「ひゃーっ！ やっと日蔭だぜ。座る処が動かないだけ助かる」
クランプ（off）「ハモン様 こちらへ！」
ラル「すまんな！ サクレト、マイルは見張だ、交替は急がせる！」



フードをかぶったアムロ

ゼイガンのバイクのメーター

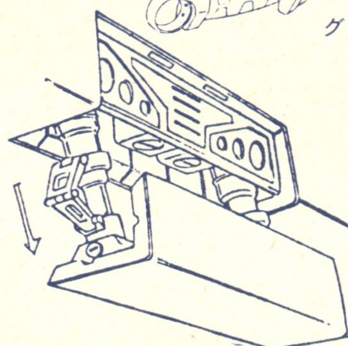
強制排除装置のレバー



グフの剣

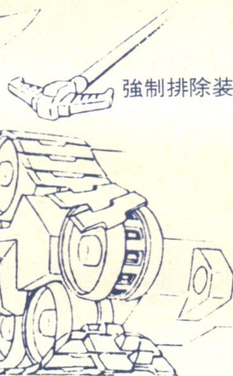


アムロが入れられた独房

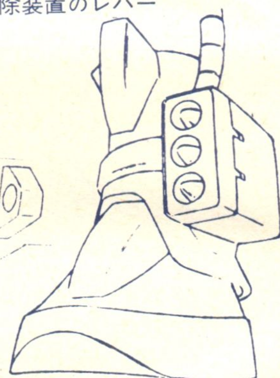




ホワイト・ベース着陸脚



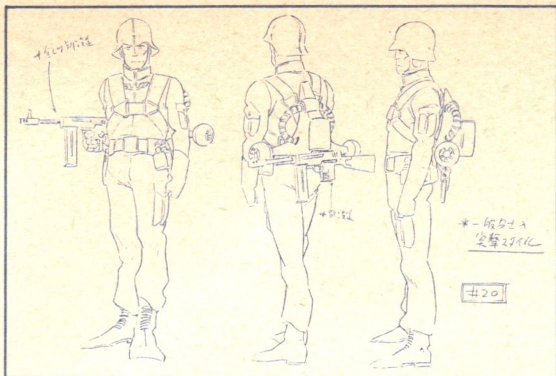
破損したタンクのキャタピラ



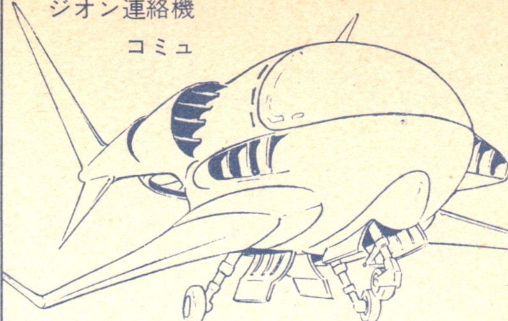
ザクの足に装着されたミサイル

「ランバ・ラル特攻」

戦場をさまようアムロの脳裡に、後悔に似た思いが走る。だが、ホワイト・ベースではガンダムさえ戻れば、という意見が広がりつつあった。とあるレストランで、アムロはラル隊と出会う。「君が気に入った」というハモンを前にしているとき、アムロを捜しにきたフラウがラル隊の兵士に連行されてきた。ラルは目指すホワイト・ベースの所在を知るため、二人を離しゼイガンにあとをつけさせる。強情に戻ろうとしないアムロをあとに、フラウはホワイト・ベースに帰った。そのフラウの報告をもとにブライトらは作業を中止し、迎撃態勢を整える。ラルのグフとゴダールのザクがゼイガンの暗号を受けて発進する。ザクの攻撃でガンタンクのキャタピラーがやられた。ハヤトはタンクの上部を強制排除し、リュウにコア・ファイターでアムロを呼びにいってもらう。アムロは上昇するグフを見て、ホワイト・ベースが発見されたのを知ると、ガンダムでギャロップを攻撃し始めた。やってきたリュウにあとをたのむとホワイト・ベースへ向う。ミライは後方から接近するザクを機転で倒し、ホワイト・ベースに飛びのったグフを背面飛行でふるいおとす。グフはガンダムのビームを巧みにかわし、盾を切りさく。アムロはグフをどうにか叩くが、その相手がレストランで出会ったラルだと知り愕然とする。ホワイト・ベースに戻ったアムロは独房に入れられた。必死に叫ぶアムロの声に、誰も答えようとはしなかった。怒りから序々にさめてゆくアムロの脳裡に、ラルの言葉がこだまする。



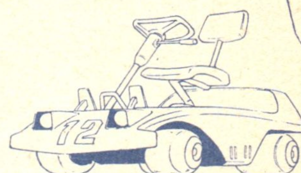
ジオン兵突撃スタイル



ジオン連絡機
コミュ

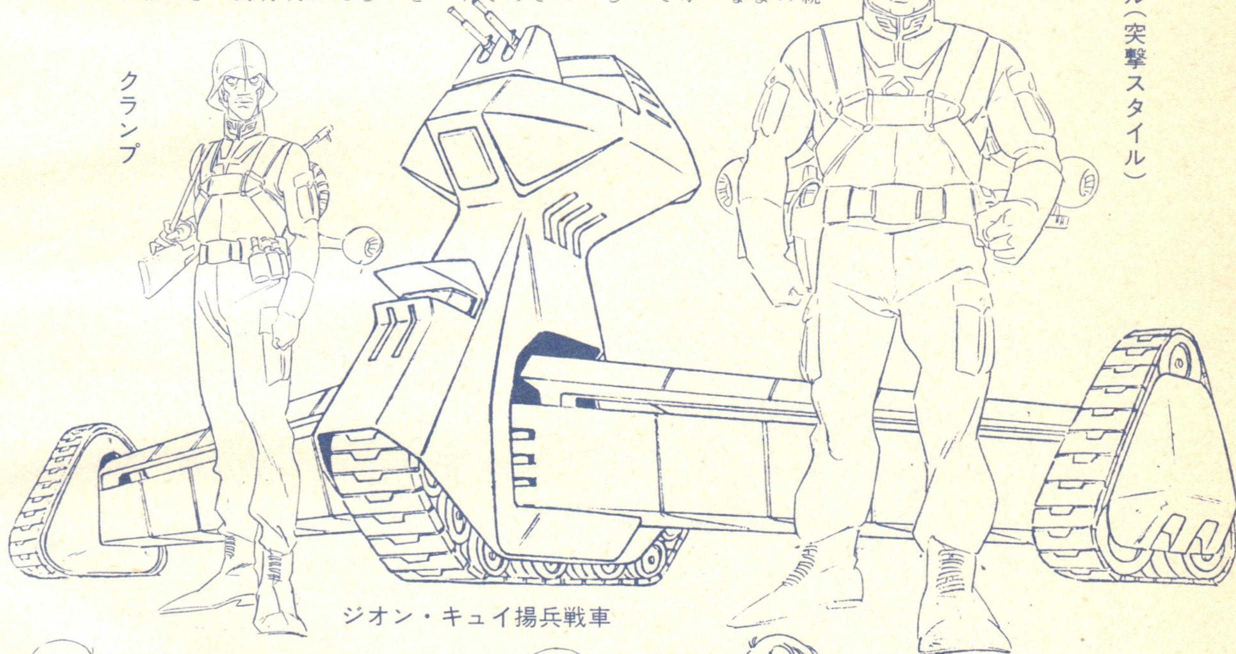


ウラガン中尉



マ・クベ基地の
エレカー

ラルの追撃は、あいかわらず続いていた。ホワイト・ベースの中には、不満といらだちで気まずい空気が満ちていた。そんな中、ハワド、マクシミリアン、カイ、ハヤトが、オフロードカーで、ホワイト・ベースを出て行ってしまった。リュウは、バギーで後を追い、四人を説得しようとする。その時、ランバ・ラルの攻撃が始まった。補給のドムを、マ・クベに握りつぶされたとも知らず、ラルは手持ちの武器で急襲をかけたのだ。それを見たカイたちは、ホワイト・ベースにひきかえす。一方、前方からのギャロップの接近を探知したホワイト・ベースは、セイラに、ガンダム発進を命じた。後部よりキュイで接近したラルは、船内に侵入する。アムロは、セイラと交替し、船に戻ったセイラは、そこでラルと再会した。姫!私をお忘れか!!動揺したラルは、弾丸に傷つき、作戦の失敗を知った彼は、兵をさがらせ、自らは、爆弾と共にホワイトベースの船外に身を躍らせ、壮絶な最期をとげる。ギャロップの中で、ハモンはラルの死を知る。そしてもう一人、リュウが敵の凶弾に倒れた。

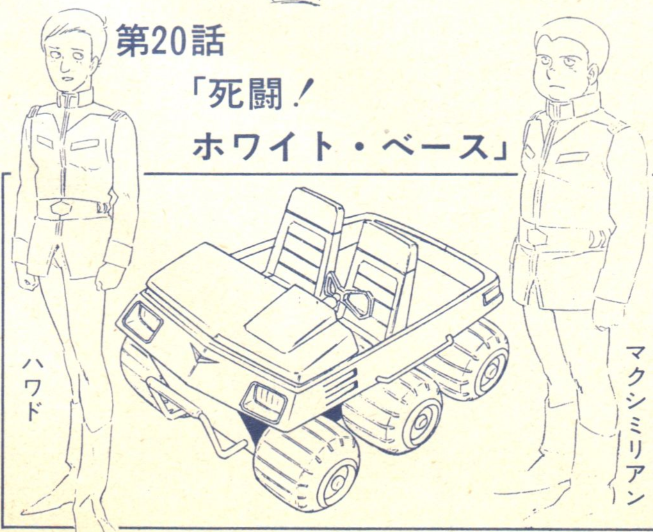


ラル（突撃スタイル）

クランプ

ジオン・キュイ揚兵戦車

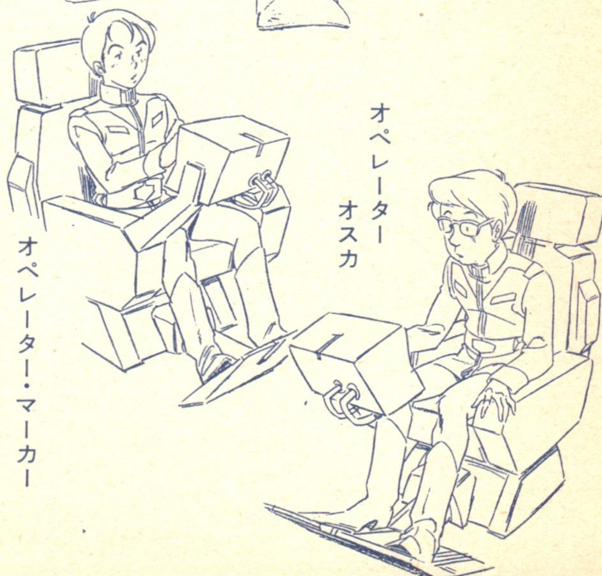
第20話
「死闘！ホワイト・ベース」



ハワド

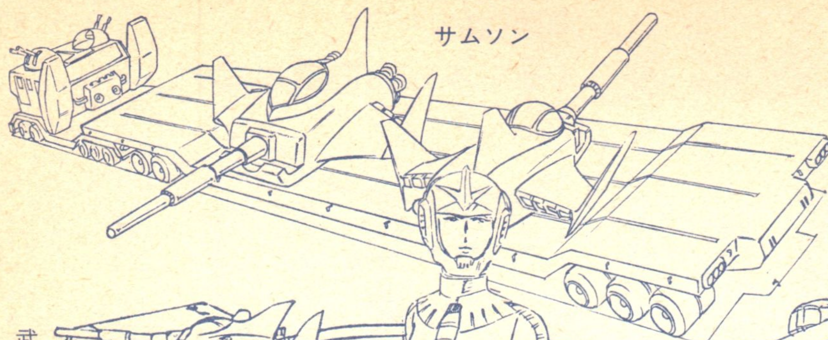
オフロードカー

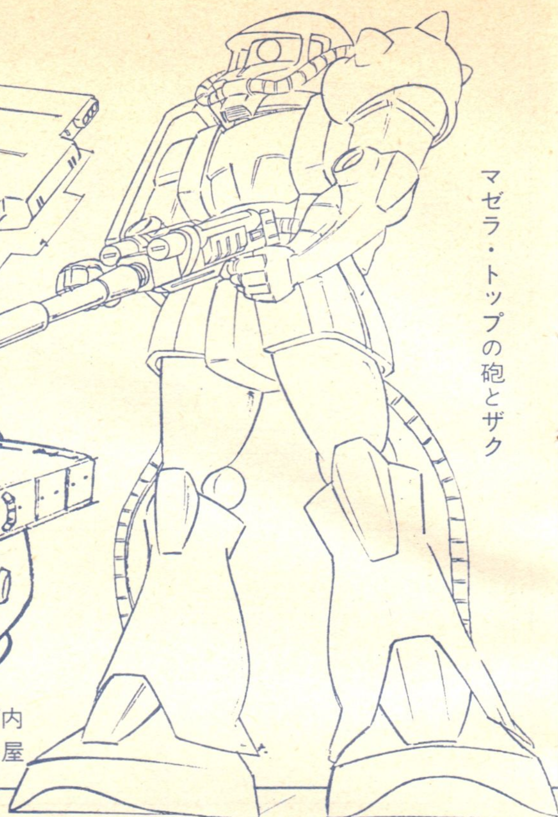
マクシミリアン

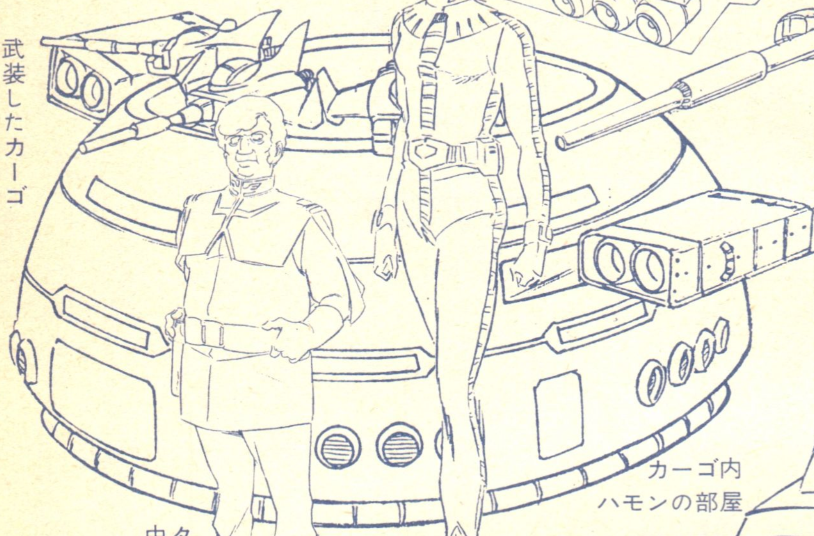


オペレーター・マーカー

オペレーター
オスカ

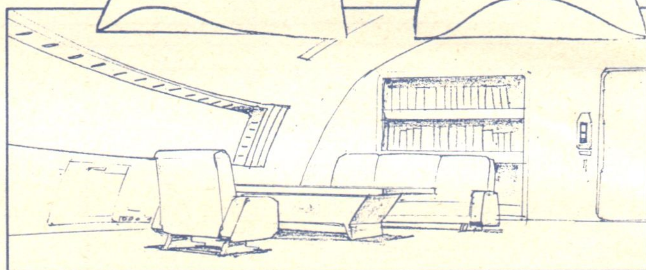

サムソン


マゼラ・トップの砲とザク


武装したカーゴ

タチ中尉

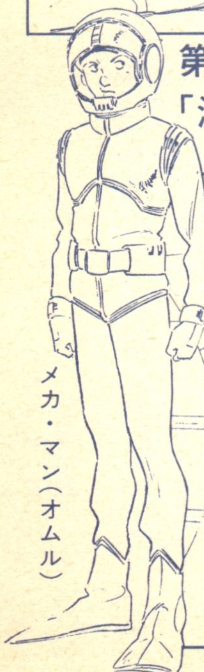
ハモン

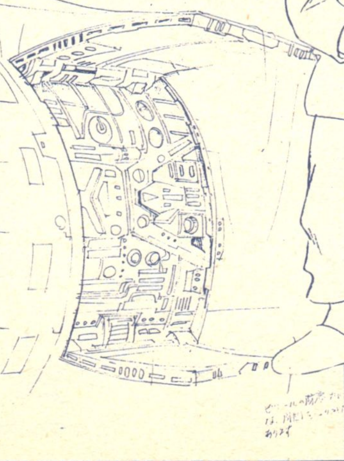

カーゴ内
ハモンの部屋



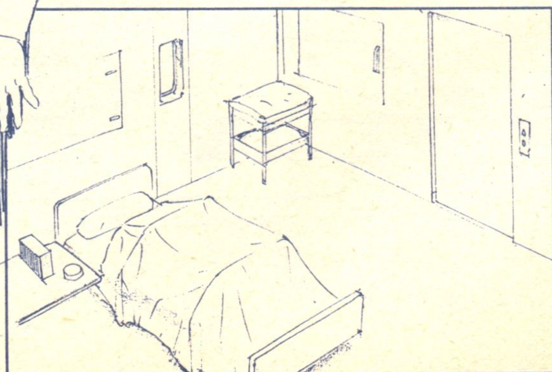
第21話「激闘は憎しみ深く」

ラルは死んだが、夫の遺志をついで、ハモンはホワイト・ベースの追撃を続けていた。マ・クベは明らかに好意的でなく、少ない物資で作戦を行なわなければならなかった。ザクにマゼラ・トップの砲を持たせ、カーゴにギャロップのエンジンを付け、タチ中尉を副官に攻撃を開始した。一方ホワイト・ベースは物資が尽きかけ、アムロは独房に入れられたままだった。ハモンの攻撃に、タンクとキャノンが出るが苦戦する。リュウの必死の説得に、アムロの出撃が認められ、アムロは整備中のガンダムで出る。ガンタンクは整備不良で動けなくなり、リュウはケガをおしてタンクに走る。爆薬を満載したカーゴを止めようとするガンダムに、トップの砲が光る。その時一台のコア・ファイターがトップに体当り。リュウがタンクより分離したものだった。

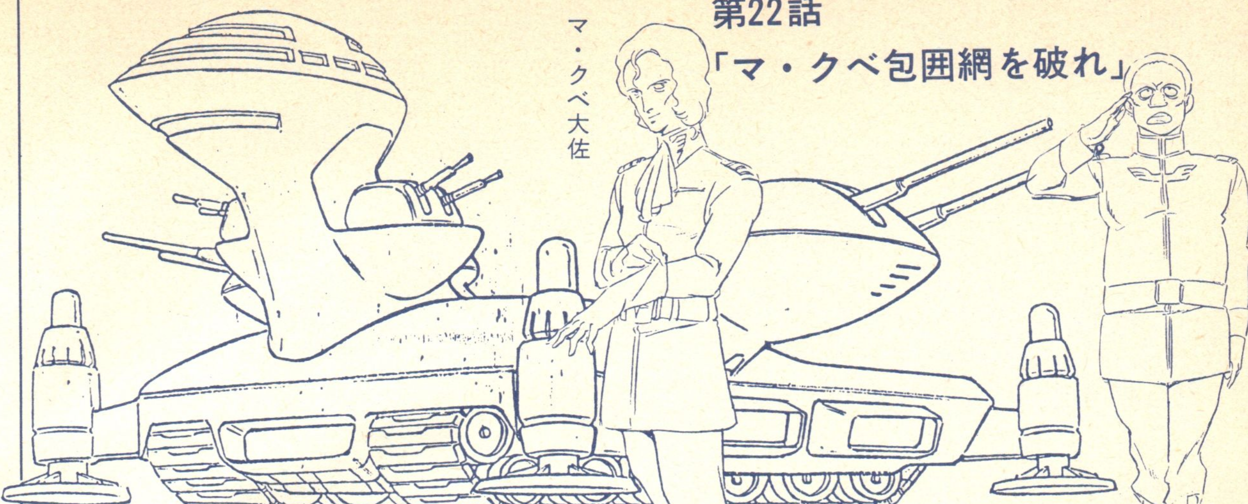

メカ・マン（オムル）


ホワイト・ベースエンジン


瀕死のリュウ


リュウの部屋

第22話
「マ・クベ包囲網を破れ」

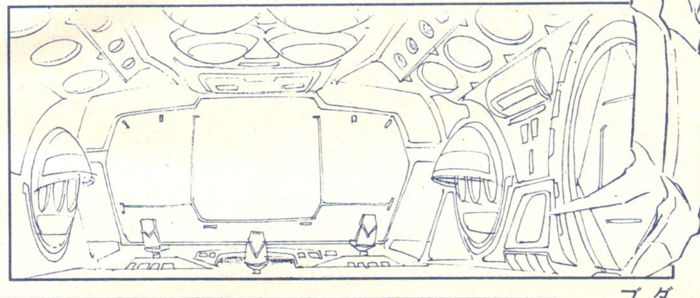


マ・クベ大佐

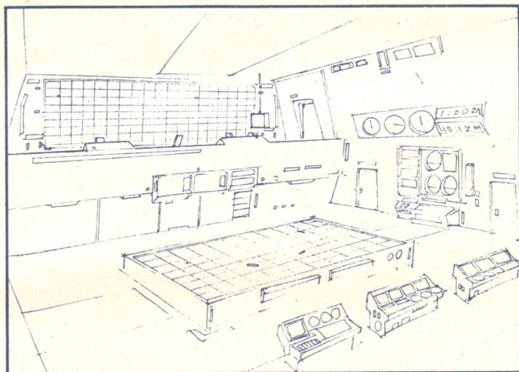
ジュダック（ジオン制服）

ジオンダブデ陸戦艇

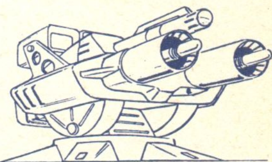
ホワイト・ベースは、中央アジアをヨーロッパへ直進していた。マ・クベの部隊との交戦のさ中ブライトは病に倒れた。マ・クベはホワイト・ベースによる被害の拡大に業をにやし、自らの手を下すことを決意すると、連邦に送り込んでおいたスパイ、ジュダックに、東ヨーロッパの連邦軍を極力おさえるよう命じた。金属装備をすべてはずし、探知不能の状態にした兵によって、ＥＣＭを破壊されたホワイト・ベースは、敵の探知に対して、全く無防備になってしまった。そこへ戦闘機が襲来した。ミライは、ハヤトとアムロをコア・ファイターで発進させた。不慣れなミライの指示に、アムロたちは苦戦をしいられる。戦闘中の空中換装にかろうじて成功したアムロはガンダムでドップをたたくが、ホワイト・ベースは、マ・クベの仕掛けたワナにかかり、エンジンを大破し、飛行不能になってしまった。擬装爆破でその場はしのいだものの危機は続いていた。



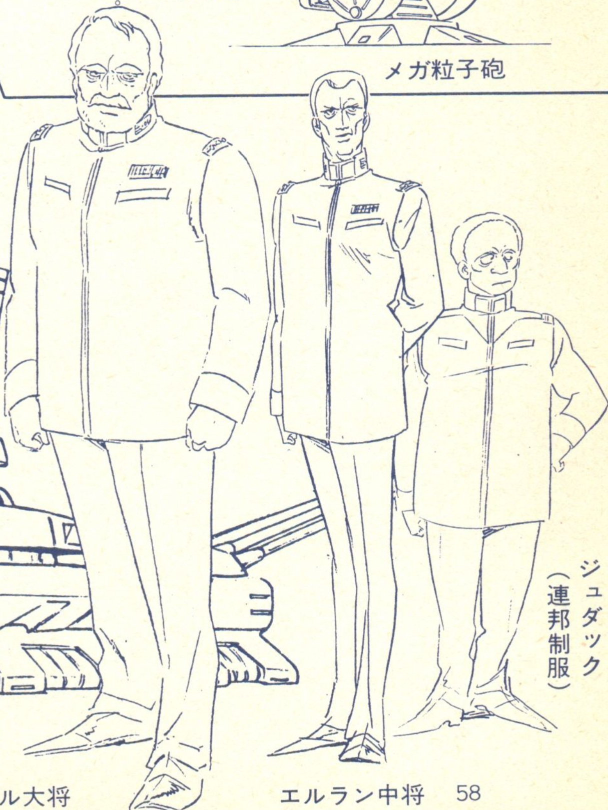
ダブデブリッジ



ビッグトレー内作戦室



メガ粒子砲



連邦陸戦艇ビッグトレー

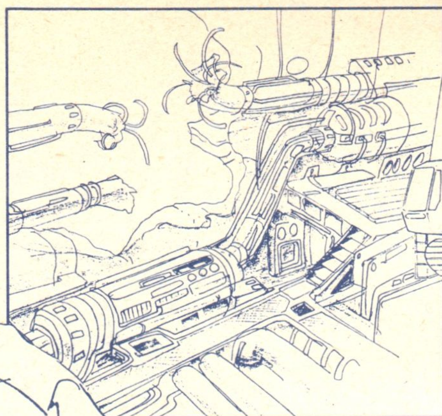
ジュダック（連邦制服）

レビル大将

エルラン中将

連邦自走
コンテナ

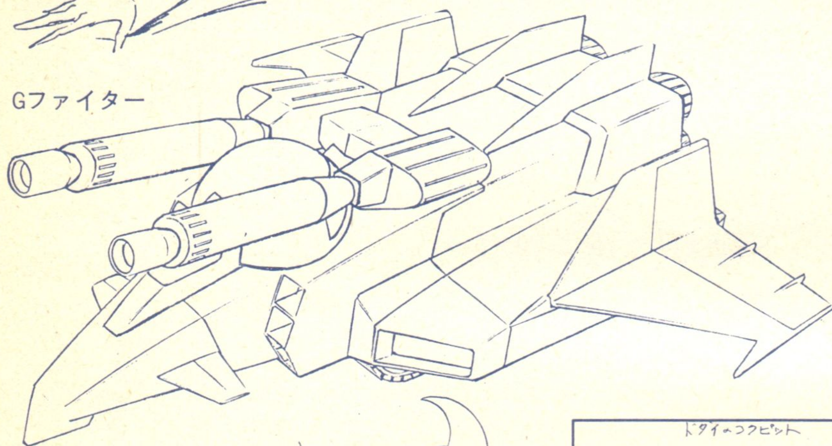
ブライト・ノア



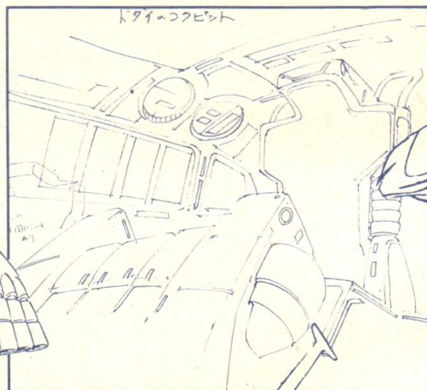
ホワイト・ベース
破損部

第23話
「マチルダ救出作戦」

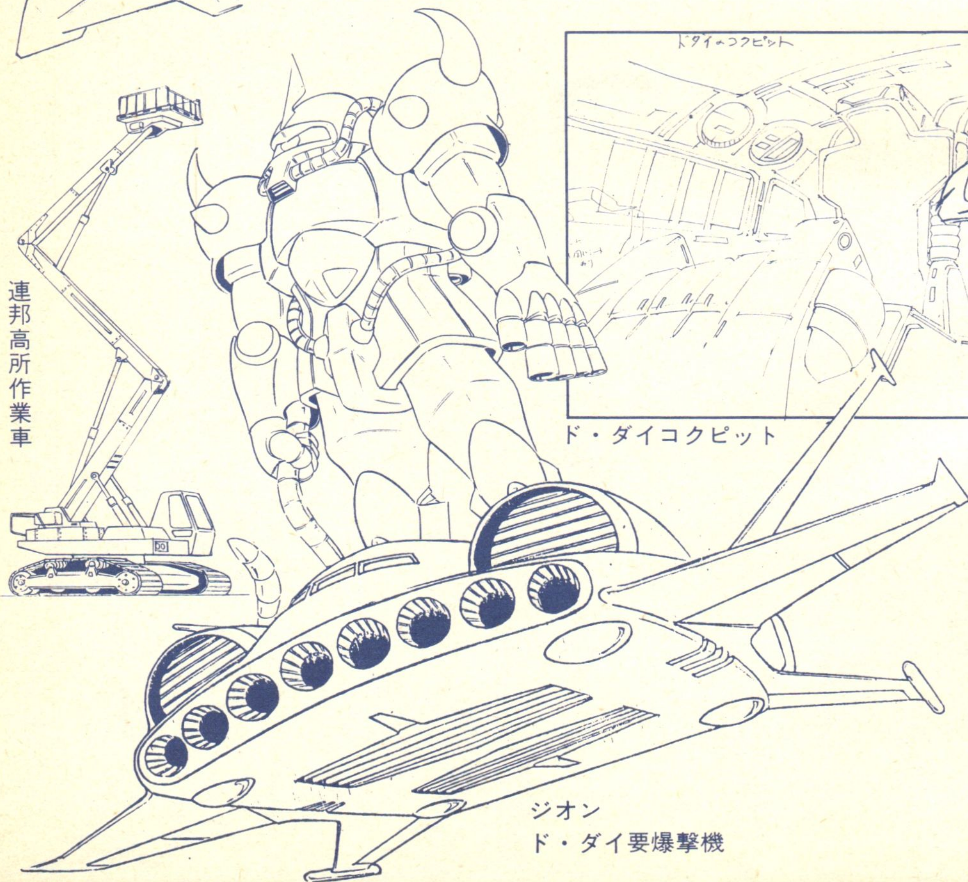
レビル大将は、マチルダにホワイト・ベースの修理及びガンダム用新パーツの補給を命じた。それを知った敵の内通者エルラン中将は、マ・クベにそれを知らせた。マ・クベはクリンク中尉に補給部隊を襲わせる。ミデア輸送隊からのSOSに、コア・ファイターと、ガンダムパーツをとう載したガンペリーが発進した。一方地上を、カイのキャノンが走る。グフに、コア・ファイターでは不利と知ったアムロは、ガンダムになるが、ド・ダイに乗ったグフに苦戦する。マチルダは着陸し、ガンダムパーツを引き出す。ハヤトは、Gファイターに乗ると、ガンダムを乗せて舞い上がった。けた違いの機動力を得たガンダムは、かろうじてマチルダ隊を救う。補給を受けたホワイト・ベースには、明るい空気が戻ったが、依然ブライトは病の床にあった。



Gファイター

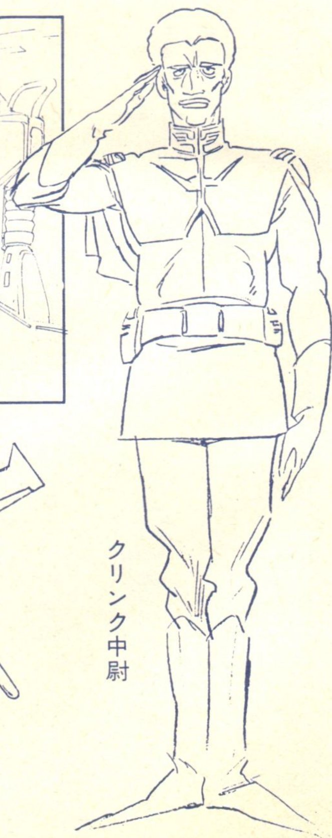


ド・ダイコクピット



連邦高所作業車

ジオン
ド・ダイ要爆撃機

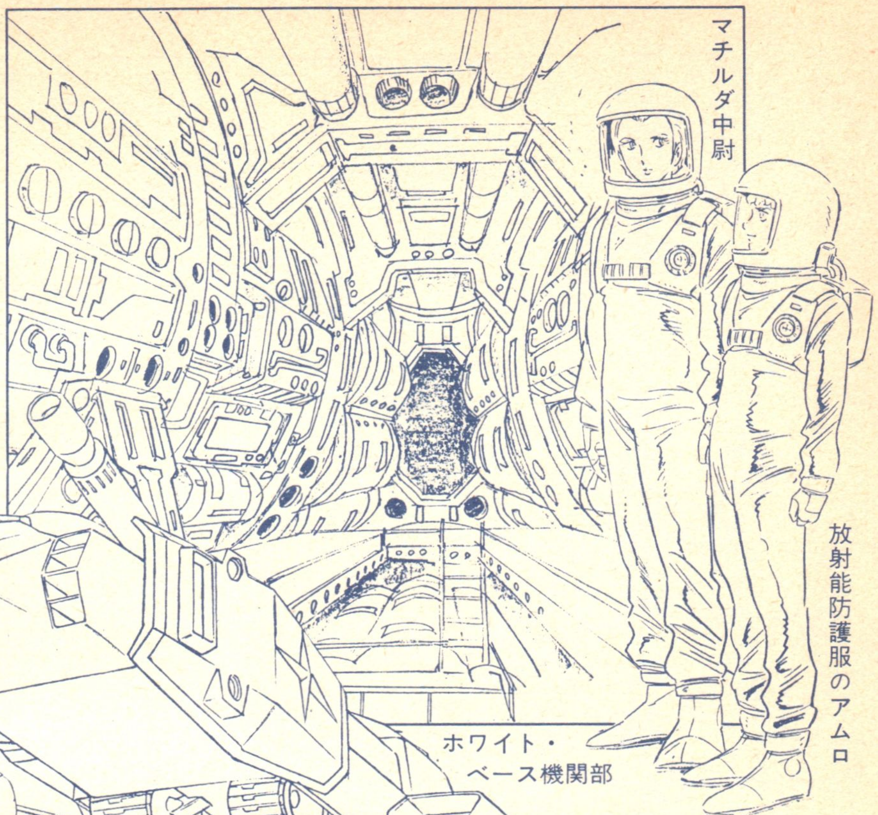


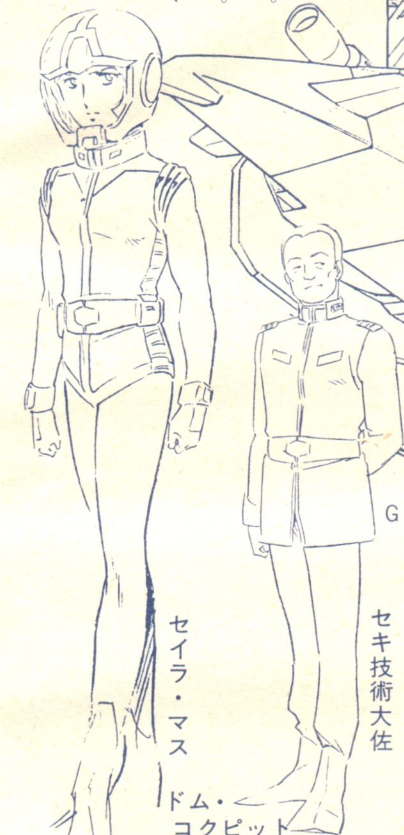
クリンク中尉

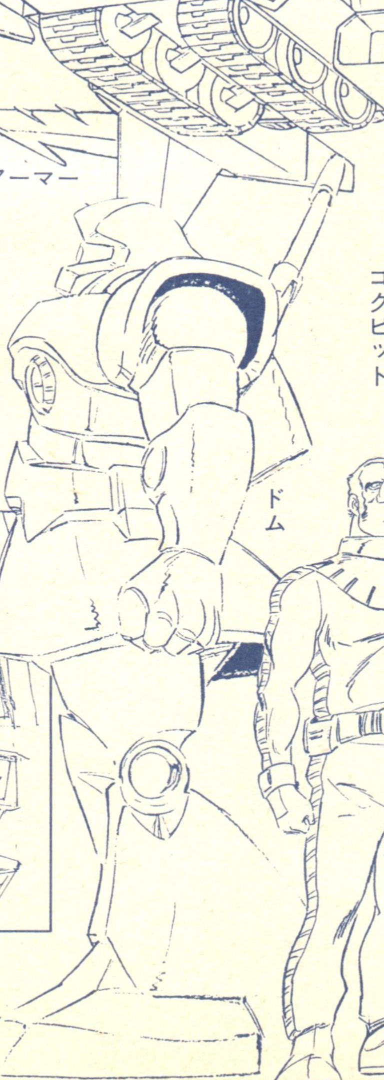
第24話

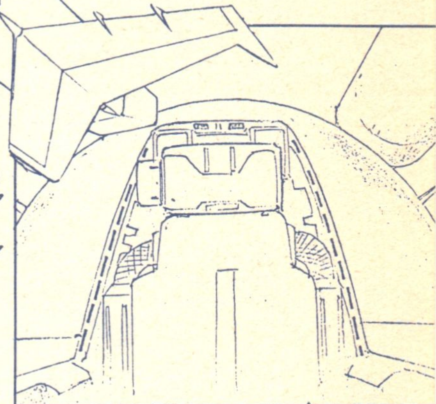
「迫撃!トリプル・ドム」

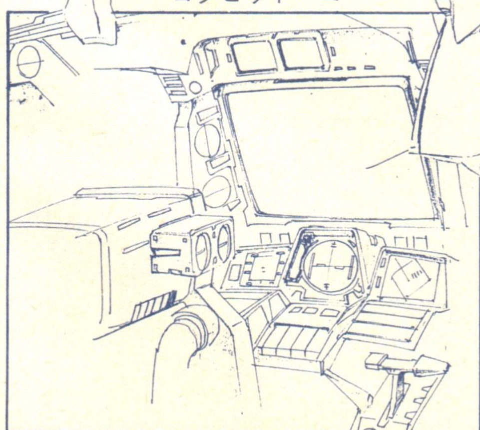
キシリアは、直属の部下黒い三連星をマ・クベの下へ派遣した。レビル将軍はオデッサ作戦の進行の遅れにいら立っていた。セキ技術大佐の指揮の下、ホワイト・ベースの修理は進んで行く。しばしの間のマチルダを身近に感じる生活に、アムロの心ははなやいでいた。そんな時、三連星のドムがホワイト・ベースを襲う。Gメカにセイラを乗せ、ガンダムを収納して発進するが、ドムのすばやい動きに苦戦する。アムロはGメカと分離してドムに向うが、ドムはジェットストリーム・アタックをかける。一度はかわしたが、二度目は……その時マチルダのミデアがドムに……



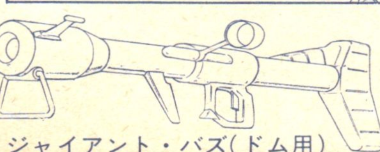


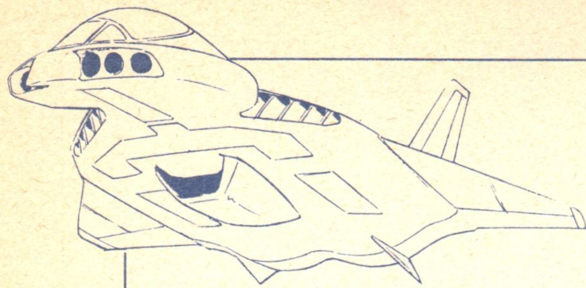




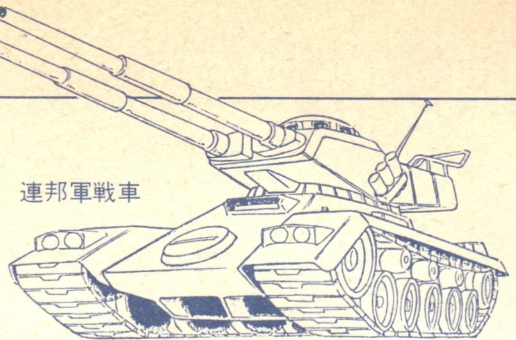





ジャイアント・バズ(ドム用)



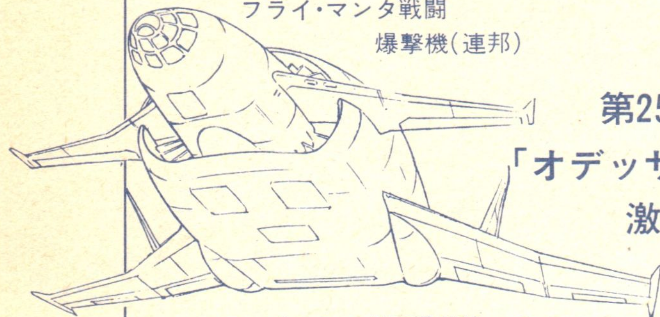
フライ・マンタ戦闘爆撃機(連邦)



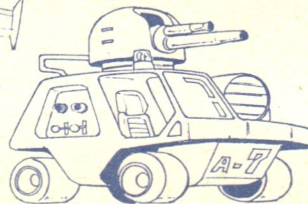
連邦軍戦車

第25話「オデッサの激戦」

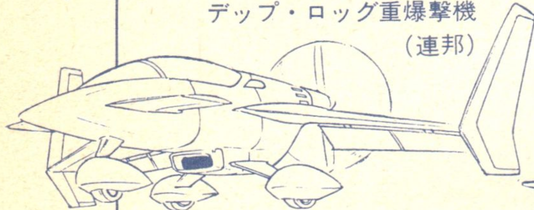
オデッサ作戦は開始された。マチルダ隊によって、ホワイト・ベースは戦線に復帰したが、マチルダを始め多くの犠牲を強いられた。その悲しみをついて、アムロはセイラと、Gアーマーの慣らし運転に出かけていた。そこで彼らは、ジオンの前線から飛び立つ連邦の連絡機を発見した。後をつけると、それはエルランのビッグトレーに着艦した。その時エルランはマ・クベより、オデッサ作戦開始と同時に裏切れとの指令を受けていた。アムロの働きによって、エルランの裏切りが発覚し、レビル軍のみに戦力を集中していたマ・クベ軍は危機に追いこまれた。マ・クベは条約で禁止されている水爆ミサイルを使うとレビルをおどすが連邦の進行は止まない。発射されたミサイルを使用不能すべくGスカイに乗ったガンダムが行くが、マッシュの復しゅうをすべくドムが追う。アムロは、からくもミサイルを撃破しドムも破る。



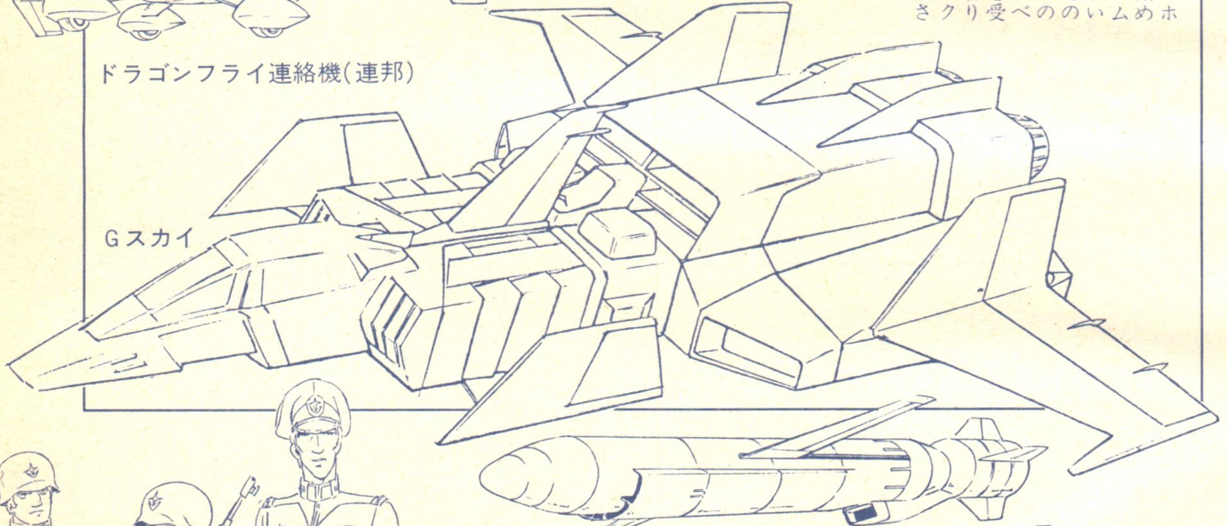
デップ・ロッグ重爆撃機(連邦)



ホワイト・ベース消防車

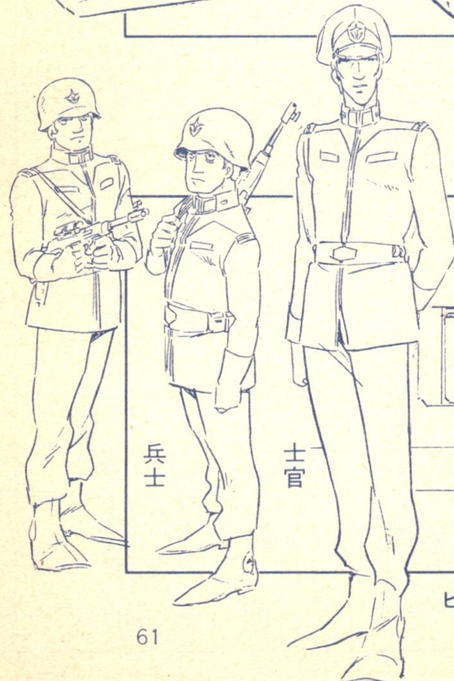


ドラゴンフライ連絡機(連邦)



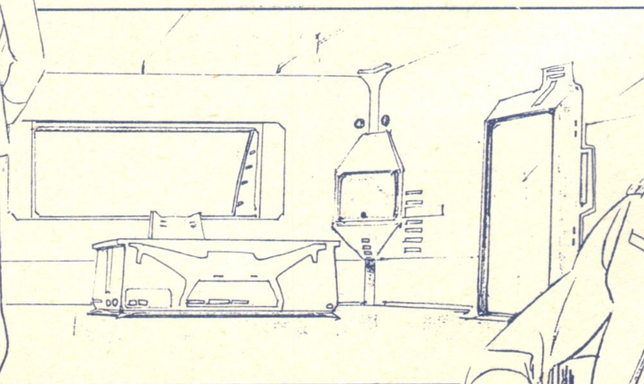
Gスカイ

マ・クベの水爆ミサイル

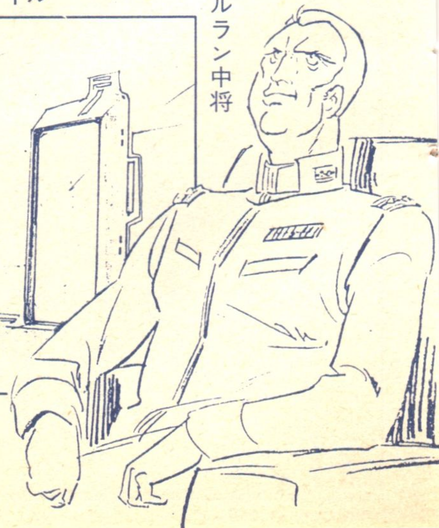


兵士

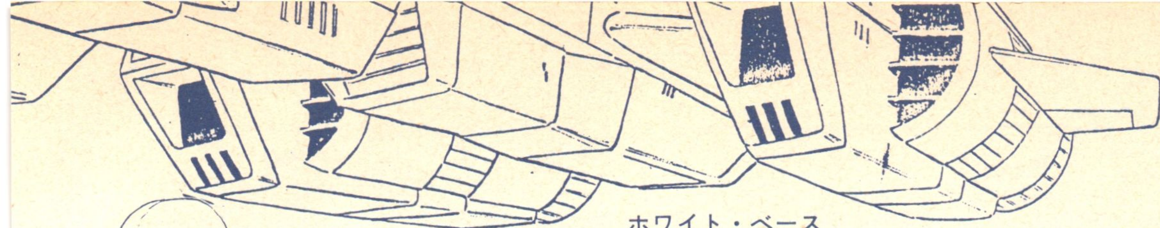
士官



ビッグトレー内エルランの私室



エルラン中将



ホワイト・ベース

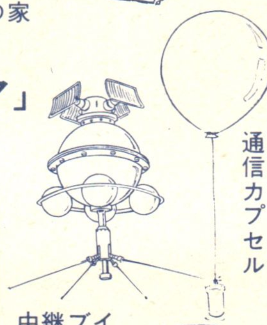
ジオン軍の女スパイミハルは、自分の家の上空を通過する連邦の戦艦を発見し、すぐさま情報収集艦に連絡を送った。それこそ、オデッサの戦いで受けた傷をいやすため北アイルランドの補給基地ベルファストに着いたホワイト・ベースだった。そして海底に潜むマッド・アングラーで、その情報を受け取った者こそ、キシリア配下に転属された、シャア大佐であった。シャアは水陸両用のゴッグで、基地攻撃を開始した。一方基地には、レビル将軍が到着し、ホワイト・ベースを正規軍にすると告げた。ゴッグの攻撃にアムロは、ガンダムで出るが、敵の装甲は厚く馬力も強い。アムロはGブルを使って一台のゴッグを倒す。残った一台をGアーマーで追うが、敵は海中へ逃げる。アムロはガンダムを分離させ、海中へ入る。しかし敵の動きは予想外にすばやく、苦戦を強いられるが、サーベルでこれを倒した。



ミハル

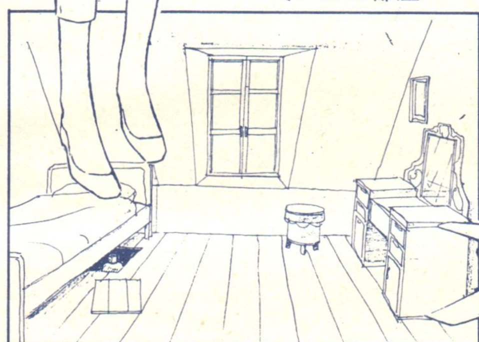
ミハルの家

第26話
「復活のシャア」

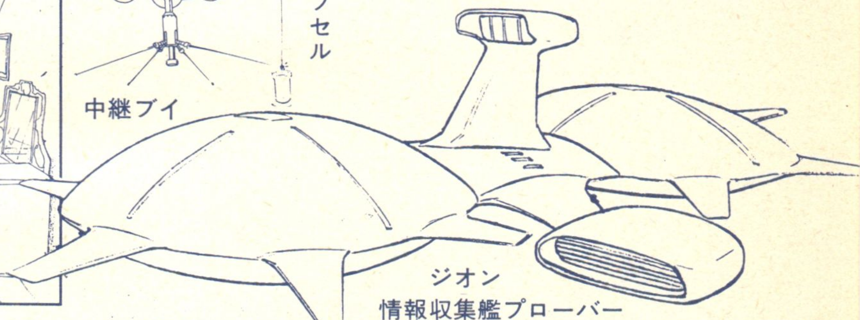


中継ブイ

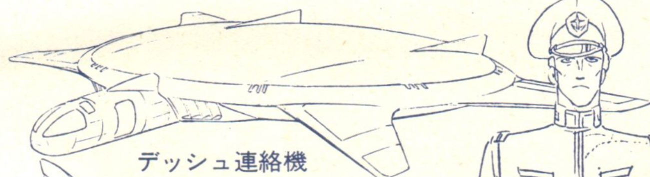
通信カプセル



ミハルの部屋



ジオン
情報収集艦プローバー



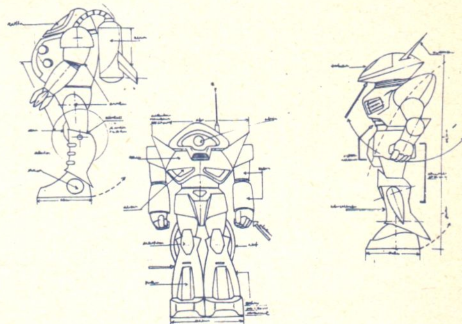
デッシュ連絡機
（連邦）

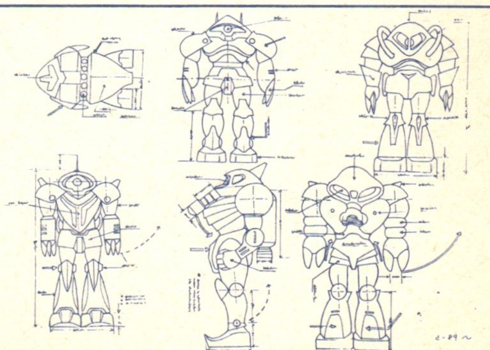


レビル付士官

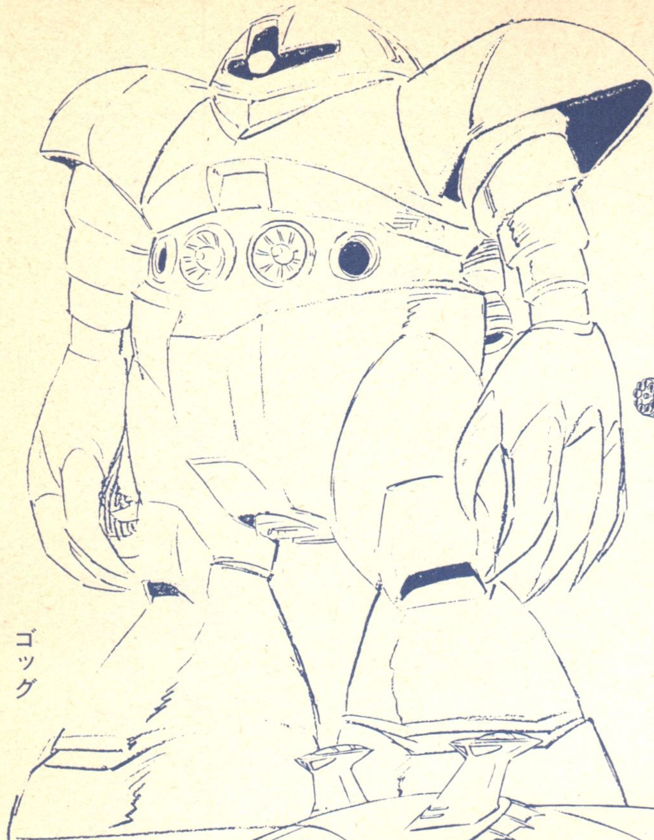
ホワイト・ベースのドック

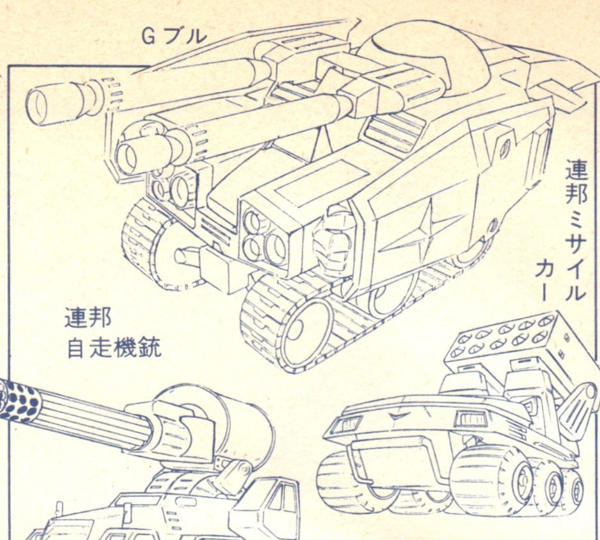
ベルファスト基地司令





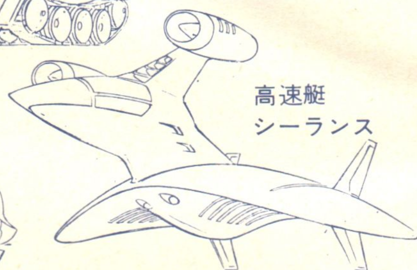
ジオン　開発中のモビル・スーツパターン


ゴッグ


Gブル

連邦ミサイルカー

連邦自走機銃

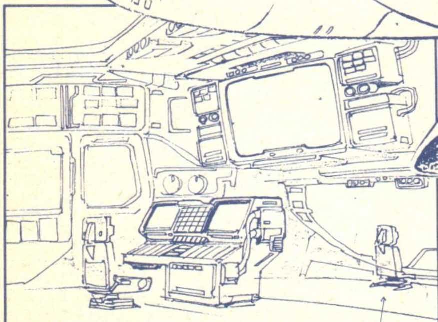

高速艇シーランス

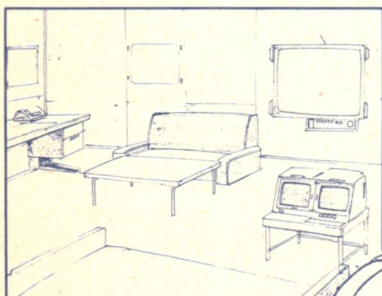

ジオン潜水艦

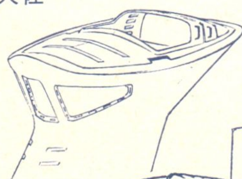
マッド・アングラー

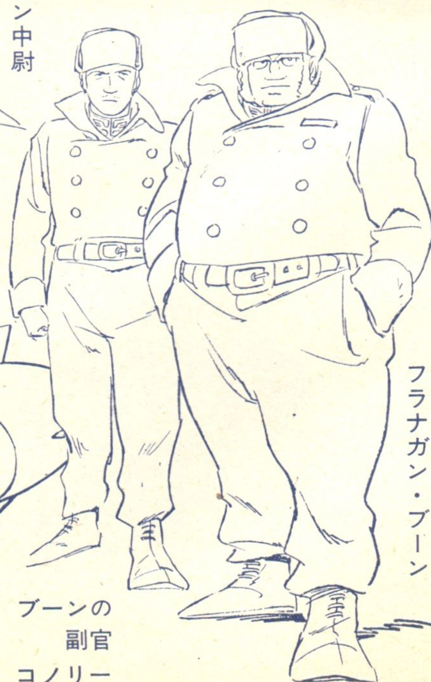
マリガン中尉

シャア大佐

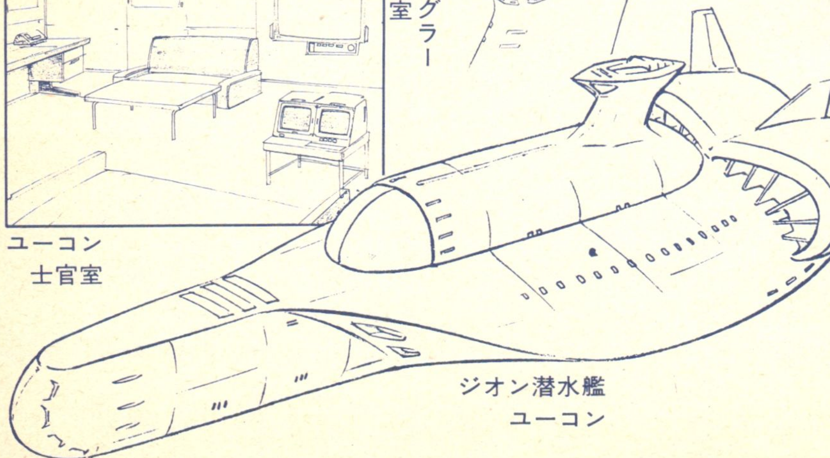

▲アングラー指令室


ユーコン士官室


ユーコンブリッジ


フラナガン・ブーン

ブーンの副官コノリー


ジオン潜水艦ユーコン

アニメックオリジナル対談、またまた登場！

「機動戦士　ガンダム」の最後はどうなるか？

総監督・富野喜幸

ガンダム終了決定！

なんと一月いっぱいで機動戦士ガンダムは終ってしまうのです。ガンダムの最後はどうなるのか？　数々の謎は解明されるのか？　ファンにとっては気になることばかりです。再度、戦場のような制作現場をたずねて、総監督の富野喜幸氏にガンダムのお話をうかがいました。〈編集〉

編集　おじゃまします。ところでガンダムが3クールになったそうなんですが……（注・1クール＝13回）

富野　正確には3クールと1か月です。1月いっぱいまで放映ですね。決定が遅れたので最後を全部やり直さなくちゃいけないんです。あの雰囲気がガラッと変わって最後の10本ぐらいはかなりシビアになるでしょうね。

編集　スケジュールがかなりきついのではないですか。

富野　いかんせん1月終了ってどれくらいかってことは、12月いっぱいで作画がほとんどおわらなきゃいけないのですが、全部ずれこんでいるから暮、正月はちょっと辛いですね。それに実は今日安彦君が倒れたって連絡があったんです。昨夜病院にかつぎ込まれたらしく……過労なんですって。なにしろ人気者になってしまって……。

編集　朝日ソノラマさんの、春からのクラッシャーのアニメ化はどうなりましたか？

富野　そんな話あるんですか？

編集　うわさでは作監が安彦さんで演出は富野さんとかいう話で……。

富野　知らないですよ、そんな話。第一、今のサンライズがクラッシャー・ジョウをやるわけないですよ。

◇◇◇◇◇◇

編集　今日は読者からの質問を持って来ているんです。テレビを見ていれば必然的に理解できるという事項は事典に入れたのですが、テレビから推察できない部分の説明をうかがいたいのですが……。

富野　それが一番困るんだよね。説明しきれないこともあるし……シャアのキズなんて解決してないですしね。

編集　ポスターも見えるものと見えないものがありますからね。ガンダムフェスティバルのときの富野さんのお話を聞いて、ビデオを見直したけれど、やっぱりなかったなんて話もあるし…。

富野　あたり前です。あるわけないんだもの。でも2話にあるなんてことはあの時言いませんでしたよ。ただ帳尻を合わせたいなあという話で……それさえ今はヤバくなって来てます（笑）。キズないんですよねェやっぱり……。

編集　では。アムロの父テム・レイは生きているかも知れないという話を前にうかがったのですが、今後出て来ることありますか？

富野　まちがいなくテム・レイは登場します。アムロと再会して別れちゃいます。それはガンダムの話とは全然関係ないんです。本筋には関係ないかもしれませんが、アムロ自身の問題としては大変重要なことだと思える置き方になっています。この本が発売される頃、テム・レイが出て来ます。

編集　これはもう言いまわしの問題だと思うのですが、ジオン・ズムは本名がダイクンなのですか？

富野　それはジオン・ズム・ダイクンが正式名です。ズムはミドルネームということですね。大君と書かずにダイクンと書いて下さい。ガンダムではいっさい漢字は使いません。

編集　サイド7が攻撃される前に一週間戦争というものがあったことになっていますがその説明をお願いします。

富野　四つのサイド、サイド1、サイド2、サイド4、サイド5が同時に攻撃されて、この戦争が一週間かかりましたので、一週間戦争です。

編集　そのうちのサイド5戦線をルウム戦役といってるわけですか？

富野　そうです、一週間戦争でサイド5だけを落としそこなったものですから敵も味方もルウム戦役という特別な呼び方をしているんです。全然説明していない話なのですがサイド1、サイド2、という大変物理的な呼び方だけではなく、各サイドには愛称がついていて、サイド5はルウムと呼ばれていたんですよね。

——編注　ガンダム㊙資料

各サイドの名称（初期設定より）
サイド1（ザーン）、サイド2（ハッテ）、サイド3（ムンゾ）、サイド4（ムーア）、サイド5（ルウム）、サイド6（リア）、サイド7（トア）、ルナツー（小惑星ユノー）

編集　サイド6は今のスイスみたいに永世中立国のようになっているのですが、これから後サイド6が舞台に登場するということはありますか？

富野　登場します。一つはアムロのお父さんの話にからめて出て来ます。それは番組を見てください。彼はサイド7から流されているところを、どこかの宇宙船に助けられたらしく、サイド6で生きながらえていて、アムロにショックを受けるような生き方をしています。

編集　アムロ本人は名前からすると日系人なのでしょうか？

富野　正直いってちょっとわかりませんね。僕が日本人ですから、日系であってほしいと思っています。

ザビ家の三男は死亡していた

編集　ザビ家の三男が抜けていますが戦死でもしたのでしょうか？

富野　これもガンダムの物語に全然表れていないのですが、ザビ家がジオン・ズム・ダイクン一派を掃討した仕返しにダイクン派の何者かに暗殺されたのだろう、ということになっています。テレビではわかりませんが（笑）

編集　連邦の宇宙軍は現存しているんでしょうか？

富野　存在しています。それは、ルナツーを中心にした空域というふうに考えていただいてけっこうです。

編集　するとルナツーはまだ生きているんですか？アニメックでは港が爆破され、最高責任者が脱出したものですから廃棄されたと書いたんですが……。

富野　ルナツーは生きています。でも廃棄されたと書いてあってもいいんです。一時期そういう状態にあったのは確かです。ただあれだけの規模ですからそれを完全制圧するだけの余裕がジオン軍にあるとは思えませんしね。ルナツーに関していうならば、おそらく基地の機能を完全に殺してはいなかったでしょう。それと同じようにサイド6の話の後でテキサスというコロニーが出て来ます。昔のルウムがあった所に残っている特別なコロニーなんですが、そのテキサスコロニーはどうして特別かというと、観光コロニーなんです。アメリカ開拓民みたいな生活を宇宙植民島の人に楽しんでもらうもので野宿することもできるんです。これでは戦略的な価値がないということで無視されていたかもしれないし、またそうではないのかもしれません。……まあそういったコロニーが一つぐらい生き残っていてもいいでしょう。

テキサスはほとんど無人に近いという想定になっています。シャアが「コロニーの管理省の役人だけはいる。それじゃあほとんど無人なんだな。」という言い方をしています。

ルナツーもこれと同じように将来また使っていくための最低機能を維持しているでしょうね。一時期ルナツーを放棄する形をとったとしてもそれはジオンに対してのダミーだったという考え方をしてもいいですね。

編集　たとえ無人のサイドとはいえ、内部の動植物が一定のサイクルで循環していなければなりませんから、自転

オニールのスペースコロニーは「宇宙植民島」という題で一冊1200円で発売されています。ガンダムファンは一度読んでみると良いでしょう。細かい点が理解できますよ。

機構と散水機構だけは残しておかなければ再使用はできませんね。

富野 ところがテキサスはその辺が半分死んでる状態です。つまりミラーの自動調整がきかなくて、夕暮れ時のままこの八か月ぐらい固定されています。自転だけはしていますが、ほとんどコロニーの内部が砂漠化し始めているという描写をしています。

編集 例のオニールのスペースコロニーなんですが、僕は翻訳しか読んでないのですけれど、訳が良くないですね。見出しに「島の人口一千万人」て書いてあって中味は違っていたり……。

富野 それでまいったんですよ。あれはゆくゆく大きなタイプを作れば最大一千万人なんですよね。サイド7に一千万人も住むと、東京以上の人口密度ですものね。ただしサイド7はあの地点の最初のコロニーですから一万人単位の人間しか残っていなかったでしょうからいいですけど……。

編集 ほかはもっと大きいコロニーなんじゃないですか?

富野 そうですね。それからサイドに関してもう一つ説明していないことがありまして、一つのサイドはだいたい四十ぐらいのコロニー群から成っているというふうに想定してますので、一千万が四十で四億でしょ、サイド7までができても二十八億人、ちょっと足りないんですよね。



編集 サイド3なんですが、あれはミラーを閉じてしまって、あとから外部の太陽電池で電力を取り入れているのでしょうか?

富野 その開発プロセスははずして考えてますけれど、ミラータイプをそのまま使ってあのミラーを封鎖していって人工太陽にしたタイプもあれば、ジオンが戦争前にかなり移民を奨励していたと思いますから、その人口増加に伴なって作った純然たる密閉タイプというものもあるでしょう。

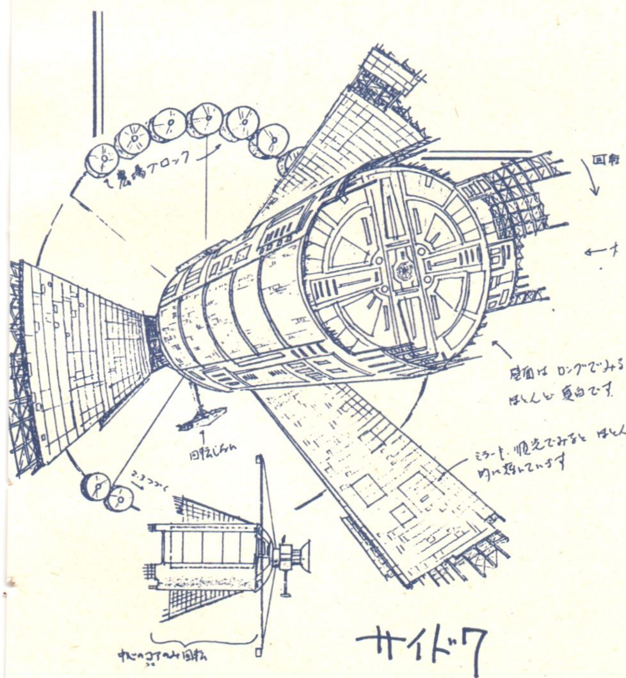
編集 ジオンタイプのコロニーは陸地は倍に使用できても人工太陽を使用するエネルギーロスは馬鹿にならないと思うのですが?

富野 それは大変効率の良い太陽電池が開発されるだろうと期待したいです。それとも一つ、そのソーラシステムのコロニー自体を利用してエネルギー放出システムにしたんです。つまり武器でなく作ったものを武器にしてしまったという考え方がえらく気にいってましてね……(笑)

編集 もともとコロニーを建設した目的の一つが太陽発電所の建設、にあったんですからね。そのビームを強力にすれば相当の兵器ですね。

富野 単純に言えばそうです。それは結局密閉されたコロニー内部にエネルギーをためて「鉄腕アトム」じゃないけれど封じこめを解除したときに直径6キロとか10キロのレーザービームが連邦軍を壊滅させるというのは発想としては素敵でしょ?

それとも一つ、秒針の半分とか四分の一のスピードでサイドが回転するのはアニメーション作画することはできないんです。それならせめて連邦側のコロニーとジオンのコロニーを色分けしようと、密閉タイプ、イコールジオンという明確なものを設定したわけなんです。



あなたの闘いがなければ、私たちもやられていたわ。ありがとう……あなたは、エスパーかも知れない。

——第9話　マチルダの台詞より——



編集　一つ引っかかることがあるんですが、ガンダムの世界のエスパーの位置づけというのは、どうなっているのでしょうか？

富野　それに関してはものすごく大雑把な言い方かもしれませんが、現在でいうエスパー、超能力者と同じ程度の扱いか、それよりやや高い扱いです。存在を認知した機関があるけれども一般的には認知されていないという考え方です。そうしないとニュータイプという言い方がぼやけてしまいますので意識して回避しています。

編集　それがシャアの連れて来る宿敵になるのでは？

富野　うーん、ララァ・スンという娘が出て来ます。この娘がニュータイプの最も先がけとなるタイプで、アムロが彼女と出会って戦闘していく中で、ニュータイプ部分の意識が互いに共振しあって二人のニュータイプとしての認識が拡大していくんです。とくに戦いの中でその部分が極度に肥大していきます。つまり人間というのはこんな戦争をしていても、それほど悲観したものじゃないんだよ、といった部分を浮かび上がらせていくようなおわらせ方をしていきたいと思っています。

これがガンダムの本当の話です。エスパー論にやや近くなって来ますが、何故エスパーという言葉を避けているかというのには、もう一つ大きな理由があります。これはニュータイプの考え方をエスパーという特異なものとしたくなかったという考えなんです。人類全体がニュータイプとして変わっていくことができるのではないか、という可能性を見せたいし、そうしないと我々みたいな凡俗は結局落ちこぼれて行くのかなっていう絶望的な思いにかられますので……我々自身もやはりそういうふうに変わっていくんじゃないかなって思いをガンダムでやってみたかった、というのが一番の思いですね。それがテレビ画面にどういうふうな形で表われて描かれるかな、と見ていただければいいのではないかな、と思っています。

編集　富野さんの場合、以前から「作品を全部見てくだされば、もう私は話すことがありません！」という主義主張がおありなので、制作途中であれこれおききするというのは心苦しいのですが、ガンダムの総論といったものをお話しくださいませんか？

富野　その主張は今でもありますよ。今でもあるから辛いんですよ本当はね。こんなふうに話をするのはものすごくいやなのね。(笑)

そうですねえ。とにかくガンダムっていう話はさっきのララァとアムロの話が、いきつくところの話なわけです。

要するに、敵対するという意識を持って見ていると、やはり違う敵である。しかも女であって……何故アムロがそういった敵でない敵と戦わなきゃいけないかってディティールを、結局テレビでごらんください。という言い方しかできない気がするんです。

ただガンダムが全部おわった時に、あれもわからない、これもわからないと思われる人がいるかも知れませんが、一週間戦争は何なのか、ルウム戦役は何なのか、それがどういう意味を持つのか、といえばいっさい意味を持たないわけです。あくまでも枕言葉でしかなくって、そんなものは知る必要はないんだとふっきってもらえるという自信はあります。だから一番いやなのはその途中経過で、すげない顔をしなくちゃいけないことなんです。

編集　すいません……。最後に制作サイドからのメッセージをお願いします。

富野　ガンダムの場合、大変兼用とかバンクが多いですね。にもかかわらずスタッフが大変疲れてきています。絶対に人手不足で始まったんで……そこはもうジオンや連邦と同じなんですがそれだけではなく、こういうテーマでのドラマの進め方がスタッフに対してあからさまにプレッシャーをかけていますねえ、しかし作画監督の安彦君が倒れようが、それによって絵がひどくなろうが一月いっぱいオンエアしなくてはならないんです。少なくともシロミではオンエアできませんしやらざるをえないのが我々スタッフの立場です。

そんななかでもガンダムのストーリーを進め、来たるべきニュータイプの話を描いて作っていきます。それに関しては、むしろ視聴者の若い人たちにその次の解答をつくっていただく以外ありませんね！

編集　おいそがしいところ、お邪魔しました。

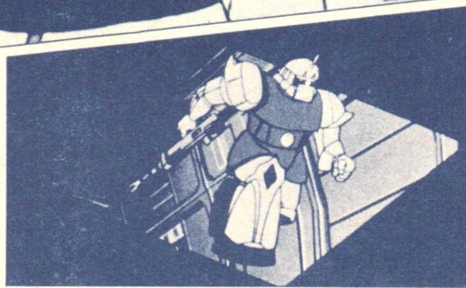
——昭和54年10月8日午後5時——

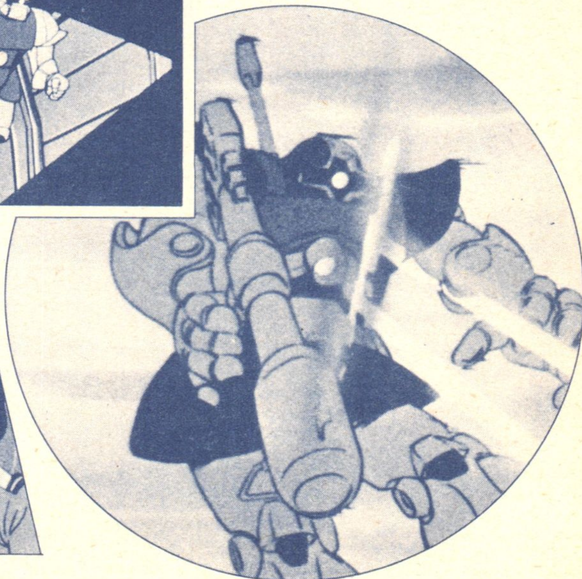
アニメック9号解説

昭和54年12月25日発行の9号からは27話～33話の設定ストーリーのみを再録しました。カラーページに関しては「ガンダム記録全集」が出版された今となっては、それ程の価値がないと判断して割愛しました。

27話からは、ゲストキャラ及びメカの多さ、ストーリーの複雑さが増し、ページ割りに苦労しました。（第33話のエピソードは地獄です。）

9号のQ&Aコーナーからコロニー内部に働くコリオリの力をめぐって論争が始まったのは記憶に新らしいですね。P81からのカラーページは、各号の評判の良かったものを再録しました。



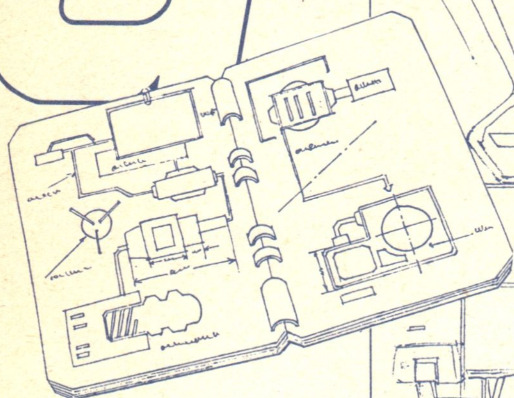


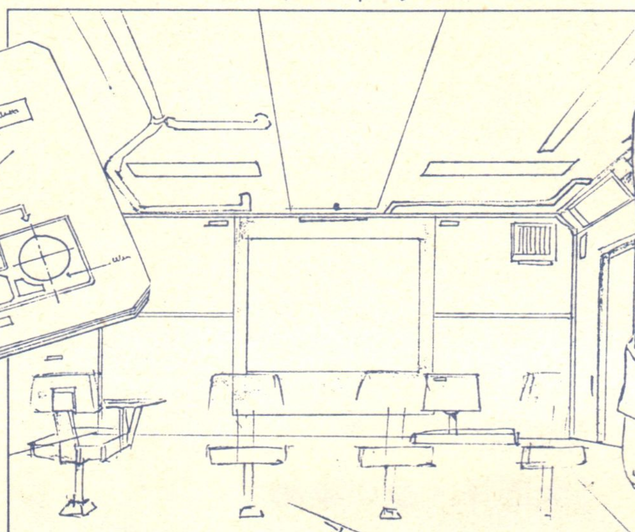


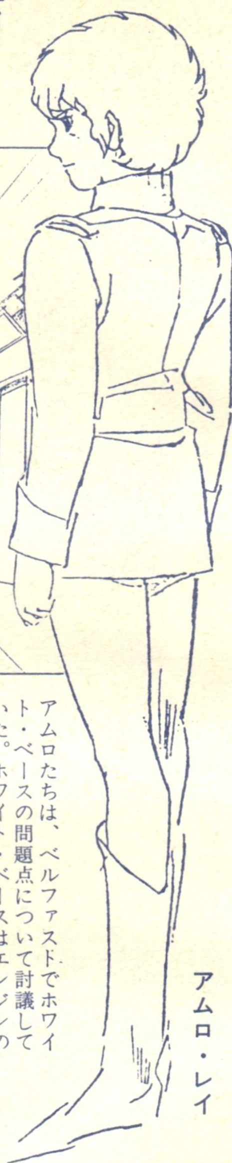
機動戦士
ガンダム
GUNDAM

設定・ストーリー

第27話～第33話

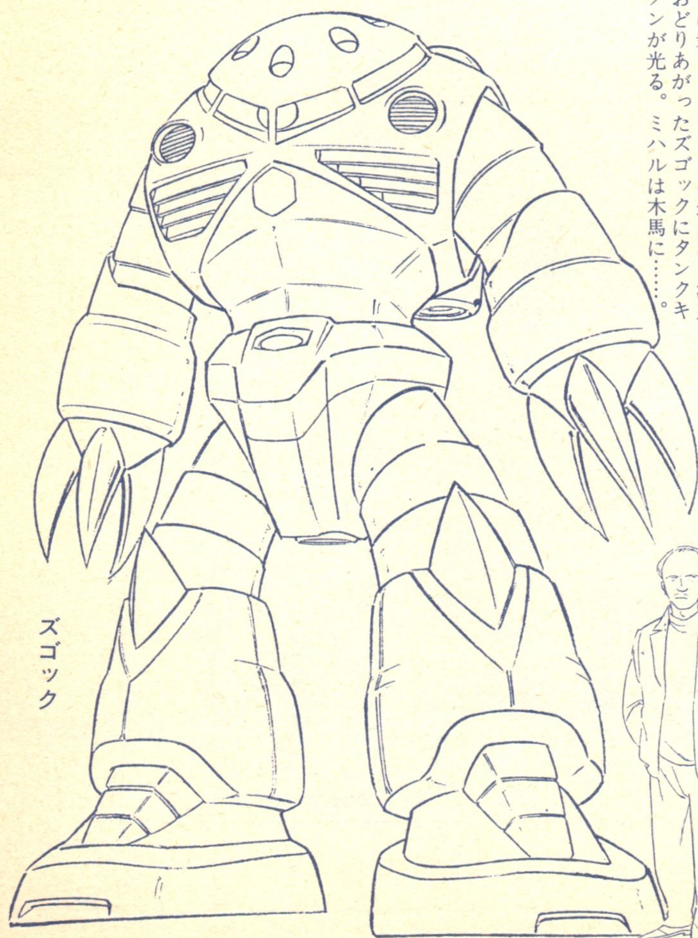

Gメカの
テクニカル
マニュアル


ホワイト・ベース
ブリーフィングルーム


アムロ・レイ

アムロたちは、ベルファストでホワイト・ベースの問題点について討議していた。ホワイト・ベースはエンジンの修理の終わった後、南米のジャブローに移動することになっていた。しかし、カイはホワイト・ベースを出て行く。そんなカイにミハルが声をかけた。小さな弟と妹だけで暮らしているミハルにカイは同情をよせる。シャアはミハルをホワイト・ベースに潜入させるよう指令を出し、コノリーがミハルと接触する。ズゴックによる基地攻撃にガンダムとGスカイ、それとハヤトのキャノンが出る。カイはいたたまれなくなり基地へ戻ると、修理の終わったタンクに乗る。ガンダムに追われ、海上へおどりあがったズゴックにタンクキャノンが光る。ミハルは木馬に……。

第27話
「女スパイ潜入!」


ズゴック


コノリー（私服）


ミハル


ミハルの妹


ミハルの弟

ベルデ諸島漁業組合の飛行機

漁組スタイルのブーン

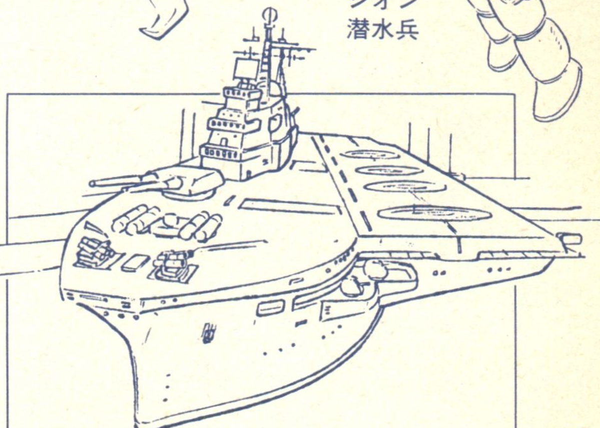
キャリオカ軍曹

グラブロ

第28話
「大西洋・血に染めて」

北アイルランドのベルファスト基地を後にしたホワイト・ベースだったが、その中にはミハルが潜入していた。艦長室へブライトを呼びに行ったカイは、そこでミハルと再会する。すべてを察したカイは、ミハルを自分の部屋へかくまったが、その時アムロに見られてしまう。カイは恋人だといってごまかすが、南米で降ろすというカイの言葉に、ミハルは、ホワイト・ベースの目的地を知った。一方、ミハルと接触すべく、ブーンはベルデ諸島の漁組の飛行機を盗んで、敵にやられたふりをしてホワイト・ベースにもぐりこんだ。トイレの中で腕時計にしこんだ無線機を使いミハルと連絡をとったブーンは、ホワイト・ベースを飛び去る。シャアに報告した後、ブーンはモビルアーマーグラブロでホワイト・ベースをたたきに出る。敵の正体がわからないまま、セイラとアムロはGアーマーで出撃する。グラブロを発見したアムロは、ガンダムで水中に降りるが、ケタ違いのパワーに片足を失う。が、それが幸いして動きやすくなり、サーベルでグラブロを倒す。一方対潜ミサイルを積んだガンペリーで出たカイとミハルは、ズゴックを倒すが、発射のあおりでミハルは…。

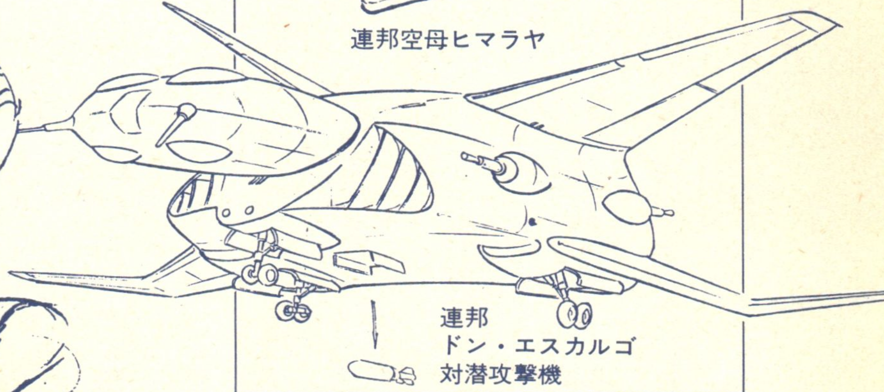
ジオン潜水兵



連邦空母ヒマラヤ



カイ・シデン

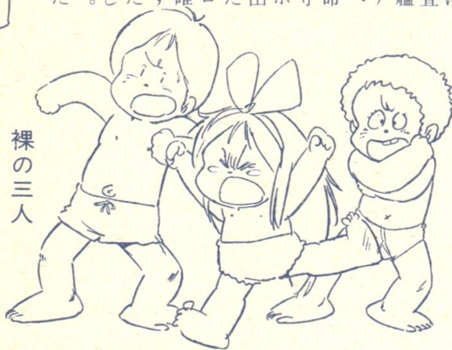


連邦
ドン・エスカルゴ
対潜攻撃機

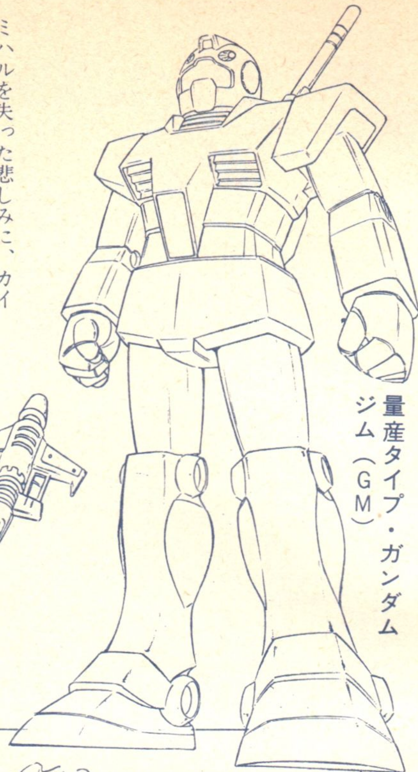
ミハルを失った悲しみに、カイの心は重く沈んでいた。そんなカイを乗せ、ホワイト・ベースはジャブローへと着いた。ドック入りしたホワイト・ベースを待っていた修理担当官、彼こそ今は無きマチルダの婚約者ウッディ大尉だった。一方北米、キャルホルニア基地の援軍と共にシャアはジャブローをたたきにかかる。アムロたちは身体検査を終え、ブライトはテアンム艦隊に配属を通達される。シャアは自らズゴックでホワイト・ベースをねらうが、マチルダが命をかけたホワイト・ベースを守るため、ウッディはミサイルホバークラフトファンファンで出撃する。すばやくジムを倒した赤いズゴックを見た時、アムロはそれがシャアであることを確信する。アムロの制止をきかず攻撃をかけたウッディ大尉はたたき落とされてしまう。しかしシャアも単眼をやられ退却する。アムロが援護のゾックを倒した時、すでにシャアの姿は……。



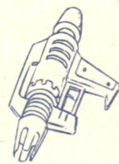
セイラ（アンダーブラウス）

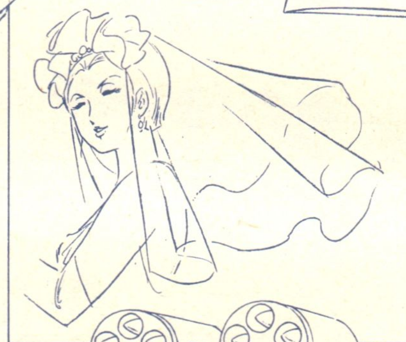


裸の三人

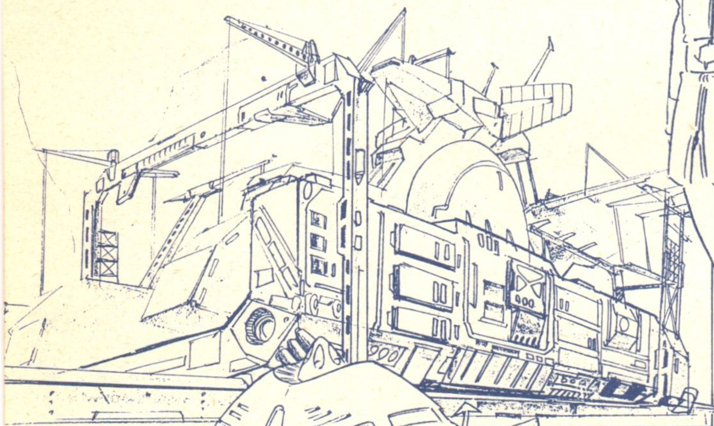


量産タイプ・ガンダム ジム（GM）



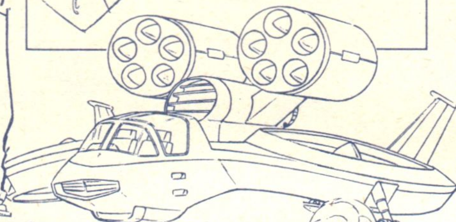


イメージのマチルダ



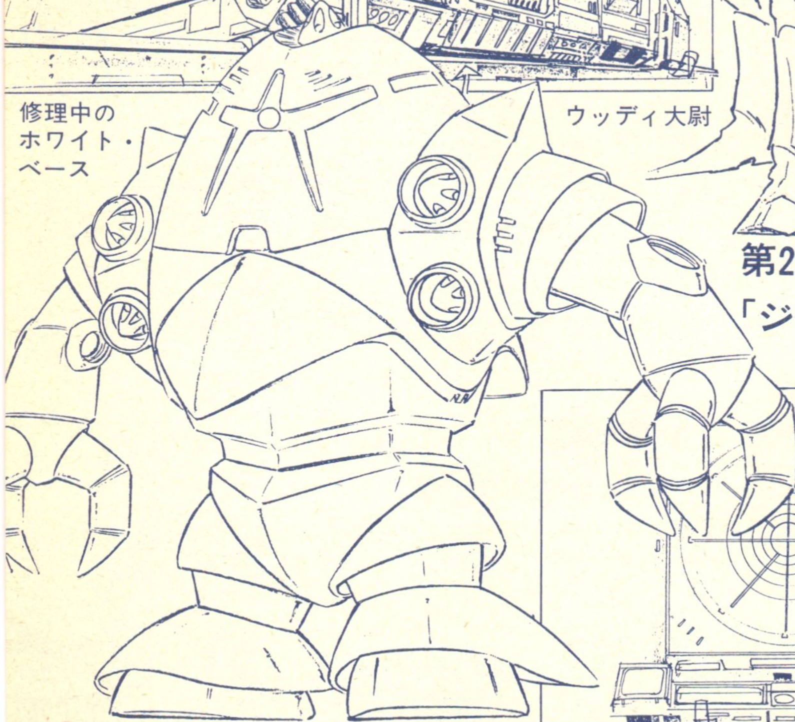
修理中のホワイト・ベース

ウッディ大尉

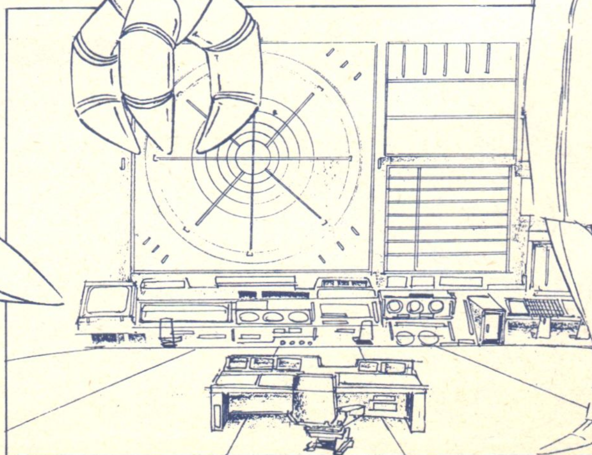


ファン・ファン

第29話「ジャブローに散る！」

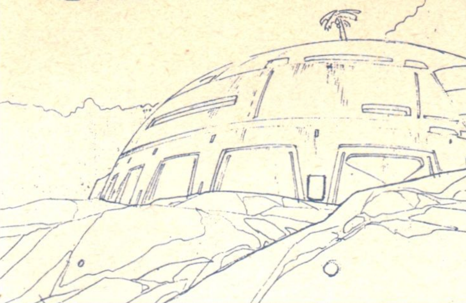


ゾック

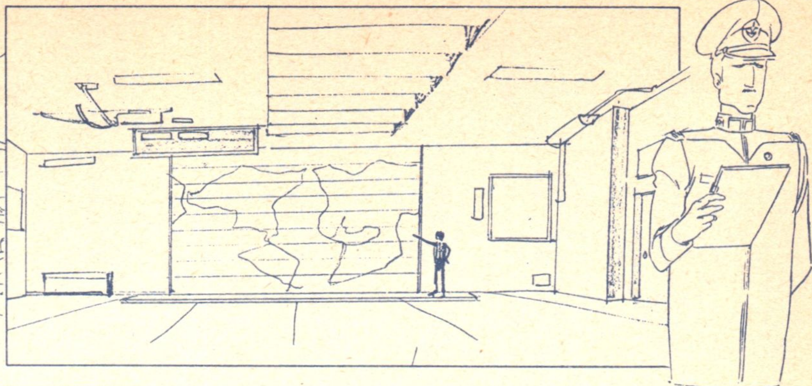


ジャブロー作戦室

ゴップ提督

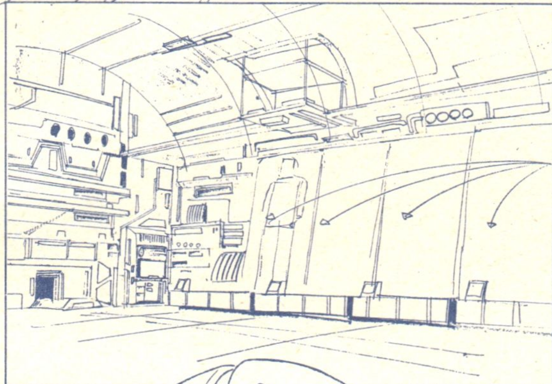


連邦のトーチカ



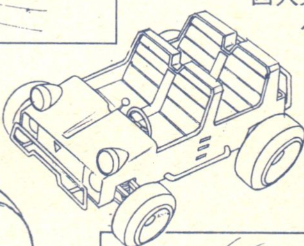
講堂

軍務官

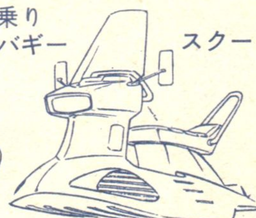


工場

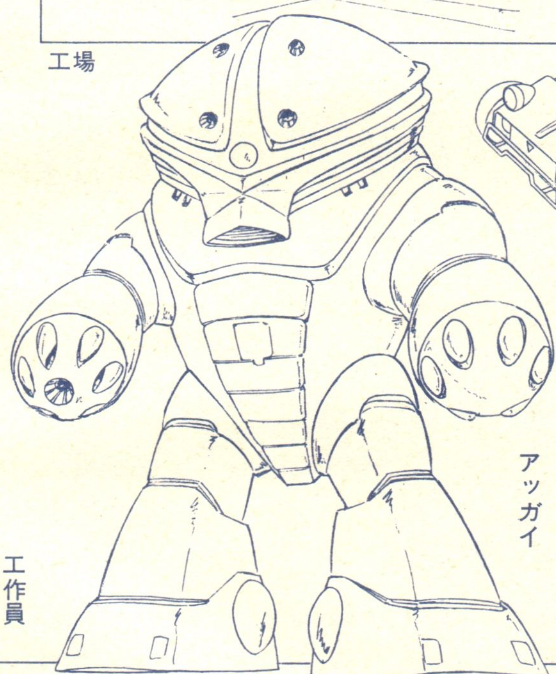
いったんは撃退したジオン公国だったが、そのまま手を引くはずもなかった。シャアは、工作員を潜入させ、ジムの工場とホワイト・ベースの破壊をくわだてていた。アムロたちは連邦より正式に階級をつけられ、ブライトは中尉に、アムロは曹長に任命された。一方育児室に連れていかれたカツ、レツ、キッカは育児官の下から脱走した。工場へ逃げた三人組はそこで工作員を見つけるが、しばられてしまう。三人はなんとか抜け出し、爆弾をエレカーに積んで走っているところをアムロたちに助けられた。そして三人組を探しに出たセイラは、シャアと出合う「キャスバル兄さん…」工作員の失敗を知って、アッガイが出るが、アムロはガンダムでこれを倒した。



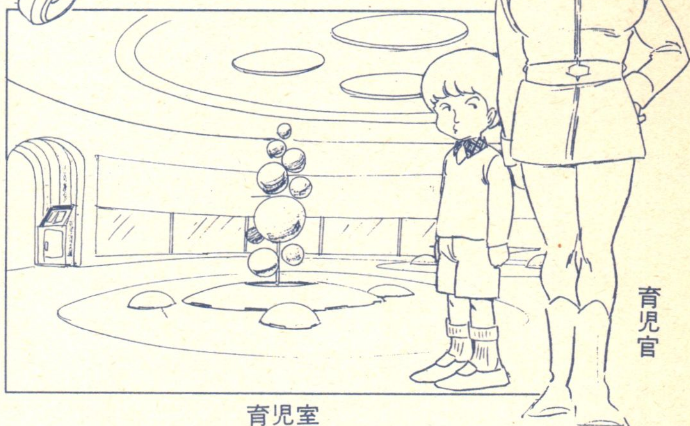
四人乗りバギー



スクーター

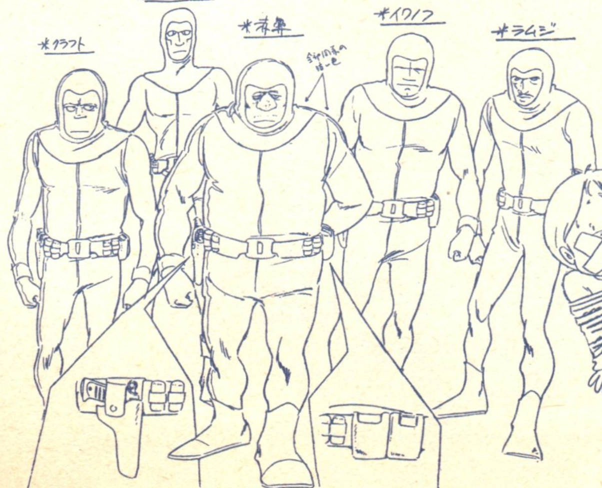


アッガイ



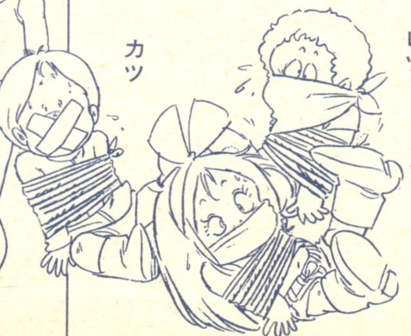
育児室

育児官



工作員

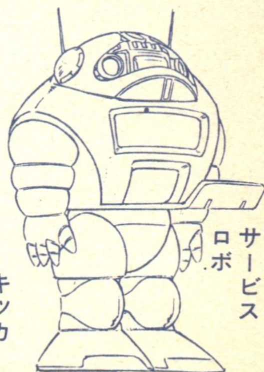
第30話「小さな防衛線」



カツ

レツ

キッカ



サービスロボ

第31話
「ザンジバル追撃！」

育児官のはからいによって、カツ、レツ、キッカを乗せ、ホワイト・ベースは宇宙へと発進した。第十三独立部隊、それがホワイト・ベースとそのクルーに与えられた名称だったが、それはすなわち囮専門を意味するものでもあった。そして、それをシャアのザンジバルが追う。そのスキにテアンム艦隊はルナ2へ向うてはずだった。シャアはそれに気付くがすでに遅く、彼は決戦を決意する。宇宙用に改造したリック・ドムとモビルアーマービグロ。それに対しGスカイとGブルイージーが出るが、ビグロは速かった。セイラはためらう「もしや兄さんが。」ホワイト・ベースは180°回頭し、ザンジバルと対決する。新隊員スレッガーは主砲でザンジバルを小破させ、キャノンの援護でアムロもビグロを倒す。

ビグロ

ドッキングロック

スレッガー中尉

Gタンクイージー

Gパーツをはいたガンダム

ザンジバル破損部

第32話
「強行突破作戦」

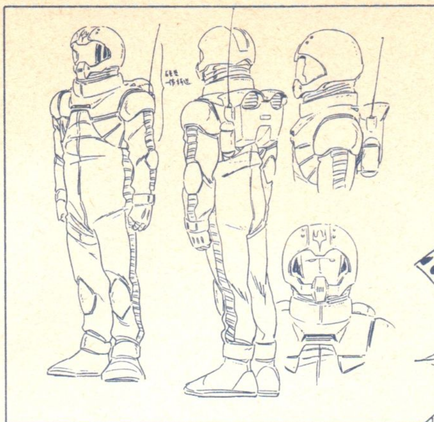
シャアの許可を得ず試験前に放棄されたモビルアーマー・ザクレロが発進した。それに対し、ガンタンクが出るが、苦戦する。アムロは、ガンダムパーツをはいたガンダムでこれをたたいた。一方シャアはドレンと連絡をとり、ホワイト・ベースをはさみうちにしようとする。が、シャアが追いつく前に、ムサイは三隻とも、リックドム六機の護衛もむなしく撃破されてしまう。シャアは、そのあっけなさに驚くが、すぐさま木馬の進路を推定すると、サイド6へ船を向けさせるのだった。

ザクレロ

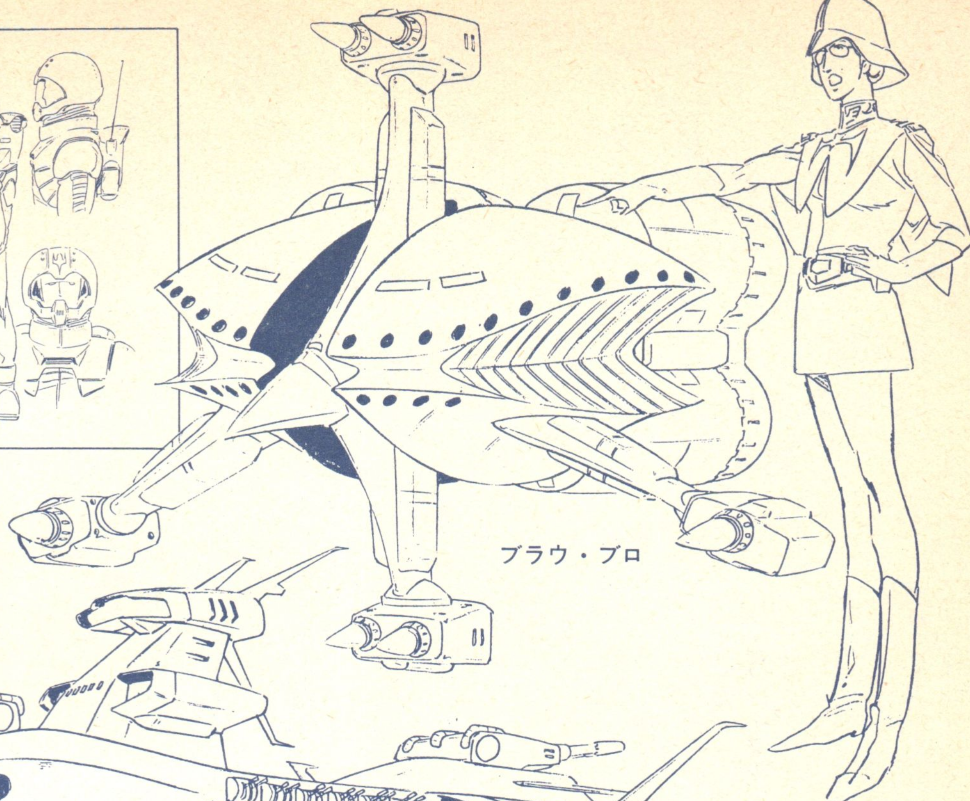
ドレン大尉

スレッガー（飛行服）

サラミスブースター



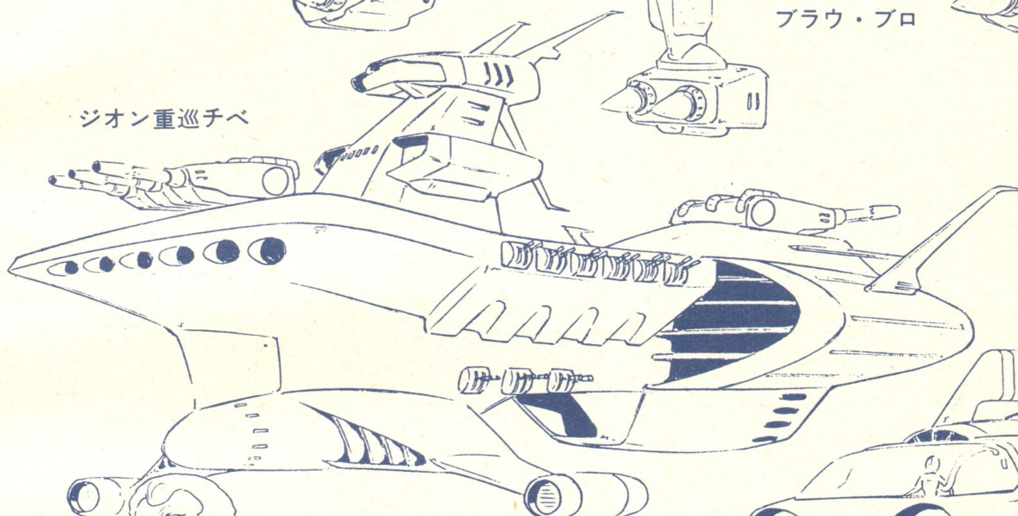
ジオン宇宙服



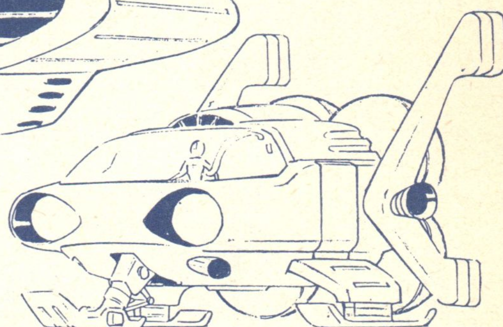
ブラウ・ブロ



シムス中尉

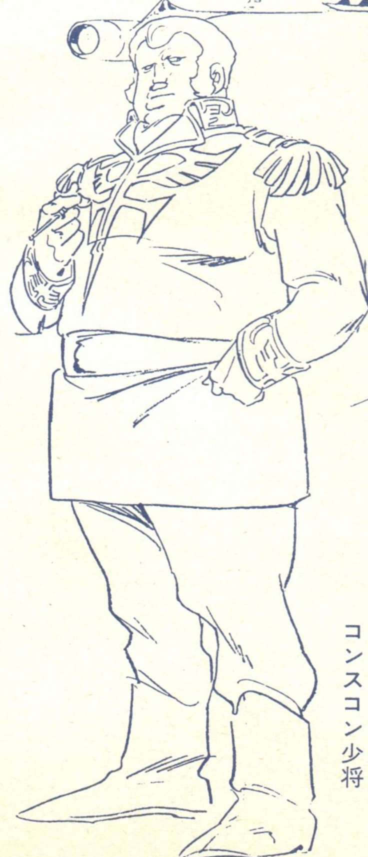


ジオン重巡チベ

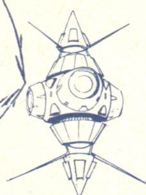


ジオン内火艇

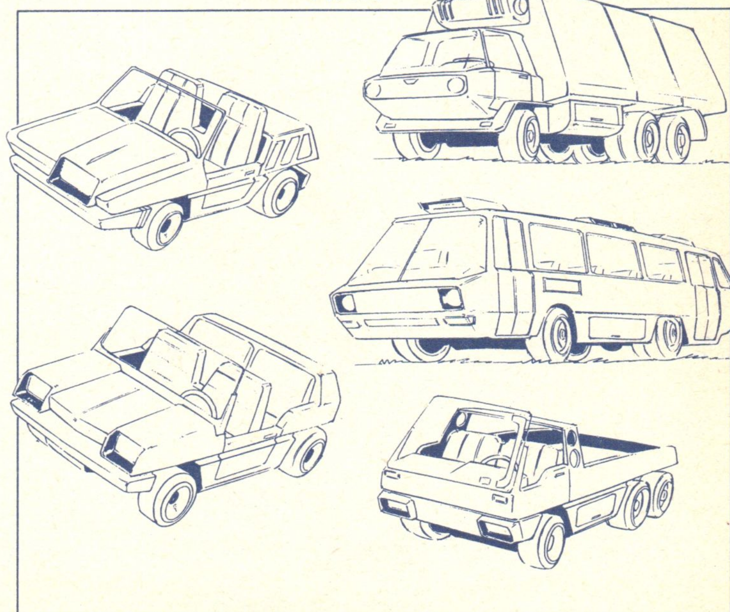
第33話
「コンスコン強襲」



コンスコン少将



ビーコン（サイド6）



サイド6の車各種

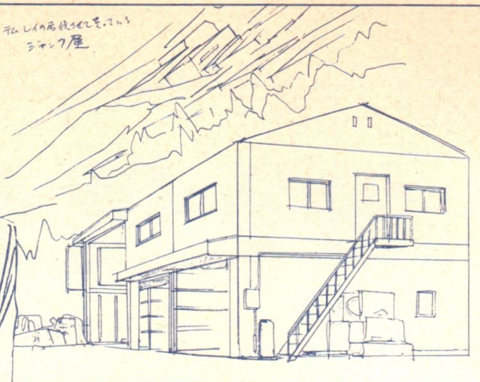
サイド６

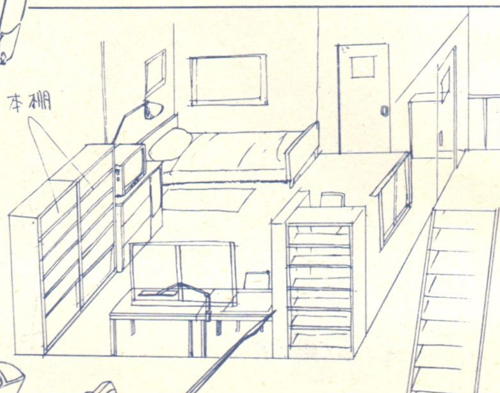
カムランの部下

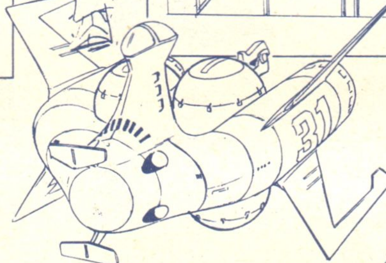
カムラン・ブルーム

ミライ

テム・レイ

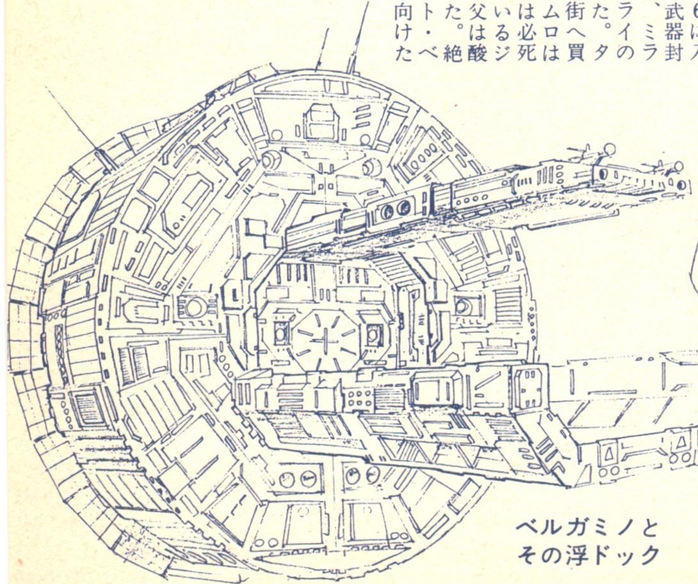

テム・レイの下宿（ジャンク屋）



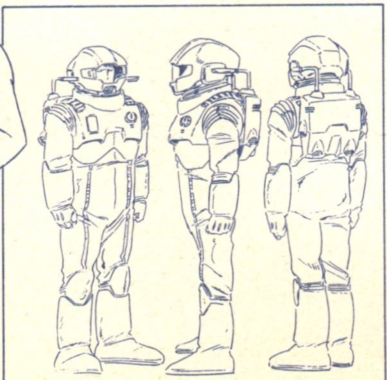

サイド６パトロール艇

ドズルはかつての配下シャアをキシリアが使っていることが気にいらなかった。そこでシャアの無能を証明すべくコンスコンを送った。アムロはGアーマーでパトロール中に、試験中のモビルアーマーブラウ・ブロを発見する。シムス中尉は攻撃をかけるが、ガンダムに撃破されてしまう。サイド6に入港したホワイト・ベースの武器封印に来た検察官カムランは、ミライの婚約者だった。が、ミライの心はカムランから離れていた。タムラはアムロ達を伴なって街へ買い出しに出るが、その時アムロは父の姿を発見する。アムロは必死に追いかけ、父の下宿しているジャンク屋で再会を果たすが父は酸素欠乏症で脳をやられていた。絶叫するアムロ。一方ホワイト・ベースには、カムランのさし向けた修理屋ベルガミノが来ていた。サイド6の領空外の彼の浮きドックで修理可能だという。ホワイト・ベースは、サイド6を出るが、そこをコンスコンが強襲する。が、12機のリックドムは全滅してしまう。コンスコンは呆然とするだけだった。


タムラ　コック長




ベルガミノと
その浮ドック


サイド６宇宙服

機動戦士ガンダムを終えて…



総監督 富野喜幸

四ヵ月ぶりに富野喜幸総監督のインタビューです。前号は編集部の方針でインタビューはおろか、ガンダムに関する取材活動をオール・ストップして39話～43話を生の感覚で楽しんだのです。（なまじストーリーを知っていると、ハラハラ、ドキドキしてテレビを見ることができませんからね！）

おかげで最終話は読者のみなさんと同感覚で見られました。大出版社の編集員がこんなまねをすれば、おそらくクビでしょう。でもカツ、レツ、キッカのニュータイプとしての目覚めなどは「小さな防衛線」から予想していただけにうれしくなってしまいました。

ガンダム終了直後に富野さんに時間を取っていただき、今までとはひと味違う趣味に走ったインタビューをしてみました。（今回は特別に脚本家の松崎健一氏も参加してくださいました）

メカマンは本当に大切ですよ

本紙　ガンダムが終了したら、お尋ねしようと思っていたことをいろいろと用意してまして……

富野　ニュータイプについてはあとでね。あれはむずかしいから。

本紙　ガンダムの世界、特にW・Bの中での技術者（メカマン）の描き方がたいへんリアルだったと思うのですが。

富野　別に意識してやったのではなく本来整備員は一番メカニックを支える人間であるわけでしょ？　ただガンダムでは、その辺を忘れてますね。レギュラーキャラの動きに追われて、メカマンを描ききれなかったと思います。

メカは整備員がいるからこそ動くのであって、本当はもっと彼らのことを画面に出さなければいけないんです。だから、まだまだ正統に評価したとは思えないんですよ。

本紙　ただ、今までと異なり、ともかく整備員がいる事を教えただけでもガンダムはすごいと思うのですが……

富野　もしこれが、とっかかりであるとするならば、やはり正面からメカマンを重要なキャラのレベルに置いていく必要があったという気はしますね。

ただ戦闘員ドラマを作ることをアニメーションの世界のスタッフが考え過ぎているために、そこら辺を思い付かなかったのではという部分がありますね。でも丸っきり無かったわけじゃなくて必要な最低限度の事は描けたという自信はあります。

本紙　戦闘員だけじゃなく、その周囲

の人間も描けていると思いますが……

富野　そうですね、特に初期のセイラとか後期のフラウ・ボウが、ブリッジから「キャンキャン・キャンキャン」と怒鳴ってますよね。ああいう立場のキャラクターたちを、メカニックマンと同じようにピックアップしたのは、かなり作為的にやったことですね。

本紙　マグネット・コーティングをしたモスク・ハン博士とアムロの会話などは、お互いにプロとしての誇りが現れている感じで、これまでのアニメでは扱われなかった部分ですね。

富野　それに関しては本当にそうだと思います。モスク・ハン博士というのは、僕自身がキャラクター設定を確定した時点で大変好きなキャラクターでしてね。結局フィルムでは半パートでしか描かれてなかった部分なんだけれどモスク・ハンを中心にしたメカマン隊がコーティグをする話は、他の部分も含めて二、三話作りたいと本気で思いましたね。メカニック話としてはあの程度にしか描けていないという点は個人的な話ですけど不愉快です。あの話は仕上がりの結果論でいうと、一番嫌いな話になっちゃったわけです。上手に描けなかったから……

本紙　ああいう話は好きなんですよねメカニックっていうものは使う人間と整備する人間が信頼関係を持っていなければ動かないという気持ちがあるからでしょうけど……



富野　僕は専門家じゃありませんけど子供の頃から機械弄りは嫌いじゃありませんでしたし、戦記ものを読むのが好きだったんです。その戦記ものなんかを注意深く読んでいればわかることなんですけど、パイロットの戦いざまだけを描いているのではなくメカニックが高度になればなる程、パイロット以上にメンテナンスをする技術者が重要になると思うのです。ようするにメカものと呼ばれる作品を制作している人にとってこういうことは本能的に嫌われる種類の話なんですよ。でも部分を見過ごしては絶対に物事が進みません。やはりお互いにもっと勉強しなくちゃいけないと感じていますし、我々がもし将来もこういう作品を作っていくとすれば、メカマンの問題はガンダム以上に見過ごしてはいけない性質のものだということはつくづく感じます。

本紙　プロ意識を持ったという話ではホワイトベースの乗員にはプロのメカマン及びその周辺とそれ以外の人間がいて、プロじゃなくて必死でやっていた連中はニュー・タイプだったという感じがしますけど……。

富野　うーん、それはあまり意識しなかったですよ。メカマンの連中は一応の訓練を受けて一応の技術を持っていたという設定にはしてありました。

本紙　特に顕著に出ているのはオペレーターの二人ですね。あの二人がいなければW・Bは動かなかったと……。

富野　要するにガンダムのフィルムを見てもらえばおわかりのように極度のバンク・システムを使用しましたので、階級論とか、服装論にまで話を持っていかなくちゃいけないんですが、そこら辺をくやしいけれどいっさいぬいてやりました。本当のところ初期設定の段階でいえば、マーカーとオスカというのは、ある程度の訓練を受けたオペレーター要員であったわけです。

　仕分け論としてはまあまちがいじゃないといえますね。

　パイロットというのは、メカの結果をあやつる者でしかないからメカマンが良くなければ零戦一機、ガンダム一体だって飛ばせやしないんです。

　とくに前半2クールについて語るなら、技術論よりも補給論に多くの時間をかけて説明していますね。戦線を維持していくのに必要な物資を運ぶマチルダ部隊というのはW・Bにとって生命線だった、ということを戦争を知らない人たちに知って欲しかったな、という部分がすごくあるんです。

本紙　それはわかるのですが、ニュータイプに関しての伏線の張り方が少なすぎた……と言うよりは、意識して回避されすぎていたと思えるのですが。

　シナリオにあってテレビではカットされたニュータイプに関するいくつかの台詞が残されていれば、視聴者の頭のどこかにそれがありますから、もう少し素直に理解できたのでは？

富野　そうですね。演出に入ってからのミスかもしれないです。3クール中頃までやっている段階では絶対の自信があったんです。今さらくやんでも仕方ないんですけど、予定通りであればニュータイプの話は、こんなにも急激に出てこなかったのではないかと思っています。

本紙　ブラウ・ブロの話とか、シャリ

ア、ブルの話は、結論だけが画面に出てしまったようで、本当はもっと長い話だったのではないかという気が……

富野 そうです。ブラウ・ブロの話で2本分、シャリア・ブルは3本分ありました。その間にブライトの恋愛話というのもあったんです。

本紙 それがあれば、この間お話しした「ブライト・バカ」（注）という意見も出なかったのでは……

富野 ニュータイプの話にしても、もう少し綺麗にやれたと思うのですが……力のなさです。スイマセン（笑）

本紙 富野さんが勉強しすぎるものだから、スタッフの方が科学常識について来れないという話が出てるそうですが、どうなのでしょう。

富野 そりゃ違います。僕は勉強してません。我が儘だったんです。2クールならともかく3クールに足をかけたら、「ニュータイプの話をやらなければだめだ!」と、僕が主張したからなんです。43話までにニュータイプの話を、うまく組み込めなかったのは演出ミスかもしれないし、それでスタッフが混乱したということは僕のミスでもあるわけです。くやしいですが……

本紙 いよいよニュータイプ論なんですが、ガンダムではエスパーじゃなくて、もう一歩人間に近づいたもの、というよりは、人間であれば、ニュータイプになりうる可能性が誰にでもあるんだよ、と説明していると思うのですね。でも、頭の内でおぼろげに理解できても、具体的に説明できないんですよね。こんなもんでいいんですか?

富野 それでいいんだと思います。どうしてかといえば、ニュータイプの哲学をガンダムで語ろうとしたのかもしれません。でもそういった部分では我々の頭の構造からじゃ出て来ないんですね。見てくれていた人が「人類全体がニュータイプになることができるんじゃないだろうか。ニュータイプはいったい何であるのかわからないが、人類はそうならなくてはいけないのかもしれない。」と思ってくださるだけでいいと思います。質問の回答になっていないかもしれませんが……

セカンドアルバムの中にも書いたことですけれど、やはり我々はもう限界だったんです。（注 キングレコード「ガンダム セカンドアルバム――戦場で」……ファンなら買うべし。K）

やっぱり、僕の次の世代の人たちがガンダムの次の作品を手掛けるきっかけになってくれればそれでいいと思っています。

本紙 サイド生まれのサイド育ちであるカツ、レツ、キッカたち若い世代がやがては次の世代を受け継いで行くんだろうという終らせ方でしたが、「小さな防衛線」での伏線が生きてましたね。

富野 ほんとですね……でも少し深読みしてますよ、それは。

「小さな防衛線」から最終回に至るまでの伏線になっていたということについて、あの時点で自分の構成力が発揮できたことはうれしく思っています。でも……あれは僕が作ったんじゃないですね、やはりあのおチビちゃんたちが作ってくれたんです……ありがたいことだと思います。

本紙 ガンダムの作品自体が、制作者の手を離れて動き出したいい見本みたいなものですね。

富野 極端にいい見本ですね。もうこんな作品作れませんね。（笑）

現在の情報がSF考証に……

本紙 そういう意味も含めて、SF考証に関するブレーンは本当にいい人を集められたのではという気がしますがいかがでしょうか?

富野 そうですね、松崎君だけです。あと誰もいませんでした。

本紙 木星のヘリウムの話なんかも松崎さんですか。

富野 あれはその辺にぞろぞろ書いた本があるよ。NHKのテレビでちゃんとやっていましたからね、「ダイタロス計画」の説明で……。

本紙 そういった番組を熱心に見るあたりが富野さんの勉強のしすぎで、スタッフがついていけないなんて話の出る原因じゃないんですか?

富野 熱心に見ませんよ、それも松崎君が見ろっていうもんだからしょうがなしに見たんですから（笑） 僕はそんなに勉強してませんよ。ろくに本も読みませんし……。SFだって人にいえるような長編小説は20冊もあればいい方でしょう。どうしてSF知識を得たかといいますとね、あんまり人に話したくないんだけど……14、5年前の少年マガジンとかサンデーのなんとか知識、百の図鑑とかよくやってましたよね、僕はいまだにあの当時のファイルを大切に持ってるんです（笑）

本紙 そういわれればあの特集は役に立ちましたねぇ。自動拳銃の使い方とか、ウルトラマンのスペシウム光線の温度とか……。雑学はあの手の特集で仕入れた記憶があります。最近の若い人は学校で教えてもらうこと以外知らないですね、常識だと思って説明をし

ないと苦情がドッときますよ。

富野　知らないということが僕は信じがたいですね。あまりにも不勉強です。だっていろんな図鑑には宇宙とか宇宙旅行なんて必ず載ってます。僕もあまり本は読みませんけどね、つい最近ですよ「11人いる!」を読んでびっくり返ったのは。(笑)

本紙　でもわれわれが常識だと思い込んでいることでも今の若い子には通じなくてえらい苦労をするんですよね。

富野　ハハハッ……僕は今のハイティーンの子供たちの環境状況ってのは大変問題があると思います。というのは一見情報過多なように見えて、その実あまりにも流行にとらわれる意識があるものだから、自分なりに肌身をかけてものを見ることを忘れているんです。僕が大変あきれた話があるんですけれど、自分で調べないという話の逆の例で、自己中心的な情報のとらえ方というのがあります。ガンダムのファンだという子が昨年NHKの教育番組で宇宙都市の話をやっていたのを見て「NHKでガンダムの舞台を説明してくれて、本当に勉強になった。」と喜んでお手紙をくれたんです。この子はガンダムを中心にしてその情報を受けています。ところがわれわれはそういう情報を得ていたからこそ、ガンダムの世界がつくれたんです。それを全く逆にして、たまたま見た番組が宇宙都市の話をしているのを見てね、「これはガンダムの解説フィルムだ」という発想を持つのは、たとえ冗談であってもやめて欲しい。僕にいわせるとこれは時代錯誤だと思いますね。

本紙　ハードなSF考証の割にネーミングはコミカルな物が多いですね。

富野　そうですね、ザクなんかでも……大きい人が歩いてくると地面がザクッザクッという音をだしますね、それからとったんですよ。(笑)

松崎　偶然というのもありますね、この前も「ジェットヘリなんとか」という番組にはジオン銀行っていうのが出てましたよ。(笑)

富野　それならアメリカのICBM基地の紹介にね、シャア大佐がでてきてあきれかえったの。(笑)　ちゃんと実在の人物がいるんですねェ、これもNHKでしたよ。もうまいっちゃった。

松崎　シャアがパーレビ国王のシャアとは別のものだということと同じなんですよ!

富野　でもね、ガンダムはもう聞くことあまりないはずですよ。いいたかないけどサ……。そんなにむずかしく考える必要はないんです。たかがマンガじゃないですか!

本紙　いや、観ている者にとっては「たかがマンガ」の域を越えていると思っているんですが……。

富野　そういうの困るんだなあ。もしそういう意味で大事なことがあるとするならば、毎週一本作っていかなければならないスタッフが、人間の精神構造として「たかがマンガ」を作っているのなら一年間も続けられなかったでしょうし、客観的に見てくださればこの人たちはどういう気分でガンダムを作ったのかをもう少しわかっていただけるんじゃないかと思います。初期設定の段階から最後まで全部を見通して製作できるほどの人間じゃありませんよ、僕は……。イメージをふくらませていただくのは結構ですが、僕を含めてスタッフのみんなが、ていのいいバカがそろってやってきたんですよ、ネッ、松崎クン!(松崎氏ニガ笑い)そんな連中が作ったもの相手にめくじらたてて本筋論をキャンキャンいわれたって、たまったもんじゃないですよ。


松崎健一さん

本紙　それでも、イメージをふくらますということでは普通の作品ならその話の前後を勝手に推測しますが、富野さんの場合、小説などで説明されていますから、ファンとしては満足しているんじゃないでしょうか?

富野　そうですか……。それからガンダムを作るきっかけですが、以前にも少し話したんですけど、本音はただ一つです。ごたいそうなものじゃなくてね、「ヤマトをつぶせ!」これです、他にありません。

本紙　でもその目的は一話で有線ミサイルが出たときに達成されたのでは?

富野　ええ、松崎君も一話でヤマトを越えたと言ってくれましたんで安心しています。(笑)　そして2番目の本音ですが、やっぱりこれは越えられなかった。コナンには勝てなかったね、かすめもしなかった。こりゃくやしい、ありゃくやしいですよ!　いつの日か打倒コナンをやりとげたいです……

本紙　それを記事にすると、ファンの人が「今度、富野さんはコナンのような作品を作っている。」なんて話を……

富野　ウソですよ！　まあ、そういう機会は永遠に来ないでしょうね。

松崎　あれと同じものを作っていたんでは越えられないんですよね。

富野　そうなんです。そういう意味で僕のまわりに次々に良い作品を作ってくれるスタッフがいるってのは本当にありがたいですね。今言った話は冗談じゃないんです。作り手側の自分としては現時点で、そういうターゲットがあるってことはうれしいですね。

本紙　ルーム戦役だとか一週間戦争は関係ないんだよ……と言われた事がありましたが、今や歴史的事実になってしまいましたね。ところで、興味本位の質問なのですが、宇宙暦元年というのは、どっちを基準にしているのでしょうか？　技術の差が15年位違って来ると思うのですが。

富野　御指適のことがあるでしょうね。そういう事でのギャップが発生するといやですから宇宙暦にしたわけです。

　その宇宙暦の元年を、スプートニク打ち上げの時にしていただいても、アポロ月着陸でも、宇宙植民がはじまった時でも、お好きな時点を元年にしてくださって結構です。

本紙　ラグランジェ5に1号コロニーが浮んだ年というと19××年ぐらいですか？



富野　知りません、いっそのこと、1999年8月グランドクロス発生を起点にしたらいかがですか？（笑）

　それから何故0079年だったかというと、ガンダムが始まったのが1979年だったからです。

本紙　それで終ったのが80年……だいたい四ヵ月ぐらいだったんですね、あの物語の期間は？

富野　想定できますね、そして戦争が終った日は宇宙暦80年の1月1日です。もし不満があるなら別の日でもいいですが。

本紙　1月1日で結構です。これが記事になると同時に歴史的事実になるんですから、はい。では最後に一言！

富野　今の僕の立場ではガンダム傾向の作品を作っていっても許されると思いますが、次の世代の人、他のスタッフの方が、ガンダムのような作品をアニメで作るというのはいいことだとは思いません。ガンダムがまねされるのがいやだ、等という小さいことではなく、やはりこれだけコースの多いアニメーションの世界ですから、もっと多くの可能性にチャレンジしてもらいたいんです。ガンダムという素材をもとにした作品がアニメーションであったかというと、本当のアニメだったとは思えないですね。変な言い方かもしれないけどコナンでないガンダムはアニメじゃないかもしれない。だけどアニメーションとして、ひょっとしたら一つのジャンルを確立しつつある作品かもしれません。その両方を認めてはいるんですが、自分自身悲しい話ですが僕はもうガンダムかもしくはダイターンでしかやれないと思います。もうワン・ジャンル欲しいんですけどね、プロとしては……。

本紙　なまじガンダムがあるばっかりに、今後はハードな作品を作るスタッフが、最低でもガンダムを維持しなければならないわけですから相当なプレッシャーがかかると思いますよ。

富野　しかし、そう数のあっていいジャンルではありません。ガンダムには膨大なミスがあります。作品論的な問題としてですが。ですからガンダムと同じような手法で作品を作ったとしても、それが本当の作品かということについては、大変疑問だと思います。

ガンダムは、アニメーションで表現された映画という意見もききますが、とにもかくにもテレビアニメのワン・ジャンルであることに違いはありません。スタッフ一同もうこれ以上の力は出せない程の全力を出して、ガンダムに一年間打ち込んできました。疑問もたくさん残したと思います。ですが、これからの人に何かを残せたんじゃないかなという気もするんです。

　若い時にガンダムを知った人というのはそんな間違いをしないで済むと僕は信じます。やっぱりガンダムと同じ間違いはしないでもらいたいです。

　僕たちが描こうと思って描き切れなかったニュータイプそのものの話を作っていただきたいと思います。

本紙　ガンダムの前にガンダム無し、ガンダムの後にガンダム無しじゃいけないんですね。本日はどうもお忙しいところ、お邪魔しました。

富野　小牧君の質問は答えにくいからやだよ。もう顔を見なくて済むと思うとホッとします。本当の話。

本紙　ハハハッ　近いうちにまた来ると思いますよ！

カラースペシャルコレクション



8号
★54年11月７日発行★



７号
★54年９月６日発行★



６号
★54年７月１日発行★



10号
★55年３月３日発行★

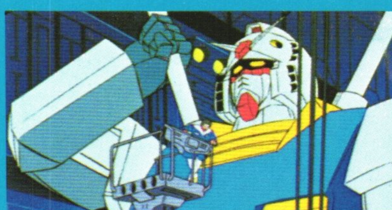
幻のアニメック

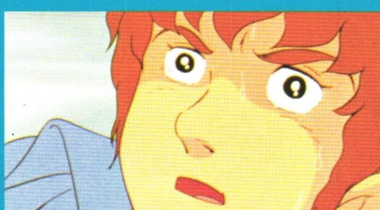
●今回の特集記事はこの５冊から再録しました。９号までのバックナンバーの在庫はありません。表紙をカラーで再現してみました。

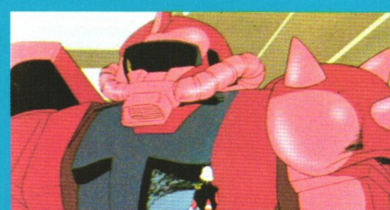
Ｐ82は８号のピンナップを縮小したもので作者は出渕裕氏です。
Ｐ84は大好評だった７号のピンナップ「赤い彗星」です。作者は伊藤秀明氏。
Ｐ85は放送で使用されたセル画を合成した９号のピンナップ。ホワイトベースがジャブローへ向かうところとノーマルスーツのアムロ。



９号
★54年12月25日発行★

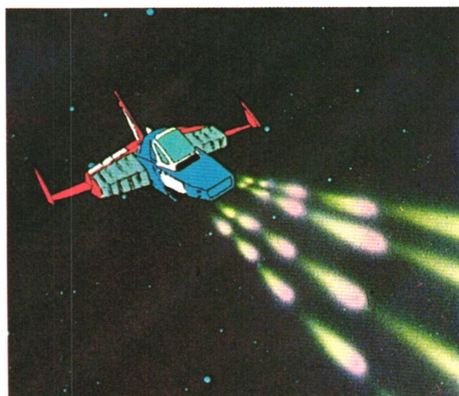


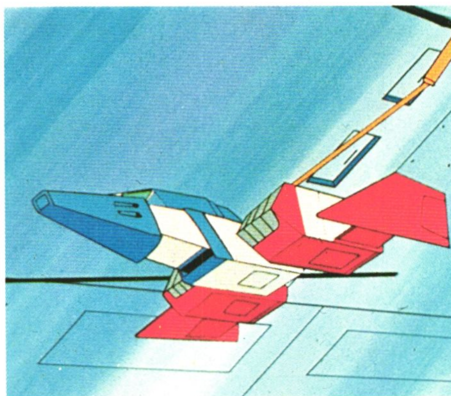


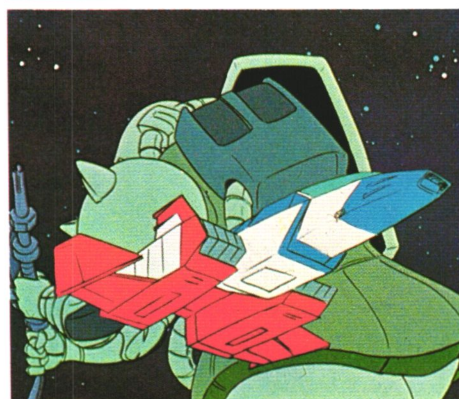


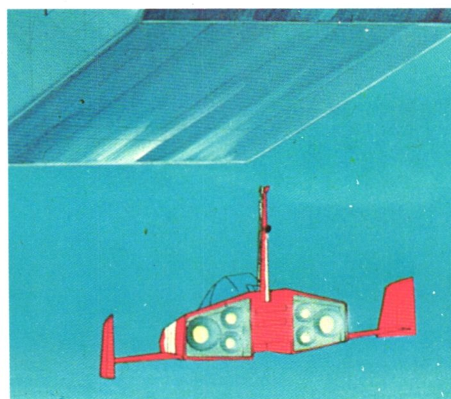

機動戦士
ガンダム
GUNDAM
Buchi '79
COLLECTION PIN-UP

■コア・ファイター三面図■





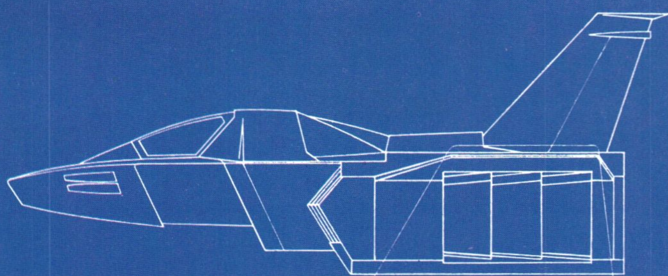


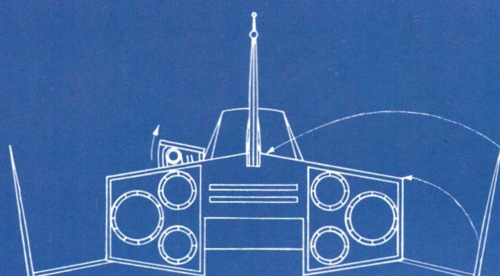


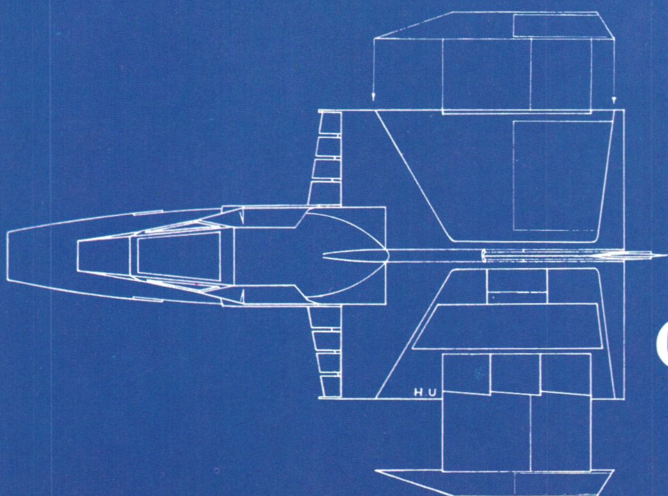
アニメックでは、本来なかった設定書をオリジナルで何枚か作成しました。これはその中でも有名な図面ですが、他誌に無断転載されてしまいました。翼の付け根に製作者のイニシャルも入っているというのに……。

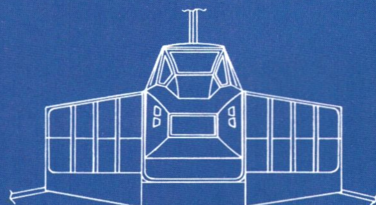
　アニメックの奥付に『無断転載を禁ず』と入っていなかったからしいのですが、編集権というものを…（同人誌だって必ず編集部の許可を取ってから転載しているんですよ）

　今後はこんなことのないように、本誌では『無断転載を禁ず』という一行を入れさせていただきます。







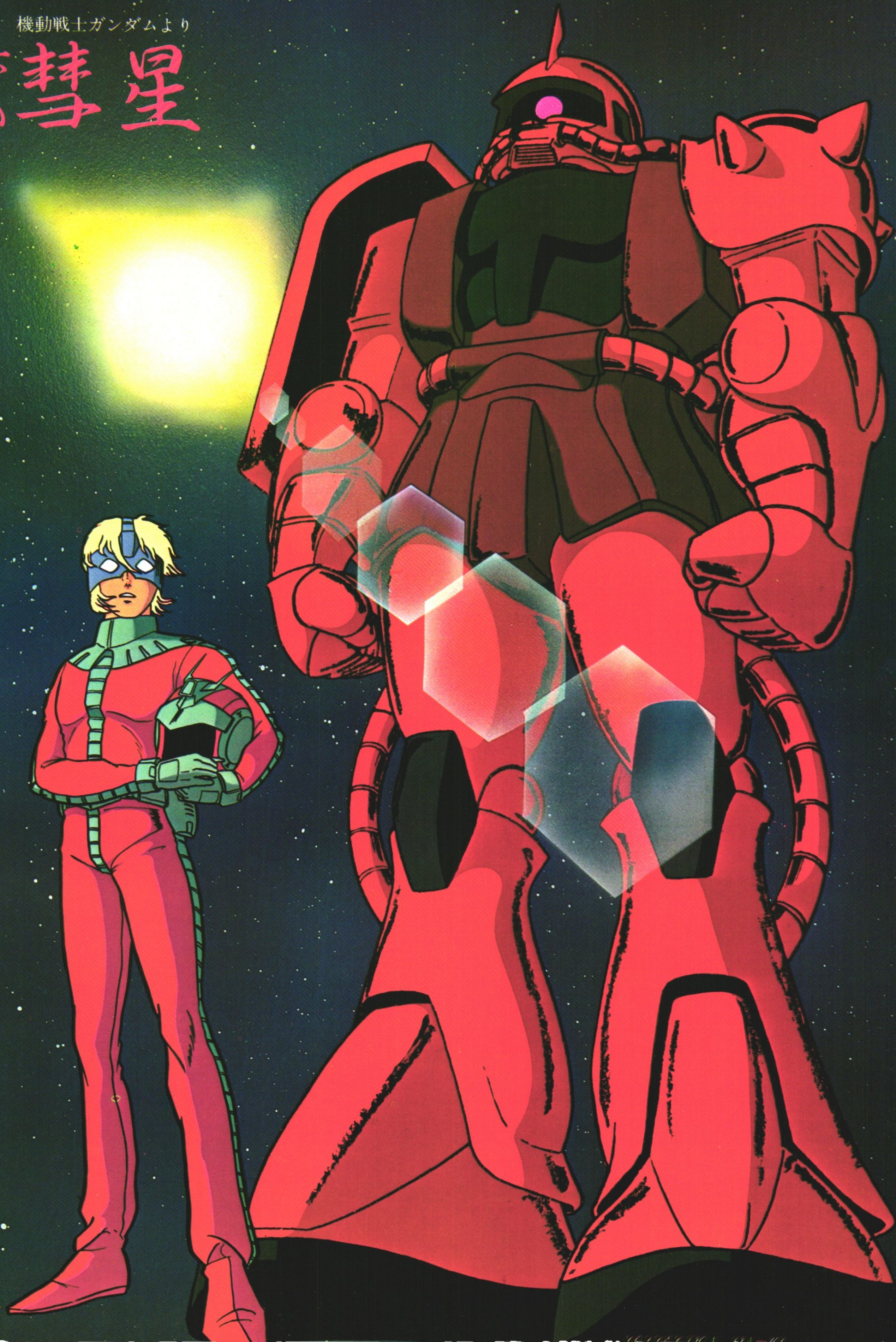


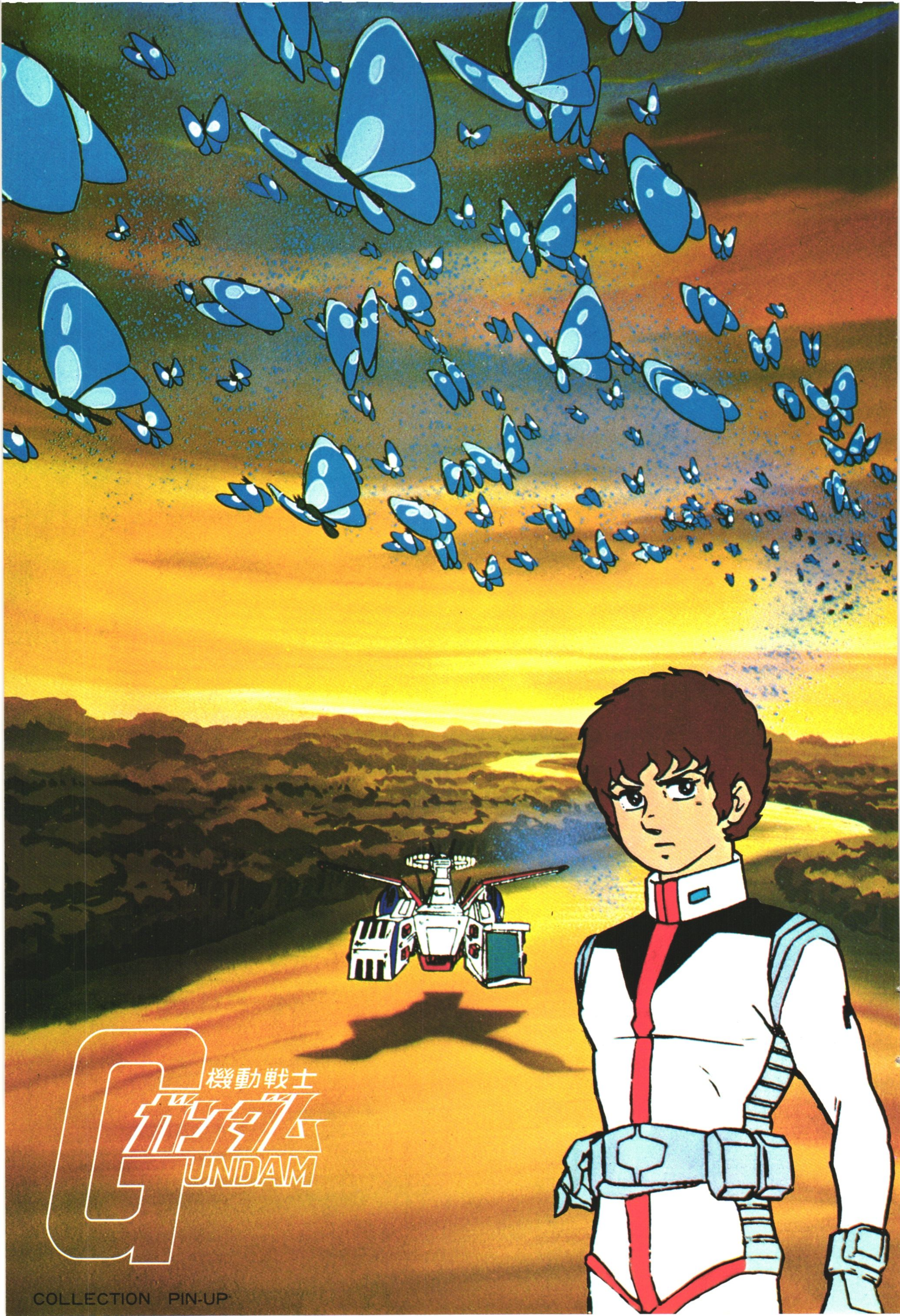


CORE・FIGHTER

全長	8.6m
全幅	6.8m
重量	8.9t
出力	1万2千馬力
小型ミサイル4連発2門	
30㎜バルカン砲2連装2門	

0　0.5　1　2　3　4m


機動戦士ガンダムより
赤い彗星


機動戦士
ガンダム
GUNDAM
COLLECTION PIN-UP

Q セット



1.ノート×2
2.メモ帳×2
3.字消×2

900円

R セット



1.ノート×2
2.メモ帳×2
3.字消×2
4.ルーズリーフ×2

1,400円

S セット



1.ノート×2
2.メモ帳×2
3.温度計×1
5.キーホルダー×1
4.温度計×1
6.刺繍ワッペン×1

2,100円

T セット



1.ノート×2
2.メモ帳×2
3.字消×2
4.温度計×1
5.ハンカチ×1
6.刺繍ワッペン×1
7.シャープペンシル×1

2,200円

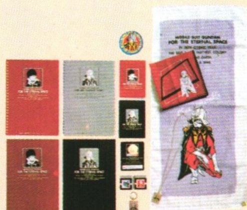
U セット



1.ノート×2
2.メモ帳×2
3.字消×2
4.ルーズリーフ×2
5.ペンダント×1
6.キーホルダー×1
7.タオル×1
8.刺繍ワッペン×1
9.温度計×1
10.ハンカチ×1

4,700円

V セット



1.ノート×2
2.メモ帳×2
3.字消×2
3.ルーズリーフ×2
5.ペンダント×1
6.キーホルダー×1
7.タオル×1
8.刺繍ワッペン×1
9.温度計×1
10.ハンカチ×1

4,700円

W セット



1.エプロン×1

2,000円

X セット



1.エプロン×1
2.布製バッグ×1

3,000円

ガンダムトレーナー

各3,200円
(Mサイズ)



●シャー
(白・黒)

●アムロ
(白・黒)

※色指定をして下さい。

ガンダムメタル・コレクションセット





2,700円(発送料込み)

❶ガンダム	(大きさ) 54mm	錫製
❷シャー専用ザク	(大きさ) 40mm	錫製
❸量産型ザク	(大きさ) 40mm	錫製
❹ドム	(大きさ) 40mm	錫製
❺グフ	(大きさ) 40mm	錫製
❻ズゴック	(大きさ) 40mm	錫製

お申し込み方法

お申し込み用紙にあなたの〒、住所、氏名、TEL、お買い上げセット名、商品名、個数を明記して代金と発送料の合計金額を同封のうえ必らず現金書留でアニメック通信販売アニメックG係宛お申し込み下さい。

(ガンダム・ステイショナリーセットA・B・C・D・I・J メタルコレクションセットを、お買い上げの場合は、発送料が、含まれておりますのでその金額だけで結構です。)

お申し込み用紙はP178に付いております。

●カタログにのっている商品以外は、通信販売は行ないません。

発送料
Qセット、Rセット、Sセット・Tセット・Vセット・Uセット
………東京都450円　その他750円
Wセット・Xセット … 全国350円
ポスター(5枚まで)
………東京都450円　その他750円
トレーナー(1枚につき)・設定資料(1冊につき)・モビルスーツモデル……………350円(全国)
セル画(5枚まで)… 250円(全国)

── アニメ&コミックショップ ──

アニメック通信販売アニメックG係

〒160 東京都新宿区新宿2−1−1
地下鉄丸の内線新宿御苑前下車徒歩1分
営業時間AM10:00〜PM5:30 (水曜定休)

通信販売☎(03)352-2262

映画機動戦士ガンダム
3月14日
松竹系全国一斉公開

ガンダム商品大特集

ガンダム・スティショナリー（通信販売は、すべてセット単位とさせていただきます。）
セットA・B・C・D・I・J（発送料込み）　セットQ～X（発送料別）よりお好きなセットをお選び下さい。

A セット

（発送料込み）1,600円



1. 鉛筆（6本箱入）
2. 定規
3. カンペンケース
4. 字消し
5. キーホルダー

B セット

（発送料込み）1,600円



1. 鉛筆（6本箱入）
2. 定規
3. カンペンケース
4. 字消し
5. キーホルダー

C セット

（発送料込み）1,700円



1. クラッチバッグ
2. パスケース
3. シャープペンシル
4. 下敷
5. ステッカー

D セット

（発送料込み）1,700円



1. クラッチバッグ
2. パスケース
3. シャープペンシル
4. 下敷
5. ステッカー

I セット

（発送料込み）4,900円



1. 鉛筆（6本箱入）
2. 字消し
3. 便せん
4. 封筒
5. カンペンケース
6. 定規
7. 下敷
8. バインダー
9. シール
10. ショッピングバッグ
11. ステッカー
12. キーホルダー
13. シャープペンシル
14. パスケース
15. クラッチバッグ

J セット

（発送料込み）4,900円



1. 鉛筆（6本箱入）
2. 字消し
3. 便せん
4. 封筒
5. カンペンケース
6. 定規
7. 下敷
8. バインダー
9. シール
10. ショッピングバッグ
11. ステッカー
12. キーホルダー
13. シャープペンシル
14. パスケース
15. クラッチバッグ

①ガンダムポスター（B2）…各500円



②ガンダムポスター（B3）…各300円



③設定資料…1,200円



④ガンダムモビルスーツ（組立式精密モデル・ブロンズ仕上げ）…1,700円



セル画（描きおこし）各800円



機動戦士ガンダム
台本全記録集

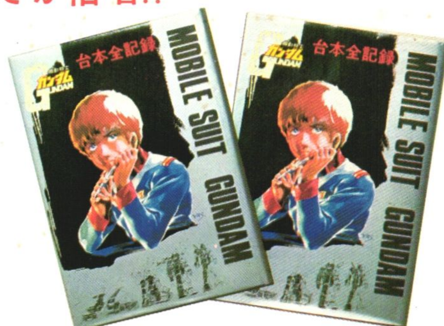
☆豪華保存本
1～43話完全収録

好評発売中！ 定価2,900円(送料別途)

●機動戦士ガンダムの放送用台本（AR台本）を全話完全収録した記録全集完成。記録全集ビジュアルストーリーとあわせて読めば楽しさが倍増!!

基本体裁
- ●判型／B5判（左右18.2×天地25.7cm）
- ●頁数／全640ページ建て
- ●用紙／上質
- ●造本／ハード・カバー堅牢上製本仕上げ（丸背、かがり綴じ）
- ●色数／表紙・4色、1色・640ページ
- ●印刷／オールオフセット

ＡＲ台本と本放送では会話やシーンの順序が異なっていますが、録音時の書き込みを再現して、テレビ放映とまったく同じものになっています。



記録全集全5巻発売中!!

機動戦士ガンダム
記録全集 1～5

☆全5巻・堂々完結!!
☆豪華保存本



全巻を揃える最後のチャンスできるだけ早くお申し込みください。

○機動戦士ガンダムの資料を完全収録した記録全集1～5巻遂に完成！　これなくしてガンダムは語れない!!

お申し込み方法

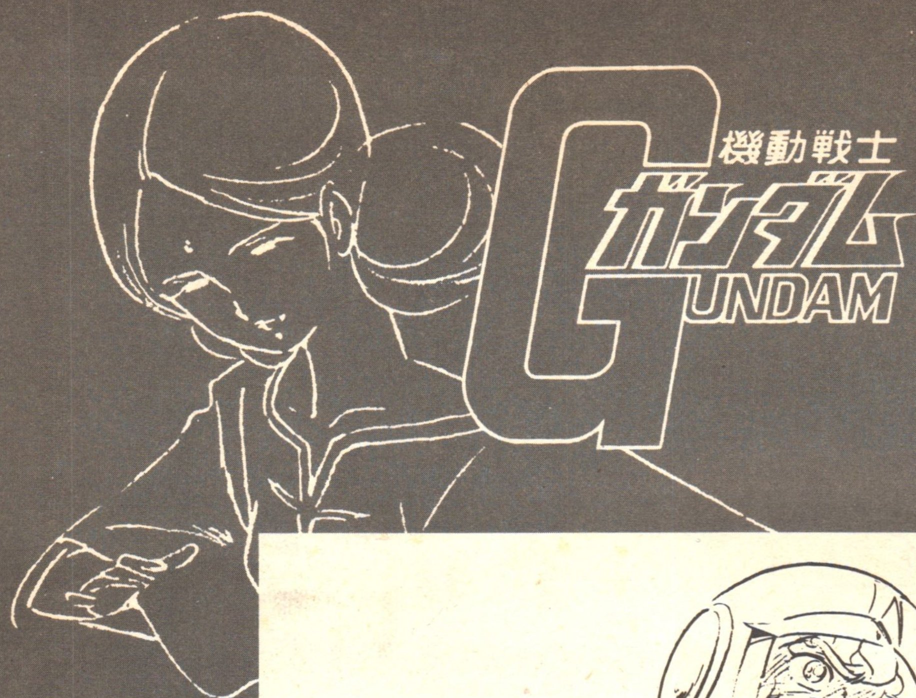
①びんせんに〒住所、氏名、年令、申し込み内容（記録全集は巻数）と冊数の必要事項をご記入の上。
※ガンダム台本全集を希望の方は、3,350円(本書代金2,900円＋発送料450円) を同封して**必らず現金書留でアニメックＧⒶ係**まで、お申し込み下さい。
※記録全集⑤巻をご購入希望の方で第④③②①巻をまだ入手されない方には、特別頒布いたしますので、**別途Ｇ係に現金書留**でお申し込み下さい。(Ｇ①②は各3,100円、Ｇ③④⑤は各3,350円,共に発送料こみになります。)

②発送は、代金到着後、約2週間でおてもとにお届けいたします。尚、年末、年始は郵便事情によりまして、発送が遅れることがありますのでご了承下さい。

③ガンダム台本全集及び記録全集は、限定発行ですので万一入手できない場合は申し訳けありませんがご了承下さい。

※ガンダム台本全集及び記録全集は一般書店では発売されませんのでご注意下さい。

■お申し込み先アニメック
〒160 東京都新宿区新宿1～5～7
通信販売 TEL (03) 352－2262





さよならガンダム特集

設定・ストーリー

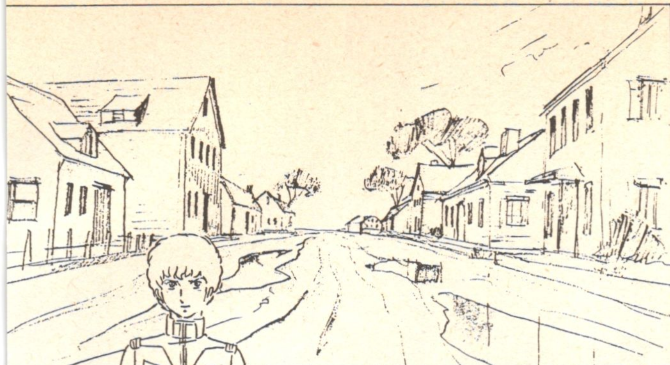
ホビー・コーナー

監督インタビュー

機動戦士ガンダム

設定・ストーリー

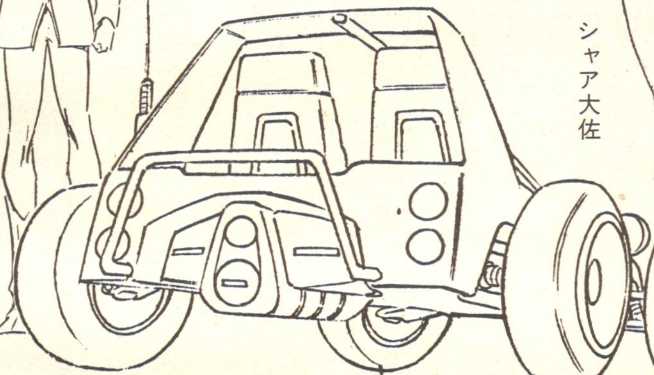
第36話〜最終話



サイド6郊外

アムロ・レイ曹長

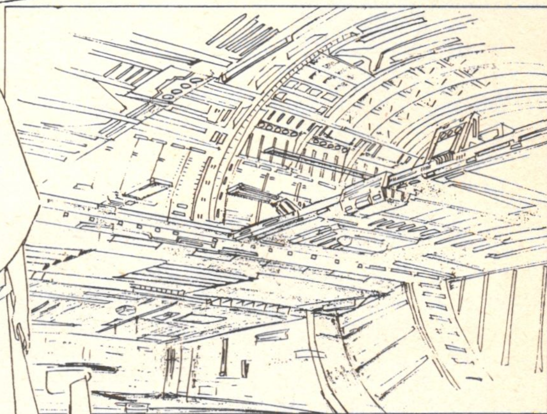
シャア大佐



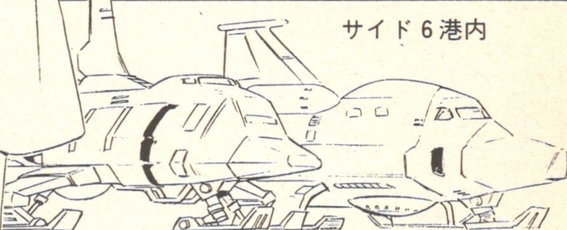
第34話「宿命の出会い」

アムロは、サイド6を発つ前にもう一度父に会うべく、エレカーを走らせていた。降雨時間にひっかかったアムロは手近の家へ雨宿りにはいるが、そこで一人の少女と出会った。その少女こそ、シャアがニュータイプ研究組織、フラナガン機関にあずけたララァだった。シャアはララァを連れにサイド6へ入港する。たわごとを口ばしる父に絶望したアムロはホワイト・ベースへ帰る途中ぬかるみに車を乗り入れてしまった。そこを通りかかったシャアがアムロを助ける。アムロは、それがシャアだと直感した。一方ホワイト・ベースでは、カムランが、ホワイト・ベース出航の盾になると申し出ていた。それを拒絶したミライのほほにスレッガーのビンタが飛んだ。「この人は本気なんだよ！わかる」。結局カムランを盾に出航するが、そこをコンスコンが襲う。ガンダムで出たアムロの感は冴え、ドムはことごとく撃破された。コンスコンはチベで突撃するがアムロに沈められる。「生きのびてくれよ…」。心の中で祈るカムランを残し、ホワイト・ベースはサイド6を後にした。

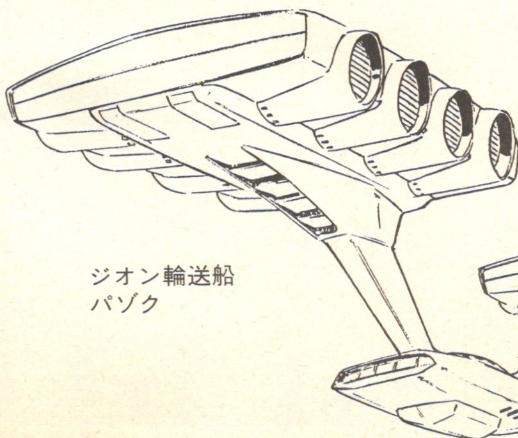
ララァ・スン



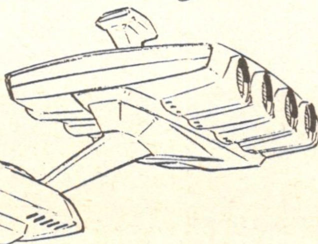
サイド6港内

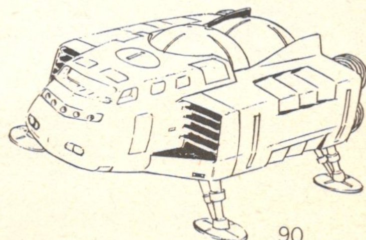


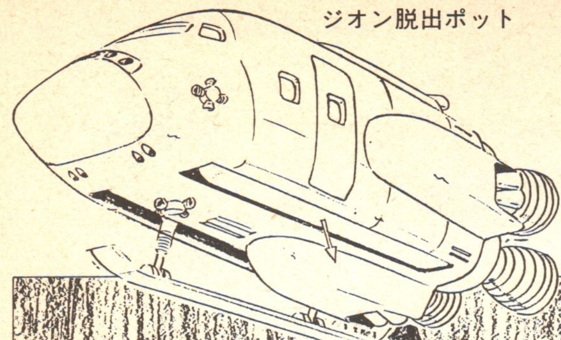
サイド6民間宇宙船



ジオン輸送船
パゾク



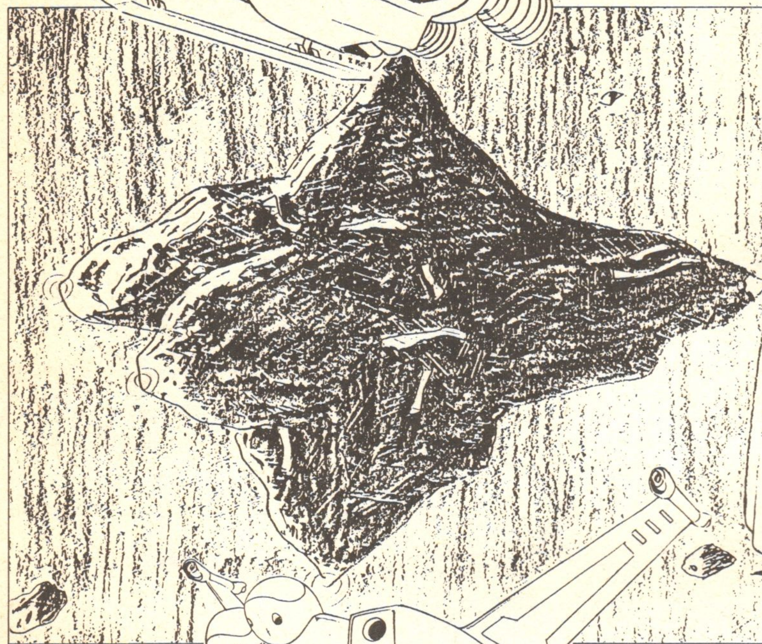




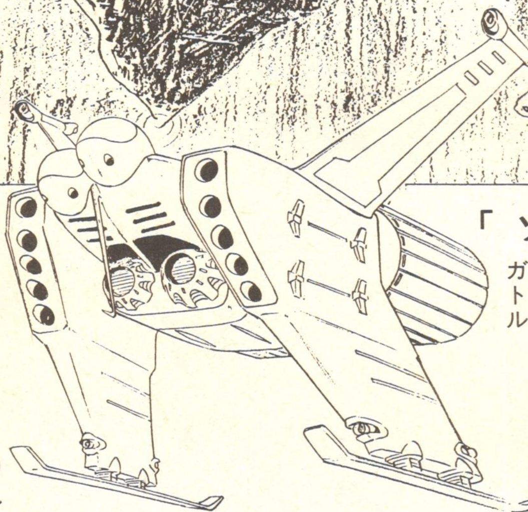
ミネバ・ラオ・ザビ

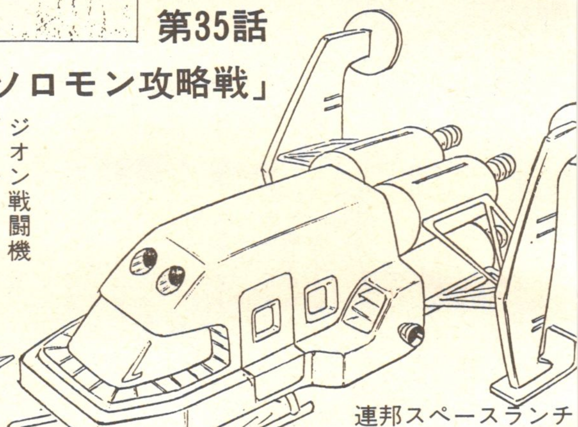
ゼナ

ラコック大佐（ドズル付参謀）

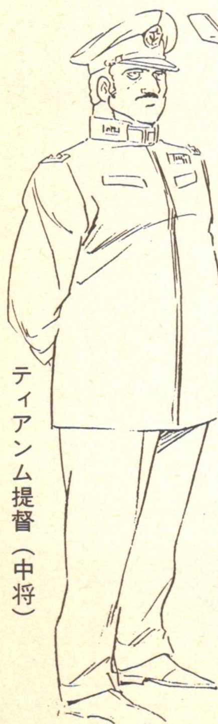


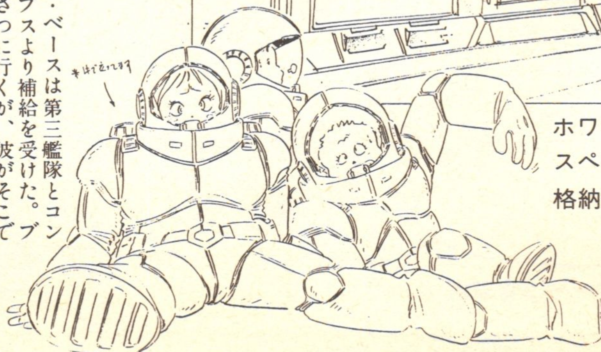
第35話
「ソロモン攻略戦」



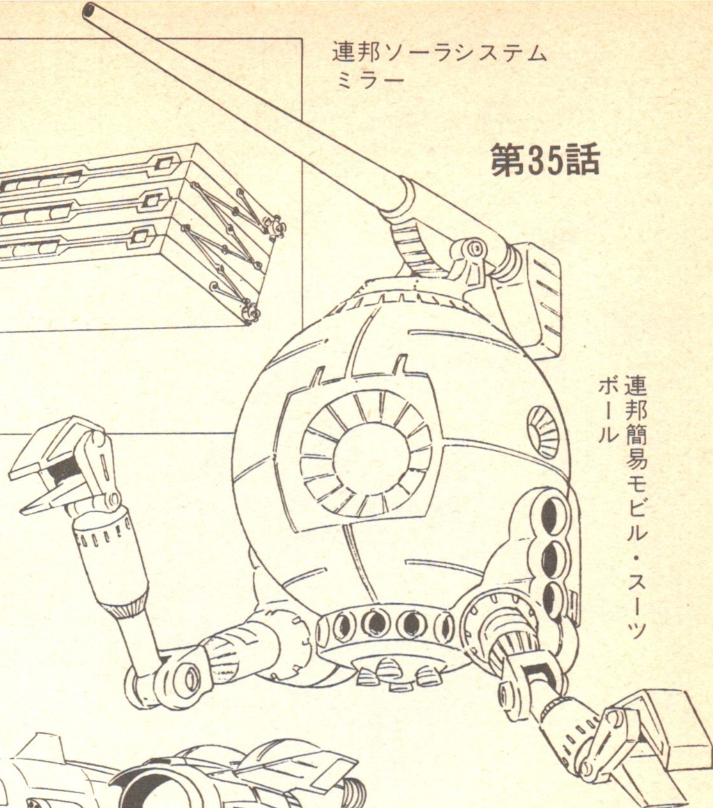


サイド6を脱出したホワイト・ベースは第三艦隊とコンタクトをとり、輸送艦コロンブスより補給を受けた。ブライト中尉は艦隊司令にあいさつに行くが、彼がそこで出会った人物はかつてルナツー司令官だったワッケイン少佐だった。ブライトは彼から、作戦の目的地がソロモンであることを知らされる。一方ソロモンでは、索敵がままならず、ギレンよりの補給も試作のモビルアーマー一機だけだったことでドズルはいらついていた。先峰隊はソロモンに攻撃をかけた。ドズルは妻ゼナと、愛娘ミネバを脱出カプセルに避難させた。その時、ティアンム艦隊は、新兵器、ソーラシステム発射の準備を進めていた。ビームの威力は大きく、ソロモンの戦力は低下した。ガンダムはソロモン内に侵入し、ジムもそれに続く。シャアはキシリアの命令でソロモンへむかい、危機を感じたドズルは、妻たちを脱出させるのだった。

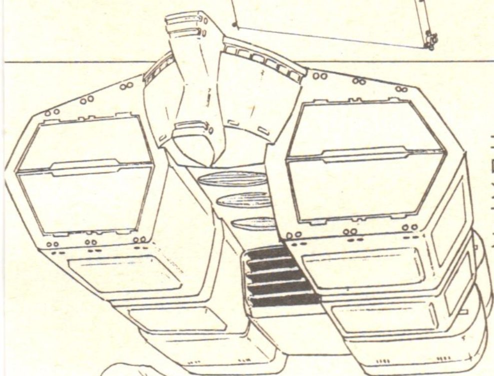


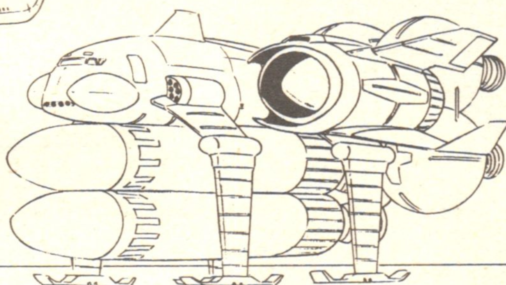


第35話

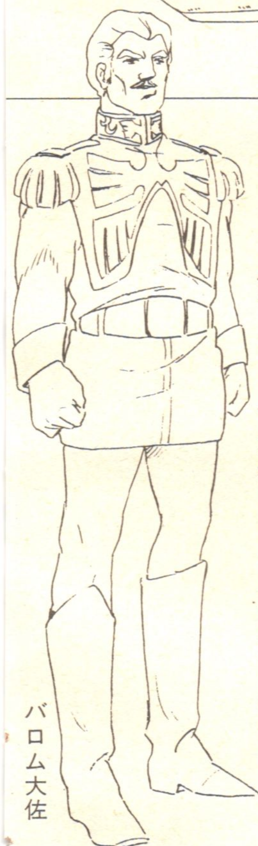

連邦ソーラシステム
ミラー

連邦簡易モビル・スーツ
ボール

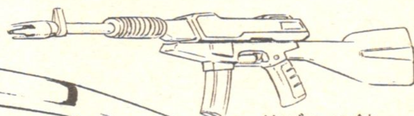

連邦輸送船
コロンブス

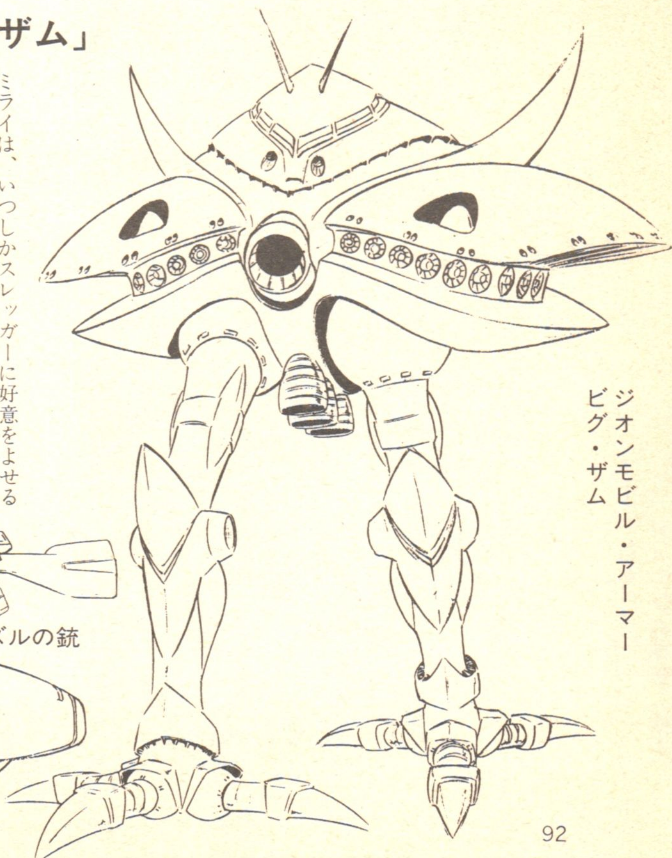

連邦突撃艇
パブリク

第36話
「恐怖！機動ビグ・ザム」


バロム大佐

ミライは、いつしかスレッガーに好意をよせるようになっていた。戦闘中被弾し帰還したGファイターに、ミライの心は落ち着かない。そんなミライに、ブライトはスレッガーの様子を見にやらせた。無事なスレッガーを見て涙するミライに、スレッガーは彼女の心を受け入れたかのように見えた…が…。一方、月の基地からはマ・クベの艦隊が、ソロモンへ向っていた。ガンダムは、ソロモンの中で、強力な破壊の跡を追っていた。そしてアムロの前に現われた巨大な影、それこそドズル自らあやつるビグ・ザムだった。圧倒的なビグ・ザムの戦力に、アムロとスレッガーはGアーマーでつっこみ、突破口を開くがスレッガーは戦死する。アムロはビグ・ザムを落とし、ドズルは宇宙に散った。


ドズルの銃


ジオンモビル・アーマー
ビグ・ザム

ジャッコ特撃艇

ジオン
モビル・スーツ用
ビームライフル

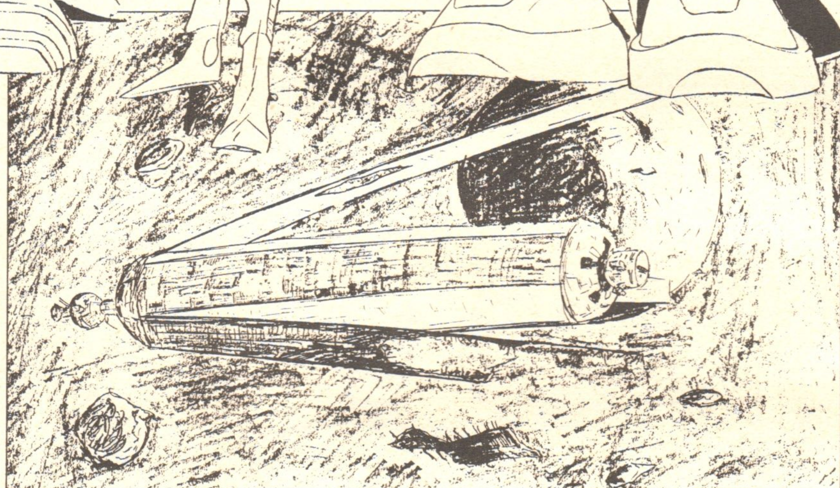
マ・クベ専用
モビルスーツ
ギャン

マ・クベの壺

戦闘服スタイルの
マ・クベ大佐

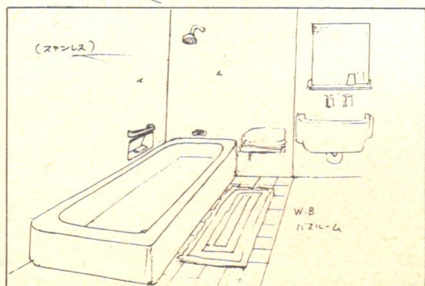
ゲルググ
（シャア用）

第37話「テキサスの攻防」

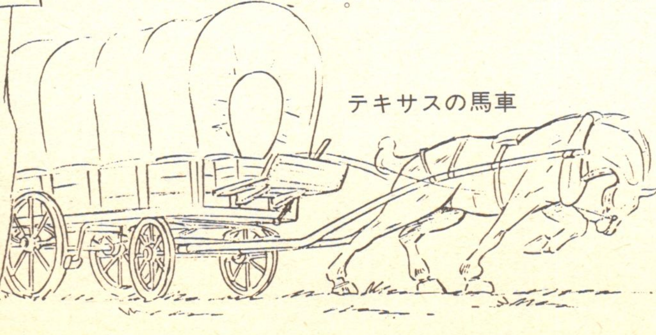

テキサスコロニーとその内部

ソロモンは落ち、ホワイト・ベースは、残存艦の掃討任務のため、テキサスゾーンに入った。牧畜と観光を目的とされていたテキサスコロニーは、夕暮れの状態のまま放置され内部は砂漠化が進んでいた。シャアは新モビルスーツ・ゲルググを受け取りにテキサスへ入港した。一方、マ・クベは自らの手でガンダムをたたくべく、専用モビルスーツ・ギャンで出撃した。彼はガンダムをテキサスへとさそいこむ。テキサスでは、シャアがララァと、フラナガン博士と共に、ゲルググを受け取りに向っていた。その時ララァは、何かが自分に近づきつつあるのを感じていた。不信に思うララァ。マ・クベがギャンで出たのを知ったシャアは、自分もゲルググで援護に出る。しかしマ・クベは、シャアの援護を拒む。マ・クベはあらん限りの力を出して戦うが、ニュータイプの兆しを見せはじめていたアムロの敵ではなかった。シャアはそれを傍観する。正にマ・クベを倒さんとした時、アムロとララァの心は共鳴を始めた。


ホワイト・ベース・バスルーム



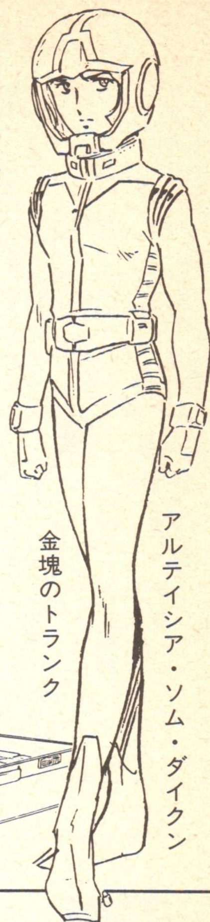
フラナガン博士


テキサスの馬車

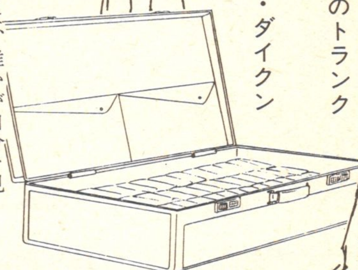
デラミン艦長

コロニーの残骸

キャスバル・レム・ダイクン



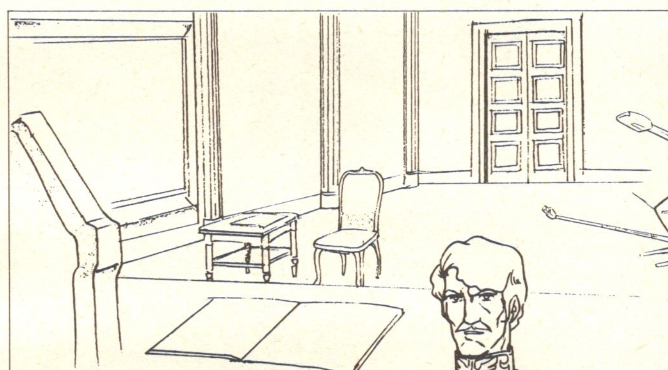
アルテイシア・ソム・ダイクン



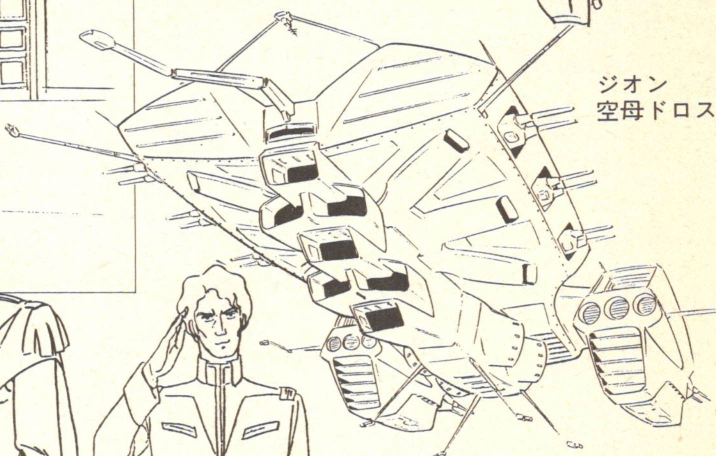
金塊のトランク

第38話「再会、シャアとセイラ」

アムロは、誰かが自分を見ているのを感じていた。シャアはララァをザンジバルへ帰らせる。コロニーの残骸の中で、デラミンのチベとホワイト・ベースは互いを発見できずにいた。ガンダムのパイロットがニュータイプだと予測したシャアはかく乱戦法に出るが、アムロはシャアの動きを読みゲルググに手傷を負わせる。が、ガンダムも消耗し動かなくなる。ワッケインのマゼランが口火を切り戦闘が始まる。ホワイト・ベースはチベを撃破すると、アムロ捜索のためテキサスへ入る。バギーでコロニー内へ出たセイラは、兄キャスバルと出会う。シャアは、地球へ脱出するくらいの金塊を送るから、船を降りるよう告げると去っていった。セイラはアムロを発見し、ホワイト・ベースは、シャアのザンジバルと交戦中のワッケインを援護に行くが、すでに遅く…。そしてセイラは、金塊を前に涙する。



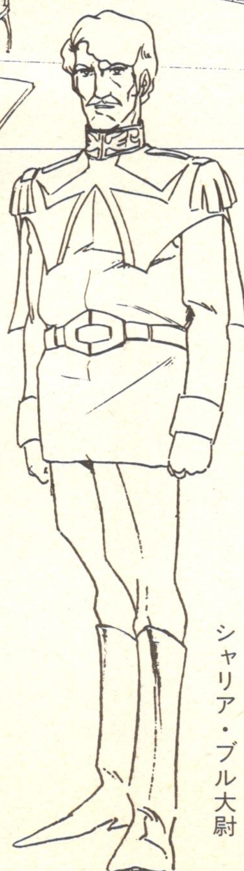
ザビ家ギレンの部屋



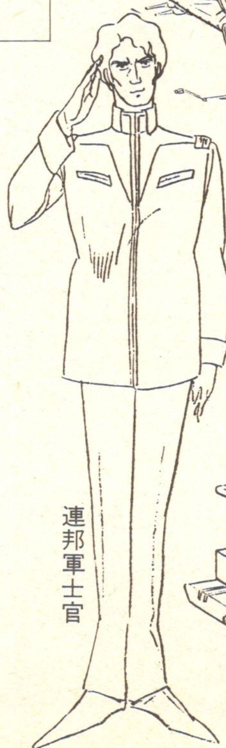
ジオン 空母ドロス

第39話「ニュータイプ、シャリア・ブル」

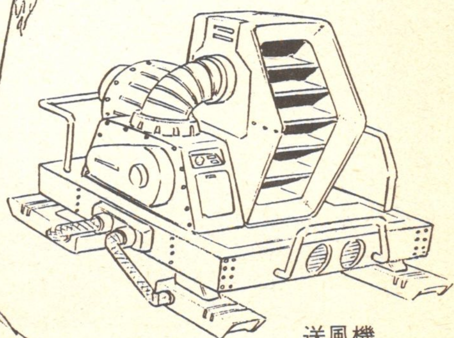
ソロモンは連邦の拠点として活動を始めていた。そんな時、謡うようなララァの声と共に攻撃をかけてくる者があった。ミライはソロモンの空域に何かの気配を感じていた。アムロには、その声が自分を呼んでいるように思えた。一方ギレン・ザビ総帥は、木星エネルギー船団の長シャリア・ブルを謁見していた。フラナガン機関の調査でニュータイプの素質が確認されていたのだ。ギレンは彼を空母ドロスでキシリアの下へ送った。そこには、ニュータイプ用のコントロール装置サイコミュを備えたブラウ・ブロが用意されていた。シャリア・ブルはブラウ・ブロのテスト飛行に出るが、ガンダムが迎撃する。ニュータイプ同士の戦いはし烈をきわめた。ブラウ・ブロのオールレンジ攻撃に、アムロはとまどう。が、すぐに動きを読むと、それを撃破した。しかしガンダムはアムロに反応しきれず、火花を散らす。



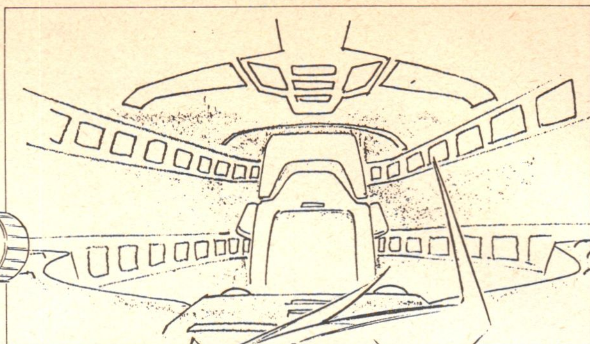
シャリア・ブル大尉



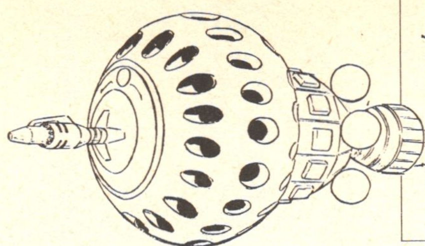
連邦軍士官



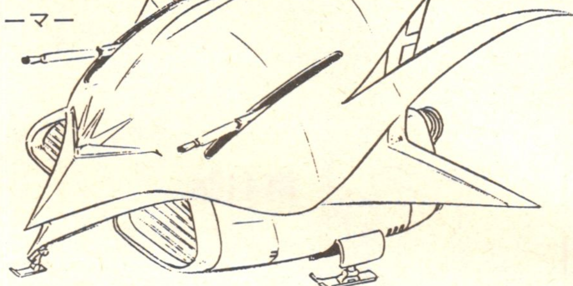
送風機



エルメスのコクピット



ビット

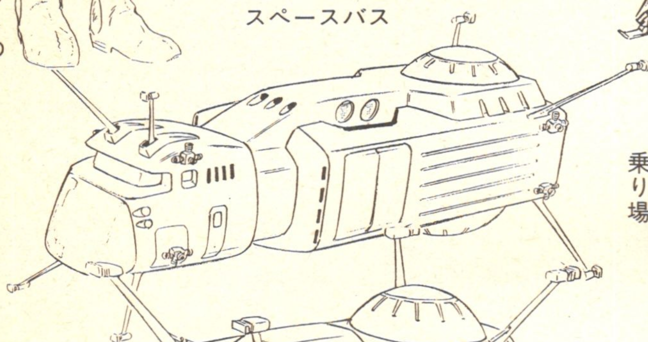


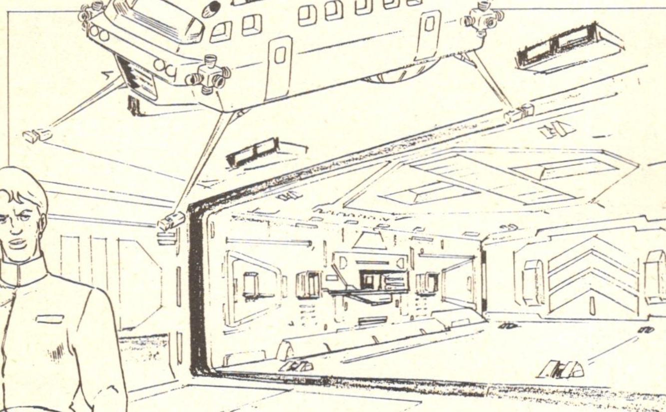
モビル・アーマー
エルメス

サイコミュ用ヘルメットの
ララァ・スン少尉

第40話
「エルメスのララァ」

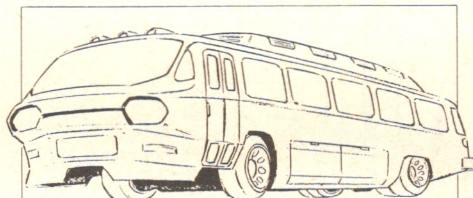
ジオン公国の
スペースバス

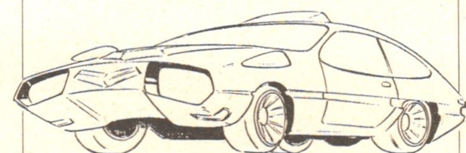


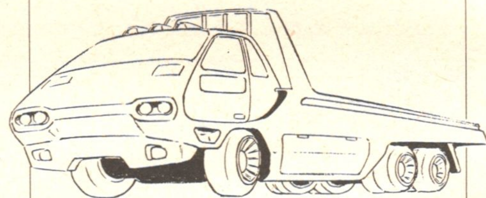


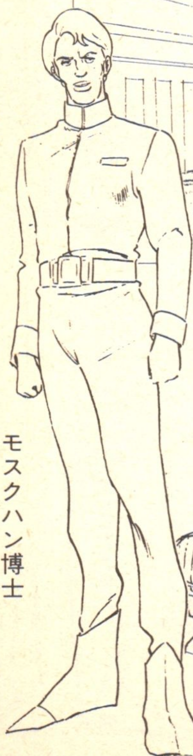
スペースバス
乗り場

ジオン一般車各種

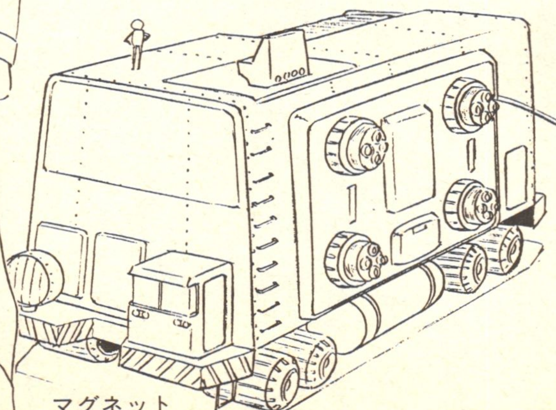






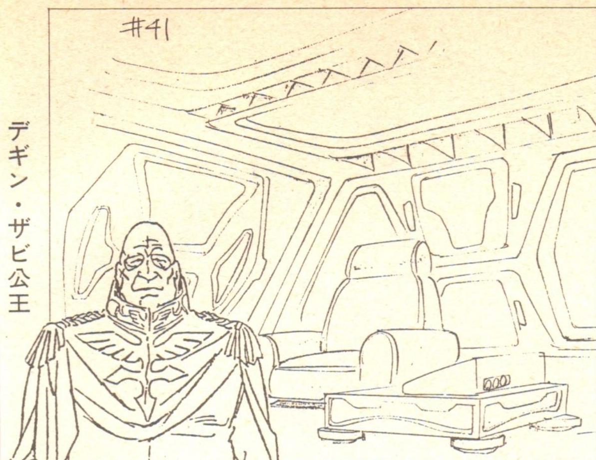


モスクハン博士



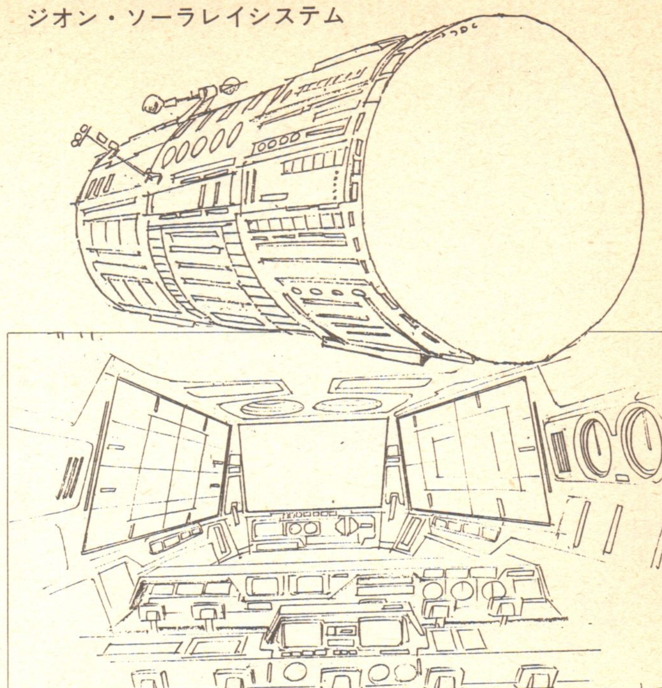
マグネット
コーティング車

拡大したアムロの能力に、ガンダムはついて行けなくなっていた。ホワイト・ベースはソロモンの技術本部へ呼ばれ、ブライトは船をソロモンへ向けた。本部でガンダムを待っていたのは、電磁工学の新鋭モスクハン博士だった。そこで博士は、ガンダムにマグネットコーティングをほどこす。いわば油をさすようなものだと言う。一方ジオンのコロニーマハルでは住民の強制疎開が始まっていた。コロニーをソーラシステムに転用するためである。シャアのザンジバルからはララァのエルメスとビットが発進した、シャアもゲルググで出る。エルメスは歴戦の勇者の操るごとく乱舞した。連邦軍には星一号作戦が発動され、ホワイト・ベースも遅れて発進した。運動性の増したガンダムにとって、シャアはすでに敵ではなかった。ゲルググは小破し、シャアはララァに攻撃を命ずるが、ララァは原因不明の頭痛に襲われていた。



デギン・ザビ公王

デギンの居間

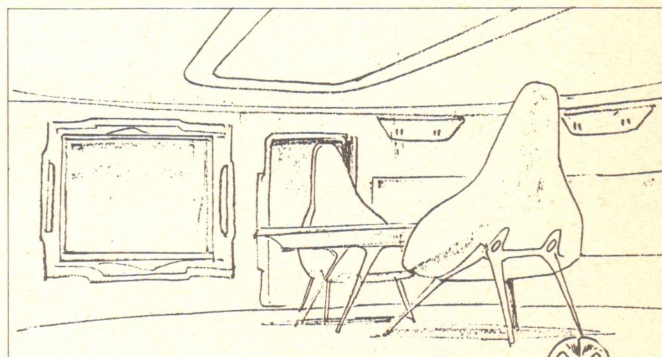


ジオン・ソーラレイシステム

ソーラレイコントロールルーム

第41話
「光る宇宙」

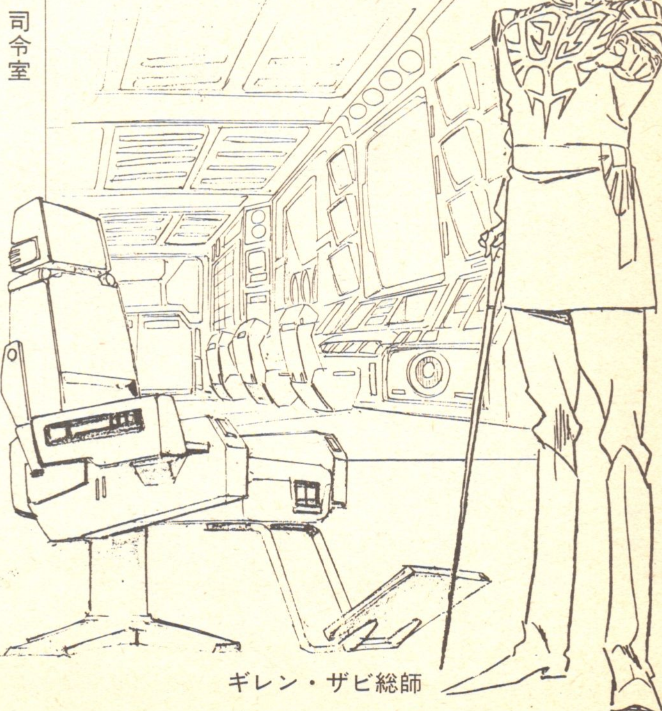
ギレンは着々と、ソーラレイシステムの準備を進めていた。デギンは、講和条約を結ばんがため、ジオン本国から発進する。シャアは修理の完了したゲルググで再びホワイト・ベースをたたきに出る。敵の動きを察知したホワイト・ベースも、カイ、ハヤト、セイラ、アムロを出撃させる。敵に近づくにつれ、アムロにはラ…ラ…という声が聞こえ始めた。ついに戦場で、アムロとララァの対峙する時が来た。二人は互いの存在を確認する。なぜ戦うのかと訊くアムロに、ララァは答える、シャアのために、私を助けてくれた人のためにと。そして言う、あなたは何も守るべきものが無いのにと。見つめ合うふたりの間にシャアが割って入った。ゲルググをエルメスが、ガンダムをGファイターが援護する。ゲルググがGファイターを落そうとした時、シャアはそのパイロットがアルテイシアであることを知りたじろぐ。そのスキをガンダムはつく。しかしビームサーベルがつらぬいたものは割って入ったエルメスのコクピットだった。アムロの絶叫が宙を…。



キシリアの個室

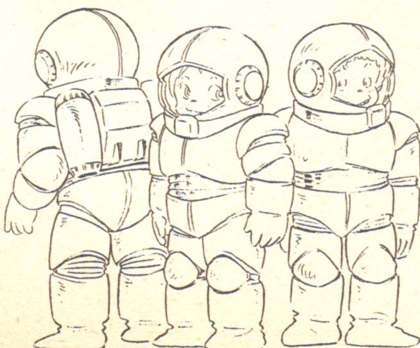
第42話
「宇宙要塞ア・バオア・クー」

ついに、連邦軍主力艦隊に向けてソーラレイが発射された。それは、講和のためにレビル艦隊と接触していたデギン公王艦、グレートデギンもろとも、連邦の主力艦隊のかなりの部分を消し去った。そして敵艦隊と同一地点でグレートデギンの識別信号を確認したという報告を、キシリアは不信に思う。ホワイト・ベースを含む生き残り部隊はア・バオア・クー攻撃に出る。ガンダムをたたくため、キシリアはシャアを試作途中の、サイコミュを一部応用したジオングに乗せる。ギレンの口から父の死の真相を知ったキシリアは兄を射殺する。一方サイコミュを満足に操れぬシャアは、あせりを感じていたが。



司令室

ギレン・ザビ総師



宇宙服の三人（左よりカツ、キッカ、レツ）

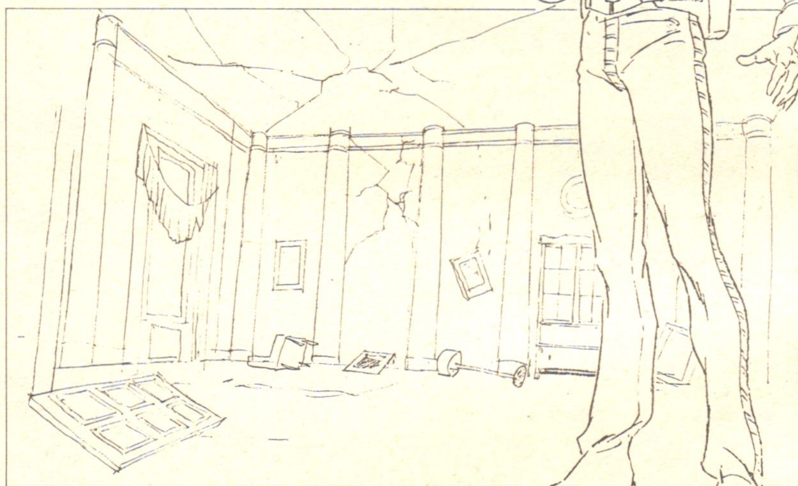
ジオング

シャア大佐

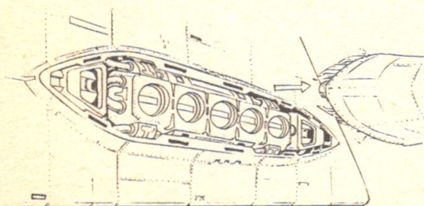
宇宙要塞ア・バオア・クー

第43話（最終話）「脱出」

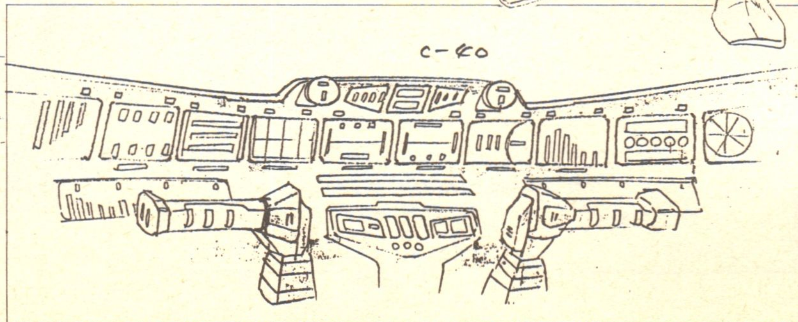
シャアも、サイコミュに順応しはじめていた。一度は見失なったガンダムを再び発見したジオングは、攻撃をしかけてきた。ガンダムも応戦するが、いつものシャアとは違っていた。ジオングはボディをやられ、頭部を切り離してア・バオア・クー内へ逃げた。アムロはそれを追ったが、ガンダムも片手と首をもがれていた。アムロは、ガンダムを自動操縦にセットすると、それをおとりにコクピットより脱出する。セットされたプログラムどうりにガンダムは動き、ジオングの頭を落とすが、作動不能となる。二人はむき身の銃撃戦を始める。一方ホワイト・ベースはア・バオア・クーに接岸すると白兵戦態勢にはいる。キシリアは、密かに脱出の準備を進めていた。セイラは、兄の気配を感じると、その方向へと要塞内を進む。そして彼女が見たものは、古風な内装の一室で、剣を交わす兄とアムロの姿だった。二人が戦うことはないのに！。セイラの声が響くが……



ア・バオア・クーの一室



ホワイト・ベース
エンジン
切り離し部分



ジオングのコクピット



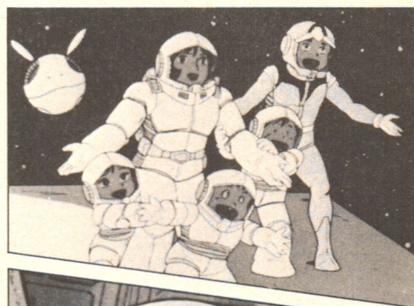
アニメック10号の解説

6号〜9号までのガンダム記事のみを再録する予定でしたが、34〜43話の設定ストーリーと放映終了直後の富野監督へのインタビューを入れるため、10号の記事も一部を再録しました。

（今だからこそ話せる必殺設定書集め⇩担当のUが苦労したのは最後のころの設定書でした。たとえば40話の孫娘を捜している老人が、実はエッシェンバッハ家の執事だったので、慌てて抜いたとか、モスクハン博士の設定が顔しかないのでおかしいと思っていたら、体はなんとテム・レイと共用だったとか……一番すごいのは、エルメスとジオングのコクピットでしょう。なにしろまったく同じなのですから。Uは上下にわけて、片方づつ紹介しました）

一応これまでで、ガンダムの大局は把握できるような特集構成になっています。

その後のガンダム研究について、特集された10号〜最新号は、まだバックナンバーがありますので、ご希望の方は直接バックナンバー係へお申し込み下さい。





バックナンバーガイド

●第10号●　　定価480円
劇場用家なき子特集、日本特撮映画史・緊急指令10－4・10－10、春のアニメ新番組特集、機動戦士ガンダム・サヨナラ特集、熱中ジアーラ、インタビュー竹宮恵子

●第11号●　　定価480円
大作映画「地球へ…」特集、日本特撮映画史・シルバー仮面、ガンダム研究、イデオン・カラー人物紹介、関あきら・スターシマック、インタビュー・永井一郎

●第12号●　　定価480円
赤毛のアン思い出特集、日本特撮映画史・コメットさん、ガンダム研究、イデオン序説、平村文男・アニメーション講座、関あきら・スターシマック、インタビュー・間嶋里美

●第13号●　　定価480円
期待の特集イデオン、日本特撮映画史・レッドバロン、ガンダム小物紹介、上半期総決算、平村文男・アニメーション講座、関あきら・スターシマック、インタビュー・渡辺岳夫

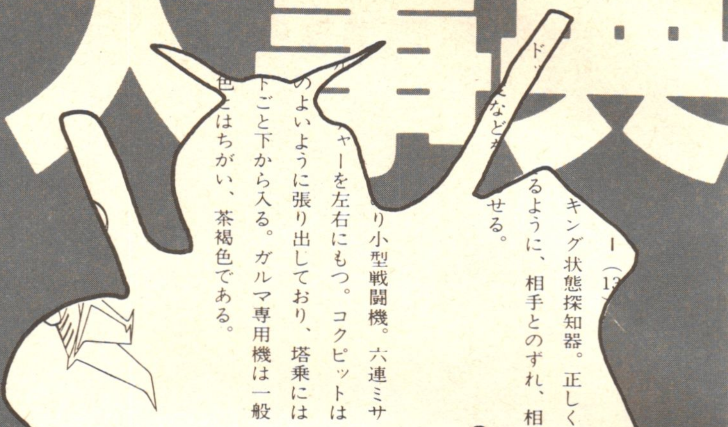
●第14号●　　定価480円
はばたけ！日本アニメーション、ガンダム用語事典II、イデオン設定ストーリー、日本特撮映画史・快傑ライオン丸、平村文男・アニメーション講座、関あきら・スターシマック、インタビュー・金山明博、住本吉隆ピンナップ

●第15号●　　定価480円
機動戦士ガンダム映画化決定!! 日本特撮映画史・快傑ライオン丸・後編、あしたのジョー2証言集、年末年始宴会ソング、イデオン解説、蜂須賀留麻・ガンダムクランク・イン、長浜氏追悼特集、住本吉隆ピンナップ、付録イデオンかるた

以上のように、バックナンバーの在庫がありますので、ご希望の方は、びんせんに必要な号数を明記の上、必ず現金書留でお申し込みください。送料は3冊までは350円です。

■宛て先■〒160 東京都新宿区新宿2の1の1
ラポート（株）
「アニメック・バックナンバー」係
TEL 03(352) 2262





…ー（13…
キング状態探知器。正しく
ド…るように、相手とのずれ、相
…などを…せる。

り小型戦闘機。六連ミサ
…ャーを左右にもつ。コクピットは
のよいように張り出しており、塔乗には
下ごと下から入る。ガルマ専用機は一般
色とはちがい、茶褐色である。

…登場するはずだったが、本編…
省かれた。

トリプルA（AAA）（4）
連邦の最…
…画の別称↓V作戦。

《ナ行》

ナカワレ
*ガンペリーのこと。ガンペリーの名を知らないジオン軍は、格納庫の開きかたか…コード名で呼んでいる。

南極条約
戦争初期、核による人類滅亡を危惧したジオンと連邦が南極において取り交…器の使用禁止を約した条約。いつの世にもあ…い、そのほかもろもろの取り決…た。

《ハ行》

ハイパー・ハンマー（26）*High powered Hamm…*
…携帯用兵器。従来のガンダムハン…ーを強化改良したもので、周囲に加速用ブースターを備えて初速を得、その破壊力をアップしている。また宇宙空間では、それ自体で姿勢制御が可能となっている。

…ブリッジ…
…ている…
…とめる型で、下方につい…
…前部にザク格納庫があり、カタパ…
射出することができる。両舷にムサイ艦*…
ドッキング用コンベアパイプがのび、…
を通して弾薬、食料等を供給する。防空…
二連装機銃がある。艦長はガデム。

ビーコン（4）
電波、光などを出す標識。ルナツースゲート入口に浮かべられている

…ョン（8）
…ロールのコード名。
…の下船を監視…
…使用…

●用語編……100
●人名編……132

●ガンダム大事典のつかい方●

この事典はアニメック8号（1～26のメカと用語）、アニメック9号（1～26の人名）、アニメック14号（27～43のメカと用語）の三つの小事典に加筆、修正し、27～43の人名事典を書き足したものです。

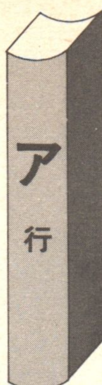
用語編には機動戦士ガンダムに登場する単語で、人名以外のものが集録されています。人名編は名前と姿の登場した人のみが集録されており、声だけの名も無い一般兵士等は含まれていません。

凡例

(22)　22話に登場したか、22話から後も使用されたもの。( )的無きものはガンダム全般に登場するもの。
⇩**オデッサディ**　その用語の別名。関連用語の場合その項を参照できる。
*　事典に含まれている単語。



機動戦士ガンダム用語事典



赤いモビルスーツ
シャアが搭乗するモビルスーツは全て赤色で塗装されている。やはりハデ好きとしか思えない。ジオングには間に合わなかったようである。

アクアラング兵（38）
水中戦闘部隊であるマッドアングラー隊の兵士達のことで、水中での戦闘、作業などを遂行する為に特別な訓練を受けている。

アッガイ（30）
水陸両用モビルスーツ。そのズングリムックリな外観に似合わず陸上においても運動性が高い。伸縮する腕、接近戦用の爪、右腕にしこまれたロケット砲と簡略された、しかし信頼性の高い兵装を持つ。

アッザム（18）
移動重機関砲座。8基のローターにて飛行可能。4本の脚は固定用で歩行はできない。二連装砲塔（火薬式）を上下各4基ずつ備え、底部よりリーダーを放出する。モビルアーマーの前段階的存在。何故モビルアーマーと類分されないかと云えば、アッザムがモビルスーツからの発展型ではなく、重機関砲座に高い機動力を持たせるという発想のもとに開発されたことにあるから。

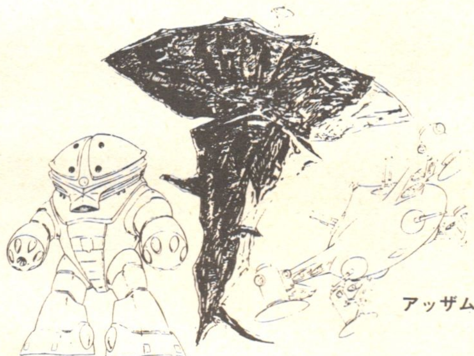
ア・バオア・クー（37～43）
ギレン・ザビの支配する宇宙要塞で、月面基地グラナダと共にジオン本国（サイド3）を守る最終防衛拠点。ソロモンと同じように小惑星帯から運んできた巨大な岩塊がその本体であり、内部に司令室、対空火器を備え、空母ドロスを初めとする艦隊が守りを固めていた。連邦軍の「星一号」作戦により壊滅されジオン敗戦のきっかけになる。

アフターバーナー（31）
エンジンの燃焼増幅装置。離陸、急加速時に使用する。

アマゾン（27）
南アメリカ大陸のアマゾン川流域一帯をさす。このアマゾン川の地下に地球連邦軍本部（ジャブロー）がある。

アルファゲイン（ガイン）
暗号化された友軍の通信内容を解読するための回路及びそのマスターキーの名称。

暗礁空域
破壊されたコロニーの残骸、コロニー建設のために運んできた小惑星のかけら等、さまざまな障害物が集まり、ミノフスキー粒子と相乗効果をなし、レーダーは勿論、あらゆる探知システムを不能とする空域。ラグランジュポイントに多く、軍事上の目的で、故意にミノフスキー粒子を散布することもある。


ア・バオア・クー
アッガイ
アッザム

アンチ・ミサイル・ミサイル（38）
敵ミサイルを迎撃する為の小型高速ミサイル（略称A・M・M）。WBに搭載されているミサイルは、発射後、近接信管の働きによって敵ミサイルを破壊するタイプ。これはミノフスキー粒子下で、誘導が不可能なため。

ECM
エレクトリック・カウンター・メジャーの略。敵の使用する電波と同じ周波数でより強力な電波を発振して、相手のレーダーを、一時的に使用不可能にすること。

ECM発振器（22）
ECM、対電子機器防害電波を発する機器。

ECCM
エレクトリック・カウント・カウンター・メジャー。ECMをくらった時にレーダーの周波数やパルス幅を変え、出力を増大することにより、その妨害を排除すること。

Eフィールド
ア・バオア・クーの座標のひとつ。月面方向にあたる。Nフィールド上にサイド3、Sフィールド上には地球が見える。

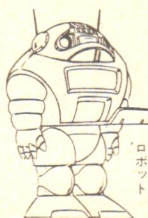
Eブロック（35）
WBの重力ブロック内にある。一番の安全地帯。非戦闘員（特にチビ3人組）の避難場

ガンダム用語事典

所となっている。

育児室（30）
軍人の子供や戦災孤児を収容する施設の一部。4―7才程度の子供の遊戯場であり、さまざまな遊び道具をそろえている。

育児室用のサービスロボット（30）
子供達のおもりロボット。ジュースやソフトクリームを腹から出す。ハロ程度の知能を有す。


ロボット

育児センター
ジャブロー内にある軍属の親をもつ子供を預る施設。育児室・宿舎他、色々な設備がある。

一週間戦争
U・C○○七八、一月のジオン侵攻開始後、ほぼ一週間にて、サイド1、サイド2、サイド4の約40のコロニーが撃破され、30億もの人類が死に至らしめられた。コロニー落しと呼ばれる戦法がとられ、BC兵器と核兵器が多用された。

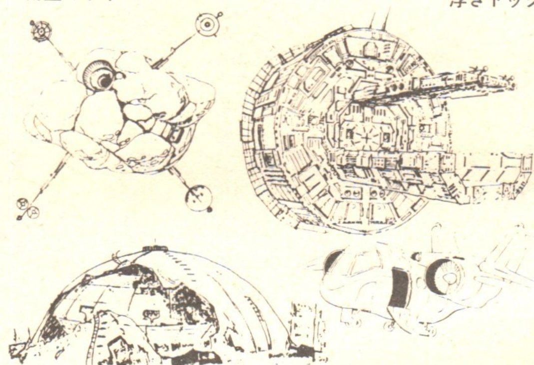
ウォールフィルム（処理）（2）
コロニー、宇宙船などの壁面補修フィルム。通常風船の型をしており、内部の空気流出とともに破損箇所に流され、そこで割れて亀裂を覆い、瞬時にして凝固する。この型は大きな破損部修復には用いられない。

浮きドック（33）
宇宙船舶の製造、改造のために使う施設のこと。無重力であるが故に、地上より作業が容易な面が多い。サイド6の実業家、ペルガミノ所有のドックは、連邦、ジオンを問わず修理が行われていたが、領空外にあったためコンスコンの攻撃で破壊された。

宇宙船ドッグ（29）
ジャブローにある連邦軍最大の規模の宇宙船ドッグ。宇宙船の修理・改造・建造を行う施設。WBはここで修理を受けた。ドック内では、WBの2番艦が整備を受けていた。専用の凝装出入口がある。

宇宙都市国家
人類総人口の80%以上が、宇宙に移民し、一つの社会単位としての立場をサイドが持ち始めそれがひとつの独立した主張を持つようになった時、一国家たらんという動きが出て来る。その代表的なものがサイド3である。

宇宙標準食（4）
ルナ・ツー内に監禁されたブライト達に支給された食事。重力ブロック内であったので、固型物中心の献立となる。


衛星ミサイル　浮きドック　雨天野球場　エイリアン号

雨天野球場（10）
アストロドーム式野球場。すでに半壊したドーム内に隠れ、ガルマの絨緞爆撃から逃れる。

曳航艇（33）
サイド6でホワイトベースを浮きドックへ誘導したが、近くをリック・ドムで哨戒中のカワハヤ少尉に発見されてしまった。ペルガミノKK所属のいわば宇宙のタグボートである。

衛星軌道（7）
惑星（地球）のまわりをまわる物体の重力と遠心力がつり合った運動の軌道。

衛星ミサイル（35）
ソロモンに装備されている岩塊にエンジンを付け、目標に体当りさせるという凄いもの。装甲が非常に厚いことになり迎撃は不可能であるうえ破壊力が大きい。但し、運動性が悪いので、対モビルスーツには不向きである。

エイリアン号（10）
エッシェンバッハ家の自家用VTOL（垂直離着陸）ジェット機。

Aブロック（29）
ジャブローの区画の一つ。宇宙船ドックがあり、ホワイトベースはここに停泊しウッディ大尉率いる技術陣の本格的な整備をうけた。

SR―4（26）
ジオン軍が用いているベルファスト基地の暗号名。

Sフィールド
ア・バオア・クーの座標のひとつ。アムロが、ジオングを追って侵入した場所。

Nフィールド
ア・バオア・クーの座標のひとつで、連邦の第二、第三大隊が侵攻した。

F36－J (21)
アムロが入れられた独房のドアナンバー。ラルの特攻時のものとは変えてある。

Fライン (42)
ア・バオア・クー攻防戦において、連邦軍が設定した戦闘ラインの一つ。ア・バオア・クーの防衛圏内の境界線。

M3作戦 (20)
ギャロップとザクを囮にキュイ揚兵戦車に突撃部隊を乗せ、WBに切りこむというランバ・ラルのゲリラ戦術。第二ブリッジ占拠に成功するが、作戦自体は失敗。ラルは自決する。

MDM－C－18小型輸送機 (28)
ベルデ諸島の漁業組合機のこと。

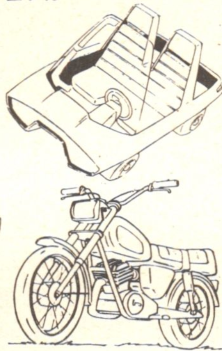
エリア (26・27)
ベルファスト基地の海中防衛用の機雷区域。触発機雷を用いている。26話ではゴックがフリージーヤードにて突破する。

エルメス
ニュータイプ専用モビルアーマー。フラナガン機関で開発されたサイコミュを最大限に応用し、十基のビットを手足のごとく操り、オールレンジ攻撃というサイコミュ搭載ならではの攻撃方法をとることができる。空母の概念を極限まで小型化したもので、ジオン軍ニュータイプ戦術の典型を表すものである。しかし、実戦に耐えうるニュータイプはララァ・スン少尉一人であり、戦局の奪回にはいたらなかった。

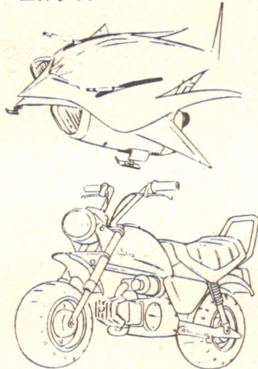
エレカー (1)
スペースコロニー内、基地の中などで使われる電気自動車の総称。特にコロニー内では空気を清潔に保つ必要上、無公害な電動カーが交通機関として発達している。エレカーの免許は15才以上で取得可能。時速40kmがコロニー内の制限速度。

遠心重力装置
無重力空間で重力を得る装置。回転体の加速度は中心を向くことを応用し、内側壁面に回転速度に応じた重力を生む。直径六・五kmの円筒形コロニーの場合、二分に一回転で、一Gの重力を生むことができる。またWBの居住区にも同様の装置が付いている。

エレカー



エルメス



カイのバイク

ゼイガンのバイク

応急テープ
宇宙空間の戦闘により、ノーマルスーツに穴が開いた場合に貼られるプラスチック自己誘着テープで、貼付すると薬品が溶け、瞬時にしてノーマルスーツと一体化する。腰のケースのサバイバルキットのひとつである。(服の穴をふさぐだけで傷口はなおせない)

オートバイ1 (27)
ベルファストでカイが民間人から徴用したバイク。構造・性能的には現代のものと変化ない。単気筒200CC。

オートバイ2 (19)
ランバ・ラル隊のゼイガンが、フラウ・ボウのあとを追う際、使用した軍用バイク。砂漠用の低圧タイヤ使用の200CC。

オートバランサー (16)
モビルスーツなどの姿勢制御のための自動安定装置。ガンダムでは脚部にあり、これを失うと直立することもできなくなる。

オートマチック修正軸 (5)
大気圏突入の際、進入角をコンピューターと連動させて計算する修正機で自動操縦装置の一種。

オールレンジ攻撃 (39〜43)
ニュータイプ用に開発された、サイコミュを搭載したモビルアーマーの攻撃方法で、有線ビーム砲、ビット等で同時に多方向からの攻撃をかけ、単艦で相手を包囲攻撃する戦法である。

オデッサの戦い→オデッサデイ

オデッサ・デイ (＝オデッサの戦い)
連邦側のヨーロッパ反攻作戦のコードネーム。レビル将軍指揮下の連邦軍がマ・クベ大佐の確保する鉱物資源採掘基地に向けて行う大反攻作戦。WBもこれに参加。連邦側の勝利に終り、ヨーロッパにおける勢力図は大きく塗り変られた。

オデッサ作戦 (16)→**オデッサデー**

オニール計画
米国プリンストン大学教授であるジラード・K・オニール博士によって生まれた宇宙植民島のアイデアで、米国で少なくとも、数十年後には実現にこぎつけるべく、着々と準備されている。

ガンダム用語事典

オフロード・クルーザー
連邦の六輪駆動のバギー車。ローターがわりにタイヤを横にしてエアカーとしても使える。高い機動性を買われ、WB他いたるところで用いられている。

オミエ作室
ホワイトベース内にある大工作室。モビルスーツなどの修理を主に行う。

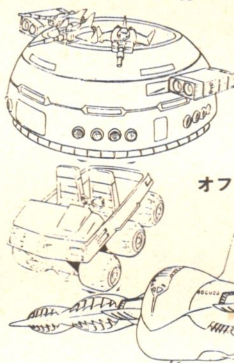
親の七光り（9）
「しかし、見事じゃないか。ガルマ大佐の攻撃ぶりは？ 親の七光りで大佐になっただけの人物ではないな」と言いつつシャアは無線器のジャックに細工をした。

カ 行

カーゴ
ジオンの野営用キャンピングカー。ドーム状で、ホーバークラフトとジェットで走行する。ギャロップと連結することができる。ハモン率いるランバ・ラル隊の生き残りは、カーゴに爆薬を満載して、WBに突攻させようとしたが、ガンダムにはばまれた。

回避運動（31）
通常は敵ミサイルから艦を避難させる運動の事であるが、敵艦との戦闘を避ける為にコースを変える事も含む。


応急テープ


カーゴ
オフロードカー
ガウ

外壁冷却機能（5）
WBの大気圏突入対策の一つ。突入時には空気との摩擦で高熱を発するので、船体と搭乗員の安全のため、主要箇所を冷却してやる必要がある。ガンダムにも同様の機能があるが補助手段として対熱フィルムを併用する。

ガウ攻撃空母（5〜）
地球におけるジオンの戦略空中空母。前部にモビルスーツ3機を格納、両翼にドップを4機ずつ搭載可能。この戦力で機動一個中隊を構成する。ガウ自体、メガ粒子砲5門を備え、対地攻撃用の爆弾倉を持ち、大型爆撃機としても使用できる。

拡散ビーム（24）
重モビルスーツドムに装備されている、めくらまし用光線。TVカメラに対して焼き付け現象を起こし、一時的にモニターが使用不能になる。ドムの左胸に発射器がある。

拡散ビーム砲（32）
モビルアーマー・ザクレロに装備されたビーム砲。命中率が高く、連射も可能だが、ビーム粒子の拡散率が高過ぎて有効射程距離が短く、実戦に耐えうる兵器ではない。

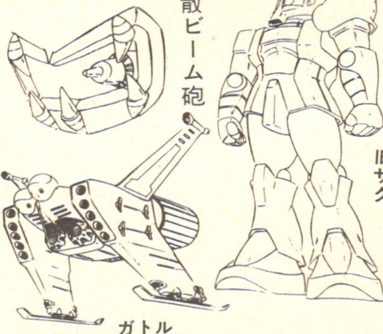
学徒動員（42）
戦闘員の数多くの戦死の為、年端の行かぬ少年ともいえる学生を速成教育にかけ、戦闘員として戦場に出撃させる事。

カスピ海（16）
カフカズ東方の世界最大の湖で裏海ともいう。16話においてホワイトベースは、レビル将軍より5日以内にカスピを渡るように、と指令を受ける。

風はすぐ吹く（19）
オートバイでフラウ・ボウのあとをつけたゼイガンがラルに送った暗号通信。木馬の発見を意味する内容。

カタパルト
広義では飛行機などの射出装置。WBにはガンダム・ガンキャノン用の特殊なカタパルトが装備されている。

カッパドキア高原（20）
グフを失ったラルたちがドズルからドムを送られて来るため（実は来ない）待機していた地点。


拡散ビーム砲
旧ザク
ガトル

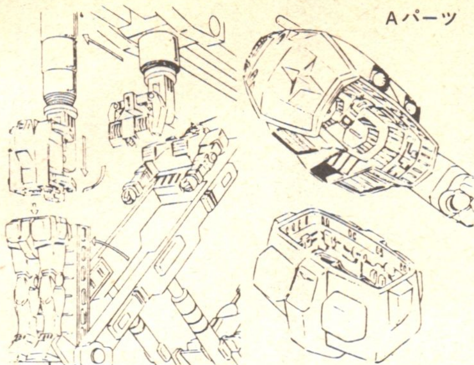
ガデム搭乗ザク（旧型ザク）（3）
ザク・モビルスーツの試作タイプ。平和利用という連邦に対する政治的カモフラージュのため多少量産され、作業用モビルスーツとして補給隊等に配備された。実戦向きではない。

ガトル（35）
ジオンの宇宙高速重戦闘爆撃機で、機の両舷に単発式大型ミサイル各2発。及びミサイルランチャー10門を装備している。また、30ミリのバルカン砲を脱出飛行が可能な2つのコクピットにそれぞれ2門ずつ装備している。

カルパート山脈（23）
別名カルパティア山脈。ヨーロッパの東部、ポーランドとチェコスロバキアの国境からルーマニアにかけ、ほぼ半月形に展開して横たわっている山脈で、長さ、面積においてはアルプスに匹敵する。オデッサの戦いをひかえたマ・クベ大佐のダブデが待機していた。隆起洋平原や平頂峰の地形を示す部分が多く、豊かな鉱床を有する。オデッサ作戦の激戦地。

ガルマ隊（9）
ガルマ直属のドップ編隊。指揮官はガルマ・ザビ大佐。この時隊長機（ガルマ機）の機体色は茶褐色。

ガンキャノン
ガンダムと同時期に開発された砲兵タイプモビルスーツ。頭部に60㎜バルカン砲2門、両肩にキャノン砲2門、携帯武器として専用のビームライフル（狙撃用）を装備し、中距離攻撃用の火器構成を取る。ガンダムより装甲が厚いが、そのかわり運動性がやや落ちる。頭部のメインカメラはガンダムに使用されているタイプより効率が良く、工程が容易なため、量産型のGMにも採用された。全高17・5m、自重70t、出力7万5千馬力、地上走行最高速度100㎞、超鋼合金ルナチタニウム製。



監視所（29）
アマゾンのジャングルの中に設置された、目視による監視所で、ジャブローの周囲数百カ所に設置されている。この監視所に配備される兵士にとっては、地下基地ジャブローの人工の中からのがれられ、上官の監視のもとからはなれ、アマゾンの大自然を堪能する良い機会である。

慣性飛行（31）
宇宙空間でエネルギー噴射で飛行したのち噴射を停止し、惰性で飛行する事。

換装
この場合は、ガンダムタイプのモビルスーツの分割された上半身、下半身のパーツにコア・ブロックを接続する作業を指す。
通常の換装はコアファイター着艦→コア・ブロックに変型→クレーンでパーツの固定されたハンガーに運ばれ→合体される。

ガンダーRX78（1）
モビルスーツガンダムの正式名称。

ガンダム
連邦の試作モビルスーツの愛称。連邦のV作戦の一環、ジオンのザク・モビルスーツに対抗して開発された。その多用性はいかなるモビルスーツにも勝る。操縦中核を本体より分離させ、軽戦闘機として使用可能。頭部に60㎜バルカン砲2門、背部にビームサーベル2本装備。携帯武器として、ビームライフル・ハイパーバズーカ・ガンダムハンマーがある。背中のランドルのバーニアを全開することによって、短時間ながらも大気圏内での飛行が可能。駆動系にマグネット・コーティング処理を受けてからは、従来の3倍の反応速度を得る。対熱フィルムを装備し、大気圏突入能力を持つ。全高18m、自重60t、出力6万5千馬力、地上最高速度130㎞、超鋼合金ルナ・チタニアム製。⇩ガンダーRX78

ガンダムAパーツ
ガンダムの上半身。

ガンダムシールド（5）
ガンダムの予備装甲板、楯の形状をしている。超鋼合金ルナ・チタニアム製。ストラップが付いており邪魔な時には背中に装着する事が可能。のぞき窓がついており、バズーカ射撃などは楯に隠れながら射つ事ができる。Gアーマーにはこれが2枚つく。

ガンダムハンマー（5）
ガンダムに装着される白兵戦用ハンマー状兵器。一撃でザクタイプを撃破する破壊力を持つ。後に改良を加えたハイパーハンマーが変って装備される。⇩ハイパーハンマー

ガンダムBパーツ
ガンダムの下半身。

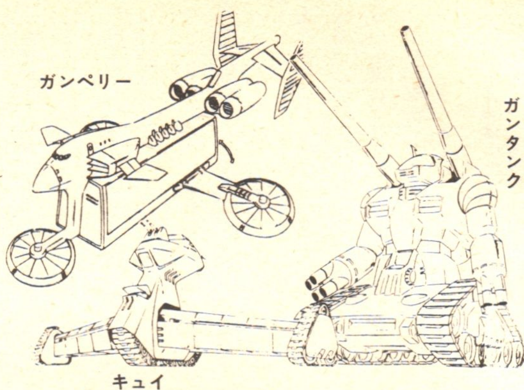
ガンダムマニュアル⇩マニュアル

ガンダム類運搬大型トレーラー（1）
コロニー内で使用されるモビルスーツ運搬トレーラー。パーツのまま運搬することが、多い。積載量が多いので、特別にガソリンエンジンを用いる。

ガンタンク
ガンダム・ガンキャノンと同時期に開発された戦車タイプのモビルスーツ。120㎜キャノン砲を両肩に2門、ボップミサイル四連装を両腕に2門装備し、長距離攻撃用の火器構成を取る。陸上での機動力が低く、白兵戦主体の対モビルスーツ戦では、ほとんど役に立たない。砲座と運転座が別々であったが、ガンダム強化パーツを輸送に来たマルチダ隊によ

ガンダム用語事典

ガンペリー



って、砲座での操縦が可能となる。全高15m自重80t、出力8万5千馬力、地上最高速度88km、超鋼合金ルナ・チタニウム製。

ガンペリー
ガンダムの大気圏内での長距離輸送を主目的としたVTOL機。WBの中央第三デッキに格納されている。予備パーツの運搬、空中換装の中継ぎ、対潜ミサイルを積んで攻撃など多目的に用いられたが、武装が貧弱で、大気圏外では使用できないことから、Gメカにとって変られた。

キャノピー（43）
コクピットの風防のこと。Gファイターのものは特に強力に作られている。

キャプテンシート
ホワイトベースブリッジの指揮官席

キャメル（32）
キャメル艦隊の一番艦。ドレン大尉の乗艦である。

キャメル艦隊（32）
シャアの副官であったドレン大尉が指揮するパトロール艦隊で、二連装砲塔ムサイ3艦キャメル・スワメル・トクメルと、リック・ドム6機で編成されている。シャア大佐の命令により、WB迎撃にまわったが、10分たらずの戦闘で全滅してしまった。しかし、コンスコン機動部隊にくらべれば、善戦したといえよう。

キャリーカー（18）
二人乗りエアーカー。鉱物資源採掘基地でマ・クベ大佐とキシリア少将が使用する。

キャリフォルニア基地（29）
ジオン軍の地球上における最大の戦略基地で、連邦軍に対する攻撃命令はすべてこの基地から発せられる。また地球上で使用されるすべてのモビル・スーツの製造・開発がおこなわれている。

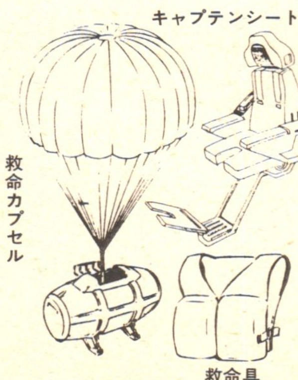
ギャロップ（16）
ジオン軍の陸戦艇。ホバークラフトで浮上し、ジェットエンジンで進む。前部に二連装機銃2門、背部に二連装砲塔1門を装備。前部にもモビルスーツを3機収容できる格納庫をもつ。両舷のブリッジは、射出式でそのまま脱出用となる。

ギャン（37）
ゲルググと同時期に開発された重モビルスーツ。ゲルググが重火砲タイプに対し、ギャンは白兵戦、特に剣技用につくられている。従って、マ・クベ大佐のような〝しろうと〟でもガンダムと互角に剣を競うことができたのである。補助火器である針状ミサイルをしこんだ楯、ジオン軍初のビーム剣など携帯兵器に改良が目立った。しかし、大戦後半においては、白兵戦より対艦船を撃破する重火力を持つモビルスーツが要求され、量産型はゲルググに決定した。プロトタイプのギャンはキシリアによって、マ・クベ専用モビルスーツとして、マ・クベに与えられた。

キュイ（19）
ジオンの白兵戦用の揚兵戦車。左右に兵員待機用の大きい張り出しがあり、中央の指揮塔には二連装機関砲が装備されている。その構造、デザインからみても明らかに実戦向きではない。

救命カプセル（8）
偵察機ルッグンに装備されている。空中投下用で、パラシュートが開く。非常食料、医薬品などが入っており、寒冷地ではカプセルの中に入って暖をとることができる。

救命具（28）
地球上でWBが行動する時に標準装備される。非常用の無線機、信号弾、食料などを組み込まれたジャケットで、水中に落ちた時などには、自動的にボンベから圧縮空気が送り込まれ、浮き袋となる。また、この圧縮ボンベは宇宙空間において予備タンクとして、10分間の使用に耐えられる。



教育型コンピューター
ガンダムタイプに搭載されているもの。ジオンのものと違い、最初から組み込まれているデータだけでなく、作動中に戦闘データや操作パターンを新たに記憶し、ある程度新しいデータを基に応用する能力がある。またデータの蓄積が充分ならばパイロットが負傷、あるいは気絶していても、ある程度コンピューターが判断し行動する事ができる。

強制排除（19・43）
コアブロック脱出機能の一部。手動で、モビルスーツからコアフィルターを自力発進させるために、上半身または下半身を強制ロケットノズルで排除する。その操作はコクピットの他、モビルスーツの外装に隠されたスイッチでも可能。

巨大投光器（12）
ランバ・ラル隊が地球に来た時に乗艦した試作ザンジバルに装備されている目くらまし兵器。量産型からは徹廃され、換りにメガ粒子砲が装備された。

機雷デック（4）
シャアがルナ・ツーの各所にしかけた爆弾の一種。専用のキャリアにより3基セットで用いられることが多い。

錐の戦法（21）
ラルの死後、ハモンを補佐するタチが用いた突撃攻撃法。古来より伝えられる最高戦法の一つ。以下タチの台詞より「第一波の攻撃を敵の最も弱いと思われる処にかけます。他の攻撃には一切目を向けず、ただ一点をぬく、我々の生還は不確実ではありますが、間違いなく木馬を撃破することができます。」

金属反応探知法（29）
ジオンのモビルスーツ隊がジャブローのハッチを探す時に磁気反応を利用し、アマゾン川の岩石との反応の違いから、ハッチを発見した方法。

金ののべ板（39）
シャアがセイラあてにテキサスの港に置いていった金塊。セイラの希望でWB乗員全てに配られるはずであったが、WBから脱出するランチに積み込んだかどうかは、疑問が残る。

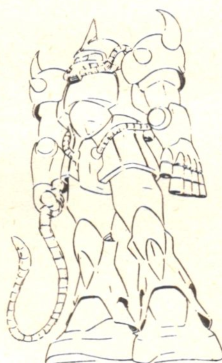
空中換装
空中での換装法には三通りある。ガンペリーから投下されたガンダムA・Bパーツとコア・ファイターが空中にて合体するパターン。WBからコア・ファイターのカタパルトで強制発進させられたA・Bパーツとコア・ファイターとの合体パターン。Gブルイージーと Gスカイなどによる Gメカ組み合せによる合体パターン。

グフ
ジオンの白兵戦用モビルスーツ。ザクタイプの有重力下の機動力を強化したもの。右手にヒートロッド、左手に四連装ショットガンをしこみ、携帯武器としてはヒート剣、ザクからの流用した120㎜マシンガンとヒートホーク等がある。装甲・兵装・機動力共にザクを上回るが、宇宙空間では使用できないことから、宇宙機動軍には配備されなかった。

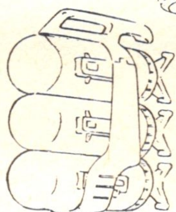
グフ部隊（17）
この場合、新型モビルスーツ、グフを有するランバ。ラル隊を指している。

クラッカー（12・16）
ザクが使用したモビルスーツ用の多弾頭手榴弾。これを投げると、途中で本体より六つの弾頭が飛散し各々爆発する。

グラナダ
月の裏側のウラン山脈の南西に位置するジオン公国・突撃機動軍の最前線基地。キシリアが支配する。宇宙要塞ア・バオア・クーと共にジオン本国（サイド3）を守る最終防衛拠点。


グフ

クラッカー


機雷デック

グラブロ（28）
水中用モビルアーマー。左右各7門の水中ミサイル発射口、各1門の対空でブーメランミサイルを装備。接近戦用の巨大な爪は普段は航行の邪魔にならないように後方に収められている。水中での運動性能・火力共に水陸両用のモビルスーツをしのぐが、逆に水中でしか戦えないという欠点を持つ。

グレートキャニオン（8）
合衆国南西部アリゾナ州北部にある雄大な峡谷。コロラド川がコロラド高原をきざんでできた。グランドキャニオンのこと。

グレート・デキン
ジオン公国の公王、デキン・ソド・ザビの旗艦で、グワジンタイプの戦艦の一番艦。艦首にジオン家の紋章がかかげられている。ゲルドルバで連邦軍のレビル艦隊と和平交渉を行うべく接触した際、ソーラレイに巻きこまれ、公王もろとも消滅した。

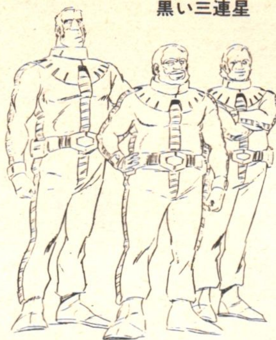
黒い三連星（24・25）
キシリア配下の歴戦の勇士。ガイア、マッシュ、オルテガの異名。常に3人で行動する独立した戦闘隊で、各人黒いノーマルスーツを着ていることからこの名がついた。ルウム戦役では連邦軍のレビル将軍の旗艦を沈め、レビルを捕虜としたこともある。当時はザクを使用していた。本編では重モビルスーツ・

ガンダム用語事典

ドムを使ってアムロたちを襲撃する。

クロスサイクルWF

ホワイトベース側の使う暗号通信の波長。



グワジン

ジオン軍巨大戦艦。二連装主砲3門、二連装ビーム砲10門。ほか各種ミサイル搭載。戦力として両軍通じて敵なしだが、量産はきかない。キシリアの旗艦とデギン旗艦グレート・デギンが確認されている。グワラン、グワリブなどの同型もみられるが実数は少ない。

軍楽隊（39）

軍のレセプション・パレードなどで音楽を演奏する部隊。

ゲートセンサー（2）

コロニーのスペースゲート内を航行するとき、艦がゲイトと接触しないための監視装置。狭いゲート内で、通常レーダーは使用できず特別な装置が必要となる。

撃雷（4）

マダガスカルの塔載兵器。ルナツーにおいて搬入する描写があったが本編では切られている。

ゲビル隊（6）

ガルマ配下のドップ戦斗隊。WB攻撃を行う。

ゲリラ戦地帯（13）

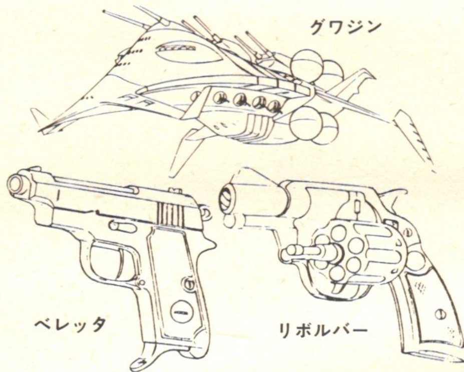
この場合アムロの地球での家がある、日本の山陰地方を指す。余り戦略上重要でないためジオン・連邦両軍共に、余り物資など補給されず自然とゲリラ戦となってしまった。

ゲリラ掃討作戦（1）

ルウム戦役後、戦争は両軍共にゲリラ戦の様相をみせる。ゲリラは主に暗礁空域を中心に活動する。シャアは巡洋艦ムサイとモビルスーツザク5機で、連邦軍ゲリラの掃討にあたった。その作戦の帰り、WBを発見する。

ゲルググ（37〜）

ジオン軍最終量産タイプのモビルスーツ。専用ビームライフル、両刃のビーム剣などの新兵器を備え、装甲、火力、機動力などドム以上の性能を持ち、ア・バオア・クーの戦いに新戦力として投入されたが、学徒動員パイロットしか残っておらず、充分にその性能を引き出せず、態勢を変えるにはいたらなかった。



ゲル・ドルバ照準（41・42）

一度しか使用できないソーラ・レイ発射のために設定した照準のひとつ。連邦軍の艦隊の進行予想コースをいくつか設定していた。連邦軍の艦隊から見ると、ア・バオア・クーに対しての第三戦闘ライン上に位置する。

検察官（33）

サイド6で連邦船、ジオン船の出入港の際の手続きを取り行う高級官吏。領空内での戦斗防止の為、全ての武器を封印する。

拳銃A（18）

アムロが脱走中に、少年兵たちが整備していた大連発のマグナム・リボルバー拳銃。ラッチはS&W方式で、シリンダーの回転方向はコルト方式というありそうでない銃。軍用のスナップノーズ（短銃身）というのも珍しい。

拳銃B（27）

ミハルのバスケットの底に忍ばせている拳銃。イタリア陸軍の制式拳銃のベレッタ一九三四と思われる。ガンダム全話を通して実在する銃はこれしか出ていない。

コア・チェンジ

連邦軍の転戦闘機コア・ファイターがガンダムに換装するために、中核たるコア・ブロックに変型する過程を云う。

コア・ファイター

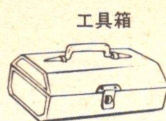
連邦軍の多目的軽戦闘機。二連装30㎜バルカン砲2門、4連発対艦ミサイルランチャー2基装備。全長8.6m、自重8.9t、出力1万2千馬力、大気圏内最高速度マッハ4.8。コア・チェンジすることにより、ガンダムタイプの操縦中核コアブロックになる。脱出カプセルに過ぎなかったが、軽戦闘機並の性能を引き出せることから、Gファイターが配備されるまでWBの主力戦闘機となった。

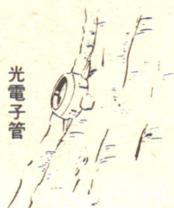
コア・ブロック

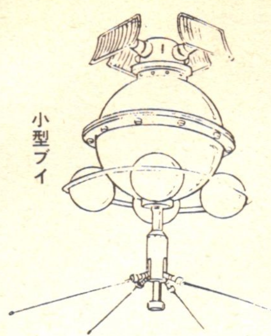
ガンダムの操縦中核、航空機タイプのコア・ファイターに変型できる。

工具箱（27）
アムロがサイド7の自宅からWBに持ち込んだ私物。基本的な工具類だけでなく、ハロを作る時に使われた、科学関係の特殊工具なども入っている。いい値で売れるだろう。
アムロはWBを降りようとするカイにこれを手渡した。が、カイはWBに帰って来た。

公式データ内蔵カメラ（25）
Gファイターに装備されている偵察用カメラ。撮影と同時にその状況が記録される。そのデータは修正ができない。ジオンのスパイジュダックが伝令の為、ジオン軍前線から連絡機で飛び出すところを撮影した。絶対的な証拠写真となる。


工具箱


光電子管


小型ブイ

光電子管（24）
センサーの一種。光によって情報を伝達する。故障したWBは周囲の森にこれを配し、ドムの動きをキャッチできた。

高熱源体（2）
ミサイルなど燃焼式エンジンを動力とするものを主として指す。ミノフスキー粒子で電波類が使えない時、これの発する赤外線を探知して、レーダーの代りとすることができる。

航路コンピュータートレース（32）
ジオン軍が、自軍のパトロール隊の現在地点を知る為の方法で、パトロール隊の予定コース、定時連絡をもとに、現在地点を割り出す事ができる。

港湾警備砲台（27）
北アイルランド補給基地、ベルファストの海岸線に設置され、海からのジオン軍を監視する。主要な防御兵器として、触発機雷、魚雷、短距離ミサイルなどがある。

小型ブイ発信アンテナ（26）
自動発信装置の付いた風船の電波を海中の情報収集艦に中継するブイ。情報収集艦にて的当と判断されたものは、本隊のマッドアングラーにまわされる。

個人通話（36）
特殊回路で接続され、当事者以外には通信されない。一般作業中でも決められた周波数は常に開けておくことが義務付けられている。まして、戦闘中では私語など厳禁されている。

ゴック（26）
ジオンの水陸両用モビルスーツ。腹部に固定式のビーム砲2門、水中用防御兵器 フリージーヤードを装備。接近戦においては両腕の爪が強力な武器になる。腕と脚を引きこんで、水中走行の体型に変わる。装甲、馬力共にザクなどの比ではないが、陸上での運動性は低く、真の威力は水中戦にて発揮される。

固定アーム（4）
この場合、艦船類の固定装置を指す。マゼラン*艦排除のため主砲をうつ際、ルナツー*のドックには重力が作用していないので、ホワイトベース*は艦を固定する必要があった。

コ・パイ
副操縦士のこと。

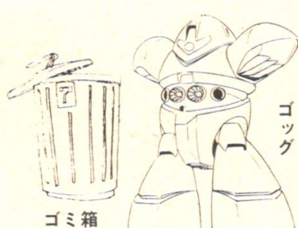
ゴビ砂漠
モンゴル高原内部に横たわる砂漠

ゴミ箱（2）
スペース・コロニー内一般住宅用の外部設地ゴミ回収ユニット。第二話でWBに住民が避難し、無人となった市街で、犬がゴミを漁っていた。

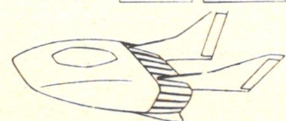
コミュニティーカー（33）
サイド6内部で使用されている電動バスの名称。

コムサイ（5〜7）
ムサイの大気圏突入カプセル。ムサイ本体は大気圏突入ができないので、連絡船としてカプセルのみを突入させる。大型カタパルトを用い、成層圏まで上昇できる。ザク2機を収納し、バルカン砲を装備するが、航続距離も長くなく、本格戦斗には不向き。

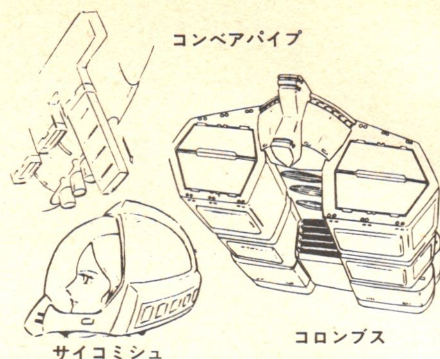
コロニー落し
一週間戦争の際、ジオンが行った作戦のひとつ。核爆弾の力を借りて、コロニーを減速させ地球に落下させる。うまく操作すれば地球上の主要都市に叩きつけることができる。この作戦でザクはコロニーの減速に忙殺され、連邦軍に多くやられてしまった。南極条約によって、コロニー落しは禁止された。



ゴッグ
ゴミ箱


コムサイ

ガンダム用語事典



コロンブス

コロンブス（35〜）
連邦軍の新造モビルスーツ輸送艦。モビルスーツ一個中隊に必要な50機のGM及び予備パーツ類を一度に輸送する能力を持っている。ソロモン攻略戦では、ソーラー・システムを輸送した。

コンスコン機動部隊
ドズル中将の命令により、シャアの監視にきたコンスコン少将ひきいるチベタイプ重巡1艦、ムサイ2艦からなる部隊。WBとの戦闘であっさりとやられてしまった。

コンベアパイプ（3）
この場合、パプア補給艦の舷側より伸びる3本の補給筒を指す。



サーベル（43）
ア・バオア・クー内の貴賓室の壁のかざりとなっていた。アムロとシャアが決斗に用いた。

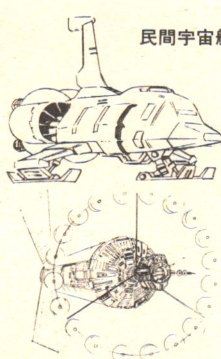
サイコミュ（39）
ジオンのフラナガン機関によって開発された脳波伝導システム。ニュータイプの深層意識にある拡大された認識域から発信される、予知力ともいうべき精神波を受信、電気的に増幅して、パルス信号化した精神波をふたたび発信する。それを受信したメカニズムは、具体的動作を示す。電波干渉の著しいミノフスキー粒子下にあっても、その精神波は影響を受けず、無線誘導を可能にする。概念があいまいだったニュータイプを軍事体系に組み込む具体的手段となる。サイコミュ自体は単なる機械的操縦装置の一部に過ぎないが、増幅された精神波は、ニュータイプ同士では共振作用を引き起し、複合的な認識域の拡大を生む。ニュータイプ以外であっては「ラ・ラ」という不明僚な共振しか生まない。

最終防衛線（4）
ア・バオア・クーと月のグラナダ基地を結ぶ防衛線。ここを抜かれるとジオン本国が直接攻撃を受けることになる。

最小戦闘単位（40）
連邦軍の最小単位は、マゼラン・タイプ1、サラミス・タイプ3。

サイド
スペースコロニーの集合体であり、一つの行政単位。一基のコロニーを一バンチとし、35〜40バンチを一群として一定の空間に浮べ、建設順にナンバーをうつ。サイド1（ザーン）サイド2（ハッチ）サイド3（ムソン）サイド4（ムーア）サイド5（ルウム）サイド6（リア）サイド7（トア）と愛称がついている。この内、サイド1・2・4・5は一週間戦争の際にジオン軍の攻撃で全滅させられた。

サイド6（31）
南極条約により中立サイドとして、ジオン軍、連邦軍のどちらも非戦闘区域としたサイド。ジオン寄り。



サイド6のスペースゲート
傷付いたWBが船体の修理と補給物資の調達のために入港する。おりしも昨日まで追撃してきたシャア大佐のザンジバル艦が、ニュータイプララァ・スンを引き取りに入港し、ジオンと連邦の艦が同じ港に接舷するという中立サイドならではの光景を見せる。

サイド6の民間宇宙船（34）
コロニー間連絡用スペースバスと異なり、短距離ながらも自力航行が可能。カムラン・ブルームがWBの楯となるべく、個人的にパイロット付きで雇った。

サイド3
地球から最も離れた、3番目のサイド。月の裏側に位置する。住民は独立の気概が強く、UC0062に連邦からの独立を宣言、ジオン公国を名乗る。連邦がこの独立を認めないことからジオン独立戦争は勃発する。他のサイドと異なり密閉型コロニーが多い。

サイド7
建設途中のスペースコロニーで、まだ正式にはサイドに昇格していない。連邦V作戦の一つ、モビルスーツ最終テストのための施設がある。この物語の発端となったところ。

サイド5
愛称ルウム、5番目に建設されたサイド。ルウム戦役のあった激戦地。今は無人のコロニーの残骸のみがある。ガンダムとマ・クベのギャンとの決闘が行われたテキサス・コロニーもサイド5の一つ。

ザク（1～）

ジオンが連邦に先がけて開発した最初の、実戦量産型モビルスーツ。ザク・マシンガン、バズーカ、ヒートホークという専用携帯武器の他に、足用ミサイルポッド、マゼラトップの主砲を改造したものなど、他の武器の転用が容易。完成度の高い汎用タイプ。一週間戦争の際にはスペース・コロニーを地球に激突させるという戦略の中核的存在となる。全高17.5m、自重74.5t、出力5万5千馬力、地上走行最高時速85km、超硬スチール合金製。

作戦会議室（30）

士官たちが、さまざまな戦略・戦術を会議する為に作られた専用室で、コンピューターディスプレイなどが完備しており、ありとあらゆる情報をリアルタイムで利用することができる。

作戦本部（29）

ジャブローに対するジオン軍の攻撃を、総合的に判断し、防御方法の指示及び基地外部の情報提供を目的に設置された基地の一部門。しかし、シャアひきいるモビルスーツ隊の攻撃があった時、不思議とWBに対して指令も情報も与えられなかった。

ザク・マシンガン（1～）

120mmのザク専用マシンガン。使用法は人間の使うものと変わりない。グフ部隊にも流用されていた。

ザクレロ（32）

宇宙戦用モビルアーマー。拡散ビーム砲1門、ミサイル発射口8門、接近戦用のナタ状の両腕などを装備するが、機動性が悪くテスト途中で廃棄される予定であったが、功をあせるデミトリーが無断で出撃し、Gパーツを付けたガンダムにやられてしまう。

砂漠に蝶は飛ぶのか（16）

レビル将軍の伝令を確認する際、ブライトが使った合い言葉。

サブ・ブリッジ

この場合WBの第二艦橋を示す。WBに突入したランバ・ラル隊が占拠したが、ガンダムのビームジャベリンで兵は一掃され、ラルは艦外に身を投げて自決した。

サフラン（42）

星一号作戦に参加した連邦軍主力艦隊の第二分隊に所属するサラミスタイプの一隻。ソーラレイの攻撃で生き残った船。

サムソン

ジオンの輸送トレーラーで、ザク、グフ、などのモビルスーツ運搬が主用途。

サムソントップ（21）

ジオンの装甲兵員輸送車（APC）。ホーバークラフト推進で二連装機銃二基を備える。普段は輸送トレーラーの動力車である。

サラミス（4～）

連邦軍の巡洋艦。主砲6門、二連装大型機銃4基を持つ。戦力的にはムサイと同程度。大気圏再突入能力をもたず、下部のカプセルで再突入を行う。ブースターを接続すれば、宇宙に出るだけの推力を得ることができる。

386（28）

WBの各部屋には電動ロック付きのドアがそなえられている。通常のドアはいつもオープン状態であるが、特殊な、特に個室のドアなどには4桁のアルファベットと数字の組み合せを知る者以外は、そのドアを開けられない。

この番号はカイがミハルに教えたカイの部屋の電子ロックの番号である。このことから判断すると、WBの電子ロックは、一度セットすると、ドアの内側からでも、解除ナンバーを打ち込まなければ開かないようである（もっとも、内側からはドアは開くかもしれないが、ミハルが外を歩きまわる事を考えて解除ナンバーを教えたのかもしれない。）

ザンジバル

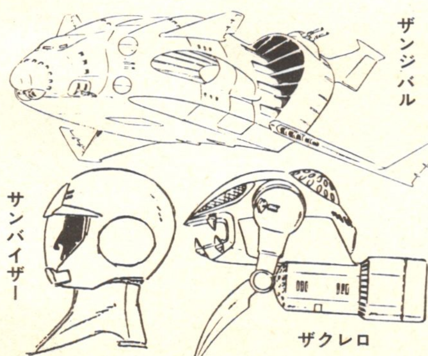
ジオン軍の機動巡洋艦。大気圏突入、ブースターを付けて離脱ができる。5基の機関砲収納の二連装主砲1門を装備、ランバ・ラルがテスト用に使用したものは巨大投光器が4基付いていたが、実戦配備のものは4基ともメガ粒子砲にかえられ強力な武器となる。モビルスーツを3機収容可能。

酸素欠乏症（33）

宇宙空間の事故などにより、酸素切れで、脳内部の細胞を部分的に破壊されてしまい、人格変化から死亡と、救助された時間によって差はあるが、だいたいは、悲惨な症状となってそれまでの生活がおくれなくなってしまう。

サンバイザー（27）

ノーマルスーツのヘルメット部に組み込まれている。紫外線、その他有害な宇宙線を遮断する。



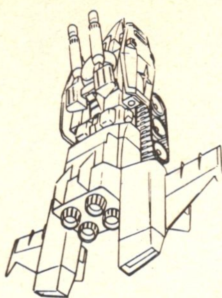
ガンダム用語事典

三番ノズル

三番ノズル（12）
WBの右舷メインエンジンノズルの一つ。左舷のを合せると合計八基ある。

参謀本部（29）
ジャブローの上級士官が勤務する建物で、連邦軍の総合的戦略がここでたてられる。

Gアーマー
Gファイターを前後に分割して、ガンダムを収納したもの。ガンダム本体から動力を得て、重装甲の戦闘機になり、連邦軍のモビルアーマーと云えない事もない。ガンダムの長距離輸送に役立った。兵装はGファイターと変らず。


Gアーマー

シークレットファイル（1）
この場合はガンダム操縦用のマニュアルを指す。V作戦の最高機密文書扱いを受けており、関係者以外の者が許可なく、読んだ場合はスパイ容疑で逮捕、ヘタをするとその場で銃殺という恐しいもの。

シーランス（26）
マッドアングラーに搭載されている高速艇。水上を2基のジェット・エンジンで滑走する。2人乗り用で、武器は装備されていない。

Jタイプミサイル
ザンジバル級の戦艦に搭載されている大型ミサイルで、両舷に1門づつの発射口があり、あわせて2発の発射が可能である。一発でサラミスタイプ巡洋艦を撃破する性能を有し、終戦間際に実戦配備された。

ジェットストリームアタック（24）
ホバーリング効果による高機動性を得た、数体のドムによる対モビルスーツ用攻撃フォーメーション。″黒い三連星″が得意とする戦術。

ジオニズム
シオニズム（亡国のユダヤ民族統一に関する主義）に類する言葉で、ジオン公国の創始者ジオン・ズム・ダイクンによって提唱された宇宙移民から生まれる新人類の未来に関する主義主張。彼自身もニュータイプではなかったかと後の歴史学者は推察している。

ジオン共和国（43）
ア・バオア・クー攻防戦後、ザビ家が全員死亡し、残された内閣が共和制に移行させた。

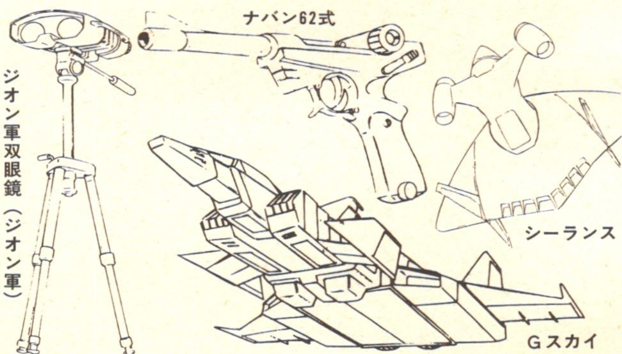
ジオング（42・43）
その名の通りジオン軍の威信をかけた最終モビルスーツ。頭部にコックピットがあり、脱出カプセルにもなるが、ビーム砲1門を装備し、単体でもかなり戦力になる。腕部は五本の指にビーム砲をしこみ、有線ながらオールレンジ攻撃が可能。最大の特徴はサイコミュが搭載されたことで、ジオングがニュータイプに開発されたことを示唆している。形状面からモビルスーツと分類されているが、機動力、メカなどの性能面からモビルアーマーと分類したほうが良いと思うのだが、80％完成したプロトタイプが一機、ア・バオア・クーに投入され、ニュータイプの素養を強くもつシャアがパイロットとして搭乗するが、より以上の能力を持つアムロのガンダムに追いこまれ互いに大破する。

ジオン軍制式拳銃（ナバン62式）
ジオン軍兵士の一般装備されている火薬式自動拳銃。ルガーで有名なトグル・ジョイント式の遊底で、機械的に多少弱いのが欠点。九連発。

ジオン軍制式双眼鏡（1）
野戦用。宇宙空間での使用に耐える。性能的には、現在のものと変わりない。

ジオン軍用バイク（18）
砂漠用の低圧タイヤ使用の100CCガソリンエンジンのバイク。WBに帰るフラウ・ボウのサンドバギーの追跡に用いた。

ジオン公国
サイド3を中心とした独立国。宇宙世紀0062、革命家ジオン・ズム・ダイクンによる独立宣言がおこなわれ、公国の道を歩むが、0068のジオン・ズムの死後、デキン・ザビが主権を確立。内閣を掌握して、ザビ家による軍制独裁体制をかため、0078に地球連邦政府に独立戦争を挑む。ア・バオア・クー陥落により、ザビ家は全員死亡、残された内閣により公王制を廃止、共和制に移行する。0080、終戦協定が結ばれた。



ジオン軍双眼鏡（ジオン軍）

ジオン十字勲章（6）
ジオン公国の戦功をたてた勇士に与えられる勲章。

ジオン陸軍白兵戦用自動小銃（20）
ランバ・ラル隊が使用した三十連マガジンを使用した小型軽量の突撃銃。使い易く、命中率も良い。

磁気圧（35）
モビルスーツの動力源である核融合炉のプラズマを封じ込めるための磁気圧力。磁場を設けて、高温のプラズマが炉心を傷めないようにする。磁気圧が低下すると、プラズマを制御できなくなり、出力の低下を招く。

CC―2（1）
サイド7に侵入したデニム小隊からの暗号電文。「連邦のモビルスーツ開発（V作戦）発見」

Gスカイ（23～）
Gファイターの後部パーツに、ガンダムBパーツとコアファイターを接続させたもの。コアファイターの航続距離と火力を増した長距離重爆撃機となる。ガンダムを乗せて飛行できる。

Gスカイイージー（23～）
Gスカイのパーツ構成から、ガンダムBパーツを除いたもの。直接、Gファイター後部とコアファイターを接続させる。性能差がほとんど無いこと、予備のコアファイターを使用することにより、別にガンダムを出撃させれるので、このイージータイプで使用することが多い。

C―クラスミサイル（2）
*ムサイ艦装備の小型ミサイル。主砲わきの両舷4基ずつのスリットから発射する。

シスコ（42）
星一号作戦に参加したサラミスタイプの一隻。ソーラレイの直撃はまぬがれたものの、他艦の爆発の破片を受け、被弾・損傷した。

姿勢制御バーニア連動システム（35）
連邦軍のソーラーシステムを制御し、全ミラーの焦点を合わせる為にコンピューターによって、各ミラーについているバーニアを連動するシステム。

自走対モビルガン（1）
対モビルスーツ用の自走砲。二連装機関砲搭載、有線ミサイル・エレカーと共に、サイド7のコロニー内守備用として配備された。ザクに対してそうききめのある武器ではなく、気安め程度のものである。

ジッコ（36）
ジオン軍の小型突撃艇。七連装ミサイルランチャー装備。時代遅れの宇宙戦闘機の一種だが、質より量の艦対戦では、今なお役に立つ。

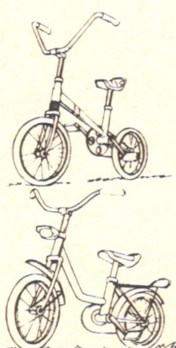
失速（27）
低速飛行、あるいは急激な方向転換をおこなった時などに、機体のコントロールを失い墜落しそうになること。

自転車1（27）
ミハルの自転車。カバーなし、泥よけなし、ブレーキなしの最も単純な構造。

自転車2（27）
連絡員コノリーが民間人より取りあげた自転車。ミハルとの連絡に使用される。「お急ぎですか」「いや別に急いでいませんよ」が合い言葉。

Gファイター
ガンダム支援用戦闘機、補強用パーツで構成される重戦闘機。ガンキャノンのビームライフルより強力なビーム砲2門及び小型ミサイルを装備する。ドダイ要撃爆撃機のようにモビルスーツを乗せ飛行できる。

Gブル
Gファイター前部パーツにガンダムAパーツとコアブロックを接続させたもの。ビーム砲を逆向きにし、コアブロック側で操縦、Gファイター側は砲術を受け持つ。陸上ではキャタピラ走行、短時間の飛行も可能。宇宙空間での機動力も大きかったが、Gスカイと併用した場合ガンダムへの換装が困難となるので、余り使用されなかった。

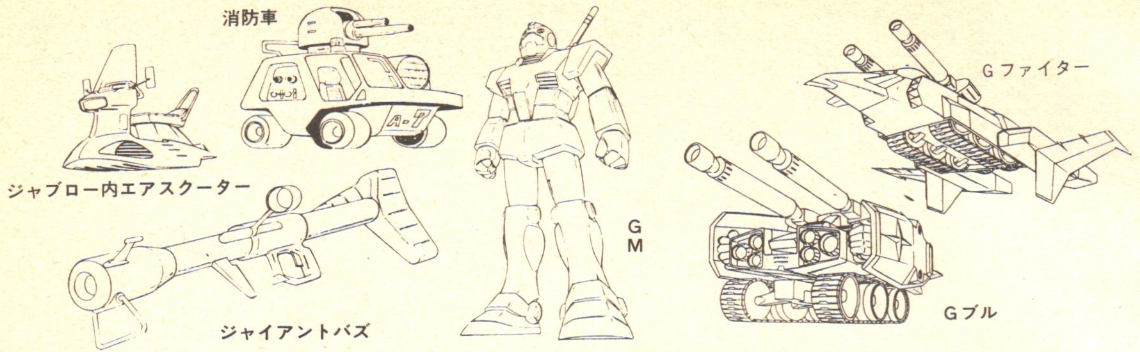


Gブルイージー
Gブルのパーツ構成から、コアブロックを除いたもの。機首がGファイター側にもどる。

ジム（GM）（29～）
連邦軍の量産型モビルスーツ。ガンダムの戦闘データをもとに開発された。基本的にはガンダムと同一のものであるが、工程の単純化をはかるため、遠距離レーダー、予備のビーム・サーベル、耐熱フィルム、腰の予備動力ボックスなどが省略されている。
GMの戦闘方法に―1小隊3機が基本戦闘隊形―中隊（1中隊は12小隊）単位の戦闘隊と10～20小隊のボール部隊が同一作戦をとって戦うグループ戦法を主体とし、近距離の敵にはGMが、中・遠距離の敵に対してはボールが、それぞれ攻撃をくわえるという戦法を

ガンダム用語事典

GMのドック



とっている。

GMのドック（30）
ジャブロー工場群内にある稼動前のGMの格納庫。ジオンの工作員に時限爆弾をしかけられた。

ジャイアント・バズーカ
ドムに装備されているバズーカ。破壊力は強く、WBのエンジンを一発で撃破できる。最終話でなぜかシャアも使用した。

ジャブロー
南米アマゾン川上流にある連邦軍本部。ジャングル地下、大鐘乳洞を拡張し設置される。連邦軍最高司令室、宇宙船用ドック、育児センター、GMドック、各種工場などがある。WBの乗員は、ここで辞令を受け連邦軍兵士となる。

ジャブロー内エア・スクーター
基地内の連絡用に使用される。一人乗り用エアマスクーター。

「シャリアブルに関するニュータイプの発生形態」
フラナガン機関が、木星エネルギー船団隊長シャリア・ブルについてまとめたレポート。

シャワールーム
要するにフロ場。数々のエピソードを生む。

ジャンク屋（33）
俗に言うくず鉄屋。古い機械の中から、使えそうな部品をより出して、中古部品として安く売る事もする。サイド6のテム・レイが住みついているジャンク屋のくず鉄の山の中に、壊れたザクの頭があるように、戦争時にもそれなりに、収入源があるようだ。

終戦協定（43）
ア・バオア・クー攻防戦以後、連邦とジオン共和国との間で調印された。しかし、連邦側のゴリ押しにより、真の終戦協定とはいえない点がある。宇宙世紀0080 1月1日に調印された。

絨緞爆撃（10）
半壊した雨天野球場に隠れたWBをいぶり出す為にガルマのガウ空爆にて、周辺の市街をしらみ潰しに爆撃を行った。

自由落下（7）
重力に任せて重力中心へ一定加速度で接近すること、一般に物が落ちることをいう。

重力ブロック
遠心重力装置により形成される。宇宙船、スペース・コロニー等の長期間の生活に必要な空間。

シュミレーション
模擬演習のこと。状況を実戦同様に考えて行う訓練。

シュミレーター訓練（6）
戦闘機のコクピットなどの操作装置の実物大模型を使用する訓練。実戦に近づけるため、スクリーンに画像を写したりして効果を高める。

ジョイント
ガンダムが、Gファイターに収納されGアーマーとなった時、右腕の装甲となるガンダムシールドを、右腕に。また、ボルトアウトした時に左腕のシールドと組み合せるための部品。

焦光座標（36）
ソーラー・システムの太陽光線の焦点を合せる為の座標。コンピューター連動でミラーを動かす。

鍾乳洞（29）
石灰岩質の土地で、石灰岩が雨や地下水によって溶け流されてできた洞穴で、連邦軍基地ジャブローは、アマゾンにある巨大な鍾乳洞に設けられている。

消防車
WBに搭載されている、化学消防車。

食事
シナリオにおいて、WBにおける一般的な食事についての描写があるので以下抜粋。ブタ肉のゴマあえ、リンゴ二切れ、サラダ、厚手のパン、タマゴ、はちみつ入ミルク、（16話より）。無重力下での食事は普通重力ブロック内で行われるが、持場を離れられない戦闘配備時には、ストロー付の容器に入った流動食を取る⇒戦斗食

触発機雷（26）
ベルファスト基地の海中防衛用に使われた。接触すると爆発するタイプであるが、ゴックの重装甲には余りききめが無かった。

地雷原（37）
マ・クベがガンダム牽制のために、テキサスコロニーの地面に仕掛けた。ハイド・ボンブ同様、モビルスーツを破壊できる爆発力はない。

磁力中和機（14）
マグネット吸着式のプラスチック爆弾を徹去するために反発する磁気を出す機械。操作の熟練を要する爆発物処理器材の一つ。

辞令（30）
官職の任免を記した文書。ジャブローで、WB乗組員全員の階級が決まり、WBの所属がテアンム艦隊の第13独立部隊と申し渡された。

白いモビルスーツ
ガンダムの名称を知らぬジオンの軍人が、用いていた仮の名。ランバ・ラル隊あたりからガンダムという名を使い出した。

シンクロ
シンクロナイズの略。ここではいくつかの機械の作動を一致させること。同期ともいう。

人工降雨（34）
スペース・コロニー内は自由に天候をコントロールできる。雨は乾燥防止というより、住民の生活感を損わないためである。
↓天気予定表

進路クリアー（2）
進路上に障害物なしの意

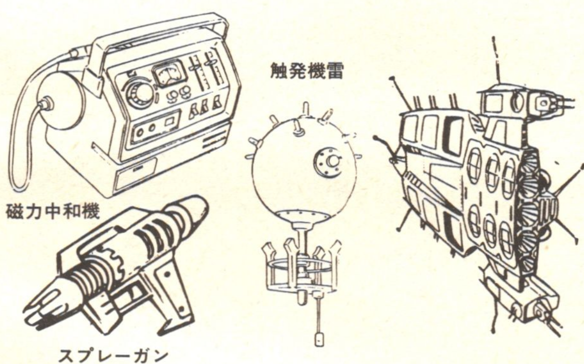
推測データ（7）
これまで入手したデータ、外部構造・行動等からコンピュータで、対象物の性能を割り出す事。

水爆ミサイル（25）
大気圏内用の巡航ミサイルで、南極条約で禁止されている。連邦軍に追いつめられたマ・クベが使用したが、ガンダムに弾頭部を切断され、核爆発は回避された。

水陸両用モビルスーツ。
ジオン軍が陸戦用だったモビルスーツを、水中での機動力を強化したもの。対艦戦闘、敵基地への港湾、河川からの侵攻など用途は広い。武器は全て内蔵式で、装甲は一般に強化されている。モビルアーマー、グラブにはこの発展型とみて良い。

推力（28）
機体を進め、前進させる為の力。また、機体を空中において停上させる為の力もさす。

スーパーナパーム（2）
ガンダムタイプのモビルスーツが使用する高性能ナパーム弾。アムロがモビルスーツのパーツを処分するのに用いた。点火には、ビームライフルを使用した。



スカート付（33）
リックドムの腰についている姿勢制御用バーニアのカバーが、スカートのように見えるので、このように呼ばれた。

ズゴック（27～30）
ジオンの水陸両用モビルスーツ。ゴックよりも陸上戦闘を主体に置いている。鉤爪状の腕にビーム砲を装備し、頭部にはミサイルランチャーが同心円状に6基並んでいる。火力運動性・装甲など、このタイプのものとしては、最も完成されている。

スタンバる
ガンダム上の造語でスタンバイするの意。ブライトが好んで使う。

スネークル（43）
ア・バオア・クーの守備部隊の一つ。

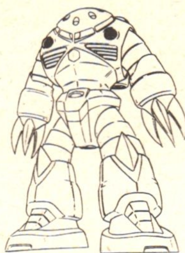
スプレーガン（29～）
連邦軍モビルスーツGM用に開発されたビームガンの事で、ガンダムのビームライフルにくらべると威力と到達距離で劣っているが、基本的には同じ物である。

スペース・アイランド（1）

ガンダム用語事典

宇宙植民島のこと。スペース・コロニーと同義語。

スペースグライダー（2）
ミライ・ヤシマがライセンスを持つ宇宙船の一種。エンジンを持たず慣性飛行しかできないスポーツ用宇宙船のようなものと思われる。


ズゴック

スペースゲート（2）
スペースコロニーの宇宙船発着場。遠心重力機構はなく、ここでは無重力である。

スペースコロニー
宇宙に浮ぶ巨大な人工島。全長35km前後、直径6.3km前後の円筒の中に3千6百万人を収容できる。多くのコロニーは巨大な反射鏡で大陽光線を取り入れるが（開放型）、サイド3のように採光用の窓が無く、代りに外部に太陽発電システムを設け、そのエネルギー供給を受け内部の大陽灯を輝かす（密閉型）コロニーもある。また遠心重力機構により、1Gの重力を生みだし、地球同様の環境を創り出せる。農場や工場を持ち、基本的には自給自足体制を持つが、いくつかの鉱物資源などは地球に依存せねばならない。
人口増加・エネルギー・食糧危機の打解のためのプロジェクトであるが、多く人達が強制的に移住させられたようである。30～40個のコロニーが集合して、一つの地方自治組織であるサイドになる。

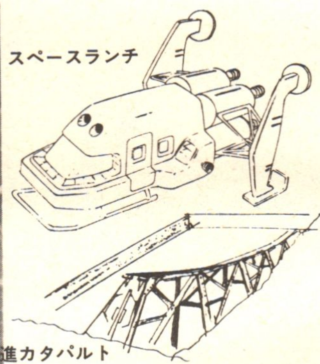
スペースバス（40）
コロニー間の連絡に使われる。コロニーの回転力で、打ち出されるため、姿勢制御用バーニアが必要なだけで、エンジンはいらない。

スペースランチ
WBに搭載されている連絡艇。WBには5隻積み込まれ、その内2隻が最終話にて、脱出に使用された。先に発進したランチにサブキャラクターが、後のランチにレギュラー・キャラが乗船している。

ズム・シティー（11）
公王庁のあるジオン公国の主都。創立者、ジオン・ズム・ダイクンの名をとってこう名づけられた。

スレッガーの指輪（36）
スレッガー最後の出撃の際、ミライに預けた彼の母親の形見の金むくの指輪。彼自身の形見となってしまった。→スレッガー

スワメル（32）
キャメル艦隊のムサイの一艦。



赤外線探知機（4）
ルナ・ツー基地内の侵入者発見用警備システムの一つ。ノーマルスーツで侵入したシャア達にあっさり見破られた。

セビア川（8）
アメリカ、ユタ州、グレート・キャニオン（グランド・キャニオン）の北、ミッド湖からデラノ山をまわりこむようにして流れる川。

ゼロ方向（32）
宇宙空間での戦闘の場合方向を示すのに、自分の水平面を12等分し、上方から見て時計の文字盤に対比させる。又垂直面は、角度と呼ばれ、このゼロ方向とは0時0度、つまり自分の真上を指すことになる。

洗浄ハッチ（24）
放射線など有毒線もれの怖れのあるエンジンルーム、居住エリアとの間にそなえられた部屋。

前進基地用人工衛星
地球の衛星軌道上にあるジオン前進基地。サイド3や月などの宇宙基地と、地球を結ぶ中断地の役割もある。キシリアの突撃機動軍所属。

セント・アンジェ（8）
ミッド湖の北にある、ペルシアの夫の今はなき故郷。

戦闘エリア
戦闘空域を座標上に示したもの。

戦闘機発進カタパルト（29）
凝装されたジャブローの戦斗機発進専用カタパルト。フライ・マンタ専用と思われる。基地の各所に設けられている。

戦闘食（40）
宇宙空間での戦闘の合い間に支給されるゲル状の食品。無重力下であるため、チューブから吸う。高カロリー、各種ビタミンが含まれ、消化吸収も良い。

戦闘配備

戦闘員に出される配備命令。そのときの状態により以下の三段階にわかれる。

○第一戦闘配備――最も緊急な戦闘状況における命令で、出動可能の艦載機（モビルスーツを含む）のパイロット及び各砲主は所定の位置で待機していなくてはならない。

○第二戦闘配備――第一よりやや軽度で、非戦闘員もすべてが配置される。

○第三戦闘配備――戦闘が起こりうるかもしれない状況での配備。戦闘員はすべて配備されるが、非戦闘員はあまり行動を制限されない。が、全員状況に迅速に対処するため「総員起こし」の命令は下されている。警戒体制といったところである。

戦闘ライン

自己からの戦闘等級を距離で区分したもの。第一戦闘ラインは最大射程距離。以下、第二は最大視認距離、第三は最大レーダー到達距離（警戒ライン）を示す。

潜望鏡（28）

海上に浮かべて映像をファイバーグラスで潜水艦に導く方式をとっている。これによって潜望鏡深度まで浮上せずとも海上を探ることができる。マッドアングラー隊が使用した。

染料（29）

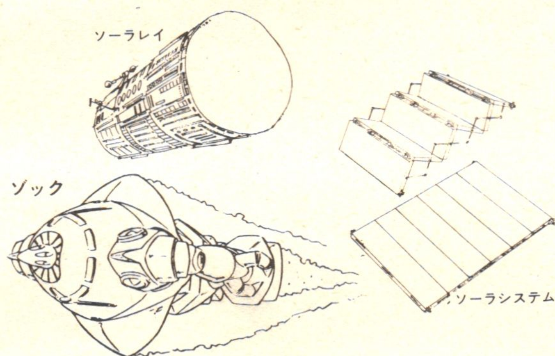
ジャブローのハッチを発見したゾツグが、シャアの為に目印の赤い染料を水中で流し、それに導かれてシャアと先発隊は合流することができた。

総員起し（37）

戦闘配備のため、乗員全てを起床させる命令。すぐさま配置に付けれる状態にならねばならない。おかげで入浴中のセイラは途中で出なければならなかった。

装甲板

この場合、モビルスーツの外装部を指す。構造的には連邦・ジオンとも余り変わりはないが、材質的には連邦のが勝っている。



相対速度（2）

絶対静止点からみた速度のことを絶対す度というが、特に宇宙空間ではそれに対して、自分自身の速度にかかわらず単に自分から相手がどう動いているかだけを計った相対速度を用いる。

ソーラー・システム（35）

対ソロモン攻略戦において、連邦軍が使用した対要塞兵器。凹面鏡の原理を応用して、12m×8mのミラー・一二〇〇枚を使っている。各ミラーをバーニアで制御して、太陽光をソロモンの一点に集光し、集点での温度は一〇〇〇〇度以上になる。この高熱を利用して、ソロモンの装甲岩自体を溶解蒸発させ、破壊していった。

ソーラー・レイ（41）

密閉型コロニーを利用し、直径6kmのレーザー砲と同様の効果をあげうる兵器である。

その原理は、円筒形のコロニー内部にレーザー励起物体の一つである一酸化炭素をつめ、内壁を電子コーティングし、レーザー発信管とする。励起方法は高圧電流で、電子コーラィング及び放電システムからの電力を利用する。そして、レーザーの発射方法は、コロニー内部のコーティングにより、レーザーが反射増幅され、最大出力となった時、目標に向いた内壁の電子コーティングを解除。その瞬間、コロニーの内・外壁を破壊して、直径6kmのレーザー光線が目標に向かって突進していく。しかし、同時に電子コーティング・フィールド発生装置も破壊される為、連続しての使用は不可能である。

ゾック（26）

火力を主体とした水陸両用の重モビルスーツ。表裏対称の特異な形状をしている。頭部に1門、表裏両肩に8門のビーム砲を装備。水中での運動性は良かったが、ドムと同様の脚のバーニアによるホバークラフトを用いているにも係わらず、陸上での動きはにぶかった。

ソドン（5）

ジオンの巡航船。二連装機関砲を3基もつ。後部からザクなど補給物資を曳航することができる。航続距離は短い。

ソドンの町（19）

中央アジアの連邦・ジオンの中立地帯の名称。ラルたちとアムロがレストランで出会ったのもここである。また25話のシナリオではマ・クベがここに水爆ミサイルを持ち込もうとする描写がある。

ソロモン（31）

ジオンの宇宙要塞で、かつてサイド1があった空域に小惑星を運び込み、岩をくり抜い

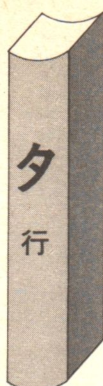
ガンダム用語事典

て要塞とした。ドズル・ザビが指揮する、宇宙攻撃軍が常駐し、連邦宇宙軍に対する楔となっていた。

連邦軍にとって喉元の短剣ともいえるソロモン基地を攻撃するために、連邦軍は全軍の約1／3にあたる第2艦隊と、新兵器のソーラーシステムを動員することにより、かろうじて占拠できたが、被害も大きく、旗艦を含めて割の艦艇を失ってしまったのだ。

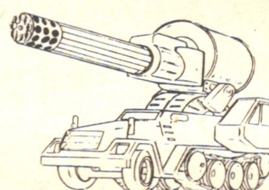
この戦いはのちにソロモン海戦と名付けられた。

損傷度Ｂ（35）
モビルスーツの損傷度の単位。爆発はまぬがれたものの戦斗継続が不可能なほどに大破した状態をいう



タイガー70ーR（2・3）
ジオン軍制式無反長ライフル。ガス圧で排莢する二十連小銃。弾丸が小型軽量で、銃の自重も軽く、作動不良はよほどの事が無い限り起きない。ノーマルスーツで敵地に潜入する際、必ず携帯する。

大気圏突入（5）
宇宙船が大気圏内に侵入すること。大気との摩擦熱が高いので、宇宙船外壁の温度を除去する能力を持たない船は、突入できない。


大口径バルカン重装甲車


ソロモン


タイガー70ーR

大気圏突入能力（5）
摩擦熱除去の為の外壁冷却機能と耐熱フィルムの併用を主に指す。連邦・ジオン両軍通じて、この能力を持つモビルスーツはガンダムとガンキャノンのみである。

対空監視
ミノフスキー粒子下でレーダーが使用できないため、内眼での監視に頼る部分が大きかった。敵の接近をいち早くキャッチするためには、重要な事である。

大口径バルカン重装甲車（26）
ベルファスト基地に配備されている大口径のバルカン砲を装備した重装甲車。

第三艦隊（35）
サイド6を脱出したWBが、補給を受けるために接触した艦隊で、ワッケインを司令とする。

第十三独立部隊（30）
WBの部隊名称。ジオン側のWBの評価が高いのに目をつけ、連邦軍の反攻作戦に際しての囮として用いられた。ソロモンの後、護衛としてサラミス二隻がつけられたが、エルメスの攻撃にやられてしまう。

第12分隊（42）
ソーラレイで失った連邦主力艦隊の生き残り部隊。サラミスタイプのサフラン一隻のみであった。同行していた他部隊の船は、同タイプのシスコと、輸送船コロンブスである。

対潜魚雷（27）
空中及び水上から、水中の敵に直接攻撃できる魚雷。この場合は、ドン・エスカルゴ対潜攻撃機に搭載されている多弾頭弾を指す。

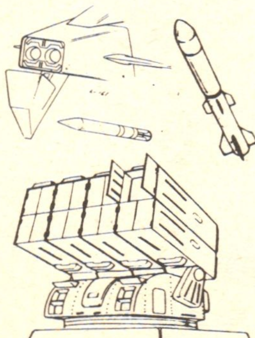
対潜ミサイル（ランチャー）（27・28）
対潜水艦、水中の目標に対するミサイル。ベルファスト基地に装備されていた。WB、ガンペリー、Gファイターのランチャーは多目的タイプなので、これを装備することもできる。

タイタン（36）
テアンム艦隊旗艦マゼランの名。ビグザムのビーム砲に撃破される。

対地速度（3）
相対速度のうち、相手が地面である場合。地面からみた自分の速度。

第七師団（35）
ジオン突撃機動軍のうち、キシリア直属の師団。マ・クベ等がこの中に含まれる。

第七ボーキサイト基地（22）
マ・クベの地球での資源採堀基地の一つ。WBとガンダムの連係プレーの末につぶされてしまう。


対潜ミサイル（ランチャー）
Gファイター機首

第二大隊（42）
連邦軍が、戦艦ルザルを旗艦として残存艦隊をまとめたもの。

第二通信（17）
WBの通信専用室。ほとんど使用されない。捕虜のコズンが脱出する際、WBの戦力に関するデータをランバ・ラル隊に送るのに用いた。コズンに云わせるとジオンのものより同調しにくいそうだ。

第2ドック（36）
ベルファスト基地にあるドック。損傷したWBがそこで修理を受けた。

耐熱フイルム（5）
ガンダムが大気圏突入する際の大気との摩擦熱を吸収するビニール状フィルム。普段は前面専用ポケットに格納されている。

第86ボーキサイト基地（22）
第7と同じく、マ・クベの基地、グフ・マゼラ・アタック等地上機動部隊が、配備されている。WB・ガンタンクの連係プレーで撃破される。この戦闘後、ブライトは高熱を出して倒れてしまう。

退避カプセル（35）
宇宙要塞ソロモンが敵の攻撃を受けた場合最も被害を受けにくく安全な場所に設けられた独立ブロック。また、そこには、非常用の脱出ポッドが常に用意されている。

第102採掘基地（18）
WBを脱出したアム12が偶然見つけたマクベの鉱物採掘地の一つ。ここがオデッサ・デイで連邦軍の攻撃目標となっている鉱山基地と思いこんだアムロが単身ガンダムで攻撃ここを撃滅する。

ダイヤモンド編隊
最低4機の戦闘機が4角形を構成するようにして飛ぶ、最も基本的な編隊飛行のこと。

太陽電池（40）
太陽光を使用可能なエネルギーに変換する素子。従来、光エネルギーを直接電気エネルギーに変換する素子の事を言い、PN接合半導体薄膜によってできている。

脱出カプセル（4）
WBの一人乗り脱出カプセル。前WB艦長パオロ・カシアスの宇宙葬に用いられたものは、生命維持装置等が取りはずされている。

脱出カプセル装塡室（4）
通常は一人乗り脱出カプセルの装塡・射出を行うブロック。パオロ・カシアスの葬儀に用いられた。

脱出ブリッジ（21）
ギャロップの脱出式ブリッジのこと。本体から射出されると、安定翼が出てしばらく飛行することができる。

脱出ポッド（35）
ソロモンの退避カプセルに装備されている脱出用小型高速宇宙船。ドズル・ザビの妻ゼナが娘ミネバと共に、脱出する時使用した。乗員は高加速に耐えられるよう、耐Gシートに固定され、宇宙船は、コンピューターにより制御、乗縦される。外部から誘動することも可能。

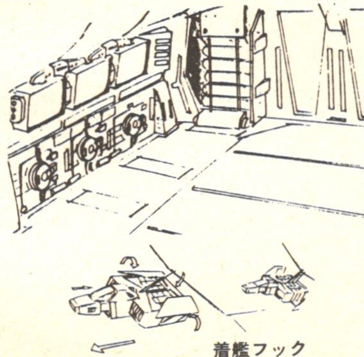
多弾頭弾（27～）
空中から投下され、水中にて3基の爆弾を弾頭部より排出する。対潜兵器。

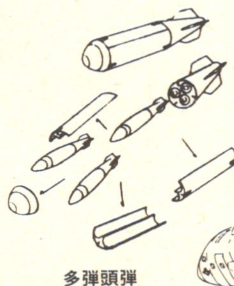
ダブデ陸戦艇
ジオンの大型陸戦艇。移動司令基地として用いられることが多い。キャタピラによる高速移動が可能。主砲発射の際は四方の安定ダンパーを地面につけ本体を固定する。マ・クベが使用したものは、後部格納庫に水爆ミサイルを収納していた。

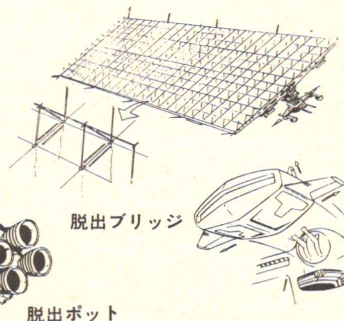
弾装ロック
ガンタンクの両腕のポップミサイル四連装ランチャーにスペアミサイルを送り込む装弾装置の一つ。これが切れること発射できなくなる。

弾道軌道（7）
目的地点まで途中進路の修正をしなくとも致達する軌道。南米の連邦軍本部と連絡をと

脱出カプセル装塡室







ガンダム用語事典

るために、コアファイターを弾道軌道に乗せて、敵の勢力圏を一気に飛び越そうとしたが、シャアのコムサイの追撃にあい失敗する。

弾幕
迎撃ミサイルや機銃などの火器を用いて、一定の空間に一種のバリヤーを張ること。侵入・接近してくる敵ミサイル・モビルスーツを撃退する。

地下水脈（30）
ジャブローを流れる巨大な水脈でアマゾン川と通じている。ガンダムに追いつめられたシャアのズゴックは、この地下水脈を使って脱出した。

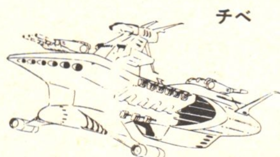
地下組織（6）
地球でのジオン軍占領下におけるゲリラ組織。WBはアメリカ大陸における組織と連絡をとろうとするが失敗する。

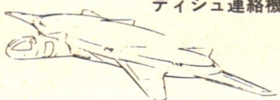
地球連邦軍本部（16）
南アメリカの参謀本部ジャブローのこと・→ジャブロー。

地球連邦第二連合艦隊（32）
テアンム艦隊。

チベ（33〜）
ジオン軍重巡洋艦。3連装ビーム砲を前後各1門、小型2連装砲塔を両舷各9門、ミサイル発射口を前部両舷に各6門が装備されている。リック・ドムを数機から搭載可能で、火力が大きいこと、機動性に富むことから、小艦隊の指揮艦として用いられることが多い。

着艦フック（7）
航空機の尾部についているカギ。空母など限られた滑走路におりる場合、このカギを滑走路上のワイヤーにひっかけて強制的に機を停止させる。


チベ


ディシュ連絡機

中央アジア *Central Asia*
ユーラシア大陸中心部に位置する。東はゴビ砂漠から、西はカスピ海まで広がる内陸流域。太平洋より侵入したホワイト・ベースはここを経て、カスピ海に至る。

中央格納庫（7）
WBのガンペリー格納庫のこと。

蝶（29）
WBのジャビロー入港時に群舞したモルフォ蝶のこと。南米アマゾン一帯に棲息する渡り蝶で、WBはちょうど渡りの時期とぶつかったのである。

聴音センサー（12）
相手の機械音などを探知して、位置、状況を知る装置。聴音器。

長距離ビーム砲（36）
戦艦クラスに装備されているメガ粒子砲。射程距離が長い。

ジャブロー内ハイウエイ


ツメバケイ（29）
南米北部に生息する島。

テアンム艦隊（29）
テアンム提督率いる地球連邦第二連合艦隊の別名。ソロモン攻略の主力。ビグザムの攻撃に旗艦を失い、再編成されるが、ジオンのソーラレイにより全滅に等しい被害を負い、事実上壊滅してしまった。

定期攻撃（29）
ジャブローに対するジオンの「定期的」攻撃。だがこれはシャアの巧妙な作戦で、連邦がこの作戦にすっかり慣れた頃、彼はひそかにジャブローに潜入した。

D級消耗パーツ（22）
モビルスーツの交換・予備パーツを使用による消耗度で分類したもの。D級ならかなり消耗度が激しいといえる。ガンダムのビームサーベルの粒子フィルターがD級に分類されている。

ディシュ連絡機（26）
連邦軍の連絡用高速ジェット機。レビル将軍が、ベルファスト補給基地に来る時に使用した。亀の形に良く似ている。

TC17（32）
ガンダムの右手の操作ブロックの一つ。モビルアーマーザクレロの攻撃でやられた部分。

定時報告（30）
トーチカから決まった時間にもたらされる報告。ジオン軍のジャブロー定期攻撃は、「異常」にはならない。なにしろ「定期」なのであります。

テキサスエリア（37）
テキサスコロニー近辺にある暗礁空域のこと。→暗礁空域。

テキサス・コロニー (37)
レジャーと牧畜業専門に建設された開放型コロニーの一つ。戦争激化のため、少数の保安要員を残して、放置された。採光用のミラーも動かなくなり、8ケ月余り夕暮の状態が続き、そのため砂漠化してまった。フラナガン機関が秘密裡にこのテキサスをララアの訓練場として使用していた。ガンダムとギャン、シャアのゲルググとの戦い。ララァとニュータイプに目覚めたアムロの再会。シャアとセイラの運命的な再会。ワッケイン司令の死。等、数多くのエピソードを残した地。

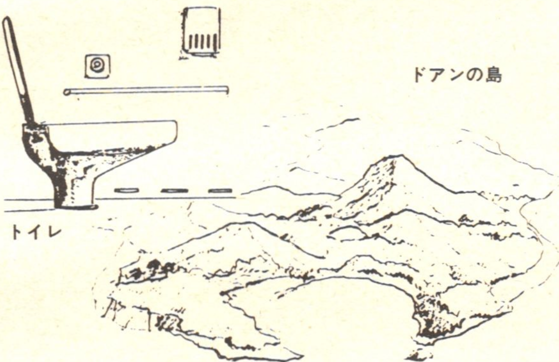
テスター (11)
主に電気測定器をいう。電圧、電流などを測定し、故障箇所を発見する。

デッキ
船の甲板のこと。WBにはモビルスーツ・艦載機等の発進収容用の4つのデッキがある。第一デッキはWBの右脚に相当するブロックにあり、Gファイターが配備されるまで、使用されなかった。第二デッキは左脚にあり、モビル・スーツ・コア・ファイター等、大半がここを使用する。第三デッキ(中央デッキ)は腹部にあり、主にガンペリー専用だが、最大のカタパルトがある為、コア・ファイター等の小型機でも弾道規道まで打ち上げる事ができる。第四デッキは後部にあり、着陸が一番容易である為、ブーンの漁業組合機はここを使用した。また各デッキは船体中央格納庫にて接続している。

デック (4)
ジオン軍制式機雷。時限、金属感応、圧力感応のいずれかにより起爆することができ、それぞれ組込式である。これを三つまとめて運搬するものをデックキャリアという。

デブロップ (20)
連邦軍の重爆撃機。オデッサの戦いで活躍する。一見、古めかしい外観である。

TV局 (34)
ホワイトベースとジオンの戦闘を、もっともなことと言いながら、放送するサイド6のTV局。未来でもその性格は変わらない様だ。



TVモニター (19)
この場合はWB艦内の監視装置をいう。TVカメラが艦内に多くセットされており、ブリッジなどで必要な場所を見ることができり。

天気予定表 (34)
コロニー内の天気は自由にコントロールできるが、住民の生活のリズムをくずさぬように、雨の時間を設けたりする。そのための予定表が配られる。

天測 (16)
望遠鏡など肉視観測で空の状態を知ること。

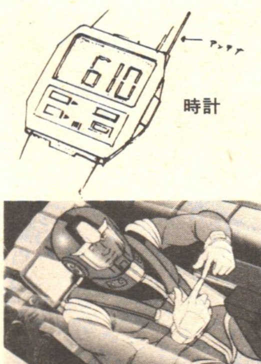
ドアンの島 (15)
ドアンが戦災孤児たちを集め、ジオンの目をのがれて、いっしょに生活している孤島。日本の五島列島の一つ。

トイレ (28)
ホワイトベースに潜入したブーンはトイレでミハルの情報を受けとった。ホワイトベースのトイレは単なる水洗式の様で、宇宙に出た場合重力ブロックのトイレしか使用できなくなると思われる。

トーチカ (30)
ジャブローの内眼監視による哨戒所。常時何人か詰めている。数百ケ所あり、ポイントB−3は、シャア率いる工作隊のアッガイにつぶされた。

同調 (13)
シンクロと同義。同期ともいう。→シンクロ。

動力ボックス (16)
ガンダムの腰の両側にあるボックス状のもの。無断で出撃したセイラの操縦するガンダムは、コズンの乗るザクに追いつめられ、右の動力ボックスとメインカメラが破壊された。



トクメル (32)
キャメル艦隊の三番艦。ホワイトベースに撃破される。

時計 (28)
ブーンがミハルとの連絡のため使用した通信機内蔵の時計。ミハルのものと同じタイプ

ガンダム用語事典

らしい。

ドダイYS (23)
ジオン軍の要撃爆撃機。前部にミサイルランチャーを8基備える。エンジン出力が大きいので、モビルスーツを乗せて、飛行可能。

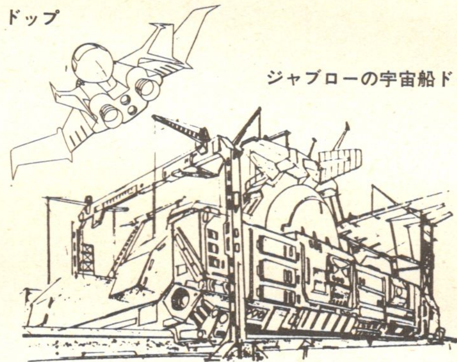
ドッキングサーチャー (13)
ガンダムの空中換装の時、パーツのドッキングの状態を教える探知器。

ドッキング・サイン (36)
Gファイターに乗ったスレッガーが、コクピットより手振りで、ガンダムのアムロに指示を送った。ドッキングして、Gアーマーになりビグザムにつっこんだ。

ドッキングベイ (2)
スペースゲート内の宇宙船繋留所のこと。

ドッキングロック (30)
宇宙船を着艦、固定させる為のダンパーのこと。

ドック (27・33)
船舶の製造・修理・改造のために使う施設のこと。WBは本篇で2回ドック入りする。北アイルランドのベルファスト基地(26)、アマゾンのジャブロー連邦軍本部(29)、サイド6で民間の浮きドックを使用しょうとしたところ、攻撃され、そのままソロモンに向う。
→浮きドック


ドップ
ジャブローの宇宙船ドック

ドップ (5~)
ジオン軍の小型戦闘機。ミノフスキー粒子下での戦闘に視界を広くするための設計がなされ、コクピットが張り出し、風防が広いのが特徴となっている。六連ミサイルランチャーを左右に一基づつ搭載し、バルカン砲も備えている。ガルマ専用機は一般の緑色とは違い、茶褐色である。

トマト (9)
カツ・レツ・キッカが調整室より盗んだもの。たび重なる戦闘に疲れはてたアムロにプレゼントした。

ドム
ジオンの地上戦用重モビルスーツ。ザク・グフにくらべ、最初から地上戦だけを考慮された局地戦用モビルスーツであるだけに、その地上戦闘力は高く、重装甲・高機動性・携帯火器の強力さなどがあいまって、ガンダムを苦しめる。

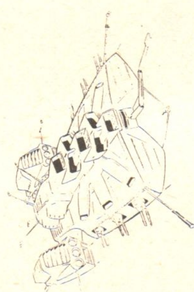
ドラゴンフライ (25)
トンボとあだ名される連邦の小型連絡機でプロペラ機である。本篇ではジュダックがマクベのもとへ情報提供する際使用、訓練中のアムロとセイラの乗るGアーマーに発見されスパイであることが判明してしまう。

トリアーエズFF4
4話においてルナツーの防空戦斗機としてとりあえず登場するはずだったが、本篇では省かれた。

トリプルA(AAA) (4)
連邦軍の最重要秘密に属するガンダムタイプモビルスーツの開発とそれに伴う新造戦艦の開発などの計画の別称—V作戦。

トレーラー (30)
ジャブローの工場にあったGM専用のトレーラー。

ドロス (39)
ジオン軍の大型輸送空母。二連装ビーム砲前部両舷に各3門、後部左右端に各1門持ち、他に二連装機銃を艦尾両端上部に各1門装備している。モビルスーツなら100機以上搭載可能で、他にもモビルアーマーなどを輸送したりすることもある。ア・バオア・クーではNフィールドを守り善戦した。



ドンエスカルゴ対潜攻撃機
基地からも、空母からも発着可能な対潜攻撃機。魚雷及び爆弾を水中の敵に発射する。かたつむりに似た機首をしている。

とんがり帽子 (41)
WBのクルーの間では、エルメスはこの呼び名で通っている。

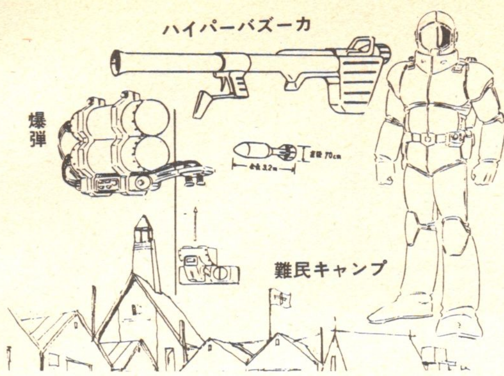


内火艇 (33)
宇宙船と基地、あるいは宇宙船同志の間を往復する時などに利用される低速の小型船の総称。

ナカワレ（23）
ガンペリーのこと。中央が開く格納庫を見てこのコードネームをジオンがつけた。

ならし運転（38）
この場合、シャアのゲルググの調整運転を指す。新型モビルスーツは基本的運転データが未整理なので綿密なテストが必要。慎重なシャアには似つかわしくない事だが、アムロがニュータイプである事を確認する為に、事を急いだと言える。

南極条約
ルウム戦役後、ジオンと連邦の間に取り交わされた条約。核兵器及びBC兵器の使用禁止、木星エネルギー船団に対しての不可侵の他、捕虜の扱い等が定められた。南極で調印された。



（連邦軍）重装ノーマルスーツ

難民キャンプ（13）
戦火で焼け出された避難民を収容する施設。アムロと彼の母カマリアとの再会があったキャンプはジオン軍が設置したもので、日に一・二度武装兵の巡回が行われていた。

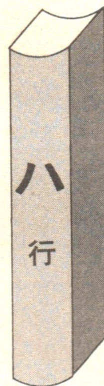
二階級特進（30）
軍務中、戦闘などにより死亡した場合二階級の繰り上げ任官を受ける。これによって、リュウ・ホセイは中尉に任官された。

入港規準速度（2）
スペース・コロニー等の入港する際の決められた、宇宙船の速度。

ニュータイプ
スペースコロニー時代にあり、宇宙という環境の中で、認識力が拡大・強化された種。人類全体が変革すべき理想の形と云われている。人の思性が他者と直結する手段を得た時、誤解が生じ得ないコミュニケーシの場の拡大を生む。そうしたニュータイプ同士の交感が個人及び集団の認識力を拡大・強化せしめ、深い洞察力をもたらす。こうしたコミュニケーションが人類全体に拡った時、人類総意による社会体制の運営が初めて可能になる。
一般にESPと誤解されているが、ニュータイプの超感覚的知覚は、コミュニケーションの為の手段に過ぎず、そこから生み出される複合知性が、ニュータイプの本質と云える。

熱源体
熱を発散させる物体。高感度の赤外線探知装置によって、その赤外線放射源を探知する事ができる。レーダーが使用できぬミノフスキー粒子下でミサイルや艦艇を探知する手段となる。

ノーマルスーツ
宇宙服の総称。モビルスーツに対して呼称される。重装宇宙服と軽装宇宙服（バトルスーツ）の二つに分類できる。



ハーバート隊（35）
ア・バオア・クーの防衛線の一つ。

パーソナルジェット
大気圏内で使用されるジェット飛行装置。背中に背負って、自由に飛行できる。WBでは脱出用に、ジオン軍では、ランバ・ラル隊がゲリラに用いた。

ハイドボンブ（37）
マ・クベがギャンより放出した空中機雷。ガンダムはその誘爆に巻き込まれたが、威力は弱く致命傷とはならなかった。

ハイパーバズーカ（3〜）
ガンダム専用の大型バズーカ。装弾数は多くないが、破壊力は大きく、メインテナンスが比較的容易なので、ビームライフルと併用して使われる。（5連発）

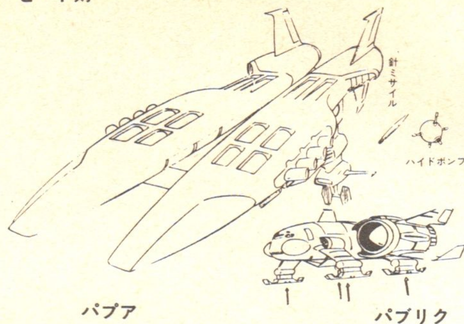
ハイパー・ハンマー（26）
ベルファスト基地で新たに装備された、ガンダムの携帯用兵器。従来のガンダムハンマーを強化改良したもので、加速用ブースターを備え初速を得、その破壊力をアップさせた。しかしビーム兵器に較べると、明らかに旧式で一度しか使用しなかった。

ハイパーマグネット（21）
WBメインエンジンの磁束帯。

爆弾
テキサス・コロニーの最も内側のハッチに仕掛けられた爆弾。マ・クベのギャンがガンダム牽制に用いた。ハッチが開くと爆発するようになっていた。爆発力は低い。

発光信号NW（12）
地球へ降りて来たラルのザンジバルへホワイト・ベース発見を知らせるため、随伴のコ

ガンダム用語事典



ムサイが打ち上げた発光信号。ミノフスキー粒子で電波通信は行えないため、発光信号は重要な連絡手段となりうる。

発信物体（38）
シャアがセイラに渡す金塊を入れたトランクに発信機を取り付けていた。それがテキサスの港を出るWBに発信物体として感知されたもの。

ハッチ
WBには人間が出入りするハッチが80あり、その内、約半数がエア・ロック用である。それ以外のハッチは宇宙空間において、完全にロックされ、開く事は無い。各ハッチの配置については、連邦軍の機密につき、掲載不可。第78ハッチが最も有名。「ランバ・ラル特攻」の際、ここを守っていたのが、例の金髪の美少年である。しつこいようだが、ジョブ・ジョンではない。

バッファロー（38）
テキサスコロニー内の観光用動物。管理する者がいなくなり、野放し状態になっている。

パトロール機（33）
自治国家であるサイド6が、自国の領空に接近する宇宙船を監視するために飛ばす。

パプア（3）
ジオン軍の旧式となった補給船。双胴船で、両舷のコンベアパイプ3本が、ムサイ艦の格納庫のハッチとドッキングし、物資を搬入する。防空用の二連装機銃を各所に装備する。

パブリク（35）
連邦軍の大型ミサイルを2機備えた突撃艇通常ミサイルの事物あるが、ソロモン攻略戦、ア・バオア・ク・戦略など対要塞戦などにはビーム攪乱膜を張る、ビーム拡散用粒子をつめたミサイルを使うことが多い。

パラロム・ズ・シャア（33）
サイド6に向う途中のシャアがキシリア宛に送った暗号電文。内容は次の通り。
「これから目的地に行き、例のニュータイプを回収します。シャア」

バランサー（16）
正確にはバランス・コントローラーの事。この部分を壊されると、モビルスーツは立つ事もできなくなる。砂中に隠れたランバ・ラルのグフのヒートロッドでガンダムの右のつま先のバランサーが破損する。

針ミサイル（37）
ギャンの楯に組みこまれた小型ミサイル。

バルカン砲
固有名詞としては20㎜のガトリング砲（多砲身連発銃）のことのみを指すが、ガンダムでは50㎜のものも、60㎜のものもバルカン砲と呼称している。ガンダムの頭部に2門搭載されているバルカン砲は、短銃身の為の接近戦用のものである。

ハルク（34）
カムラン・ビルームがWB出航の護衛用にと雇った民間宇宙船。専用のパイロットがつく。

バロム艦（38）
チベタイプの戦艦。ワッケインの指揮するマゼランに撃破される。

ハンガー→換装

ビーコン（4）
電波、光などを出す標識。ルナツーのスペースゲート入口に浮べられている。

ヒート・サーベル（19）
グフの楯の裏側に装備された剣。ザクのヒートホークと同様の原理で可動する。

ヒート剣（25）
ドムの背中に装備された剣。ザクのヒートホークと同じ原理で可動する。

ヒート・ホーク（4〜）
ザクに装備される斧。ザク本体から動力をもらい、刃の部分を赤熱させ、敵の装甲を焼き切る。同様の動力システムを持つ、グフにも転用できる。

ヒートロッド（12）
グフの右手から出るムチ。最長で17.5m 400℃までの放熱が出来る。電気エネルギー応用のショック兵器。

ビーム攪乱膜（35）
対要塞戦などで用いられる対ビーム兵器。宇宙空間に放出された、ビーム拡散粒子により、ビームは乱反射を起し拡散される。ただし、この兵器は使用した側も使用可能となるため、使用には十分注意が必要となる。ミノフスキー粒子の発展型のようなもの。

ビームサーベル
モビルスーツに装備される白兵戦用ビーム兵器の一つ。モビルスーツ本体メインエンジンより動力をもらい、柄から粒子ビームを放出させ、10数mのメガ粒子の放射束を形成する。30㎝厚のチタニウムを1秒弱で切断することができるが、エネルギー消費量が多く、長時間の使用はできない。ビームサーベルを装備するモビルスーツは、連邦側でガンダムとGM、ジオン側でギャンとゲルググがある。

ビームジャベリン（11）
ガンダムのビームサーベルの変形で、先端に三ツ又のビームを発生させる。投槍として使用できる。

ビームスプレーガン（29～）
連邦軍モビルスーツGMに装備されている携帯用ビーム砲の事。ガンダムのものより威力と到達距離において劣る。

ビーム砲
メガ粒子砲のこと。

ビームライフル
モビルスーツ用携帯ビーム砲。従来戦艦、巡洋艦クラスの主砲に用いられたものを、極限まで小型化し、モビルスーツ本体との動力接続により携帯兵器として、確立しえた。20㎞離れた厚さ30㎝の鉛板を貫通する威力を有する。ビームラフルを装備するモビルスーツは連邦側はガンダム・ガンキャノン・GM、ジオン側ではゲルググのみ。

ビービ隊（9）
ガルマ・ザビ隊と同作戦のドップ編隊のこと。ガルマ隊はモビルスーツを、ビービ隊はWBを攻撃した。

ビグザム（35・36）
強力な磁場による対ビームバリヤーをもつモビルアーマー。戦艦を一撃で撃破するビームと接近戦用の6本の打ち出し可能のツメを有し、まさに無敵と思われたが、接近してバリヤーの内側に飛び込み、ビーム攻撃を行うというスレッガー・アムロのGアーマーの捨身の作戦により破壊される。モビルアーマーというより移動トーチカに近い。

145型ミサイル
ヒマラヤ
ビームライフル
ビット
ビームサーベル基部

ビグロ（31）
高速戦闘を得意とする宇宙戦用モビルアーマー。ミサイルランチャーを左右に各4門、中央にビーム砲1門、接近戦の爪のついた巨大な腕を持つ。

ビッグ・ジョン（8）
ルッグンパトロールのコード名。機長はパムロ。木馬側の民間人の下船を監視する。

ビット（38）
モビルアーマーエルメスの付属兵器。サイコミュによる遠隔操作兵器で、メガ粒子砲1門の小型高速メガ。

ビデオレター（12）
ビデオディスクをクレジットカード状の板に封じ込めたもの。画像は鮮明だが10分ぐらいしか録画録音できない。

ヒマラヤ（28）
連邦軍大西洋艦隊の大型戦斗空母。現代のミンクス級タイプをしており、アフリカ戦線へ向う途中、護衛機ドン・エスカルゴと共に、マッドアングラー隊の攻撃を受けて、沈没。

一〇七号（27）
ミハル・ラトキエにつけられた、ジオン軍のコードナンバー。

一四五型ミサイル（1）
ムサイの大型ミサイル。一番主砲の両側に1基づつ発射孔がある。

ファットアンクル（11）
ジオン軍の大型輸送機。垂直上昇用に大型ローターを2基もち、前進用に2基のジェットエンジンをもつ。格納庫扉が前部にあり、ザク等を運搬できる。対空武装として二連装機銃を4基もつ。

ファンファン（29）
連邦軍の陸上用兵器。五連装ミサイルランチャーを装備したホバークラフト。狭いジャブロー内の鍾乳洞では、唯一の飛行メカとなる。

V・S・O・P（18）
カツによるところの最重要人物（VIP）。VIPをV・S・O・Pと間違えたわけ。ちなみに、V・S・O・Pとはベリィ・スペシャル・ワン・パターンのこと。お酒の銘柄にも同じ名前がある。

V作戦
連邦軍のモビルスーツと新造戦艦の開発計画。ジオン側は主にこの名でこの計画を呼ん

ガンダム用語事典

でいる。

封印(33)
中立地帯であるサイド6に入港する場合、サイド領空内での戦闘を避ける為、サイド6の監察官によって、兵器に封印を受ける。出港時この封印が破損していると、莫大な賠償金を支払わねばならない。

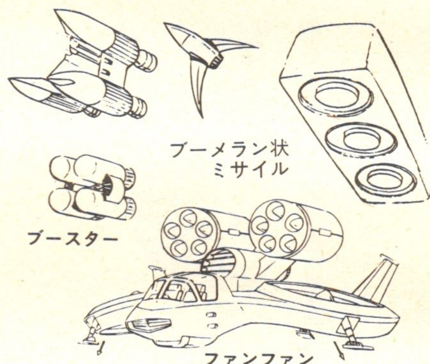
ブースター(31)
戦艦、巡洋艦などの宇宙船を地球上から宇宙間に打ち上げる為の補助加速装置。

ブーメラン状ミサイル(28)
水中用モビルアーマーグラブロの兵器の一つで、水中発射ミサイルに整流板が付いて、ブーメランに見えるというもの。実際、発射したミサイルが戻って来たら大変である。

フォーメーション同調(35)
連邦軍のソーラーシステムの焦点をあわせる為、全ミラーをコンピューターにより同調させる事。

フライドチキン(25)
オデッサの戦いに投入された。マ・クベ指揮下のジオン戦闘隊コード名のひとつ。

フライマンタ(25・29)
連邦空軍の戦闘爆撃機。オデッサ作戦においてレビルの戦力の中核となる。



ブラウ・ブロ(33・39)
ニュータイプ用に開発された宇宙戦用モビルアーマー三機に分かれ単独航行が可能。ビーム砲4門を備え。有線だがオールレンジ攻撃が可能。サイコミュを搭載しているが、オールドタイプの間でも砲撃手になりうる。外観・機能共にモビルアーマーというより、小型宇宙船といった感じである。

プラスチック爆弾(14)
一般にプラスチック状の固形火薬を使う爆弾のこと。ジオン軍のものは30分の時限装置つきの小型爆弾をいう。破壊力は強大で、底部のマグネットで吸着し、無理に取ろうとすると爆発する。

ブラックジャクック(8)
ミッド湖を背にしてホワイト・ベースを攻撃してきた部隊。

フラナガン機関
ジオン軍のニュータイプ研究・開発機関。キシリア直属である。フラナガン博士をトップに置いている。

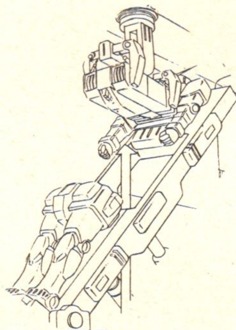
フラミンゴ(31)
南米、インド、アフリカなどに分布している紅色の羽を持った優美な鳥で、宇宙に飛び立つWBを見送るように群をなして飛んだ。WBのデータバンクにはこのシーンのビデオが収められているはず。ガンダム本編中でもっとも美しい場面のひとつだった。

フリージーヤード(26)
ゴッグが使用した防御兵器。バリヤの一種だが、何かゲル状の物質でできているように見える。

プローバー(26)
ジオン海軍の情報収集を任務とする潜水艦。ベルファストのスパイ107号(ミハル)の通信をこの艦で中継し、シャアの下へ送る。

ブロック
船・基地をいくつかの区画に分けたもの。機能により大別される事が多い。宇宙空間で使用されるものは、ブロック間が気密隔壁で区切られている。

ベーター・トワ(42)
連邦軍の暗号コード。宇宙作戦用に今まで使用されていた「アルファ・ゲイン」に替わって用いられた。



ペット →ハンガー

ヘリウム輸送船団(38)
ジオン軍が原子炉の燃料として、木星大気からヘリウムを採取し、ジオン本国へ運び込むために編成された船団。これによってジオンは戦争を継続することができた。

ベルデ諸島の漁業組合(28)
ジオン軍のフラガナン・ブーンが、WBの目的地を知る為にもぐりこませたミハルと、連絡をつける時に使用した飛行機の所属していた団体名。

ベルファスト基地（26）
北アイルランド、ベルファストの連邦軍の軍港。艦船用のドックがあり、ホワイト・ベースはここの第2ドックで修理・補給を行ってジャブローへ向う。

ポイント305（**15**）
日本の五島列島付近。ドアンの島がある。アムロのコア・ファイターはドッキング訓練中連邦軍のSOSを受け急行する。

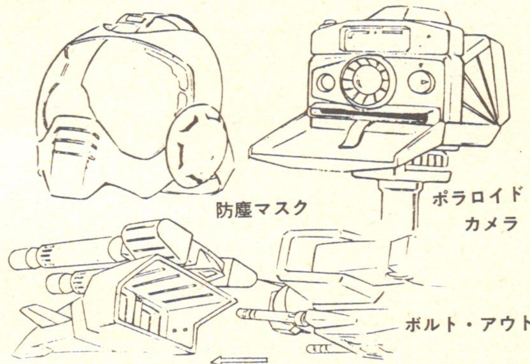
ポイントB—3（30）
モビルスーツ・アッガイによって破壊されたジャブローの監視所のある場所。

放射能洗浄室（**24**）
WBのメイン核融合エンジンの整備の時の防護服に付いた残留放射能を除去する部屋。

放射能防御服（24）
WBの核融合エンジン整備のために使用した放射能よけ服。

防塵マスク（16）
砂漠の中をレビル将軍の伝令がWBに来た際、ブライトが着用していたマスク。このマスクからあの名セリフ「砂漠にチョウが…」が、発せられた。

ボール（35）





モビルスーツGMと同一行動をとり、中・遠距離援護を主任務とする、簡易モビルスーツで、球形のボートに中口径ビーム砲を1門そなえただけで、他に火力は持っていない。

保健庁（**29**）
ジャブローの軍人・職員の健康管理を行う場所。WB乗員もここで身体検査を受けた。

星一号作戦（**40**）
連邦軍の、ジオン要塞ア・バオア・クー進攻作戦の暗号名。

補助カメラ（**1**）
モビルスーツの全身に配置されている、モニター用テレビカメラ。頭部にあるメイン・カメラが壊れた時、補助的に使用できる。

ホットドック（13）
日本上空で飛行していたルッグンパトロールのコード名、リュウのコアファイターの奇襲を受ける。

ボブソン（8）
ガルマの仮司令部のコード名。

ポラロイド・カメラ（**24**）
WB乗組員とマチルダとの記念撮影に使用されたカメラ。フラッシュ付きの自動照点合せ機構を持つ。但し12枚しかコピーがとれない。

ボルシチ隊（25）
マ・クベ本隊に属する戦闘部隊の軍コード名。オデッサの戦いに参加。

ボルト・アウト（28）
ガンダムがGメカから分離する事を言う。

幌馬車（**37**）
サイド6内のテキサスコロニーで使用される観光用の幌馬車であったが、サイコミュを積み込みララァのテストを行うのに使用した。

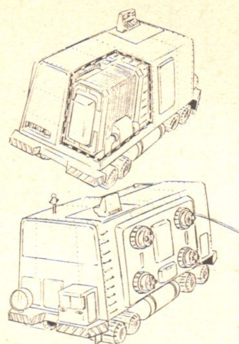
ホワイト・ベース
連邦軍の新造戦艦。多目的宇宙空母ともなりうる。モビルスーツ戦略の一環となるモビルスーツの運搬・支援戦闘指揮を目指して建造された。大気圏突入能力を有し、地上ではミノフスキー粒子を応用した一種の反重力推進により航行する。6機のモビルスーツを搭載可能他にコアファイター、Gファイター、などの支援戦闘機やガンペリーという輸送機数機搭載している。二連装主砲（火薬式）1門、メガ粒子砲2基を備えてその他対空機銃、ミサイルなどで武装している。外観が羽をもった馬に似ていることからジオンでは木馬というコードネームで呼んでいる。

W・B待機ボックス（**36**）

ガンダム用語事典

W・B脱出カプセル装填室

モビルスーツ・戦闘機等のパイロットの待機室。ハンバーガーとコーラの販売機が置いてある。またこの様な待機室がWB内各所にある。


マグネットコーティング車

ホワイトベース二番艦 (29話)

ジャブローの宇宙船用ドックで、ホワイトベースの横で整備を受けていたのがそれという説もあるが、艦首付近の形状が違っている。ホワイトベースよりも頑強そうに見えるのだが、ソロモン戦や星一号作戦には登場しなかった。エンジン及び船体構造はホワイトベースタイプであり、サラミスタイプ&マゼランタイプと異なり、モビルスーツ戦を主力にした新造戦艦である。

(小説版に登場するペガサスJRのような、ホワイトベースとまったく同じ型状の宇宙船は確認されていない。ファンとしてはあまりやって欲しくないが、何かのまちがいでガンダムIIが製作されればホワイトベースの二番艦が画面に登場するであろう。)

WBブリーフィングルーム (27)

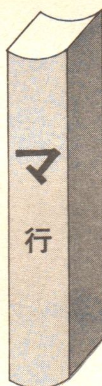
WB内の会議室。レビル将軍達を招いて、アムロがGメカの技術解説を行ったところ。

W・Bランチ格納ブロック (35)

スペースランチ二機が格納されている。WB後部第四デッキから発進する。

本部官邸 (10)

北アメリカ大陸ジオン軍占領本部官邸。元ニューヨーク市長エッシェンバッハの官邸を接収したもの。ガルマはここに住んでいる。



マイクロ・ウェーブ送電 (41)

発電衛星から密閉型コロニーへ極超短波で電力を供給する事。ソーラレイシステムで使用された。

マイクロボム (2)

ジオン軍の制式手榴弾。

マグネット・コーティング (40)

電磁工学の新鋭、モスク・ハン博士が、ガンダムのメカニック的な干渉を打ち消すために、可動部分に互に反撥する磁気性分をコーティングした。このためガンダムは三倍の速度で動けるもうになった。ブライト曰く、「まっ、油をさすみたいなもんだそうだ。」

マグネットコーティング車 (40)

マグネットコーティングをガンダムに施すため、モスク・ハンがソロモンで使用した作業車。

マ・クベのつぼ (16・37)

全編を通じて二つ登場した。16話の白磁のつぼと37話の南宋のつぼである。地球の鉱物資源採堀に地球に訪れた際、シルクロードで収集していた。

「ウラガン! あのつぼをキシリア様に届けてくれよ、あれは……いいものだ……」

と言う名台詞はマ・クベのキシリアに対する忠誠心と、つぼに対する執着とが端的に表わされている。

マゼラアタック

ジオン軍の制式戦車。地上部隊の中核をなす。上部砲塔(マゼラトップ)に主砲、本体部(マゼラベース)に三連装機銃を装備。マゼラトップは本体を離れて飛行できる。

マゼラトップ (6)

マゼラアタックの砲塔部分。VTOLで、自由に飛行し、空中静止のままで砲撃ができる。一人乗り。

マゼラベース (6)

マゼラアタックの車体部分。三連装機銃が前部にある。

マゼラン (4)

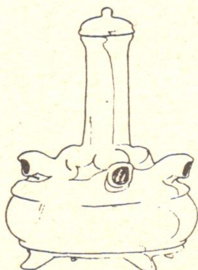
連邦軍の戦艦。ルナツー方面軍の旗艦であり、ワッケイン司令の乗艦。二連装砲を7基、二連装機銃を14基備える。

マダガスカル (4)

連邦軍の巡洋艦。サラミスの同型艦。

マッド・アングラー

戦線復帰なったシャアが乗る巨大潜水母艦。マッド・アングラー艦隊の司令艦で、触角の様につき出た二つの司令塔が特徴。ユーコン同様、アスロック・サブロックで武装し、水陸両用のモビル・スーツ、モビルアーマーなどを多数搭載できる。


マ・クベの南宋のつぼ

マッド・アングラー隊

シャアの指揮するジオンの特殊潜水艦隊。独立した戦闘部隊として各地のジオン軍支援を主任務とする。

マニュアル (1〜)

一般的には操作教本の事。アムロがサイド7で拾ったものは、ガンダムの操縦法とメインテナンス(整備)法が示されている。

マハル（40）
ジオン公国第3コロニー。ソーラレイに改造されるため、住民の強制移動が行なわれた。コロニーにはひとつづつ名前がついている。

マルチスクリーン
ホワイト・ベース、メインブリッジ後部に備えられた円形の情報スクリーン。

ミサイルカー（1）
連邦軍の六輪ミサイル車。八連装ミサイルランチャーから有線ミサイルを発射する。コロニー内など狭い場所では手許でコントロールできる有線ミサイルが必要となる。

ミサイルポット（7）
ランバラル隊が少ない戦力を補うために用いたザクの火力強化策の一つ。ザクの両足にそれぞれ三連発のミサイルを装備、至近距離での攻撃ではかなり効力がある。

ミサイルランチャーバギー（26）
ベルファスト基地に配備されている。10発のミサイル（無線タイプ）が入いるランチャーを装備した6輪のバギー車。カイとハヤトがゴック抑撃に使用する。

ミッド湖（8）
グランド・キャニオンの西、ラスベガスとの間に位置するミード湖のこと。

ミデア
連邦軍の輸送機。五つのローターで上昇、六つのジェットで前進する。コンテナは脱着可能で対空用に機銃がある。輸送部隊の指揮官はマチルダで自らミデアに乗る。

南ブロック（29）
ジャブローの基地は大きくわけて東西南北の4ブロックに、また小さくわけるとAからZまでの26ポイントにわけられている。

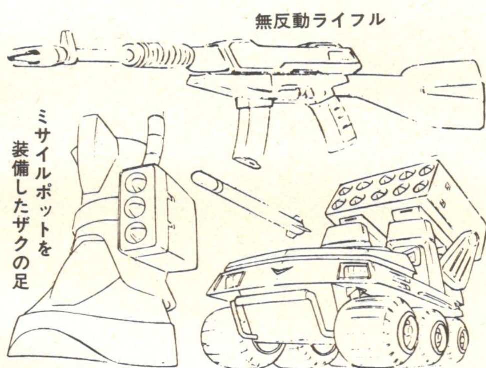
ミノフスキー粒子
レーダーや無線の電波を広範囲な区域で防害する物質数種類の帯電機能を持つ極微粒子を散布することによって、宇宙空間中のプラズマと融合を起して不安定イオン状態を作り、電波の反射・吸収を起こすもの。白ロシア系のジオン人ミノフスキーが発見者。レーダーなどの電波探知、ミサイルなどの電波誘導兵器が使用できなくなることで、モビルスーツ戦略はここにおいて存在理由が生まれる。WBの反重力推進システムにミノフスキー粒子が用いられているという説もある。

ミラー（35・36）
ソーラシステム用の鏡。折りたたみ式で、四隅のバーニアで方向を調整し、太陽光線を焦光してソロモンを焼いた。

民間機（28）
軍に所属しない飛行機の事。

ムサイ
一週間戦争で最も活躍したジオン軍の機動巡洋艦。二連装メガ粒子砲子門を主砲として、他に大型ミサイル（145型）、小型ミサイル（Cクラス）を装備、ザクタイプのモビルスーツ5機を搭載可能。前部には大気圏突入カプセル・コムサイを格納する。キャメル艦隊に配備されているような、主砲が2門のみの小型ムサイもある。シャア専用ムサイはブリッジの形状が異なる。

ムスタング・ツー（17）
ギャロップで木馬を追うランバ・ラル隊の戦闘コード名。



無反動ライフル（36）
宇宙空間で使用される銃器。この場合は、銃身の伸縮と後方に排気することによって銃の反動を消している。

メインカメラ
モビルスーツ・モビルアーマーの目に相当する。主に照準器用に使われている。他に補助カメラが外部各所に配備されている。

メカマン（28）
機械整備工のこと。

メガ粒子砲
重金属の粒子を磁気により加速して発射する荷電粒子砲と呼ばれるビーム兵器の一種。砲台・戦艦の副砲として装備される。その小型主砲軽量化したのがガンダムの持つビームライフルである。

木馬
ジオン軍がホワイト・ベースに付けた識別コード名。ジオン軍は終始この呼び名で通している。

モビルアーマー
モビルスーツの機動戦力の強化のため、従来の人型を廃した発達型。用途に応じてさまざまな形状を取る。モビルスーツの数倍の戦闘力を持つ。大半が局地戦用で極度に戦場が

限定されるのが、欠点といえば欠点。

モビルカー（1）

連邦のモビルスーツ用の大型輸送車。車高が低く荷台は平らで、操縦室は右側についている。一人乗りで前三輪、中四輪、後三輪で中、後はダブルタイヤ。

モビルスーツ

ジオン独立戦争で戦闘の中核となった兵器、人間の形状を取り、内部に人が入り操作する。歩兵の柔軟な行動力・機動力に強大な戦力を持たせたものであるが、機動力を増すために強化核融合炉を搭載し、核戦争を想定した重装甲のため全身約20m、重量は60t以上におよびスーツ（服）というイメージではなくなってしまった。水陸両用タイプを除いてはマシンガン、ライフル、剣など携帯兵器を装備するのが普通。



ユーコン（26～）

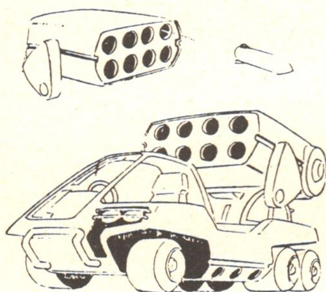
地球にいるジオン海軍の中核をなす潜水艦。主に大西洋に配備され、連邦軍の後方かく乱物資補給路の切断などを主任務とする。ゴック、ズゴックなどの水陸両用モビルスーツを2機搭載可能。サブロック、アスロックで武装している。

有線ミサイル（1）

有線による誘導ミサイル兵器。ミノフスキー粒子下でも誘導可能。狭いコロニー内といった特別の状況下のみで使用される。

有線ミサイルカー

サイド7に配備されている8基の発射孔をモフランチャーを装備するエレカー。ミノフスキー粒子下で無線誘導ができないため狭いコロニー内では有線コントロールのミサイル発射器が用いられる。


有線ミサイルカー

有視界戦闘（4）

レーダー等を使用不能にするミノフスキー粒子の発見で、戦闘の大半は人間の目に大きく依存することとなる。そのおかげで、敵の内懐に飛び込み攻撃するモビルスーツが主力となる。

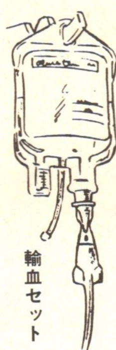
誘導灯

ビーコンと同じ。標識灯。


ゲルググ

ランドムーバー（ジオン軍）

ランドムーバー（連邦軍）


輸血セット

輸血セット

WBの備品。ハヤトが負傷した時には3本輸血した。

ユニバーサル信管（37）

宇宙空間用の近接信管。マ・クベは小惑星に爆薬を仕掛けこの信管を取り付けていた。接近したガンダムに反応して小惑星は爆発するが、アムロはこれを切り抜けた。



ライトペン（17）

ブラウン管ディスプレイ（CRTディスプレイ）に直接書き込んだり指示したりする器具。有線で、ペンの形をしているが、中に受光部があり、ブラウン管専用なので、発光したり紙に字を書いたりすることはできない。

ライン諸島（12）

太平洋中南部、北緯7度、西経163度付近から、南緯11度、西経149度付近に存在する総面積800km程度の小サンゴ礁。ほぼその間を直線上に点在する。ザンジバルの攻撃を受けたホワイト・ベースは、X07、Y161ポイントに身をかくした。

「ラ・ラ」（38）

ララァのニュータイプとしての能力が強力であった為、ビットの攻撃を受けた連邦軍兵士達の脳に対して、一種の共震をおこし、それが〝ラ・ラ〟という音に聞こえた。

ランチ（43）→内火艇

ランドムーバー

NASAでいう宇宙銃のこと。宇宙空間での移動用ロケット。ノーマルスーツと共に使用。

ランドル

モビルスーツ背中の姿勢制御用ロケットのことをいう。ランドセルにその形状が似ているところからこう呼ばれるものと思われる。

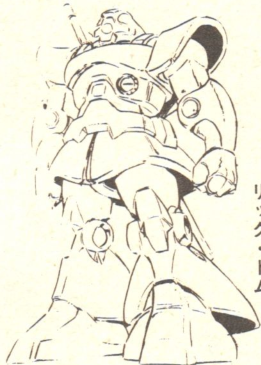
ランバ・ラル隊
ドズル中将の宇宙攻撃軍に属するゲリラ戦専門に編成された特殊部隊。隊長はいうまでもなくランバ・ラル大尉その人。ガルマの仇討ちの任務を与えられた独立した部隊。新型モビルスーツのグフ1機を新たに配置され、新鋭艦ザンジバルと共に地球の戦線に投入される。ラル隊の構成員に士官が多いのは、ゲリラ戦などで指揮官を失った場合でも、各人がその代わりを果たすという思想に基づいているためと思われる。

リーダー（18）
アッザムの武器の一つで、底部からカプセルに入って発射される粉末。目標の上部でカプセルを発裂させ、リーダーをふりかける。そして特殊な電磁波の檻の中では4千度の高熱が発生し、目標を焼く。

リック・ドム（31〜）
地上戦闘用モビルスーツドムを宇宙用に改良したモビルスーツである。連邦軍側では「スカート付き」というコードネームで呼んでいる。

リフトグリップ
スペースコロニー内、特に遠心重力機構のないスペースゲート（宇宙港）や宇宙船内部に装備された簡易移動装置。無重力の中、つり皮状のクリップにつかまり移動する。

リフトジェット（22）
ジオン軍の個人用飛行装置。高圧ガスの噴射により自由に飛行できる。またオールプラスチック製で、近距離でもレーダーにかかりにくい。



領空侵犯（34）
国家の領空を支配する権利を許可なく犯しその国家の秩序・安全を乱すこと。国際問題になるから注意しましょう。

臨界点（4）
ある変化が起こるのに必要な条件の最低値。主に核反応において用いられる。

臨界透過まく（41）
ソーラレイ・システムに用いられた電子コーティングの一種。最大出力になった時、自動的にコーティングが解ける。その瞬間、レーザーはコロニーの外壁を溶かし、発射される。↓ソーラレイ。

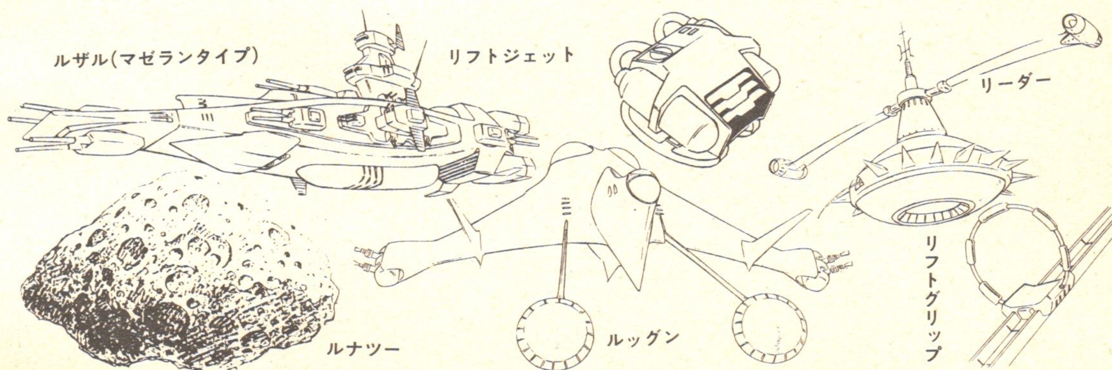
ルウム戦役
一週間戦争の中でも、サイド5（ルウム）方面の戦いを特にルウム戦役という。これはサイド5での戦いが、特にし烈をきわめたためである。

ルザル（42）
ソーラレイの攻撃をまぬがれた、連邦軍主力艦隊のマゼランタイプのひとつ。Sフィールドより侵入した艦隊の旗艦となった。

ルッグン（6）
ジオン軍の偵察機。両翼端に二連装機銃をもつ。底部に爆弾倉があり小型爆弾を装備。2基のレーダードームは上下移動式で、上部にあるときは空中探査、下部のときは地上用と使いわけることができる。

ルナツー（4）
鉱物資源を得るため、そしてコロニー内の土を得るため、人類が月軌道上に運んで来た小惑星（ユノー）である。ちょうど地球を挟んで月とは反対側に位置し、現在ここには地球連邦の最前線基地がある。

ルナツー艦隊（4）
ルナツー方面軍に配属されている連邦の宇宙艦隊。旗艦は戦艦マゼランで、ルナツー方面軍司令ワッケイン少佐が艦隊司令を兼任し



ガンダム用語事典

ていた。

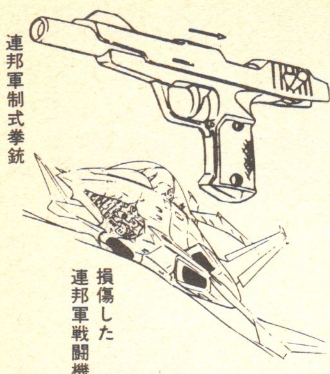
ルナツー方面軍（4）
ルナツーにある連邦宇宙軍の最前線基地に駐屯している。宇宙における数少ない連邦の宇宙戦力である。方面軍司令はワッケイン少佐。

冷却シフト（5）
ガンダムの大気圏突入能力の一つ。冷却済で外部装甲板の表面温度を下げる。

レーザー計測
レーザー光により、相手の大きさ、速度などをわり出すこと。

レーザーサーチ（12）
レーザー計測と同じ。

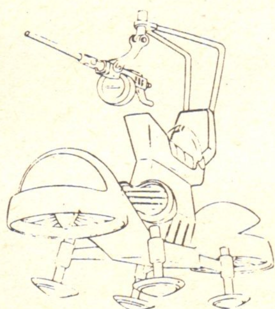
レーザーサーチャー
レーザー計測をする装置。


連邦軍制式拳銃
損傷した連邦軍戦闘機

レーザー通信（2）
レーザー光線を媒介とする通信。普通、長距離通信は電波だが、この場合はレーザー光に音と画の信号を含ませる。盗聴されない利点があるが、空気中では到達距離が著しく短くなる。

レーザーバーナー（4）
レーザー光を集中して得られる高熱を利用した加熱器。極めて小さな点にのみ熱が集約されるため、主に金属の切断に用いられる。

レーザーライフル（42）
ジオン軍において光学兵器の発達は遅れているため、レーザー銃はどうしても大型になる。よってめったに銃をぬかぬ幹部クラスが使用している。



ロック・オン（27）
戦闘機の照準スコープに敵影を合わせること。セイラが言うはずだったが、ボツにされ

るはずだった。

連邦軍正式拳銃
13話でアムロが難民キャンプでジオンのパトロール兵を撃ったオートマチック式拳銃。宇宙空間でも使用できる。

連邦軍戦闘機（15）
名称不明のドアンの島に不時着した戦闘機のこと。2人乗り。



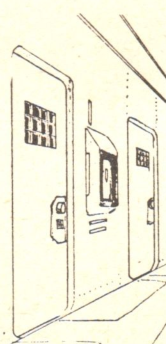
連邦のクジラ（28）
大西洋に配備されていた、連邦軍の空母、「ヒマラヤ」のこと。マッド・アングラーのシャアが言った台詞。

ローラーシフト
絨緞爆撃体制（フォーメーション）。

6E（20）
アムロが入れられた独房のキーナンバー。

ロック・オン（27）
戦闘機の照準スコープに敵影を合わせること。セイラが言うはずだったが、ボツにされた。

ロブ湖（16）
正式にはロブノールという。シルクロードタリム盆地の東端に位置する塩湖（カン湖）「500年ごとに振り子のように移動する」（マーカーの台詞より）「さまよえる湖」として古くから伝えられており、マルコ・ポーロの東方見聞録では不気味な砂漠としてロブ砂漠がしるされている。



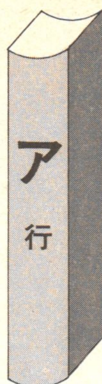


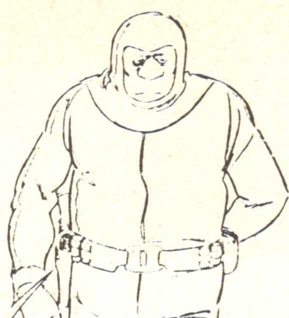
ワッパ（14）
ジオン軍の戦闘パーソナルジェット。前後計2基のローターで上昇、飛行する。一人乗りで、上部に小口径機銃が付いており、飛行しながら攻撃をかける。機動性に富み、森の中を飛びぬけることもできる。

和平交渉（41）
ア・バオア・クー攻防戦の前、ギレンの強硬な姿勢を恐れた、デギン公王がゲル・ドルバ空域にて、連邦軍のレビル将軍と会談しようとしたが、ソーラレイにより連邦軍主力3分の1の艦隊と共に葬り去られた。



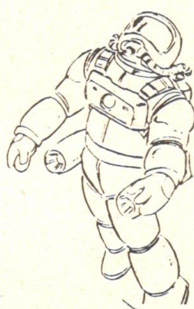
人名事典





赤鼻（30）　永井一郎
連邦ジャーブロー基地・GM工場の破壊工作員の一人で、リーダー的存在。爆弾設置後、アッガイに搭乗し攻撃。が、ガンダムに倒される。シャアの部下、本名不明。

アクアラング兵　（28）
水中戦闘部隊であるマッドアングラー隊の兵士達のことで、水中での戦闘、作業などを遂行する為に特別の訓練を受けている。



アコース（12・16）　鈴置洋孝
ジオン軍ランバ・ラルの部下。コズンと共にザク・パイロット。ランバ・ラル隊としては、ラル、コズンと共にザクで降下、はじめてガンダムと戦う。二戦目でアムロのガンキャノンの至近弾を受け、ザクと共に爆死。



アサクラ（40・41）　広瀬正志
ジオン軍の技術士官で、大佐。ソーラ・レイの担当責任者である。



アムロの母⇩カマリア・レイ

アムロ・レイ　古谷徹
ガンダムのパイロットで、サイド7にジオンの空襲があるまでは、内向的で孤独癖のある15才の少年だった。戦火の中、たまたま、ガンダムのアニュアルを盗み見たことで、ガンダムのパイロットという思いもつかない立場を得、と同時に好むと好まざるとにかかわらず、戦争という極限状態の中、戦士としての道を歩み、人と人との出合いと別れを通して人間として成長し、最終的には、少女ララァとの出合いが契機となって、意識下に秘められた自己のニュータイプとしての意識が、覚醒するに至る。

ガンダムの提唱者である父を持ち、ガンダムの最終慣熟調整を行うため、父と共にサイド7に流れ住んでいた。元来、父・テムはサイドの建設技師であり、我子アムロの見聞を広めるために、幼いアムロを連れサイドを転々としていた。それ故にか、それとも内向的な性格がそうさせるのか、幼い頃よりメカに強く、コンピューターマニアで電子工学系の知識がある。フラウへプレゼントしたマイコン・ロボ、ハロもアムロの手によるもので、ほかにも、文学、スペースカーのホビーなど一人遊びが目立っていた。故郷は、日本の山陰地方にあり、母親はそこでボランティア活動を行っている。感受性が強く、ナイーブで真剣一途な面があり、それ故に一人で悩み、結果ブライトと衝突することも少なくない。幼少期母親と離れてくらしたためか、女性コンプレックスの気がある。が、GFのフラウとだけは、女を意識せず付き合える。しかし、フラウのアムロに対する気持ちには気付かずにいる。補給部隊のマチルダに、思春期の少年が持つ年上の女性への淡い想いを抱き、ランバ・ラルとハモンに真の敵と大人の姿を見い出す。シャア、彼こそがアムロの越えるべき存在。——そして、ララァは翔び、アムロは振り向くことを忘れてゆく。新しい時代——ニュータイプ世紀はここに始まる…。

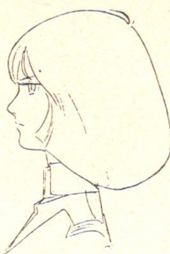


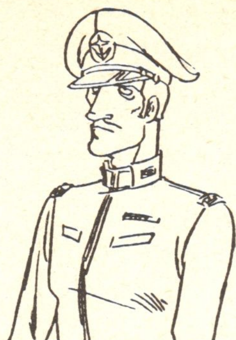
アルティシア・ソム・ダイクン　井上瑤
ジオン公国の創立者ジオン・ズム・ダイクンの娘。ザビ家に父・ジオンが暗殺されて後、

ガンダム人名事典

アントニオ・カラス士官

当時7才のアルティシアは兄・キャスバルと共に地球へ降りるが、途中キャスバルとは生き別れとなる。その後マス家の養女となり現在に至る。戦争を人一倍嫌い、その不幸な境遇も彼女の幼い頃よりの優しさをつみ取ることには成り得なかった。



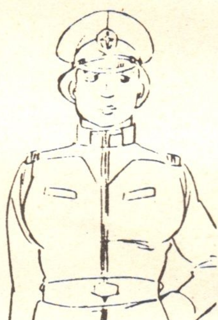


アントニオ・カラス士官（29）

ジャブローにおいて、ジオンの要塞攻撃に対しての全指揮をとる防衛士官。

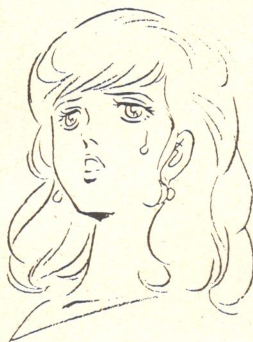
育児官（30）

ジャブロー育児センターの育児室官。チビちゃん達の脱走に右往左往させられるが、子供達にとって今、何が本当に必要なのか?をアムロ達に悟らされ、センターに収容されるはずだったチビちゃん達のホワイト・ベース同行の便宜を計ってくれた。



イセリナ・エッシェンバッハ（10・11）　潘 恵子

ジオンの占領下、ニューヨーク市長エッシェンバッハの娘。パーティの席上でガルマと出会い、父親の反対に遭いながらも次第に恋仲となる。上品でつつましやかだが、しんは強いものをもっており、その燃えるような戦場の恋もガルマの戦死という形で終止符がうたれる。その強い思いがガルマの仇討ちという方向へと彼女を走らせることとなる。また、それにより、アムロに敵にとっては、自らもかたきだと思いしらせた人物である。



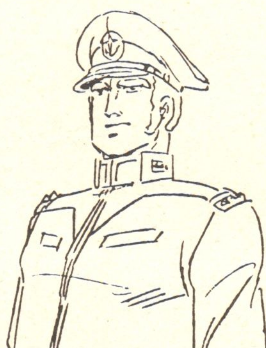
イリューシン（21）

ラルの部下。ラルバ・ラルの生き残り部隊16名の一人。ラルの仇を討つため、ハモンのもと、ホワイト・ベースに突攻をかける。



ウッディ（29）　田中秀幸

連邦軍大尉。ジャブロー基地における敏腕な修理担当士官。マチルダの婚約者。マチルダ亡き後、彼女の遺志を継ぎ、ジャブローの戦いにおいてホワイト・ベースを守るべくファンファンにて出撃、シャアの操るズゴックのカメラ・アイをつぶすが戦死。



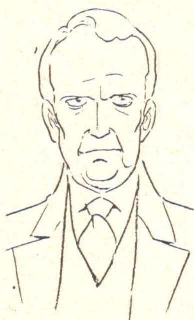
ウラガン（16～25・37・38）　戸谷公次

ジオン軍中尉。マ・クベの下に置いて副官を務める大柄な軍人。マ・クベの治める鉱山の管理状態を逐一マ・クベに報告するなど、マ・クベの忠実な部下である。テキサス・コロニーでのホワイト・ベースとの攻防において死亡。



エッシェンバッハ（10）　飯塚昭三

ニューヨーク市の市長、ジオンを憎み、また頑固さも手伝ってイセリナとガルマの恋を絶対認めようとしない。市民の安全の為、ジオンの占領後もニューヨークにとどまっているらしいが、本当のところは真実そうなのかはわからない。



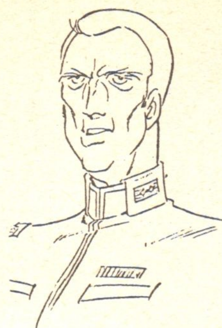
エドウィン（14）

ジオン軍のレクリエーション部隊付の魔術師。ダイターン3から特別出演。(そして観客のジオン兵の中には、万丈とギャリソンが…。)



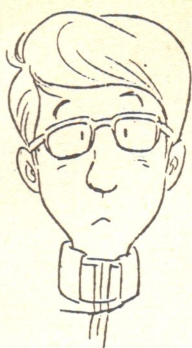
エルラン中将（23〜25） 永井一郎

地球連邦ヨーロッパ方面軍の高級将官。ジオンのマ・クベ大佐と秘かに通じており、連邦側の情報をマ・クベのもとへ腹心の部下ジュダックを通して送っていた。連邦側の一大反攻作戦オデッサ作戦の決行時、レビル将軍に反旗をひるがえそうとするが、アムロたちの働きにより発覚、彼の裏切りは未然に防がれた。このことが、連邦軍を勝利させる大きな転機となった。



オスカ・ダブリン 鈴木清信

マーカーと共にホワイト・ベースのオペレーターを担当。当初よりホワイト・ベースには訓練生として乗り込んでいた。メガネが特徴。16才。



オムル・ハング（7〜） 熊谷幸男
（36） 塩谷翼

ホワイト・ベース乗組員。メカニックマンの養成員だった。現在メカマンのチーフ的存在で、ガンダムやGメカの修理を主に行っており、ガンダムタイプのシュミレーション訓練も一応行っている。



おばさん（13） 片岡富枝

アムロの生家近くに住むおばさん。娘のコミリーはアムロの幼な友だちだった。家族はすべて死に、今は物を売って生計を立てている。アムロは、このおばさんから母の居所を聞く。



オルテガ（24・25） 二又一成

キリシア直属のジオン兵で「黒い三連星」の一人。大男でジェットストリームアタックをマチルダのミデア機に邪魔されたため怒り、マチルダとミデアのコクピットをたたきつぶし、ミデアを撃墜する。その後、ガンダムとGスカイの攻撃を受けて、オデッサの戦いに散る。



カ行

ガイア（24・25） 政宗一成

ジオンの黒い三連星と仇名されるキリシア直属の歴戦の勇士。三人のリーダー格で陸戦タイプの重モビルスーツ・ドムをまわされて、マ・クベの支援部隊としてザンジバルで降りてくるがマ・クベとはウマがあわない。荒けずりで粗野な感じのする兵士で自信家。ジェットストリームアタックでガンダムを苦しめる。仲間意識が強く、マッシュをガンダムに殺されてからはガンダムを仇とねらうが、オデッサの激戦でガンダムと死闘を演じ、敗れ、戦死する。

カイ・シデン 古川登志夫

父親は技師であり、医者でもあった。サイド3からサイド7へ避難してきたが、ジオンの空襲の為、アムロ達と共にホワイト・ベースへ避難、乗組員（クルー）となる。日和見主義で、口数こそ多いが結局一人では何もできない星廻りがひどく悪い少年。言ってみれば、ちょっとすねた性格で、皮肉っぽく、協調性に欠ける面があるが、内に持つ秘められたやさしさは、それを上廻るものがある。主にガンキャノンに搭乗して出撃する。そして少女ミハルとの出会い—ここに彼自身の一つの転期を迎える。そしてカイは変る。人として、そして、戦士として—。プエルトリコ系の18才の少年である。



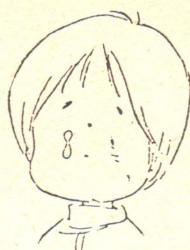
カツ・ハウイン 白石冬美

ホワイト・ベース生活班の問題児三人組の



ガンダム人名事典

一人で、三人の中では一応、一番お兄さん。三人揃えばイタズラに大活躍するけれど、心はとっても優しい男の子。その純真さ故に、ニュータイプとして目覚めはじめ、新しい時代を生きてゆく子供である。8才。



ガデム（3） 水鳥鉄夫
補給艦パプアの老艦長。ドズルの命で手持ちの武器を消費したシャアに物資を補給するため、ルナツーへやってくる。武骨な職業軍人といった感じの男で、高年齢を精神面でカバーしている。初戦より共に戦ってきた旧タイプのザクを好んで使用、ルナツーで自艦パプアは撃沈される。若くきれるシャアに対して意地と貫ろくを見せてくれた。老兵は死なずである。



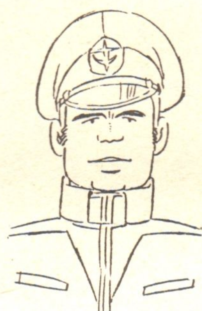
ガバラ（6） 玄田哲章
ガルマのガウより降下したザク小隊長。地上部隊のマゼラアタックと連携してガンダムに波状攻撃をあびせるが、ガンダムのパワーの前、ザクごとマゼラアタックにたたきつけられ戦死する。



カマリア・レイ（13） 沢田敏子
アムロ・レイの実の母。宇宙での暮らしになじめないため、夫のテムや、幼かったアムロと別れて暮らしていた。本編では成長したアムロと再会するが、自分と息子の間に大きな溝があるのを母として悲しむ。離れて暮らした歳月と時代の変化は、アムロも、そして彼女自身をも変えてしまっていた。——そしてアムロは母のもとを離れる。振り向かずに…。



カミラ（5） 飯塚昭三
サラミスの乗組員(クルー)。リードの部下で楽天家。ものごとを良い方へと考え、それが現在の自己を形成していると信じている。



カムラン・ブルーム（33～35） 塩沢兼人
サイド6の検察官、ミライの婚約者であったが、地球攻撃の際離ればなれになってしまった。後にサイド6において再会し永住をすすめるが、すでに互いの住む世界の違う事をミライに指摘され別れをつげられる。性格的にも意志軟弱、親のすねかじり的な所があり、風彩のあがらないダメ男のタイプであるが、心からミライのことを思っている。



カムラン艇のパイロット（35）
サイド6を出港するWBを見送るためにカムランが高給でチャーターしたパイロット。コンスコンの攻撃におびえていた。



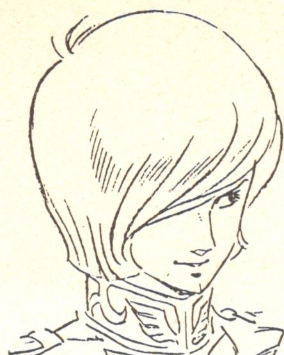
カラハ（27）
ズゴッグ搭乗員。ガンキャノンと対戦、窮地に陥らせたが、ガンダム・ガンタンクのチーム・プレイの前に力伏す。



カル（18・25） 塩沢兼人
ホワイト・ベースの乗組員。カイを小さくしたような感じの少年で、いつもブツブツいっている。



ガルマ・ザビ　森功至
デギン公王の四男。姉・キリシアの突撃機動軍の大佐で、地球攻撃軍司令という要職についている。赤い彗星のシャアとは、士官学校時代の同期生で、彼を信頼できる親友だと信じきっている。とても感じ易い性格で、お坊ちゃん育ちのためか、利用され易く、人を疑うことを知らない。ために、戦略に甘さが見られ、最後の一瞬まで、シャアの企みに気付かずにいた。むくわれることのないイセリナとの恋に身を焼くというような純粋な一面も持った人物である。母ナルスとは幼い頃死別した。20才。



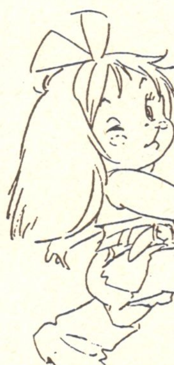
ギーン（17・20）
ザク・パイロット。戦死したアコース、コズンに代ってザクに乗り込み、ランバ・ラルのグフを支援する。ラルたちがホワイト・ベースに突攻をかけた時、おとりとしてザクで出撃するが、セイラの操縦するガンダムと交戦、戦死する。



キシリア・ザビ　小山まみ
公王デギン・ザビの長女で、引力地帯での主戦力、突撃機動軍指令官。階級は少将。弟・ガルマの直接の上司にあたり、むしろ政治的手腕に長けている。兄のギレンを近い将来の政敵として見ており冷徹な性格。ギレンの一途さに対し、むしろ、冷たい。直属の部下マ・クベに命じ、地球における鉱物資源の確保を狙ったり、又、サイド6の中立政策など特に、兄ギレンに対する彼女の策といえる。父殺しの理由で政敵であるギレンをたおす。が、自らも正体を見破ったシャアに、ア・バオア・クーを脱出する際、バズーカで狙撃され倒れた。ニュータイプに一早く目をつけた人物でもある。



キッカ・キタモト　井上瑤
ホワイト・ベース生活班のチビッコ三人組の紅一点。やんちゃでおてんば、元気でおちゃめな女の子。補給班の邪魔者として活躍する乗組員のマスコット的存在。最終話でアムロの精神波をキャッチし、ニュータイプとしての兆しを見せ、新時代へ歩み出した。4才。



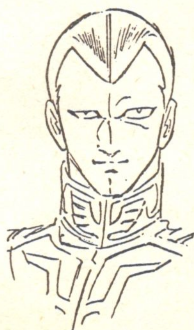
キャリオカ（28）
ブーンの部下で軍曹。ベルデ諸島の漁業組合と称して、ブーンと共にホワイト・ベースへ乗り込み、まんまと情報を手に入れ、無事脱出した。ブーンに、ジオン訛りが強いと言われた。



ギャル（14）　二又一成
クワランの仲間で軍曹。パトロール隊唯一のザクに乗るパイロット・クワランの話に一口乗り、ザクでガンダムをクワランたちが待期している森の中へとおびき出す。彼が基地倉庫の片すみでザクを整備する姿は、アムロがガンダムを整備しているよりも油くさい感じがした。19才。



ギレン・ザビ　田中崇
ジオンの公王、デギン・ザビの長男で、IQ240の天才。父・デギンの隠居と共にジオン公国の実質的指導者となったジオンの若き総帥である。彼の唱えるところの有能人種生残り説は無能な人間を切り捨て、ジオンを中心とした社会を創るという一種の選民思想である反面、冷酷なまでの合理的科学性に基づいての人口整理であり、その上で理想社会を築くことを目指す理想主義者。利用価値のあるものは、どんなものでも利用する。和平交渉に向かったデギンを、レビルら連邦主力艦隊と共に、ソーラ・レイで葬った。そのため、キリシアに親殺しとして射殺された。



ガンダム人名事典

ククルス・ドアン

ククルス・ドアン（15） 徳丸完
元ジオンの兵士で、ザクの操縦にも熟練している第一級の戦士だったが、焦土作戦にザクで参加した際、親を殺された子供たちを殺すように命じられ、従えずザクと共に脱走、東シナ海の孤島に先の子供たちと共に隠れ住むようになる。島では畑を耕し、近づく戦闘メカはザクで武装解除してしまう。根をおろしたようなある意味で理想的な人物だが、反面子供たちの親を殺した罪悪感につねにさいなまされる。



クム（15） 間嶋里美
ドアンが育てていた孤児のひとり。



クラウレ・ハモン 中谷ゆみ
ランバ・ラルの女。ルウム戦役の戦火の中ラルと出会い、助けられる。以来、ラルの側に影のように寄り添う美しい女(ひと)。ラルは、ハモンにとって三人目の男であり、彼女にとっての最初の男はジオン・ズムであった。ガルマの仇討ち部隊として降りて来たラルは実直な男で、彼女なりに彼を理解し補佐し、ラルの死後、自ら指揮をとりラルの意志を継ごうと少ない武器を駆使して木馬へ突攻をかけるが、リュウの捨身の突攻に倒れる。隊内におけるハモンは、正式の軍人ではないにもかかわらず相当な発言力を有し、ラルの部下たちからも慕われていた。アムロとの関わりは印象深く、人としても女としても強く、ある意味においてマチルダとは対照的なところの理想の女性であると言えよう。



クラウン（5） 飯塚昭三
シァアの配下のジオン兵で、木馬が大気圏突入を行うところを狙ってシァアと共に出撃した三機のザクのうちの一機のパイロット。ザクには本来、大気圏突破の性能は無く、ガンダムとの戦闘が長びいた結果、大気圏へ突入、ザクもろとも摩擦熱のため、燃えつき大気圏に散った。



クラフト（30）
シァアの部下でGM工場破壊工作員の一人。工場内に爆弾を仕掛け。その後、アッガイに搭乗して攻撃をかける。



クランプ 塩沢兼人
ゲリラ戦を主任務とする、ランバ・ラル隊のランバ・ラルの副官。ガルマの仇討ち部隊として新鋭艦ザンジバルに乗り、ラルの信頼を得ている。ラルと共に戦火をくぐり抜けてきたゲリラ戦のプロでもある。クランプ隊（突撃揚兵部隊第2班）を指揮してホワイト・ベースに突っ込む際、全身に銃火を浴びて戦死する。

クリンク（23） 池田勝
ジオン軍中尉。マ・クベの部下、ヘイブ、マーチらと共にマチルダのミデア補給部隊を襲った際、戦死する。



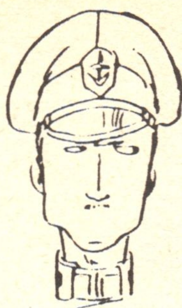
クワラン（14） 市東昭彦
独立パトロール隊の下士官、ジオンの曹長。若く、勇敢で度胸がある。歩兵が戦車に地雷をはりつける要領で、プラスチック爆弾と一人乗りのワッパを武器にして、向こうみずな仲間とともにガンダムに戦いを挑む。19才。





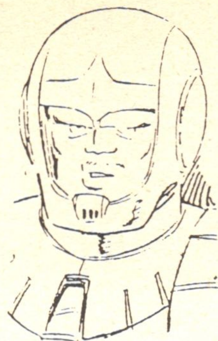
軍務官（30）

連邦軍ジャブロー基地内士官。ホワイト・ベース乗組員に階級証書を渡した。その際、戦死者に対する上部の態度に反感を持ち、言いよるアムロを殴った人物である。



ゲビル（6）　永井一郎

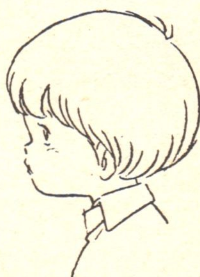
ガルマの部下。ドップ戦闘隊長で、ガウ攻撃空母より発進。ホワイト・ベースを攻撃する。





コーリー（8）　井上瑶

ホワイト・ベースの避難民の一人ペルシアの息子で、母親と二人でサイド7へ移民としていた。ペルシアは、コー君と呼ぶ。



コズン・グラハム　戸谷公次

ジオン軍少尉。ランバ・ラルの部下でザクのパイロット。ふてぶてしくごつい感じの男。ザクで戦闘中、ホワイト・ベースの補虜となるが脱走、ガンダムの情報をラルのもとへ送る。ホワイト・ベースからの脱出に失敗し死亡。



ゴップ提督（29）　永井一郎

連邦軍本部ジャブローにおり、階級は大将。ホワイト・ベースにテアンム艦隊への配属を通達した。ホワイト・ベースの存在を煙たがっている。



コノリー（26・27）　二又一成

ブーンの副官。ベルファスト第2次攻撃の際、変装して上陸、スパイ107号(ミハル)と接触をとる。



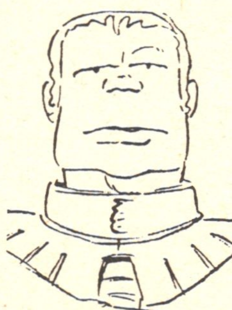
コミリー（13）

アムロの幼な友だち。戦火にまきこまれて死んでしまったかわいそうな女の子。昔よくアムロと丘の上の教会へ遊びに行った。



コム（5）　滝雅也

シャア指揮のもと大気圏突入直前の木馬へ強襲をかけたザク・パイロットの一人。ガンダムハンマーの直撃で、ザクもろとも爆死する。



コム（8）　古川登志夫

バムロの部下で、ビッグジョンの乗員。にくめないひょうきんな兵士でバムロといいコンビだった。



コワル（33）

シムスの助手で少尉。ブラウ・ブロのテストパイロットで、シムスと共にテスト中ガン

ダムに出会い、攻撃をかけてしまう。



コンスコン（33・34）　永井一郎

ドズルの部下で戦艦チベの艦長。階級は、少将。姉・キリシアの下にいる、かつての部下シャアの無能さを証明すべくドズルに送り出された人物で、コンスコン自身シャアを良く思っておらず、一種のあせりと嫉妬をシャアに感じていた。シャアへの意地のために、ホワイト・ベースに特攻をかけ、ガンダムにより沈められる。なぜシャアがマスクをしているのかと、素朴な疑問を口にした人物でもある。



サ行

サイド7指令（1）　池田勝

連邦軍中佐。この地におけるV作戦の実質的責任者で、ホワイト・ベースを迎え入れるが、その直後シャアの攻撃が始まり、ムサイの初弾をゲート付近に受け戦死する。



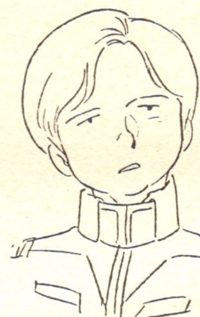
サグレド（19）

ランバ・ラルの部下で、ソドンのレストランで見張りに立った兵士。



サンマロ　塩沢兼人

ホワイト・ベースでセイラと共に医療面を担当している少年で、ホワイト・ベース乗組員がケガをしたり病気にかかったりした時活躍する。メガネをかけたりかけなかったりする。見ためのひ弱さを決して肯定しきらせない少年。



ジーン（1）　曽我部和行

シャアの旗下のデニム・ザク小隊の新兵。命令違反をして、サイド7のガンダム試験場に攻撃をかける。はじめてガンダムと戦った兵士。彼のザクはサイド7から脱出を計るがガンダムに破壊される。



ジェイキュー（5）　古川登志夫

シャア指揮のもと大気圏突入直前の木馬へ強襲をかけたザク・パイロットの一人。至近距離よりガンダムのバルカン砲の直撃を全身に受け、ザクは爆発、戦死する。



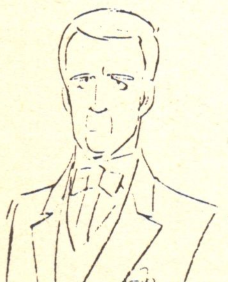
ジオン・ズム・ダイクン

ジオン共和国（ジオン公国の前身）の創立者であり、初代大統領。サイド国家主義（ジオン・イズム）を唱え、それを実践するためにこの地・サイド3でジオン共和国の独立を宣言、連邦と対立。その後、ザビ家の者に暗殺され死の間際、後継者としてデギン公を指名。ジオンは独裁主義国家の時代を迎える。彼自身、ニュータイプの先駆的人物でありその思想には、来たるべき世界の土壌を築くという意味あいが含まれていた。



ジオンの老人（40）　永井一郎

ジオン・マハルの居住者。孫と分れ分れになり、孫を捜そうとし、スペース・バスの搭乗順を乱し、ジオン兵にとがめられる。



士官

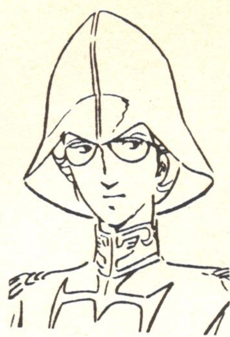
士官（25）

スパイ（ジュダック）がビッグトレーに乗り込んだことを聞かされ、それに対するエルランの出方をビデオにとり、アムロの危機を救い、エルランの裏切りを未然にふせいだ人物。



シムス・バハロフ（33・38）　松沢和子

ジオン・ニュータイプ用モビルアーマー・ブラウ・ブロ開発スタッフの一人で、階級は中尉。ブラウ・ブロのテスト中、Gアーマーに発見され攻撃をかけられるが、脱出。その後、シャリア・ブルと共にブラウ・ブロと出撃するが、ガンダムのビームライフルを受けて、爆死する。宇宙時代のキャリア・ウーマン。ミドルネームはアル



シャア・アズナブル　池田秀一

赤い彗星と異名をとるジオン公国の代表的戦士で、宇宙攻撃軍少佐、後に突撃機動軍大佐に昇進。彼の率いる特務隊が、連邦軍のV作戦をサイド7で発見することが、この物語の発端となった。頭脳明晰、冷静沈着、優れた運動神経と、戦士として群を抜く才能を持つにとどまらず相当の策士で胸に秘めた目的のため一人で闘う。つねに仮面を着用し、他人には素顔を見せたことはない。前線においては、自ら赤いモビルスーツに乗り込み出撃する。赤い彗星の由来はここからで、ルウム戦役の功績で、20才の若さで少佐となる。その素顔はザビ家に暗殺されたジオン・ズムの子で、セイラの兄、キャスバル・R・ダイクンである。ザビ家の末弟で、士官学校時代の友、ガルマを助けられなかった（実は落とし入れた）ため左遷されるが、キリシアに目をつけられ、前線に復帰する。その後、ララァ・スンをつれ、アムロの前に姿を現わす。その頃から、彼は打倒ザビ家よりも、来たるべきニュータイプの時代に目を向ける。最終話で、脱出しようとするキリシアを、ザビ家打倒の終止符として葬った。が、その際の爆発に巻き込まれたかもしれず、彼自身の生死は不明である。



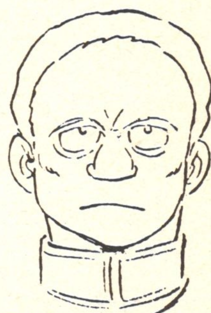
シャリア・ブル（39）　木原正二郎

ジオンの木星からのエネルギー船団の指揮官で大尉。潜在的なニュータイプの能力を買われ、ギレンからキリシアのもとへ送られる。シムス中尉と組んで、ブラウ・ブロをまかされ、そのニュータイプとしての能力を発揮するが、ガンダムの前に倒れる。シャアの思いを探知し、未来への一つの道を示した。ギレンとキリシアとの間にはさまれ、自由に身動きできない立場にあった人物である。



ジュダック（22～25）　二又一成

エルラン中将の腹心でマ・クベと通じていたスパイ連絡員。マ・クベのダブデから出てくるところを、Gアーマーを慣らし飛行させていたアムロをセイラに見つかり、エルランの裏切りが発覚する。レビル将軍もジオン側へスパイを送り込んでいたのは確かで、それがジュダックであり彼がWスパイであったか否かは今となってはちょっとわからない。



女医先生（29）

ジャブローにドック入したホワイト・ベースの乗組員（特に女性と子供）の身体検査を担当した。



情報収集艦々長（26）

107号（ミハル）よりホワイト・ベースに関する情報を、マッド・アングラーにいるシャアに連絡した人。



情報収集艦通信員

情報収集艦通信員（26）
107号（ミハル）からの連絡を受け、それを艦長に報告した。



ジョブ・ジョン（8～） 塩沢兼人
ホワイト・ベース乗組員の一人で、ガンペリーのパイロット。アムロたちと同様、ガンダムタイプのシュミレーションは一応受けているので、リュウ亡き後たまにガンタンクの操縦なども行う金髪の少年。

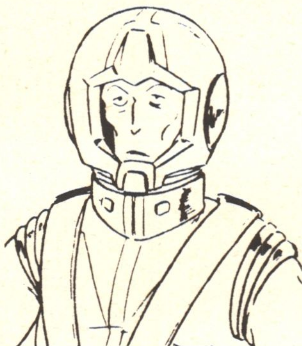


A・P・N NO SAKAMOTO SAN THANKS

ジル（27）
ミハルの弟で、ミハルが留守の間を妹・ミリーと2人で守っている、しっかりした少年。



シン少尉（36） 鈴置洋孝
ソロモン攻略戦のさい、ソロモン内に侵入し、ビグ・ザムと接触、ビーム砲でやられ、戦死してしまう。



ジンバ・ラル（20）
ランバ・ラルの父親で、ジオン・ダイクンに仕えていた。ジオンの忘れがたみ、キャスバルとアルテイシアに偽りの名（エドワウとセイラ）を付け、二人を連れ地球で育てる。二人にとっての爺やである。



ステッチ（17・19） 塩沢兼人
ランバ・ラル隊のザク要員。アコース、コズンに代わってギーンと共にグフ支援の任務につく。その後、ホワイト・ベースへラルのグフと共に応急強化したザクで出撃。ガンタンクを戦闘不能にするが、ホワイト・ベースを回り込んで後方より攻撃した際、爆死。



スミス（5） 滝雅也
サイド7より孫のペロと共に脱出した民間人。サイド7に来る前は南米でコーヒー園を営んでいたが、半ば強制的に宇宙移民をさせられる。「俺は地球に骨をうめるんだ。」というこの老人の言葉にはつまされるものがあった。

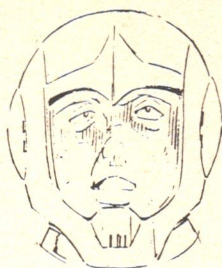


スレッガー・ロウ（31～36） 玄田哲章
WBがジャブロー発進寸前に、戦死したリュウの補充用員として配属された。階級はブライトと同じ中尉だが、指揮権はない。粗野で、一見とっつきにくい面もあるが、戦士としての腕は一流であり、内面的な優しさもあってWBのクルーに好意をもたれる。ミライと、つかの間の恋をするが、ビグザムとの決戦で宇宙に散っていった。独得のしゃれっ気と個性的な男らしさを持っていた人物である。



スレンダー（1・2）　鈴木誠一

シャア配下の兵士で、ジオンの軍曹。サイド7へ偵察任務で向かったデニム小隊の一人で、V作戦を確認した後ムサイへ帰投、再びシャアに従ってサイド7に侵入、脱出後シャアと共にザクで出撃、ガンダムを迎撃する。シャアの支援にまわるが、ガンダムのビームライフルに射抜かれ爆発、戦死。



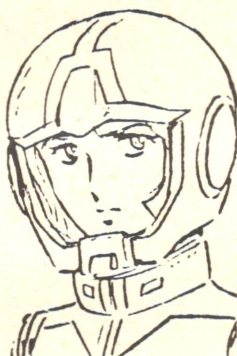
ゼイガン（19）　永井一郎　（21）　鈴置洋孝

ランバ・ラル隊の偵察隊員。オートバイを駆使して、木馬を探る。



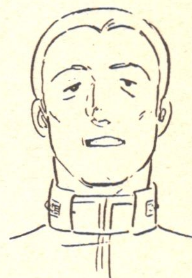
セイラ・マス　井上瑤

聡明なプラチナブロンドの美少女。スタイルが良く、しっかりしている。本名は、アルテイシア・ソム・ダイクンで、ジオン公国の創立者ジオン・ズムの娘である。ザビ家が主権を確立した際、当時7才の彼女は、兄のキャスバルと共に名を変え、サイド3を脱出、地球へ渡る。幼少期を、ジンバ・ラルの元ですごすが、兄のジオン入りを期に彼女も、サイド7へと移住してゆく。サイド7空襲の際、ホワイト・ベースに避難し、乗組員（クルー）となる。当初、ホワイト・ベースでは通信と医療面を担当していたが、後にGファイターのパイロットとなる。戦火の中での兄との再会や、ニュータイプへの目覚めなど戦争を人一倍嫌っていた少女を、一人前の戦士（女性）に成長させてゆく。不幸な境遇のせいか、一種独特のかげりがある。17才。



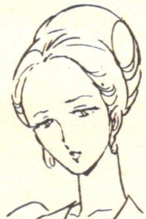
セキ（24）　鈴置洋孝

連邦軍の技術大佐。ガンダムのパワーアップメカ（Gメカ）をたずさえてマチルダと共にやって来る。物静かな感じのする人物。



ゼナ（35・36）　角田美佐

ドズルの妻。連邦軍の攻略戦のため、万一を考えるドズルにより、娘・ミネバと共に、脱出ポットでソロモンを出る。途中、ソロモン脱出に向かうマ・クベ艦隊に救助される。ソロモンが落ちたことをマ・クベに知らされ、夫の死を嘆く心優しい女性（ひと）。



ソル（14）　塩沢兼人

クワランの仲間、司令官直属の通信兵でガンダムの情報は彼が聞きだしてきた。ギャルらと作戦に参加する。18才。



タ行

タチ（15）　松岡洋子

ドアンが育てていた孤児のひとり。



タチ（21）　永井一郎

ランバ・ラル隊の将校でジオン軍中尉。ラル亡き後、ハモンを補佐し、少ない残存兵力を結集してホワイト・ベースに最後の攻撃をかける。自ら最後のザクに乗り込み、作戦を援護するが、ガンダムと戦闘中、味方のマゼラトップの砲撃にあたって戦死する。



タムラ（9・16・33）　永井一郎

ホワイト・ベースのコック長。少ない物資をやりくりして、つねに乗員たちの栄養管理に気をつかっている日系人のおじさん。

ガンダム人名事典



ダロタ（12）　古川登志夫

ガルマ・ザビの直属士官でジオン軍中尉。戦死したガルマの仇を討つべく、生き残った部隊を再編成、ガウの三機編隊を率いてイセリナと共に木馬を追撃するが、木馬を目前にしてガンダムの迎撃を受け墜落、戦死する。



チヨ（15）　高木早苗

ドアンが育てていた孤児のひとり。女の子。



テアンム提督（35・36）　永井一郎

ソロモン攻略戦の最高指揮官で、攻略戦主力艦隊（テアンム艦隊）提督。ソーラ・レイ・システムという新兵器を使用し、ソロモンをかん落まで追い込むが、旗艦マゼランと共にビグザムのビーム砲によって爆死する。



デギン・ソド・ザビ　永井一郎

ジオン公国の公王だが、今は隠居の身のジオンを牛耳るザビ家の長。創立者ジオン・ズムの死後、ジオン共和国をジオン公国とし、自らその後継者として公王の座に就き、ジオン・イズムを実践しつつジオンを軍制として、ザビ家による一族独裁制をしき、充分な戦力を蓄えた上で地球連邦に対し独立戦争を起こした人物。自己顕示欲の強い独裁者だが身内の情に甘い。戦局が、願わない方向へ進んでしまったため、局面打開のため、和平交渉に応ずるためグレート・デギンで、連邦主力艦隊のもとに向かう。その際、和平交渉に反対するギレンにより、ソーラ・レイで、レビル艦隊と共に葬られる。



デニム（1）　緒方賢一

曹長。シャア指揮下の古参兵でザクのパイロット。物語冒頭、ジーンと共にザクでサイド7に侵入、連邦軍のV作戦を発見する。が、功をあせった部下のジーンを押えきれず、戦闘となり、アムロ・ガンダム誕生の起因をつくる。



デミトリー（32）　古川登志夫

トクワンの部下で曹長。トクワンの仇を討つべく、シャアに無断でザクレロで出撃する。しかし、ガンダムのビームサーベルで倒される。



テム・レイ（1・33・34）　清川元夢

アムロ・レイの父。今は連邦軍大尉。技術士官だが、以前はサイド建設のため尽力した人物。妻を地球に残し、幼いアムロと共にサイド7にやってきた。戦争勃発と同時に軍に移籍し、V作戦のメンバーとなる。ガンダムの提唱者でもあるが、サイド7空襲の際、宇宙へ吸い出され、サイド6の船に助けられるが、密閉された宇宙服の中、酸欠状態に陥り二酸化炭素中毒で少しおかしくなってしまう。その後、サイド6のジャンク屋に下宿していた処、アムロと悲劇ともいえる再会をする。尚、13話でアムロを連れ家を後にする若きテムが回想で出てくる。



デラミン（38）

マ・クベ配下、チベ艦長。暗礁空域テキサス・ゾーンで、ホワイト・ベースとデラミン艦隊の均衡を保っていたが、マゼランの出現により、均衡をくずしてしまう。そのため、ホワイト・ベースの集中砲火を浴び、チベと共に散ってゆく。



天幕の老人（19）　永井一郎
中立地帯ソドンで天幕を張り自活しているらしい砂漠の老人。ホワイト・ベースを脱走したアムロが、水と食事ができる所を求めてここに立ち寄る。



伝令の少年（16）　塩沢兼人
砂漠地帯にいるホワイト・ベースに、オデッサ・デイのことを、伝令にきた少年。あの有名な「砂漠に…」の名セリフをブライトとかわした人物でもある。



トクワン（31）　政宗一成
地球にてモビル・アーマービグロのテストをしていたジオン軍少尉。ホワイト・ベースを追うシャアと共にザンジバルで宇宙へ出た。ザンジバルの追撃を追いはらおうとするホワイト・ベースを迎え撃たんとビグロで出撃するが、ガンダムと接触したことにより、ビームライフルによって散る。



ドズル・ザビ　長堀芳夫
ジオン公国公王デギン・ザビの三男でジオン軍中将であり、宇宙空間におけるジオンの主力たる宇宙攻撃軍指令官でもある。闘争心が旺盛で、本能的に戦いを好み感情起伏が激しい。その反面、女性には弱く、部下からも慕われている。弟のガルマを高く評価し、大きな期待をかけていた。それ故、ガルマを守りきれなかったシャアを憎んでいる。心優しき妻・ゼナとの間に生まれたばかりの娘・ミネバ・ラオ・ザビがいる。ひとたび戦場を離れれば良き夫であり父親である。ソロモン攻防戦の際、自らもモビルアーマービグ・ザムに乗り込み出撃、ガンダムによって倒される。脱出ポットで脱出するゼナとのキスシーンは忘れられない。



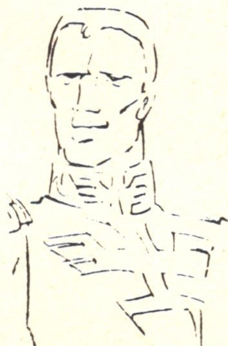
トルガン（21）
ラルの部下。ランバ・ラルの生き残り部隊16人の一人。ラルの仇を討つため、ハモンのもと、ホワイト・ベースに突攻をかける。



ドレン（1〜11・32）
赤い彗星シャアの副官で、シャアが左遷されてから後、少尉より大尉に昇格、ムサイタイプの軽巡3隻で構成されたキャメル艦隊の指揮官として再登場。シャアのザンジバルの追撃を受ける木馬の頭を押えるべく、リックドムを展開、シャアの戦法を真似てホワイト・ベースに挑むが、アムロ・ガンダムの威力の前、シャアの救援を待たずして艦隊は全滅、艦橋から宇宙へ吸い出されて果てる。シャアの素性を知っていたような、ちょっと意味深長な印象を与える人物ではあった。



トワニング（42・43）　佐藤正治
ア・バオア・クーの将軍の一人。ギレンを殺したキシリアに付き、自分の地位の向上を計る。その一環として、キシリアを助けてア・バオア・クーから脱出させせようとした。しかし、彼自身は、防戦の際に、倒されてしまう。



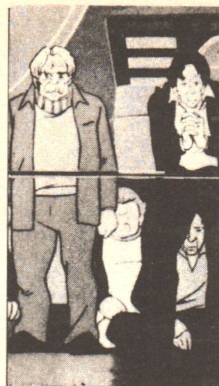
ナ行

難民達　永井一郎他
サイド7から脱出した時、ホワイト・ベースに避難していた人々で、そのほとんどは老

ガンダム人名事典

バイス

人だった。地球に着くなり、敵地にもかかわらず土を踏みたいといってブライトを困らせた。セントアンジェ付近で全員ホワイト・ベースから降りる。



ハ行

バイス（22）　永井一郎

マ・クベの包囲作戦に先立ち、木馬を容易に捕捉し得るため、木馬のECM発振機及びミノフスキー粒子射出孔爆破の任務についていた特殊工作隊の指揮官。

特殊工作隊の指揮官。



バイソン（8）　飯塚昭三

木馬を追尾し、その動向をガルマ大佐へ報告するドップ編隊の指揮官。



パオロ・カシアス（1〜4）　政宗一成

連邦軍の新造戦艦・ホワイト・ベースの艦長で、ホワイトベースタイプの宇宙艦と共同で戦闘を行うことを目指した、ガンダムタイプの新型モビルスーツ最終テストの地、サイド7へホワイト・ベースを届けるが、シャアのムサイに追尾され攻撃を受ける。この際、自ら防戦にまわり重傷を負い、苦しい息の下、少年達のホワイト・ベースを導くが、ルナツー脱出の時、傷のため息を引きとる。優柔不断で頑固なタイプの多い連邦軍の中にあって、ものごとへの対処が柔軟で、立派な人格者であった。連邦宇宙軍中佐。



バタシャム（40）　政宗一成

リックドムのパイロット。ララァの前衛で攻撃をかけるようシャアに指示されたが、ララァの能力の素晴しさに舌を巻き、途中で後方に下がってしまった。



バムロ（8）　永井一郎

ビッグジョン（ルッグン）の機長。グレートキャニオンでの戦闘をひかえ、木馬側より出された民間人下艦を監視するいわゆるお目付役。任務終了後、すでに消滅しているセントアンジェに向うペルシア親子を案じていう台詞、この中にジオン独立戦争の本当の意味がこめられているのかもしれない。そしてバムロはペルシアに自分たちの姿を見い出したのだろう。――ガルマ大佐はまだお若い、おれたちみたいな者の気持は分からんよ！行くぞ！……。



ハモン⇨クラウレ・ハモン

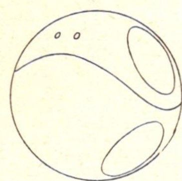
ハヤト・コバヤシ　鈴木清信

ホワイト・ベースの乗員で、主にガンタンクの操縦を担当する。サイド7では、アムロの家の近所で、空襲の際一家は全て戦死。当初父親が軍関係の技術者という事でアムロを恨んでいた。善良で、能力はあるのだが、気が弱いためその能力を十分に引き出せないでおり又、表面には表わさないが、アムロに対しライバル意識を持っている。ソロモン攻略戦の際、負傷し、アムロの活躍を思い、深くおちこんでしまう。そんな彼をフラウが良心的に看病したことから、二人の仲が進展してゆく――。柔道が趣味であり、特技である。日系人の少年。15才。



ハロ　井上瑤

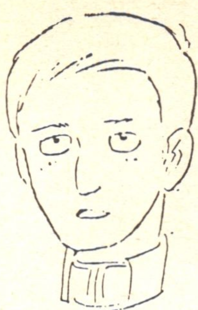
フラウ・ボウのペット・ロボ。直径が40cmほどの球形ロボで、アムロが製作し、フラウにプレゼントした。マイ・コンが内蔵され、簡単な会話が可能なほか、脳波測定器やらも仕込まれている。通常、重力の影響下においてはころがりながら移動するが、その動力源の詳細は不明。また手足による移動が可能。



バロム（36）
キシリアが送ったソロモン救援艦隊の一人。脱出ポットを見捨てようとしたマ・クベをたしなめてゼナ達を救った。その後、ソロモン陥落の報を受けると、ゼナ達をグラナダのキシリアの元へ送る任についた。



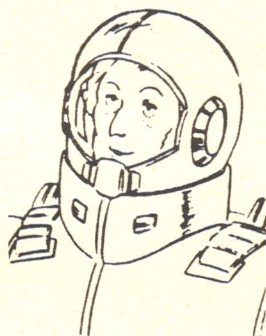
ハワド（20・36）　塩谷翼
ホワイト・ベース乗員。脱走し、もどって来たアムロに期待するブライトらに反発して、カイ、ハヤト、マクシミリアンとホワイト・ベースを飛び出した。またスレッガーのGファイターの最後の整備を指揮している。



ハンブル（6）　飯塚昭三
ガルマ指揮下のドップ戦闘隊長。

バンマス（36）
ホワイト・ベースの乗組員で、交代用員でもある。ミライのかわりに操舵することもある。

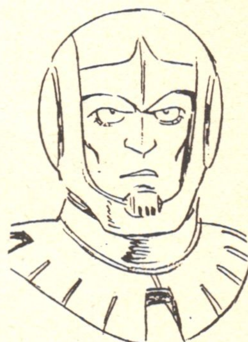




ビービ（9）　飯塚昭三
ガルマ隊直轄のドップ小隊、ビービ隊の小隊長。



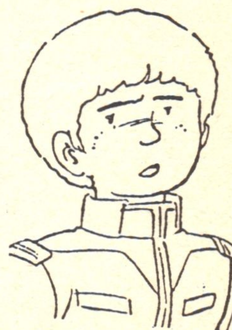
フィックス（4）　古川登志夫
シャアの部下でザクのパイロット。ルナツー強襲の際、爆死する。マチュウの同僚。



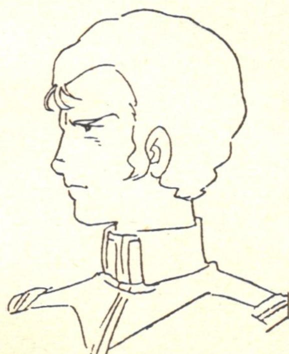
負傷した少年兵（18）　古川登志夫
ガンダムの攻撃を受け、証拠を消すためにマ・クベの手で爆破された第102採掘基地の若いジオン兵。動けなくなり故里の母親の写真を見ている時、アムロが通りかかり、水と発煙筒をわたされる。「敵に甘すぎると、生命はいくつあってもたらんぜ」――これはジオン兵がアムロにいった台詞。それにしても、発煙筒をたいてホワイト・ベースに発見されたんだけど、そのあとどうなったんだろうか？



フムラウ（18）
ホワイト・ベースの少年のひとり。



ブライト・ノア　鈴置洋孝
ホワイト・ベースの士官候補生。サイド7脱出の後、パオロ艦長の死後、正規の軍人のいないホワイト・ベースにあって、彼が艦の指揮をとっていくこととなる。天性の戦略家としての本分を持ち、その方面においての能力はひいでているが、反面、優柔不断な面が見られ、多少ヒステリックな面もあるためにホワイト・ベースを危険な状態にしてしまうこともある。同じクルーのミライ・ヤシマの中に心のやすらぎを見い出している。後に小尉に昇進。ジャブローに着いて中尉となり正式にホワイト・ベースの指揮官となる。誰にも頼ることのできない指揮官の孤独さを、彼の横顔から感じることができた。英国系、19才。



ガンダム人名事典



フラウの祖父（1）　永井一郎
サイド7へ移民していたが、ジオンの空襲の際、爆発に巻き込まれて死んでしまう。

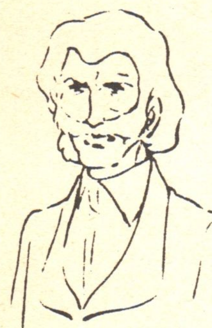


フラウの母（1）　鈴木れい子
父親と娘のフラウ・ボウと一諸にサイド7へ移民していた。サイド7が、ジオンの空襲に見舞われ、港へ避難する途中、侵入したザクと守備隊の流れ弾が至近で爆発。フラウとアムロの目の前で父親と共に無残な死を遂げる。名前はファム。

フラウ・ボウ　鵜飼るみ子
アムロのガールフレンドで、アムロが女性を意識せずにつきあえ、またけんか友だちでもある。サイド7ではアムロの隣近所で、この頃からアムロが好きで身のまわりの世話を甲斐甲斐しくやいたが、アムロには通じない。アムロの作ったハロをいつもつれている。目前で家族をなくすが、めげずにがんばり、以後ホワイト・ベースのメンバーとして行動する。艦内では医療や生活環境を受け持ち、カツ、レツ、キッカたち子供の良いお姉さん役で、明朗快活な15才の女の子。その表情には時としてさびしさがよぎる。彼女のもとを離れてゆくアムロに対して……。彼女自身それを見守っていくことしかできないことをわかっているだけにつらい。そんな彼女の心に触れたのが、ハヤトだった。お互いの心のよりどころを求めて……。



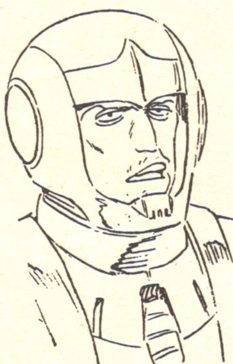
フラナガン博士（37）　永井一郎
ジオンのニュータイプ研究機関であるフラナガン機関の責任者である。ブラウ・ブロ、エルメスなどニュータイプ用モビルスーツの開発に協力した。



フラナガン・ブーン（26〜28）　永井一郎
マッドアングラー隊士官。ユーコン艦長で、パイロットあがりである。ガッシリした体格の古強者。ガンダムに倒された部下の仇を討つべく自らモビルアーマー・グラブロで出撃するが、ガンダムにやられ戦死する。



ヘイブ（23）　二又一成
マ・クベの配下、クリンク中尉の指揮の下マチルダのミデア補給部隊を襲ったグフのパイロット。ガンダムにやられて爆死する。



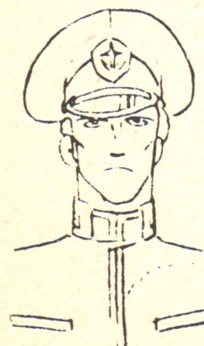
ベルガミノ（33）　永井一郎
中立サイドのサイド6の修理屋。連邦・ジオン両軍に顔がきき、両軍の戦艦を領空外のドックで修理し、大儲けしている男。コンスコンと攻撃によりドックを破壊され、とり乱す。



ペルシア（8）　角田美佐
サイド7の避難民の一人で、コーリーの母親。夫を早くに亡くし、サイド7へ息子のコーリーと共に移民していた。他の避難民たちとホワイト・ベースを降り、コーリーと夫の故郷、セント・アンジェへと向う。——そこに故郷はなかった…。



ベルファスト基地司令（26）
連邦軍ベルファスト基地におり、レビルが基地に来た際、レビルに付いて防戦指揮をする。



ペロ（5）　井上瑶
地球の大地に、骨を埋めたいと願う避難民の老人スミスの孫。サイドで生れ育ったため自然の星（地球）を知らない。

ボラスキニフ（29）
シャアの部下で、曹長。シャアと共に、ジャブローにゾックに搭乗して潜入。ガンダムのビームライフルによって倒される。

マ 行

マーカー・クラン　古川登志夫
オスカと同じくホワイト・ベースのオペレーターで、連邦軍訓練生として乗り込んでいた。ホワイト・ベースが生き延びてこられた影の功労者だと言えるかもしれない。オスカより一年先輩で17才

マーシー（26）　二又一成
マッドアングラー隊員。ラサ曹長の部下で、ゴッグのパイロット。二手に分かれベルファストに上陸。ホワイトベースをたたこうとするが、Gアーマーにはばまれこれと戦闘、Gアーマーのビーム砲を受け戦死。

マーチ（23）　鈴木清信
マ・クベの配下、クリンク中尉の指揮の下マチルダのミデア補給部隊を襲ったグフのパイロット。Gファイターに乗ったガンダムにやられた。Gメカ最初の犠牲者。

マイル（19）
ジオン軍ラル隊々員。サグレドと共にレストランの前に見張りに立つ。

マイヤー少尉（36）
ソロモン攻略戦の際、ギレンから送られた大型モビルアーマー・ビグザムにドズルと共に搭乗する。戦局不利と見たドズルの命令で脱出させられる。

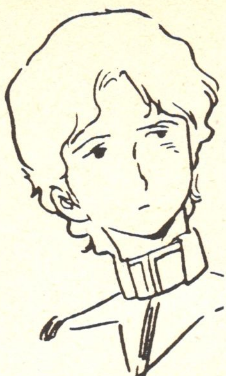
マクシミリアン（20・30）
ハワド、カイ、ハヤトらと共にホワイトベースを飛び出したエンジン関係の整備担当の少年。

マ・クベ（16・18〜25・37）　塩沢兼人
キシリア配下でジオン突撃機動軍大佐、常に特注の白い軍服を着込んでいる。物腰が女性的で、その病的な目つきとひい出た額という狡猾な容姿から奸計にたけ計算高い性格が感じとれる。キシリアに地球上最大の鉱物資源採掘基地をまかされてはいるが、それはキシリアがジオンの支配者となるためにのみ利用している。オデッサの戦いでレビルに敗れ基地を放棄、徹退する。その後、キシリアの命令でソロモン救援艦隊司令の任につく。が、間に合わず、脱出者救護の任につく。そしてテキサス、コロニーでガンダムにいどむため自らもキシリアがマ・クベ専用として製造させたモビルスーツ・ギャンで出撃、ガンダムと死闘を演じ、破れる。壺などの骨董品収集が趣味で、キシリアのふところ刀的な男であ

マサキ
った。



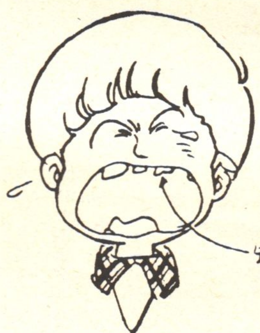
マサキ（35）
ホワイト・ベースの看護兵。とてもミライに似ている。（双子かしら…）



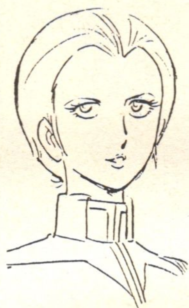
マジソン（30）
シャアの部下で、ジャブロー内のGM工場破壊工作員。他の工作員と共に工場に潜入し、爆弾を仕かけ、アッツガイに搭乗し攻撃をかける。



ませた少年（30）
ジャブロー基地内の育児室にいる少年。父や母のことを言いキッカを泣かせてしまう。



マチルダ・アジャン　戸田恵子
連邦の、ミデア輸送部隊、マチルダ隊の指揮官、レビル将軍の下、ホワイト・ベースに秘かに補給物資を届ける任務につく。大学の途中より士官学校に移り、卒業後職業軍人となる。女ながらも自分の信念をもって仕事に望み、その身を犠牲にして散っていった。仕事に接する時の冷静さと厳しさの裏に、人として、女としての優しさ、強さを秘めたマチルダに、ひとつの女性の理想の姿を見ることができる。アムロが補給部隊に入った理由を尋ねた時の返事「戦争という破壊の中で、ただ一つ、物を創ってゆくことができるから」これこそがマチルダの心情であり、彼女のこころなのだろう。中尉に昇進したことも不思議ではない。ジャブローに、目標であり、フィアンセでもあるウッディ大尉がいる。アムロの初恋の人、アムロの成長に、進歩に大きな影響を与えた人、マチルダ……。そして青春を燃やしつくしていった女性……。



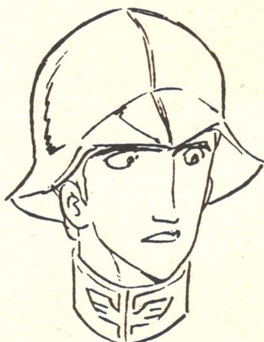
マッシュ（24）
キシリア直属のジオンの黒い三連星の一人。右目を戦闘でつぶしている。ガイア、オルテガと共にドムに乗り込み、ホワイト・ベースを急襲、ガンダムと交戦、ジェットストリームアタックをかけるが、アムロのガンダムの機敏な動きにかわされ、ドムごとビームサーベルに切りさかれ戦死。



マチュウ（3・4）　政宗一成
シャアの部下。ガデムの補給したザクを駆使してルナツーのホワイトベースを強襲するが、爆死する。



マリガン（26〜41）　塩沢兼人・戸谷公次
ジオン軍中尉。ドレンに代り、戦線に復帰したシャア大佐に付き従う副官。マッドアングラーからザンジバルへ乗り込み、再び宇宙へ出撃してからもシャアの片腕としての地位を保っているが、冷徹なシャアと比して人間的に弱い面が見られる。まだ若い将校である。第13独立部隊（ホワイト・ベース）に艦隊突攻をかけた際、戦死する。



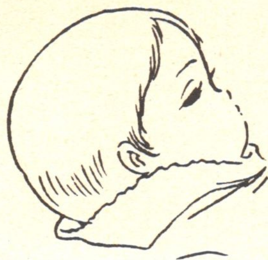
ミサキ（21）
ラルの部下。ランバ・ラルの生き残り部隊16名の一人。ラルの仇を討つため、ハモンのもと、ホワイトベースに突攻をかける。



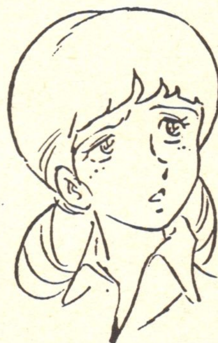
ミデアパイロット
ミデア輸送部隊（マチルダ隊）のマチルダ機主任パイロット。マチルダと一緒にミデアごと黒い三連星オルテガのドムに叩き落とされ戦死する。



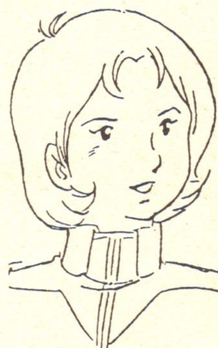
ミネバ・ラオ・ザビ（35・36）
ドズル・ザビの忘れ形見。戦争の為、幼なくして父無し児になる。母親に似たかわいい子で、父の死も知らず笑うあの笑顔が印象的である。



ミハル・ラトキエ（26〜28）　間嶋里美
北アイルランドのベルファストの少女。両親は戦死し、弟のジルと妹のミリーとの三人暮らし。ジオンのスパイ107号として、ホワイト・ベースに潜入するが、決してスパイを本業とする少女ではなく、戦争という状況下での生きる術であった。カイとの出会い、ふれあいは、やさしく、哀しい終わりを演出する。



ミライ・ヤシマ　白石冬美
シャアの攻撃を受け、サイド7を脱出する際、たまたまスペースグライダーのライセンスを持っていたために、ホワイト・ベースの操艦を務めることになった。ヤシマ家の令嬢で、地球連邦の元高官を父に持つエリートで、星廻りの良い女性。父親は、連邦の政策に疑問を持ち、連邦政府を辞めてミライとサイド7へ流れてきた。直後ジオン独立戦争が起こり召集を受け、戦場にて戦死した。ホワイト・ベースにおけるミライは皆のお母さん的存在で、優しく、暖かく、抱擁力があり、皆に慕われる。世が世ならば良家の奥方におさまっていただろう彼女だが、戦争というものをとおして自分の生き方を見いだしつつあり、故に親同士の決めた婚約者カムランを振りかえることはなかった。ブライト・ノアに好意を抱いていたが、途中からホワイト・ベースに乗り込んできたスレッガーと、つかの間の恋をする。インスピレーションが良く働き、人類とニュータイプの橋かけ的存在と思われる筋がある。日本人系で18才。



ミリー（27）
ミハルの妹で、兄のジルと共に、ミハルの留守を守っている。



ミル（14）
クワランの部下



モスク・ハン博士（40）　徳丸完
電磁工学の新鋭学者。ガンダムに自分の理論を応用したマグネットコーティングを施した。アムロに「データのために、生き延びてくれ。」と、言った合理主義者。



ヤ 行

ユウリ（2）
シャアの攻撃を受けたサイド7で行方不明になってしまったものと思われる女の子(?)スペースゲート付近で母親が必死に捜しまわる描写がある。

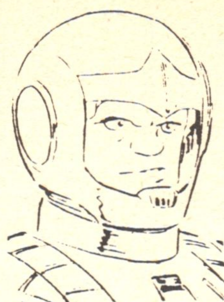


ガンダム人名事典

ラ行

ラサ（26）　二又一成

マッドアングラー隊の曹長。水陸両用のモビルアーマー、ゴックのパイロット。マーシーと共にユーコンより発進。ホワイト・ベースがドック入りしているベルファスト基地に奇襲をかける。水中にガンダムをおびき出しほんろうするが、ビームサーベルの威力の前、北アイルランドの海に散る。



ラコック（35・36）

ドズル付参謀、ジオン軍大佐。ソロモンにおいて、ドズルの補佐をしていた人物で、ソロモンの部隊の直接の指揮は、この人がとっていた。ビグ・ザムで、出撃したドズルの身を最後まで案じていた忠実な部下。



ララァ・スン　潘恵子

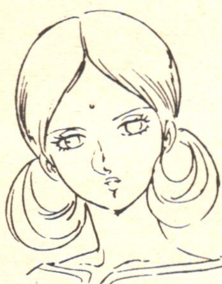
一週間戦争で両親をなくしさまよっていた時、他の人間にない能力をもっていることに気づいたシャアにひろわれ、ニュータイプ研究組織であるフラナガン機関におくられた。

サイド6で秘密裏にニュータイプの能力の開発を受けている時、アムロと会い、彼のニュータイプとしての目ざめのきっかけとなる。

テキサスコロニーでおこなわれたサイコミュのテストで優秀な成績をおさめたのちに、エルメスのパイロットとして実戦配備され、歴戦の勇士以上の能力を発揮した。

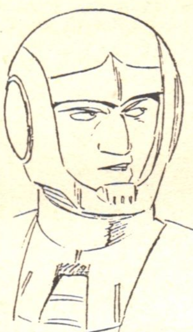
精神的には、同じニュータイプであるアムロに共鳴していたのだが、不幸な身の上から救い出してくれたシャアへの慕情を捨てきれず、WBとの戦闘の最中シャアをかばい、ガンダムのビームサーベルをコックピットにうけ、宇宙にちっていった。

しかし彼女の意識は、共鳴したアムロの中に残り、彼を真のニュータイプへと導いていくのだった。



ラング（22）　鈴木清信

バイスと共に木馬の破壊工作に向ったマ・クベの部下で、作戦はまんまと成功。ためにホワイト・ベースは危機に陥る。調子が良い感じのする男だが、木馬を待ち伏せ緊張し、額の汗を拭おうとした際、ヘルメットをかぶっている自分に気付き苦笑してヘルメットをコツンとやるなど、ちょっとしたことだが従来のロボットものとはひと味違う処を見せてくれた。



ランバ・ラル　広瀬正志

ジオン宇宙攻撃軍大尉。ゲリラ戦の専門家。ドズル中将の命で、ガルマの仇討ちを任務とする独立戦闘部隊として地球へ降り立つ。陸戦用ギャロップで木馬を追い、自ら新型の白兵戦用モビルスーツ・グフを駆って出撃する。根っからの職業軍人で豪胆で判断力に優れる。指揮官としてもモビルスーツのパイロットとしても一線級の戦士。部下思いで、木馬をしとめるのも部下のためという、純粋で実直な男。内縁関係の女性、ハモンがつねに影のようによりそっている。ジオン・ズムに仕えていたジンバ・ラルを父にもつ。ホワイト・ベースに特攻した際、かつて世話をしたズムの子アルテイシアと敵味方で再会。手傷を負い、彼女らの前で自決、爆死する。彼との出会いは、アムロという少年に少なからぬ衝撃であった。そして彼は一つの目標ともなりえた。



リード（5〜9）　玄田哲章

連邦軍中尉。ルナツー艦隊所属の巡洋艦サラミスの艦長で、ホワイトベースとガンダムを無事に参謀本部まで届けるのが任務。が、途中シャアの攻撃を受け、ジオンの勢力圏の真っ只中へ降りる事を余儀無くされる。以後、二代目の艦長として、しばらくホワイト・ベースの指揮をとるが、ものごとがうまく行かないと怒りっぽくなる処があり、ブライトとは噛み合わなかった。その後、マチルダの補給部隊が来た際、ほかのサラミス乗員と共に引き揚げる。



リュウ・ホセイ　飯塚昭三

連邦軍のパイロット候補生としてホワイト・ベースに乗り込んでいたが、まだ三カ月と戦闘機の実地訓練を受けていない。コア・ファイターの操縦のほか、ハヤトと共にガンタンクにも乗り込む戦闘員のリーダー役。性格は温厚で、その素朴な風貌に男のやさしさを見い出せる。ランバ・ラル隊が白兵戦を挑んできた際、ラルと相打ちの様な格好で重傷を負い、傷ついた身体でハモンのマゼラトップへコアファイターで突っ込み戦死する。アルゼンチン系で少し黒人の血がまざっている。18才。(後に二階級特進し中尉)

彼のアムロへ与えた影響は大きく、また、彼自身アムロには大きな期待をかけていた。少年たちが互いのわだかまりを払いのけ、新たな一歩を踏み出す代償としては、彼の死は、あまりに大きな犠牲だった――。



レストランの親父（19）　戸谷公次

中央アジアの中立地帯・ソドンにある小さなレストランの経営者。ここでアムロは生の敵ランバ・ラルとハモンに出会う。



レツ・コ・ファン　鵜飼るみ子

何をするにもカツ、キッカと三人そろって行動する。一言でいうと腕白坊主で年令6才。



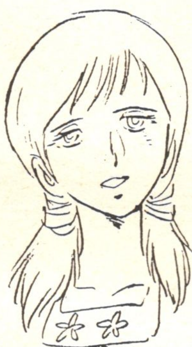
レビル（23）　池田勝

連邦軍の高級将官で、階級は大将。ルウム戦役でジオン側の捕虜となるが脱出する。彼の「ジオンに兵なし」の言に力を得た連邦側は、ジオンの最後通告を退け、戦線は膠着状態、戦争は長期戦の様相を帯びてくる。ホワイト・ベースの実力を正当に評価し、参謀本部とは別個に、マチルダ補給部隊をさしむけた。ヨーロッパ方面軍の指揮官として、ホワイト・ベースをオデッサ作戦に投入する。



ロラン（15）　川波葉子

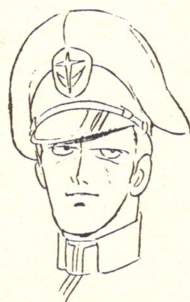
ドアンの島で、アムロがめぐり会った少女。戦争で両親を失って、性格的に内にこもるところがあったが、ドアンに助けられて、島の自然にいだかれて生きるうちに、明るさをとりもどしていく。ほかの戦災孤児たちのねえさんがわりで、自然を愛し、戦争を嫌うやさしい少女。兵士として、少年としてのアムロとの出会いが、相手の中に互いの自己を見、互いに大きく関与しあう。



ワ行

ワッケイン（4・36・38）　曽我部和行

地球連邦のルナツー方面軍司令官で連邦宇宙軍少佐。有能な軍人なのだが、融通のきかない面があり、故にブライトたちと対立してしまうが、シャアがルナツーを急襲した際、パオロ艦長の言葉に己れの非を悟りホワイトベースでシャアを退ける。自ら戦艦マゼランを駆る行動派でもある。ソロモン戦でWBと再会するが、シャアのザンジバルに敗れ戦死。



ワッケインの副官（4）　広瀬正志

ルナツー司令ワッケイン少佐の副官。日本人で、ルナツーに寄港したホワイト・ベースを迎え入れる。



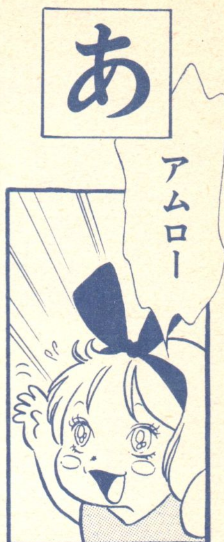
★ガンダム事典パロディ★

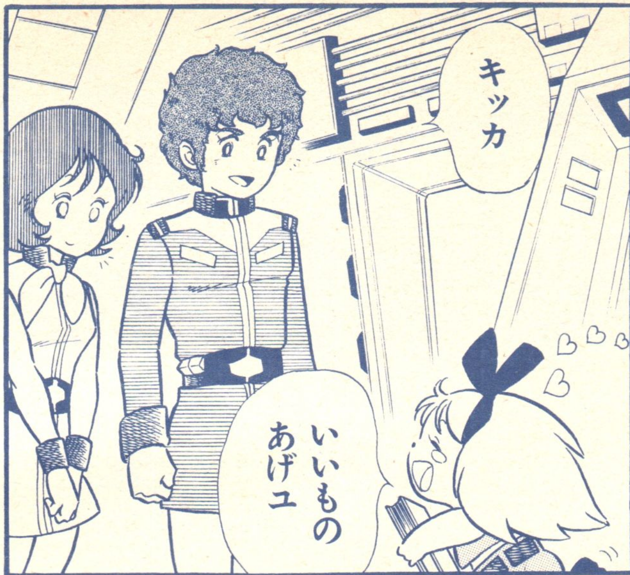
"行きまーす！"

蜂須賀 留麻

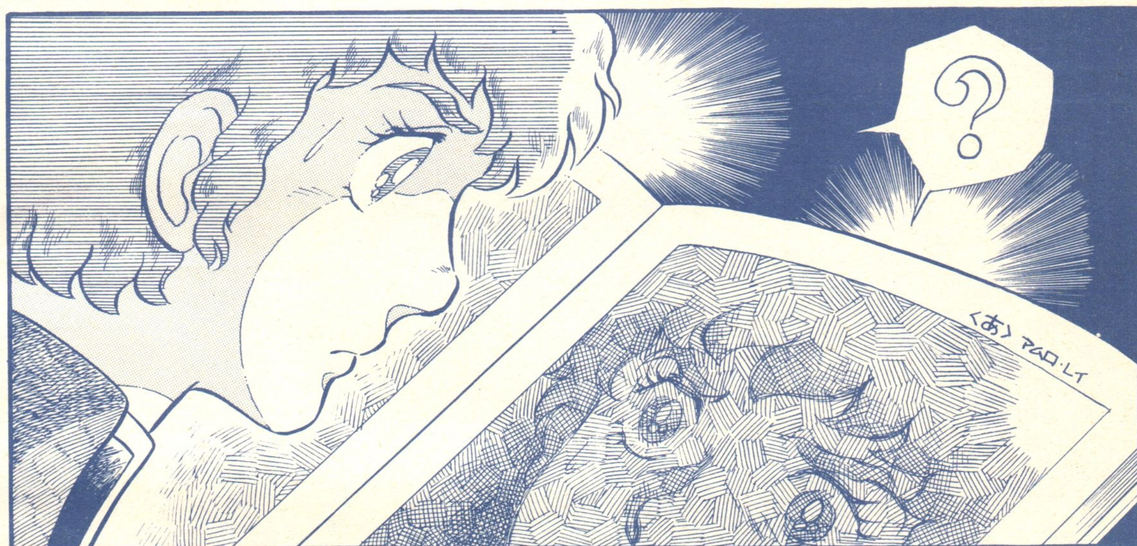


あ

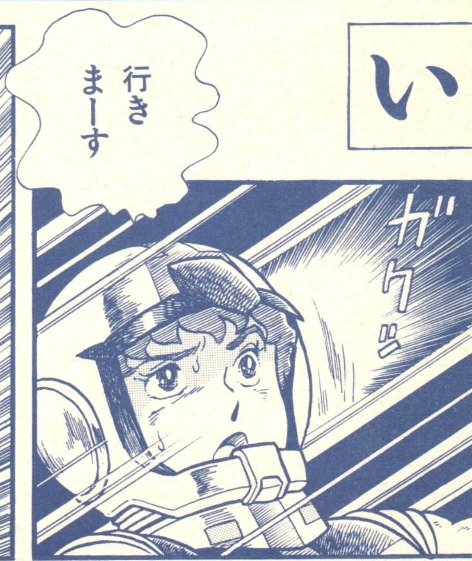


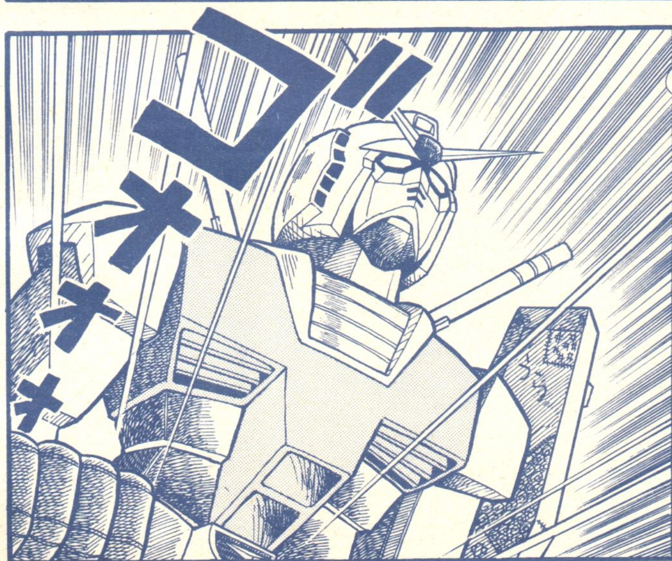




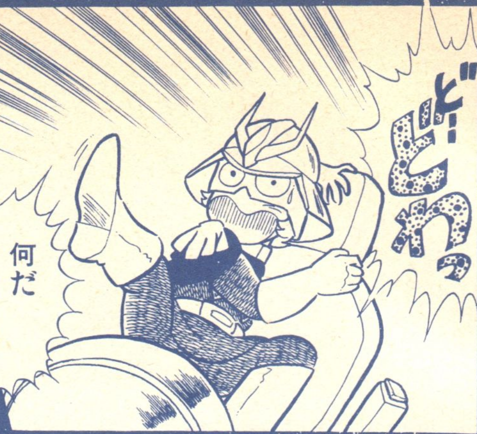


い









う

後が見える とは…… さては ニュー・タイプ だな…

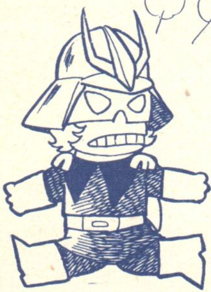




え





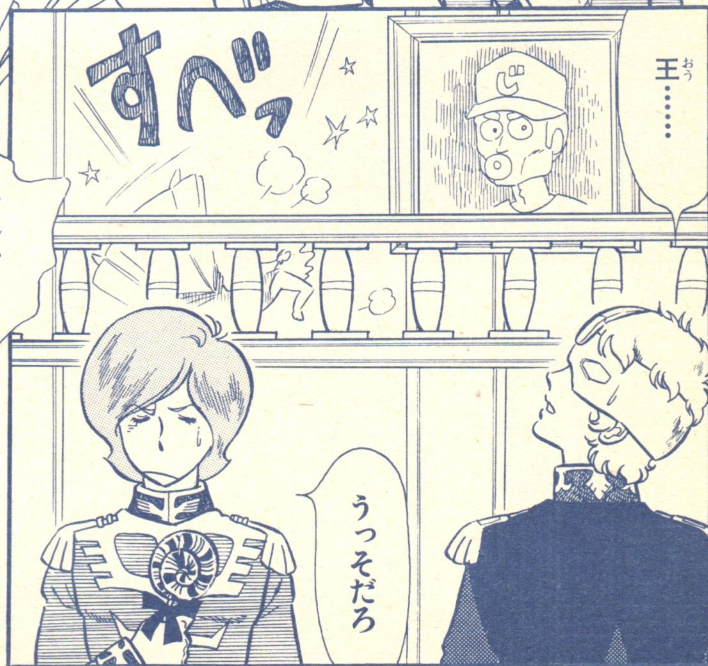


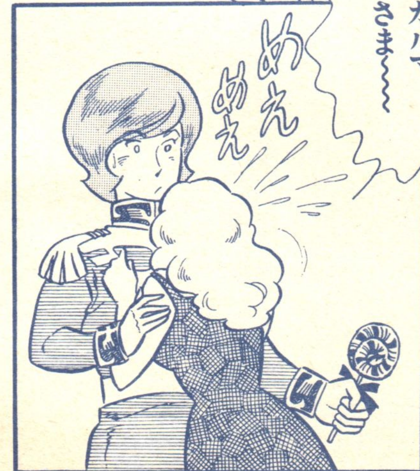
お

オオッ

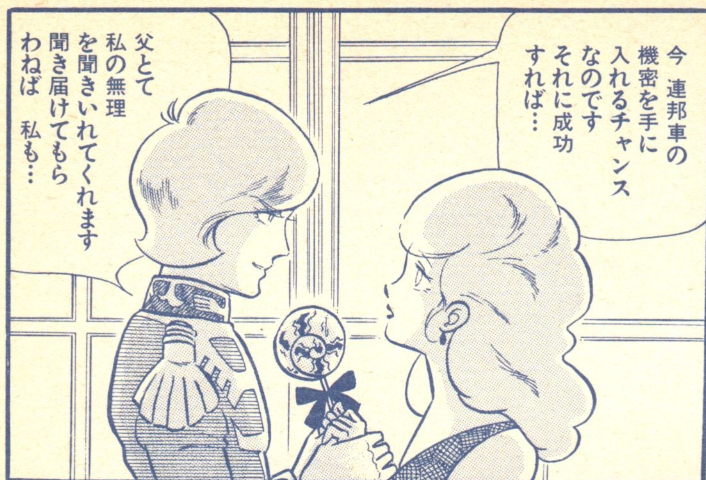
……美しい

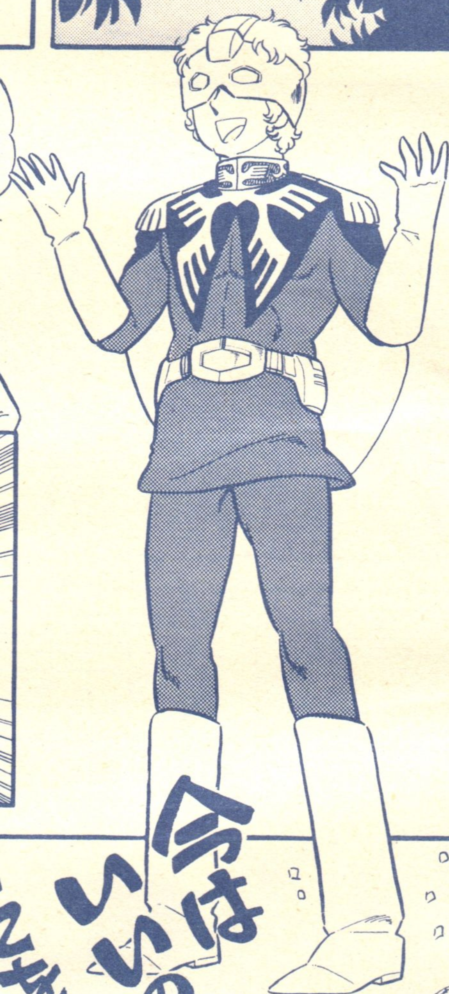
か

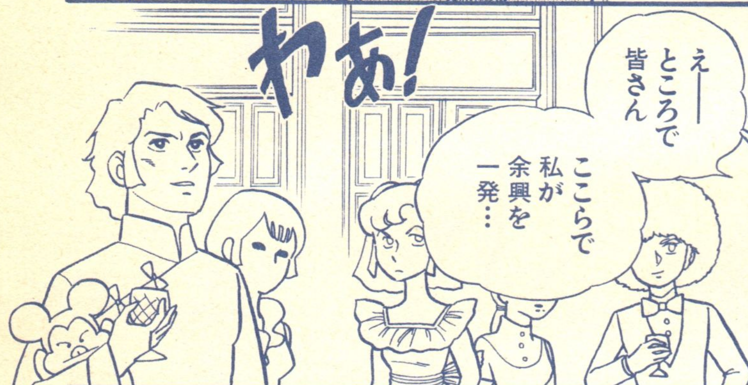


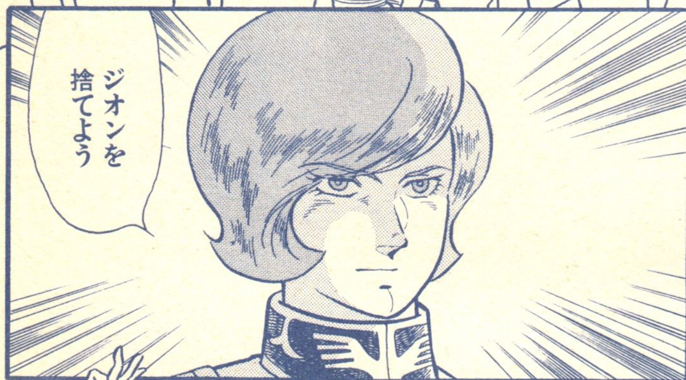


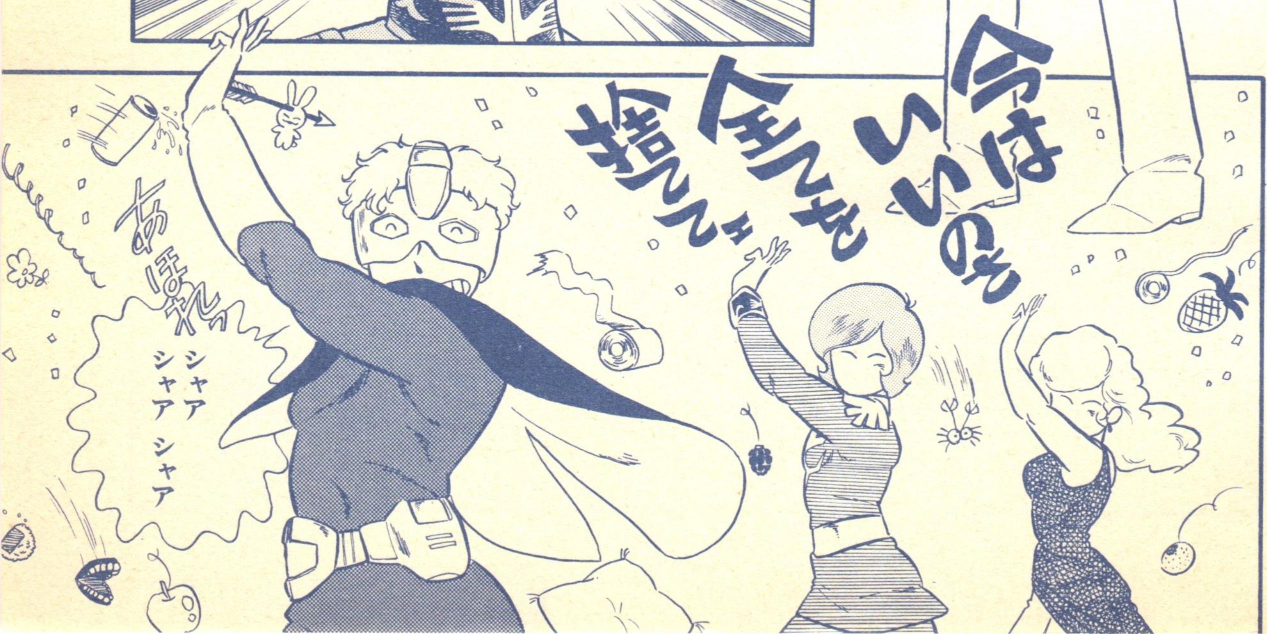


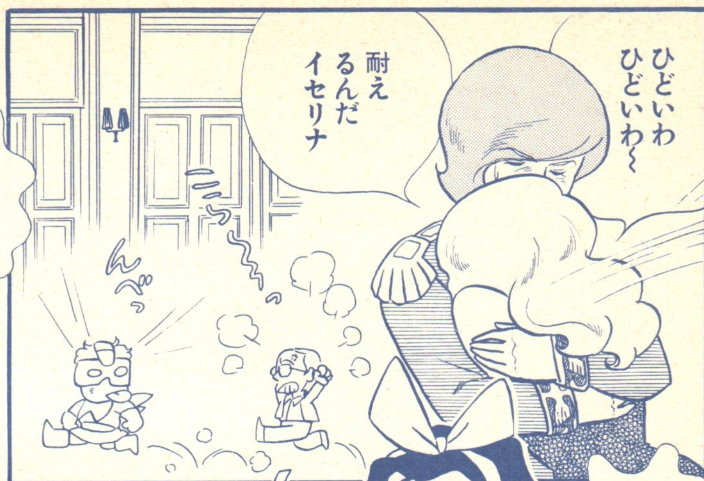

今 連邦車の機密を手に入れるチャンスなのです それに成功すれば…
父とて 私の無理を聞きいれてくれます 聞き届けてもらわねば 私も…

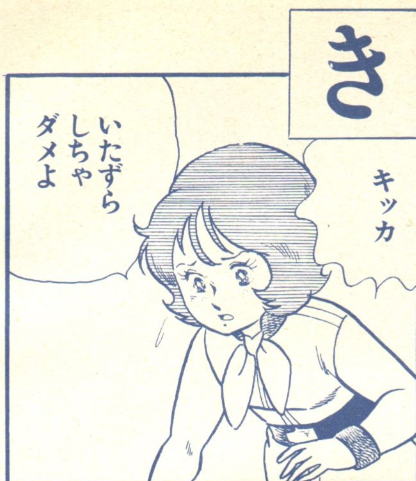



え―― ところで皆さん
ここらで私が余興を一発…
わぁ!

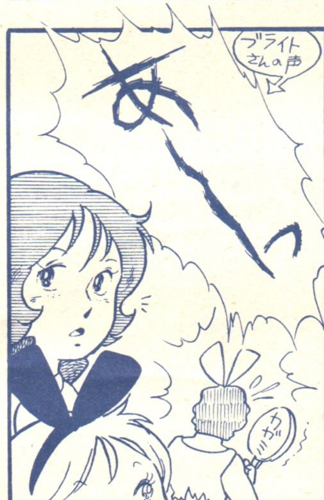

ジオンを捨てよう

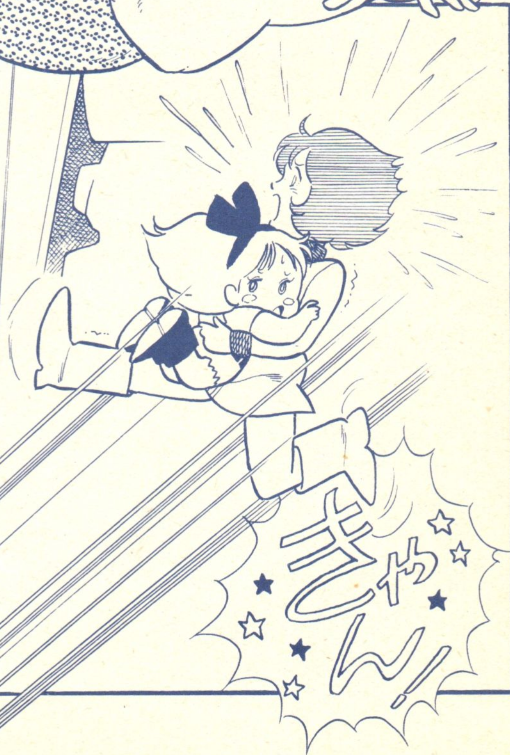

今はいいのさ
全てを捨ててェ
あほれっ
シャア シャア シャア

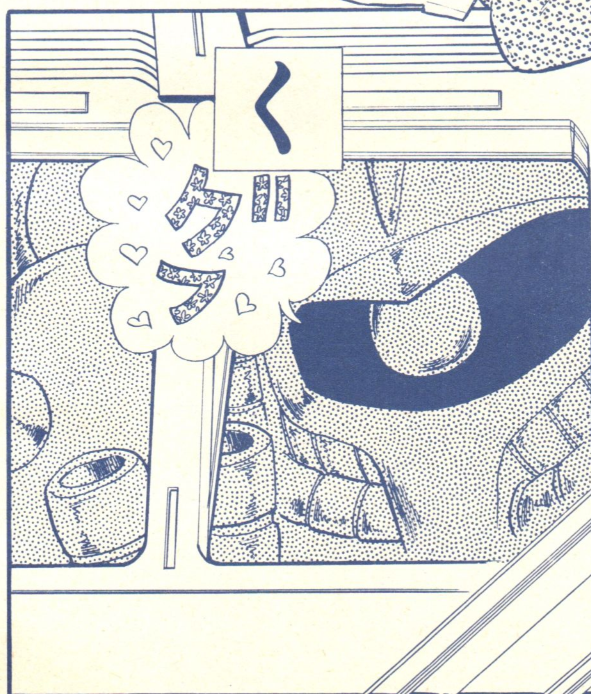

ひどいわ
ひどいわ〜
耐える
るんだ
イセリナ
ん
べっ


き
キッカ
いたずら
しちゃ
ダメよ

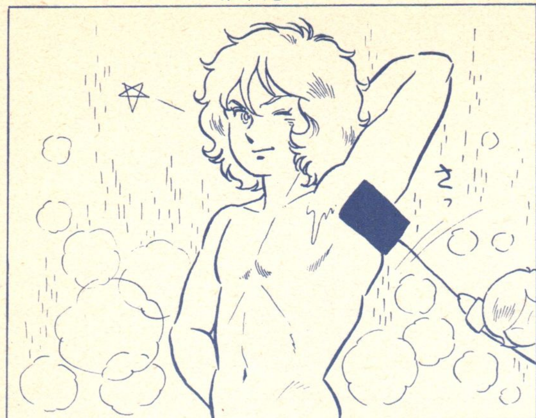

ふぁ〜〜〜
ムックリ
何だ
うるさい
なぁ


ブライトさんの声
あ〜っ


きゃん!


く
グ
ゥ



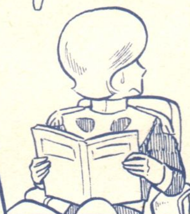


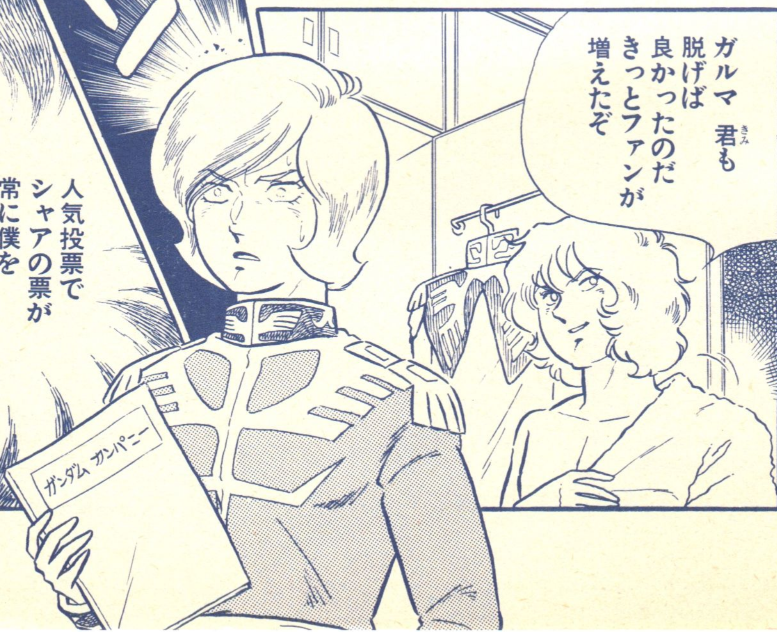
♡特別ふろく シヤアパス入れ♡

そのまま切りぬいて使ってもいいけど、なるべくコピーした方が…んなことする人いるかしらね…知らんべ

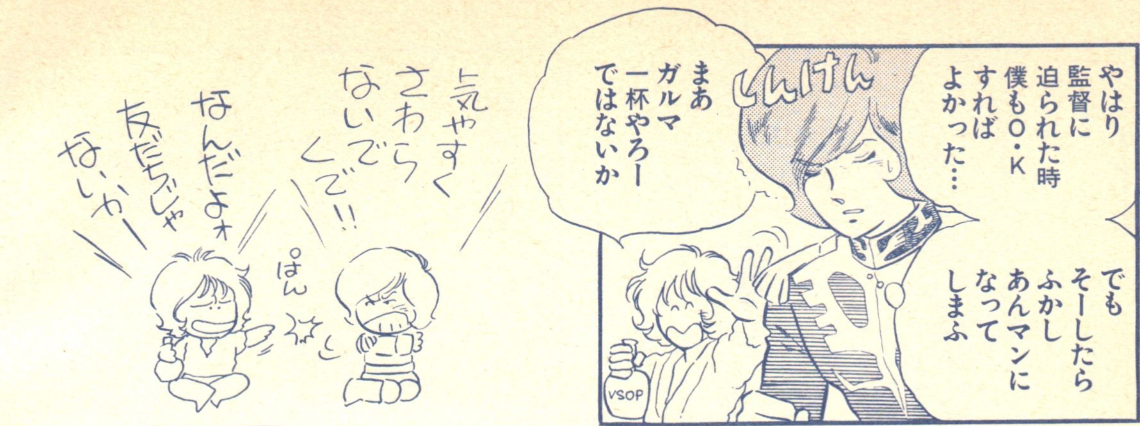








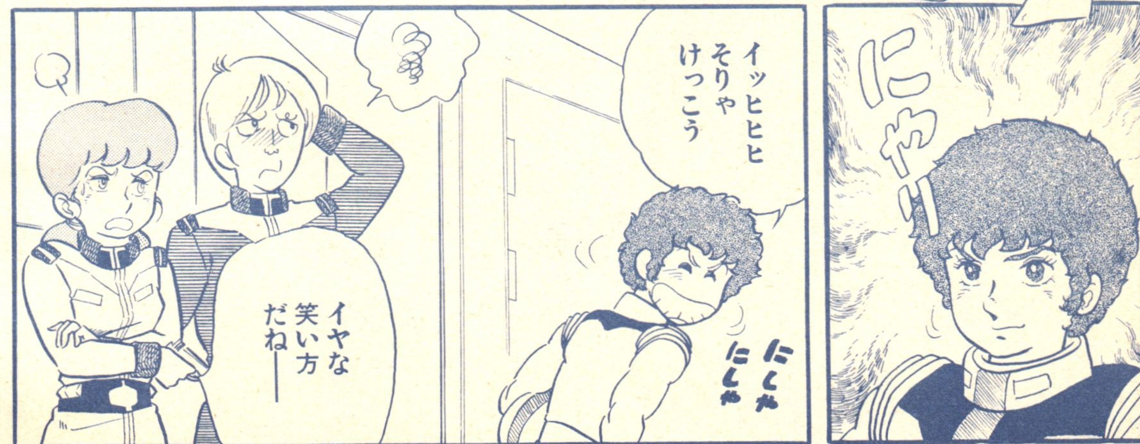




こ

恋人さんですか?

ハハハ! そんなところかね 南米で下ろすからさ みんなにゃ内緒だぜ

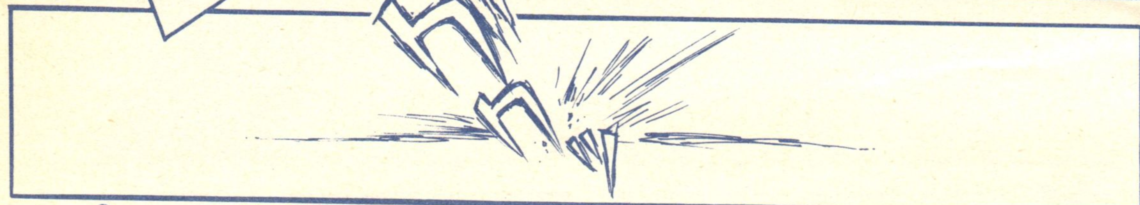



さ
酸素欠乏症になって……


急げ
お前だって軍人になったのだろうが！


こんなもの！
もらったってしかたがないじゃないか

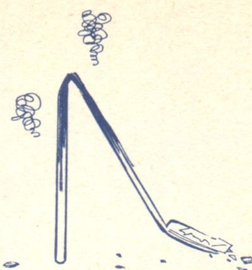

かわいい!?

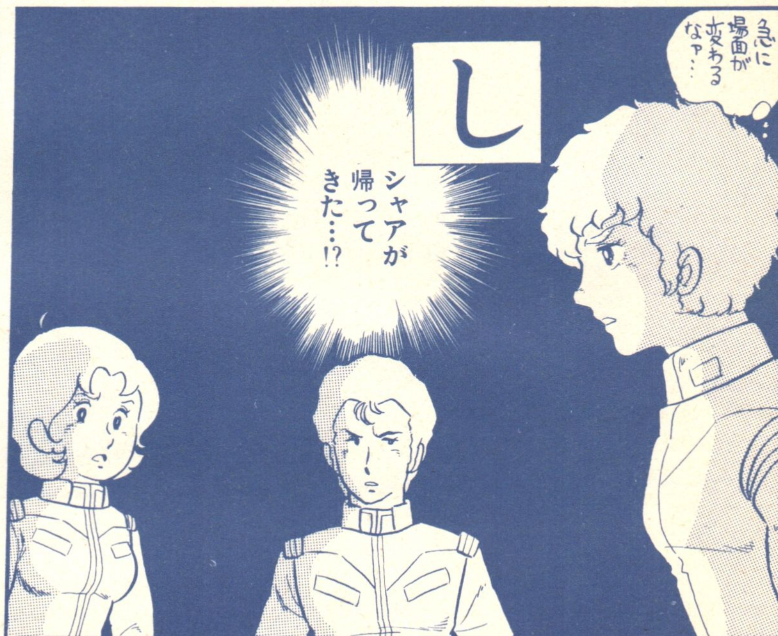


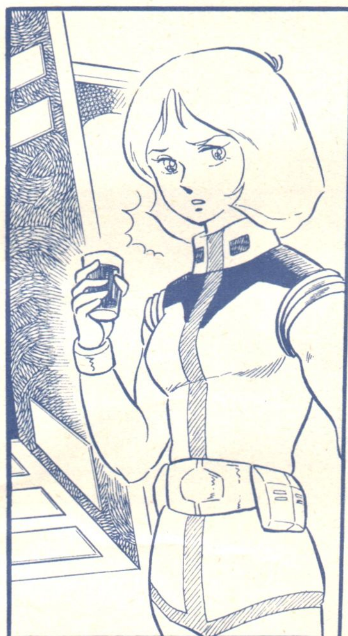

ピカッ
!?

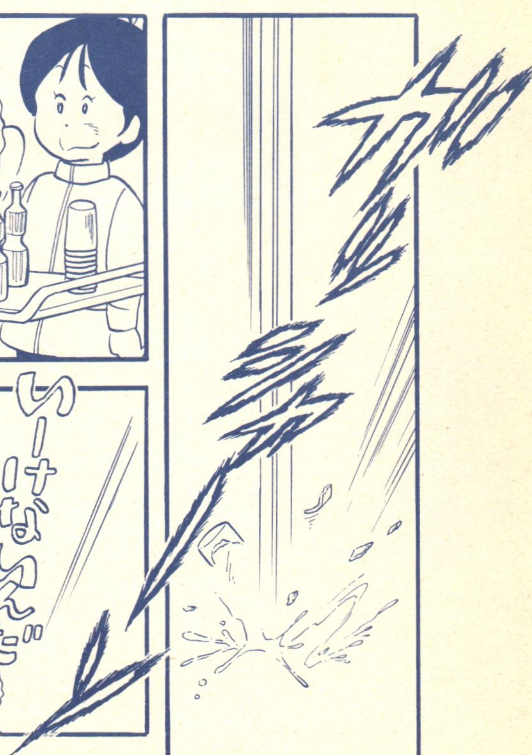

ひ…
ひどい…

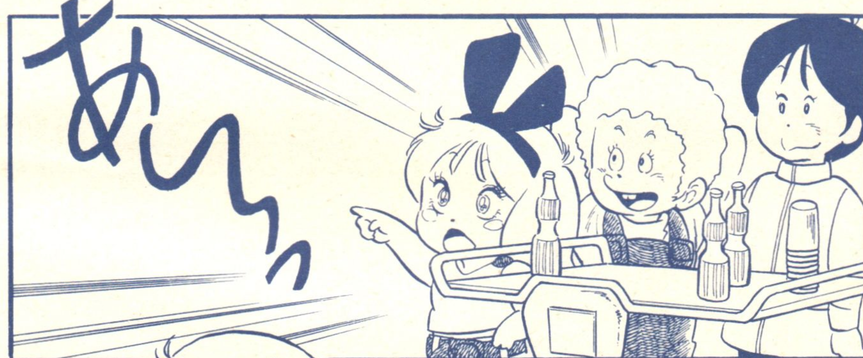


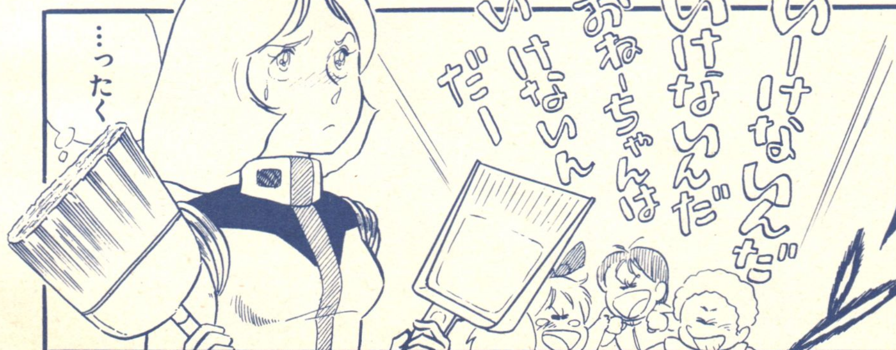


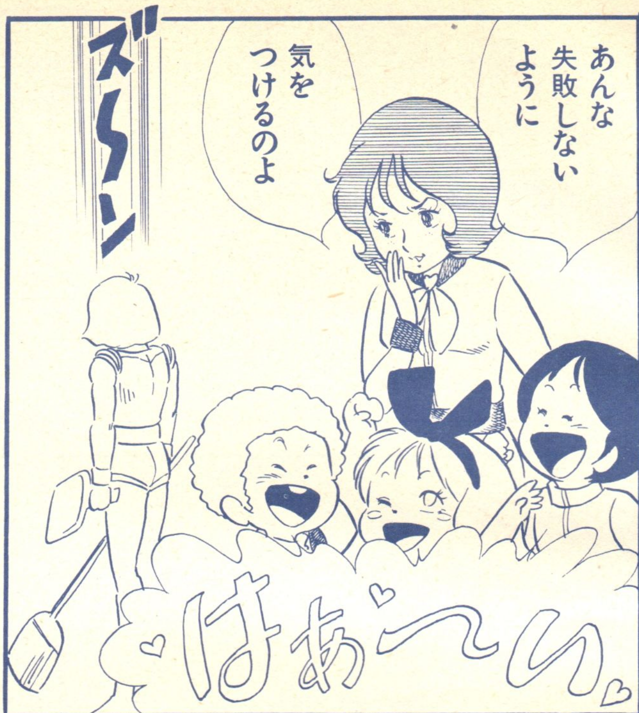

急に場面が変わるなァ…
し
シャアが帰ってきた…!?



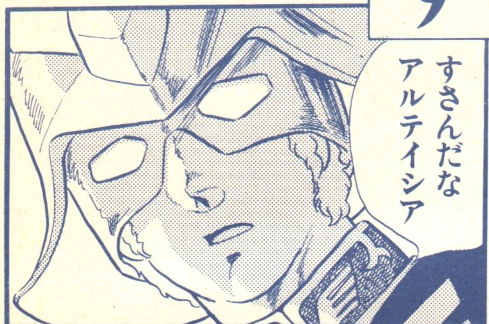


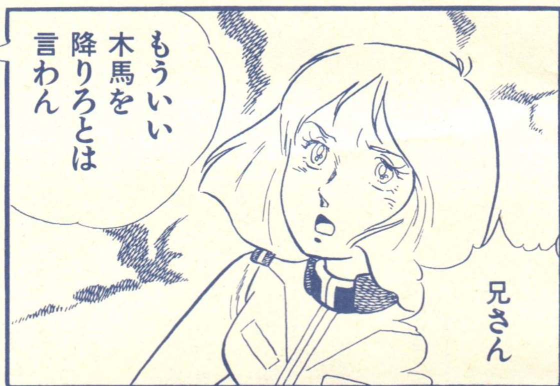

あいっっ

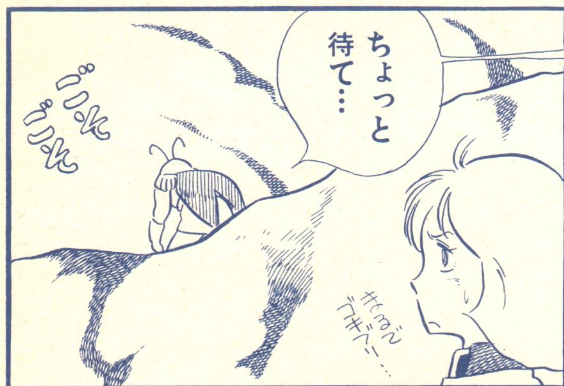

いーけないんだ
いけないんだ
おねーちゃんは
いけないんだー
…ったく

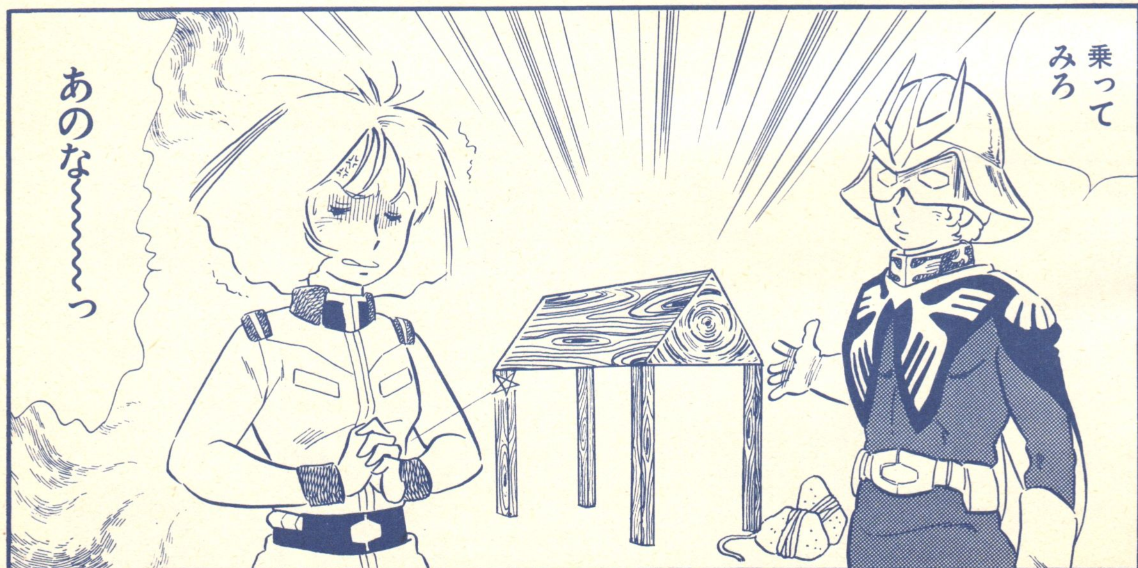

あんな失敗しないように
気をつけるのよ
ズ～ン
はぁ～い


ちっ これだから子供相手はヤ――よ


す
すさんだなアルテイシア

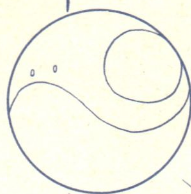

兄さん
もういい木馬を降りろとは言わん

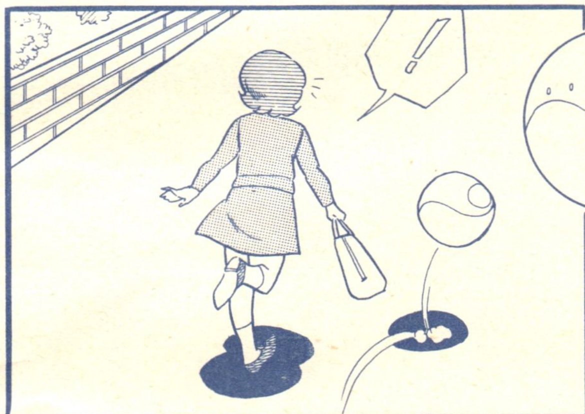

ちょっと待て…
ごそごそ

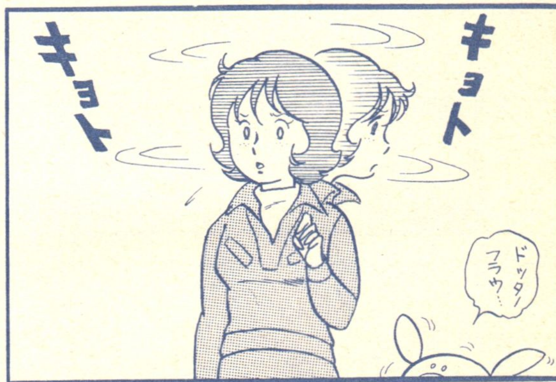

乗ってみろ
あのな～～～っ

せ

世話かけるんだから

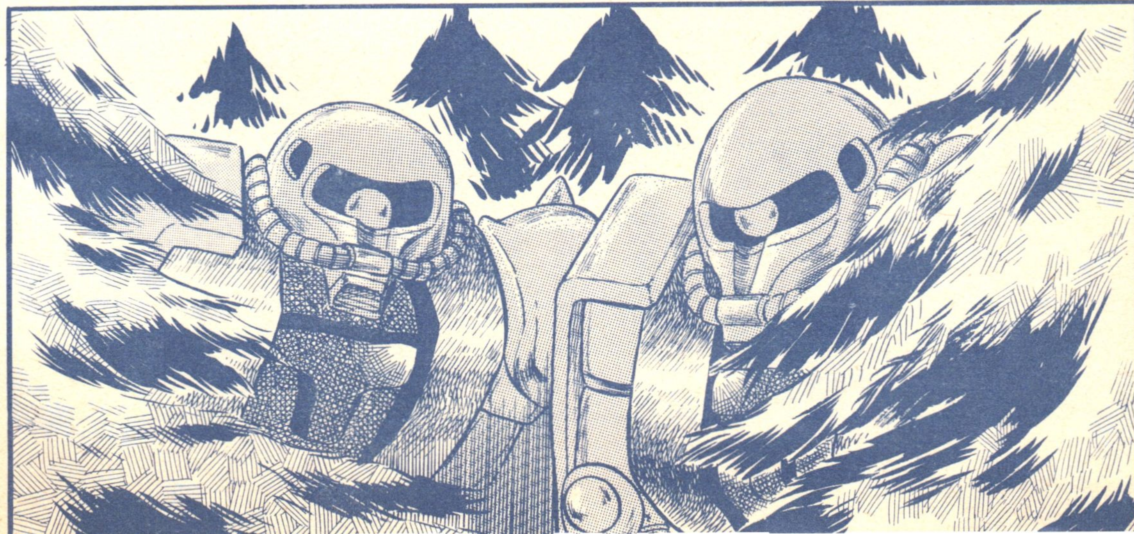




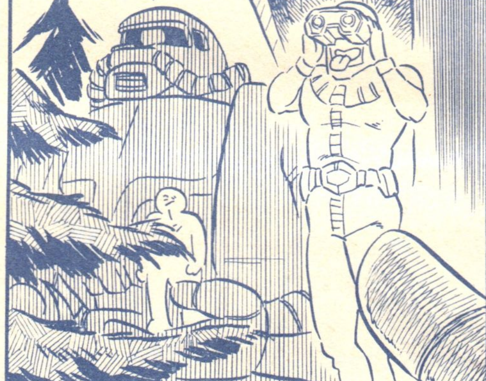




ザク♡どどど どぉすきよ。



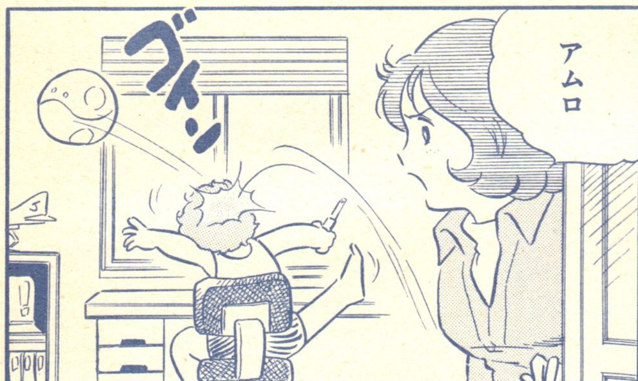
そ



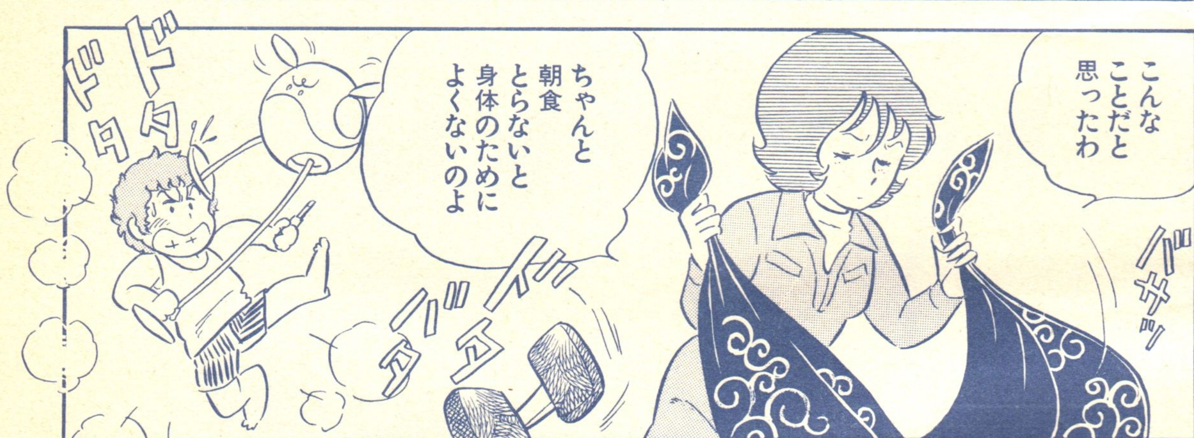
曹長――かわいこちゃんが振り向いた♡
うそこけ向うからこっちは見えないんだぞ!!



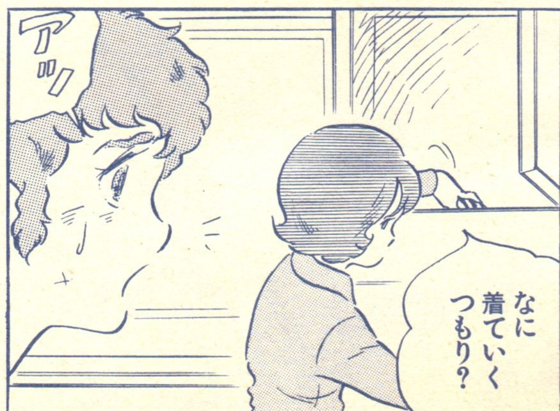
まぁ!まだ食べてない…



アムロ



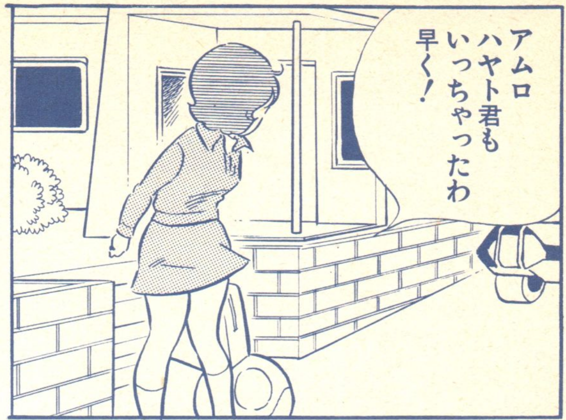
こんなことだと思ったわ
バサッ
ちゃんと朝食とらないと身体のためによくないのよ
ドタドタ

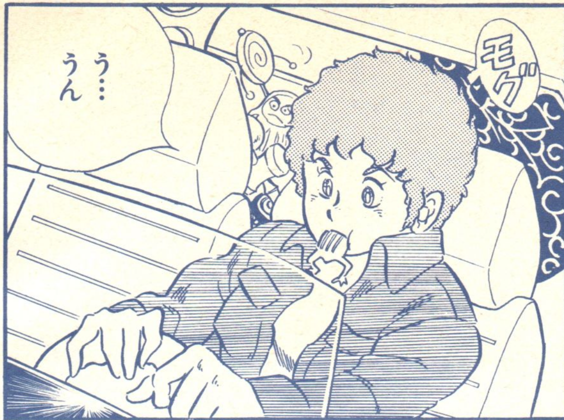


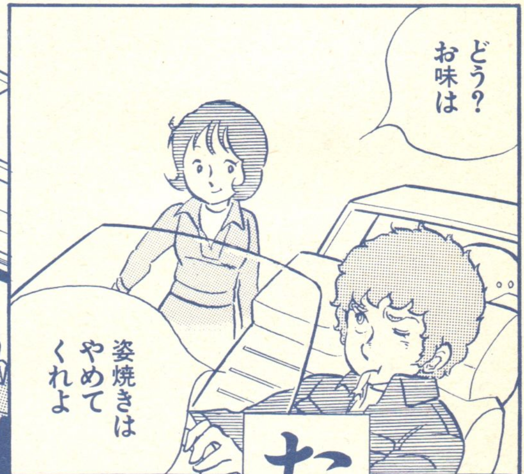
アッ
なに着ていくつもり?



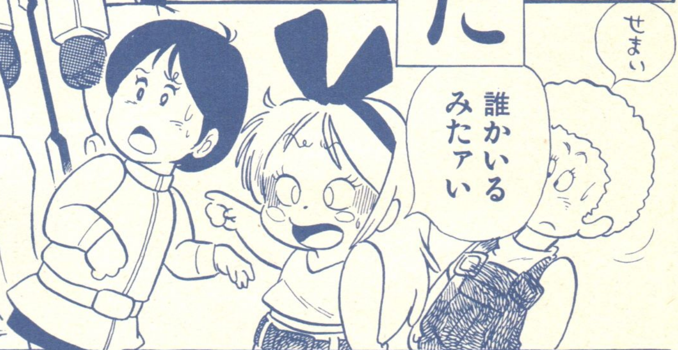
!
フ…フラウ…後は僕がやるよ


アムロ
ハヤト君も
いっちゃったわ
早く！

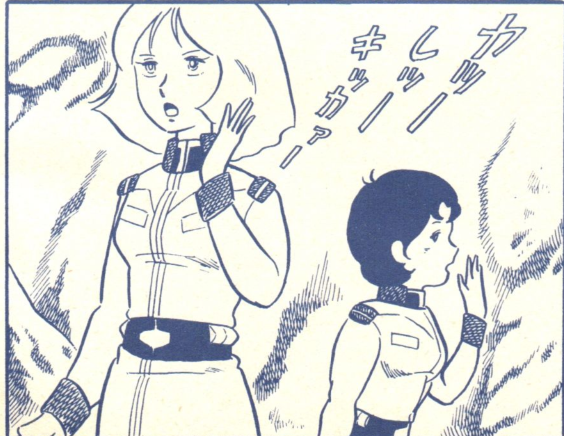

モグ
う…
うん

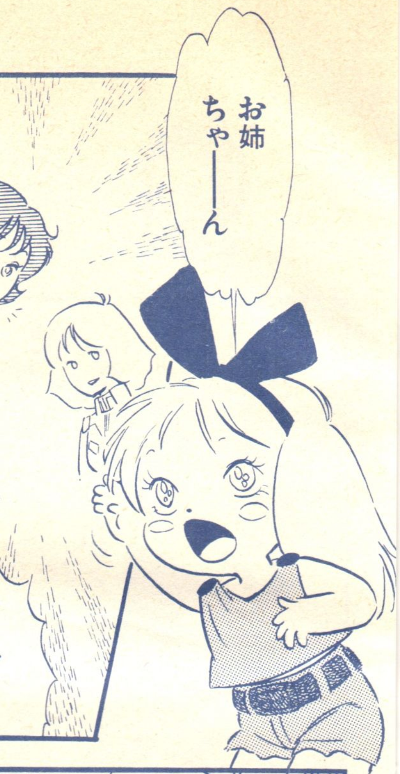

どう？
お味は
姿焼きは
やめて
くれよ

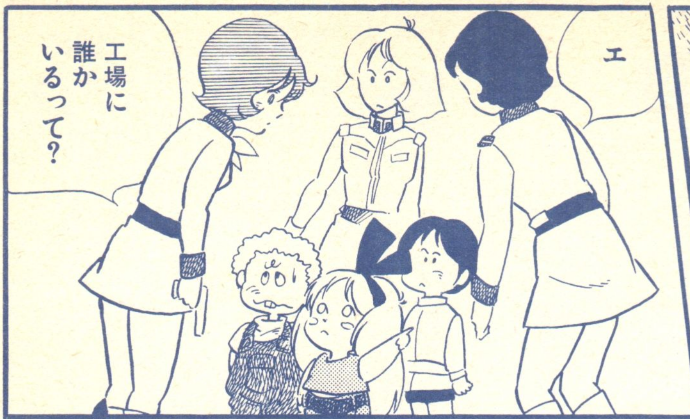



た
せまい
誰かいる
みたァい


ちくしょう
感づかれ
たな…

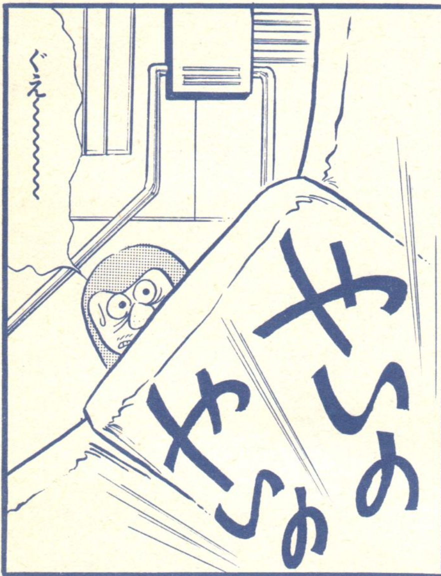

カツー
レッツー
キッカァー


お姉ちゃーーん
キッカ

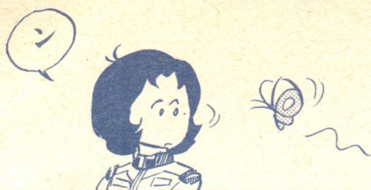

エ
工場に誰かいるって？


どやどや
どやどや

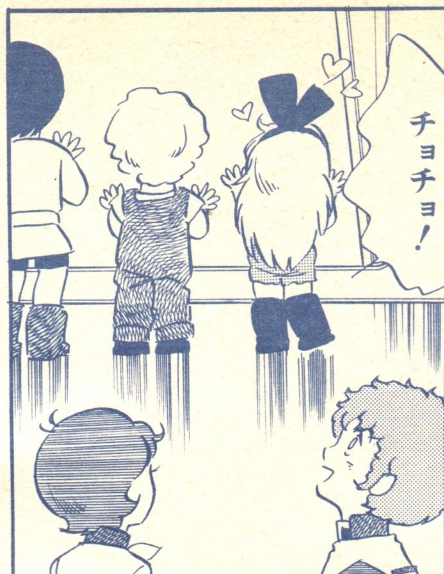

あ〜今回は出番が少ないぃ
怪しい人影を見かけたという通報を受けたのだが…


やいのやいの
ぐえ〜〜〜〜〜


ど…どうすべえ早く逃げ出さないと…爆弾が…
シャア大佐〜〜〜
知らん知らん
このヘルメットSTAR WARSみたい……

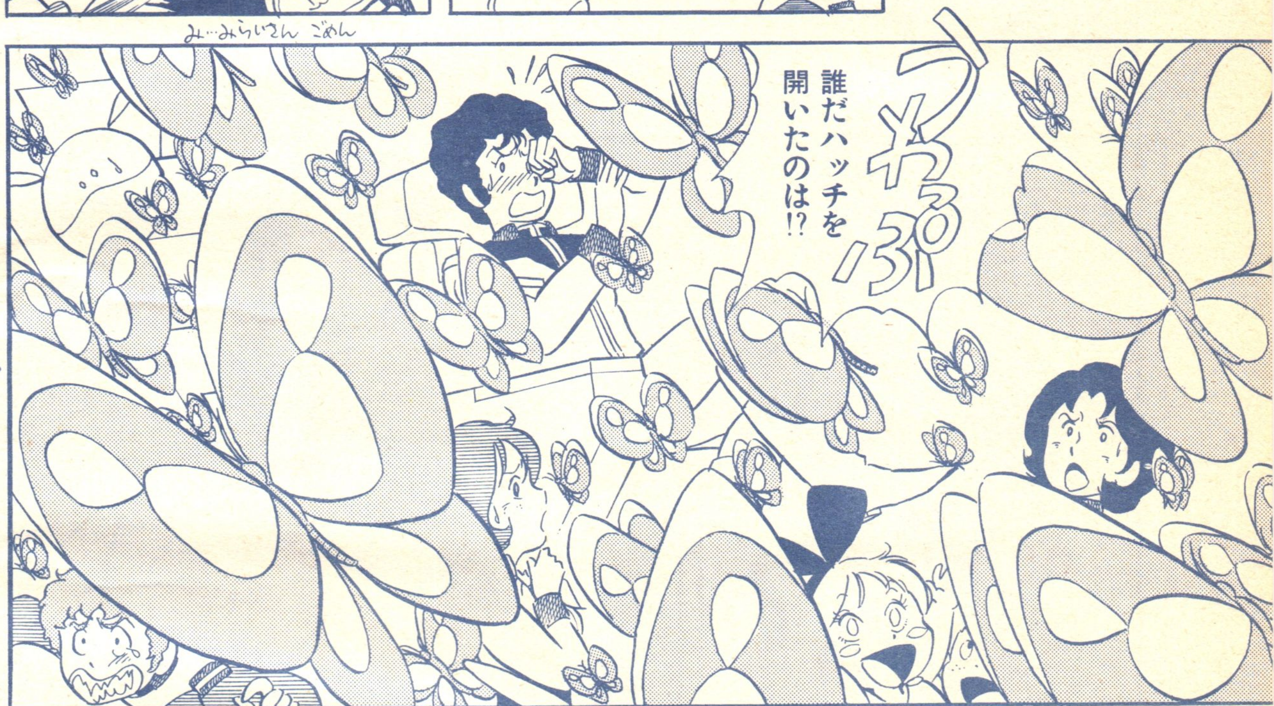


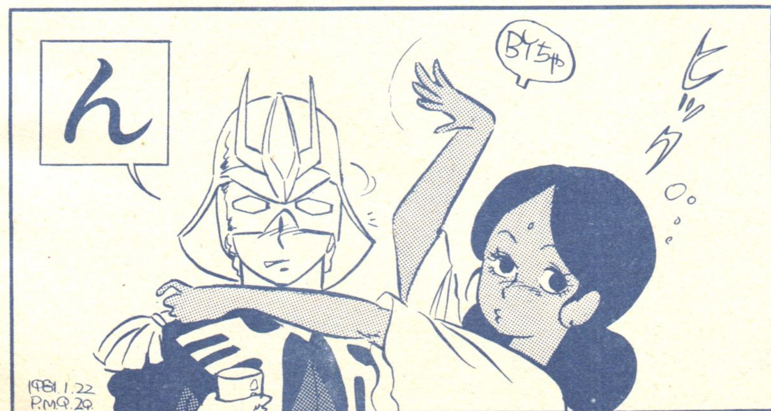
ち





み…みらいさん ごめん





誠に勝手ながら、「つ」〜「を」は省略させていただきます。

ガンダム商品申込用紙

ふりがな		年令	性別
住所	〒	才	男・女
ふりがな		TEL	
氏名			

品名（セット名）	単価	数量	送料	合計金額
			総合計金額	

尚、ガンダム・ステイショナリーセットA,B,C,D,I,J・メタルコレクションセットは、発送料込みとなります。

○申し込み用紙の使い方

86・87ページの広告にある商品の通信販売を御希望の方は、必要事項（詳しくは86ページの申し込み方法を御覧下さい）を記入して、合計金額と一緒に現金書留にてアニメック通信販売G係宛にお申し込み下さい。

郵便はがき

40円
切手を
おはり下さい

160-□□

東京都新宿区新宿2の1の1
ラポート株式会社
『アニメック』Ⓖ
編集部行

〒	TEL
ご住所	
フリガナ / ご氏名	昭和　年　月　日生
	男・女　才
	血液型　A・B・O・AB
購買書店名	ご職業（学校名・学年）

○ハガキの使い方

本誌に対する御意見・御感想をお書き下さい。質問及び疑問点は、アニメック本誌にて解答いたします。なお、昭和56年3月末日までは30円切手をおはり下さい。それ以降は40円切手となります。

★プレゼントのお知らせ

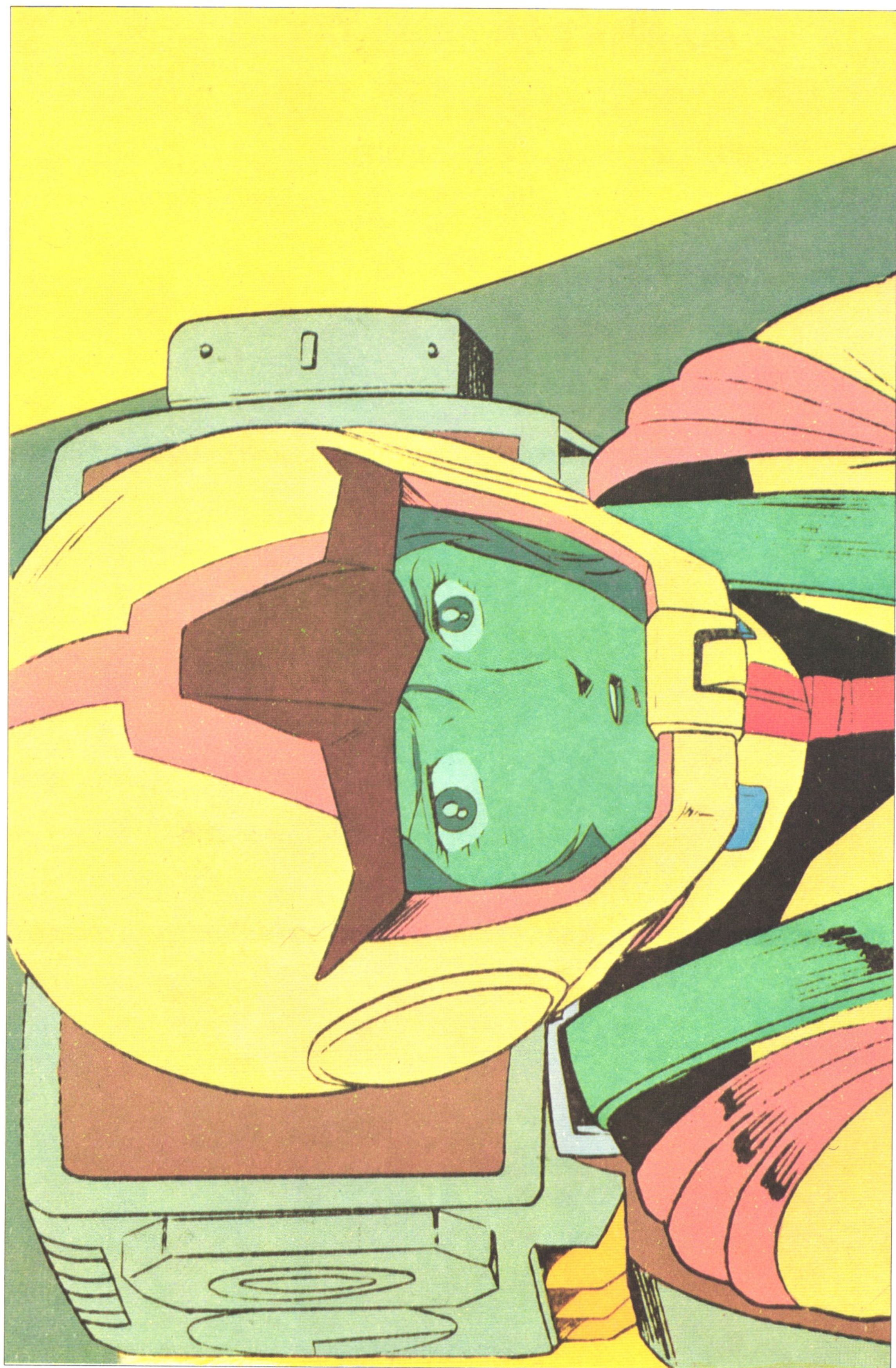
ハガキを編集部までお送りくださった方の中から抽せんで
10名様に　ガンダムメタルコレクション
20名様に　ガンダム絵ハガキセット
50名様に　ガンダムキーホルダー
をプレゼントいたします。

ガンダム商品申込用紙

ふりがな		年令	性別
住所	〒	才	男・女
ふりがな		TEL	
氏名			

品名（セット名）	単価	数量	送料	合計金額
総合計金額				

尚、ガンダム・ステイショナリーセットA，B，C，D，I，J・メタルコレクションセットは、発送料込みとなります。



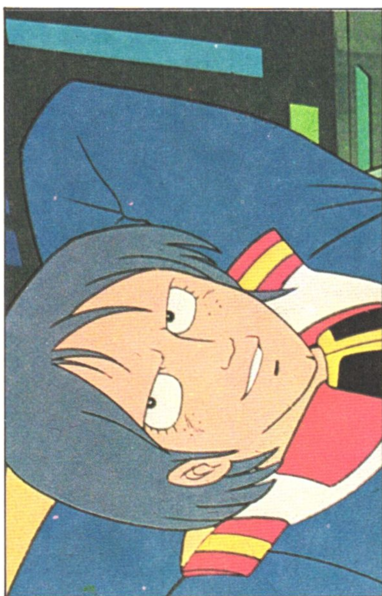
機動戦士ガンダム アドレスメモ

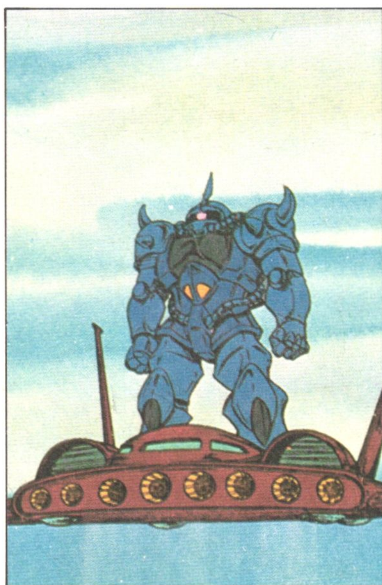
name	address	telephone
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	

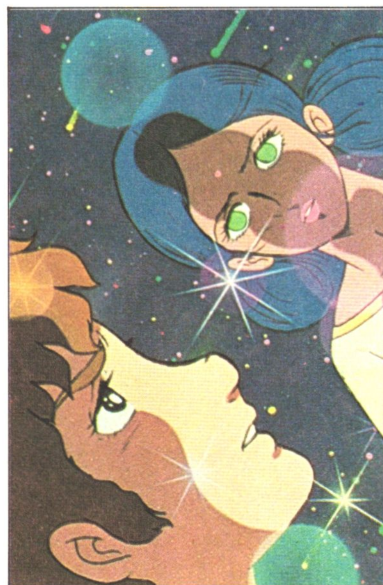
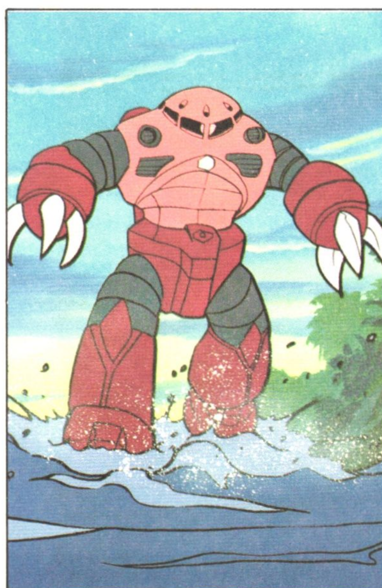
機動戦士ガンダム アドレスメモ

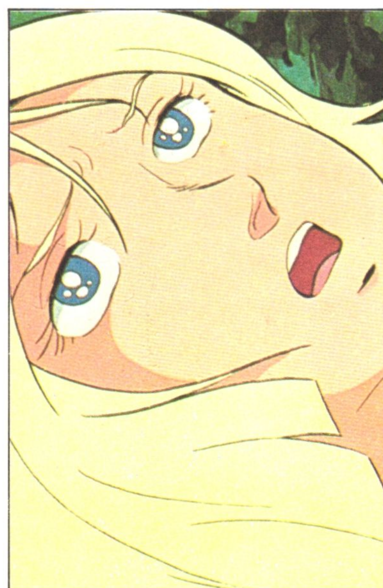
name	address	telephone
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	
	〒	







name

ad

tel

memo

Name

Ad

Tel

Birth day

Memo

name

ad

tel

birth day

Name

Ad

Tel

Memo

name

ad

tel

birth day

memo

name

ad

tel

memo

NAME

AD

TEL

MEMO

Name

Ad

Tel

Memo

name

ad

tel

memo

NAME

AD

TEL

MEMO

name

ad

tel

birth day

name

ad

tel

memo



Name

Ad

Tel

Birth day

Memo



Name

Ad

Tel

Memo

name

ad

tel

birth day

memo

name

ad

tel

memo

NAME

AD

TEL

MEMO

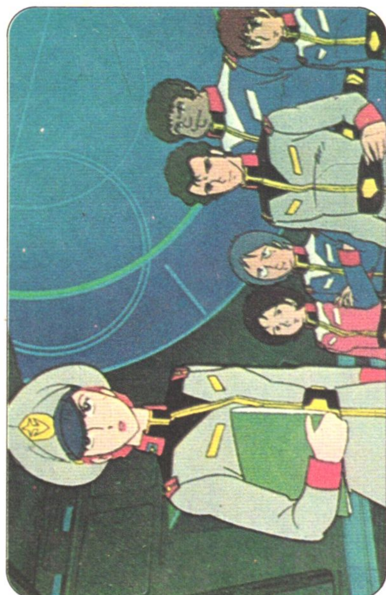
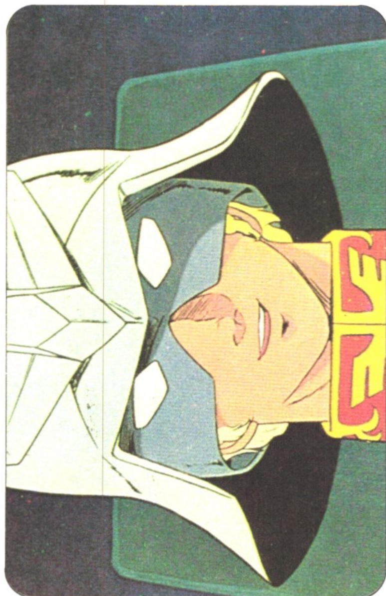
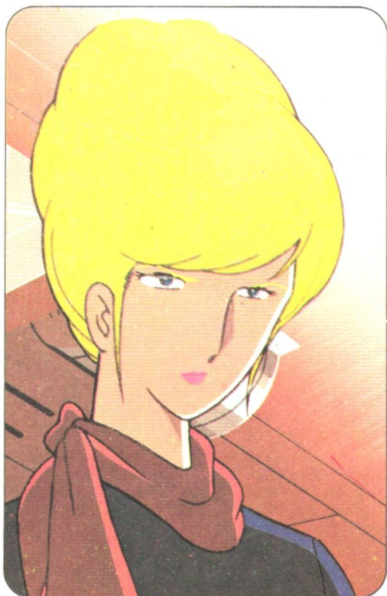
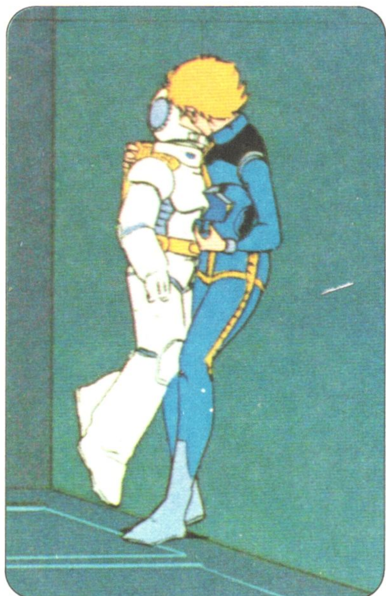
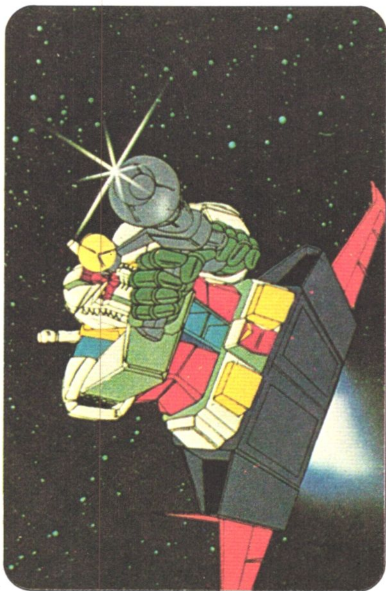
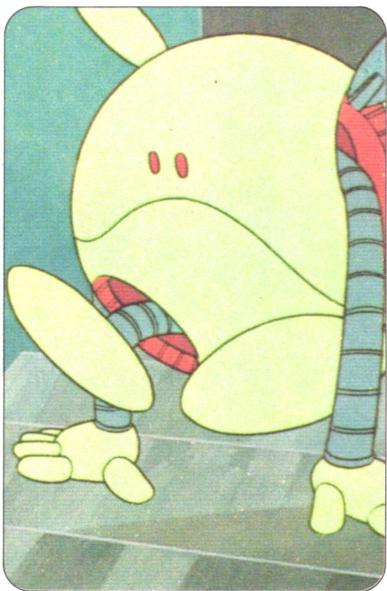
Name

Ad

Tel

Birth day




機動戦士ガンダム テレビ版スタッフ

総監督　富野喜幸
アニメーション・ディレクター　安彦良和
企画　日本サンライズ
原作　矢立肇・富野喜幸
プロデューサー　関岡　渉（名古屋テレビ）
大熊伸行（創通エージェンシー）
渋江靖夫（日本サンライズ）
音楽　渡辺岳夫・松山祐士
脚本　星山博之・松崎健一・荒木芳久
山本　優
キャラクター・デザイン　安彦良和
メカニカル・デザイン　大河原邦男
美術設定　中村光毅
絵コンテ　斧谷　稔・貞光紳也・藤原良二
山崎和男・又野　弘
演出　斧谷　稔・藤原良二・小鹿英吉
又野　弘・貞光紳也・神田武幸
行田　進・関田　修
作画監督　安彦良和・富沢和雄・青鉢芳信
山崎和男・大泉　学・鈴村一行
作画　中村プロ・スタジオZ
アニメ・フレンド
仕上　シャフト・ディーン
特殊効果　土井通明
美術　アート・テイク・ワン
アップル
動画チェック　浜津　守
撮影　旭プロダクション・斉藤秋男

編集　鶴渕友彰・小谷地文男
現像　東京現像所
音響監督　松浦典良（オーディオ・プランニング・ユー）
効果　松田昭彦
整音　日向国雄
録音　整音スタジオ
制作進行　豊住政引・草刈忠良・望月真人
滝口雅彦・植田益朗・八木岡正美
神田　豊・深田節雄
設定制作　円井　正
アシスタントプロデューサー　神田　豊
制作　名古屋テレビ・創通エージェンシー
日本サンライズ



編集後記

機動戦士ガンダム大事典が完成しました。これでテレビ版の第1話から最終話までに登場したメカ、用語、人名のほとんどが網羅できたことと思います。アニメック初の別冊ですが、今後もこのような別冊を刊行する予定ですので、本誌に対する御意見・御要望をお聞かせ下さい。良い本を作るための参考にさせていただきたいと思います。

アニメック編集部

●編集スタッフ●
布川由紀子
千葉　暁　佐藤純子
柳田廣子
弦巻千尋
関口雅弘
（レイアウト）
元木昌子

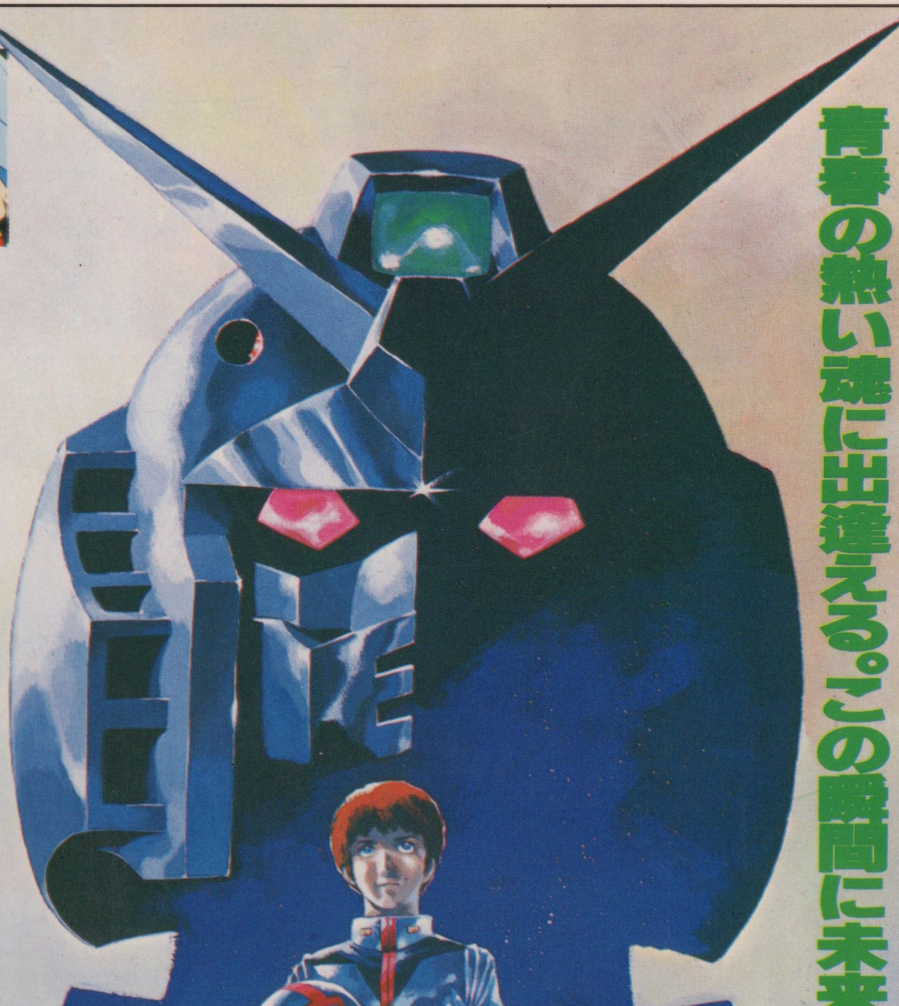
機動戦士ガンダム大事典
（アニメック第16号）
発行所　〒160 新宿区新宿2―1―1
ラポート株式会社
TEL03―354―3951(代)
印刷所　大日本印刷株式会社

アニメック第16号「ガンダム大事典」
昭和56年3月1日発行 編集人 小牧雅伸 発行人 海野榮一
発行・ラポート(株)
〒160東京都新宿区新宿二丁目一番一号 ☎東京(03)354―2010



原作
矢立 肇
富野喜幸
キャラクター・デザイン
安彦良和
メカニカル・デザイン
大河原邦男
美術設定
中村光毅
シナリオ
星山博之
松崎健一
山本 優
荒木芳久
音楽
渡辺岳夫
松山祐士
アニメーション・ディレクター
安彦良和
総監督
富野喜幸
製作
渋江靖夫
岩崎正美

主題歌「砂の十字架」
作詞/作曲
谷村新司
歌
やしき たかじん
(キングレコード)
企画製作 日本サンライズ
配給 松竹株式会社





機動戦士
ガンダム
松竹映画



松竹映画化

雑誌 61513-16 ©RAPPORTk.k 1981 大日本印刷株式会社印刷 定価500円